「福岡県における文化芸術活動の実態調査」に基づく分析及び施策提案

報告書（案）

2025年8月

合同会社文化コモンズ研究所

◎目次

序　調査の実施概要 i

【本編】

1. 柱1 文化芸術の振興 2

2. 柱2 文化芸術に親しむことができる環境づくり 8

3. 柱3 障がいのある人の文化芸術活動の推進 14

4. 柱4 文化芸術を活用した地域づくりと魅力の発信 18

5. その他の必要と考えられる施策の提案 22

【資料編】

Ⅰ. 県民に対するアンケート調査の結果 Ⅰ-1

調査票 Ⅰ-100

Ⅱ. 県内の指定障がい福祉サービス事業所に対するアンケート調査の結果 Ⅱ-1

調査票 Ⅱ-58

Ⅲ. 県内の文化芸術団体に対するアンケート調査の結果 Ⅲ-1

調査票 Ⅲ-36

序　調査の実施概要

1. 調査目的

福岡県では、次期「福岡県文化芸術振興基本計画（令和8年度策定予定）」の策定に向けて、「福岡県における文化芸術活動の実態調査」結果に基づき本県における文化芸術活動の実態及び文化芸術振興に係るニーズを把握するとともに、今後の文化芸術施策を検討する上での参考とすることを目的とする。

2. 調査対象

(1) 県民を対象としたアンケート調査

調査対象	県内に居住する18歳以上の男女
調査対象数	4,000サンプル
調査方法	インターネットリサーチ会社の登録モニターに対する調査
調査期間	令和7年4月11日～20日
備考	令和2年8月に実施した前回の調査では、調査方法は郵送法により実施し、有効回収数1,468件、有効回収率36.7%の回収状況で分析した。今回の調査では、居住地域別や性別、年代別等による詳細な分析を行うため、4,000件（福岡地域、筑後地域、筑豊地域、北九州地域がそれぞれ1,000件）を回収数とするインターネットリサーチ会社（楽天インサイト）の登録モニターに対する調査とした。 前回の調査での郵送法では、郵送配布・郵送回収によるため、調査の目的や内容を踏まえて協力の意志のある回答者から任意での回答となっており、回答者への謝礼や特典の提供はない。一方、今回の調査では、インターネットリサーチの登録モニターにアンケートの案内メールを送信し、回答者にはオンラインサービスやネットショッピングに使えるポイントが付与される特典が提供されている。 なお、前回と今回の調査結果を比べると、全体的に以下のような回答の傾向の違いが見られる。 ● 文化芸術の鑑賞経験、活動実践等の質問で「鑑賞していない」「活動していない」とする回答率が、前回に比べて今回が高い。 ● 多くの設問に共通して、複数回答で提示した選択肢の中で「特にない・分からない」の回答率が、前回に比べて今回が高い。 以上のような傾向の違いは郵送法とインターネットリサーチという調査方法に違いが要因とは必ずしも言えないが、前回調査と今回調査の結果を比較する際には、調査方法の変更により、全体的な回答傾向の違いがあることに留意が必要である。

(2) 県内の指定障がい福祉サービス事業所に対するアンケート調査

調査対象	県内の指定障がい福祉サービス事業所
調査対象数	1,802サンプル
調査方法	メール照会・「ふくおか電子申請サービス」により回答
調査期間	令和7年3月19日～5月12日
回収状況	有効回収数　450件（有効回収率　25.0%）

(3) 県内の文化芸術団体に対するアンケート調査

調査対象	福岡県文化団体連合会に所属する団体及びふくおか県芸術文化祭2024参加団体
調査対象数	113サンプル

調査方法	郵送またはメール照会・「ふくおか電子申請サービス」により回答
調査期間	令和7年3月19日～4月20日
回収状況	有効回収数　57件（有効回収率　50.4%）

3. 集計結果に関する留意事項

解説文中に示されている回答割合の数値は、小数点第1位未満を四捨五入しているために計が100.0%にならない場合がある。

4. 本報告書の構成

本報告書は、調査の結果から、今後、県が文化芸術施策を展開する上で有効となる手法・方向性の提案と、調査結果から得られた内容を基に必要と考えられる施策を提案する「本編」と、調査の詳細データ等を整理した「資料編」の二編から構成されており、それぞれの内容は以下のとおりである。

(1) 本編

本編は、福岡県文化芸術振興条例に基づき策定した「福岡県文化芸術振興基本計画」の施策の柱の項目をそれぞれ4つの章とした。また、必要と考えられる施策の提案を最後の章に加え、以下の5つの章によって構成されている。

- 1. 柱1　文化芸術の振興
- 2. 柱2　文化芸術に親しむことができる環境づくり
- 3. 柱3　障がいのある人の文化芸術活動の推進
- 4. 柱4　文化芸術を活用した地域づくりと魅力の発信
- 5. その他の必要と考えられる施策の提案

(2) 資料編

資料編は、「福岡県における文化芸術活動の実態調査」の調査結果と調査票によって構成されている。

- Ⅰ. 県民に対するアンケート調査の結果及び調査票
- Ⅱ. 県内の指定障がい福祉サービス事業所に対するアンケート調査の結果及び調査票
- Ⅲ. 県内の文化芸術団体に対するアンケート調査の結果及び調査票

5. 調査体制

本調査は合同会社文化コモンズ研究所に委託して実施した。

吉本光宏（合同会社文化コモンズ研究所　代表・研究統括）
大澤寅雄（合同会社文化コモンズ研究所　代表・主任研究員）

「福岡県における文化芸術活動の実態調査」に基づく分析及び施策提案

［本編］

1.

柱１　文化芸術の振興

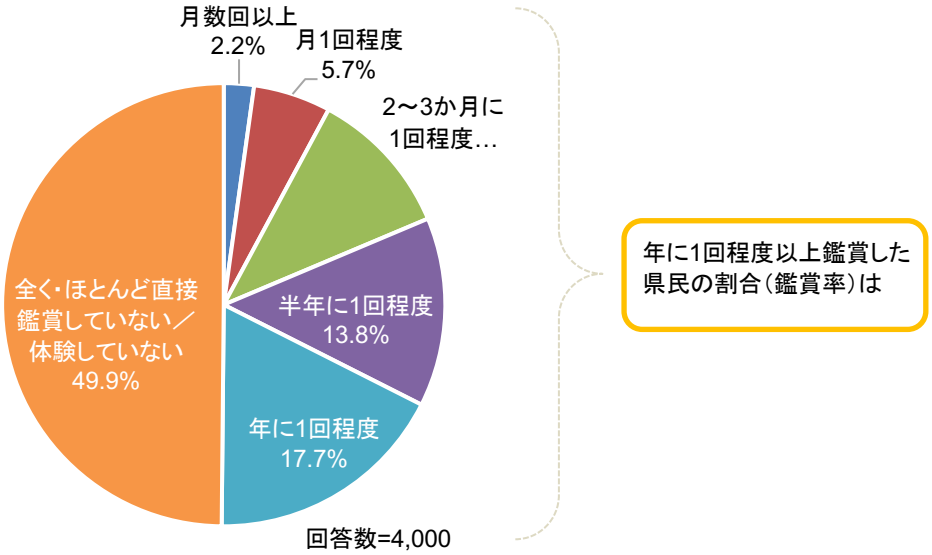
県民の文化芸術に対する関心をより一層喚起するため、多彩で魅力的な文化事業を実施し、地域の伝統芸能、文化財、世界文化遺産等を発信する。

(1) 芸術・芸能・生活文化等の振興

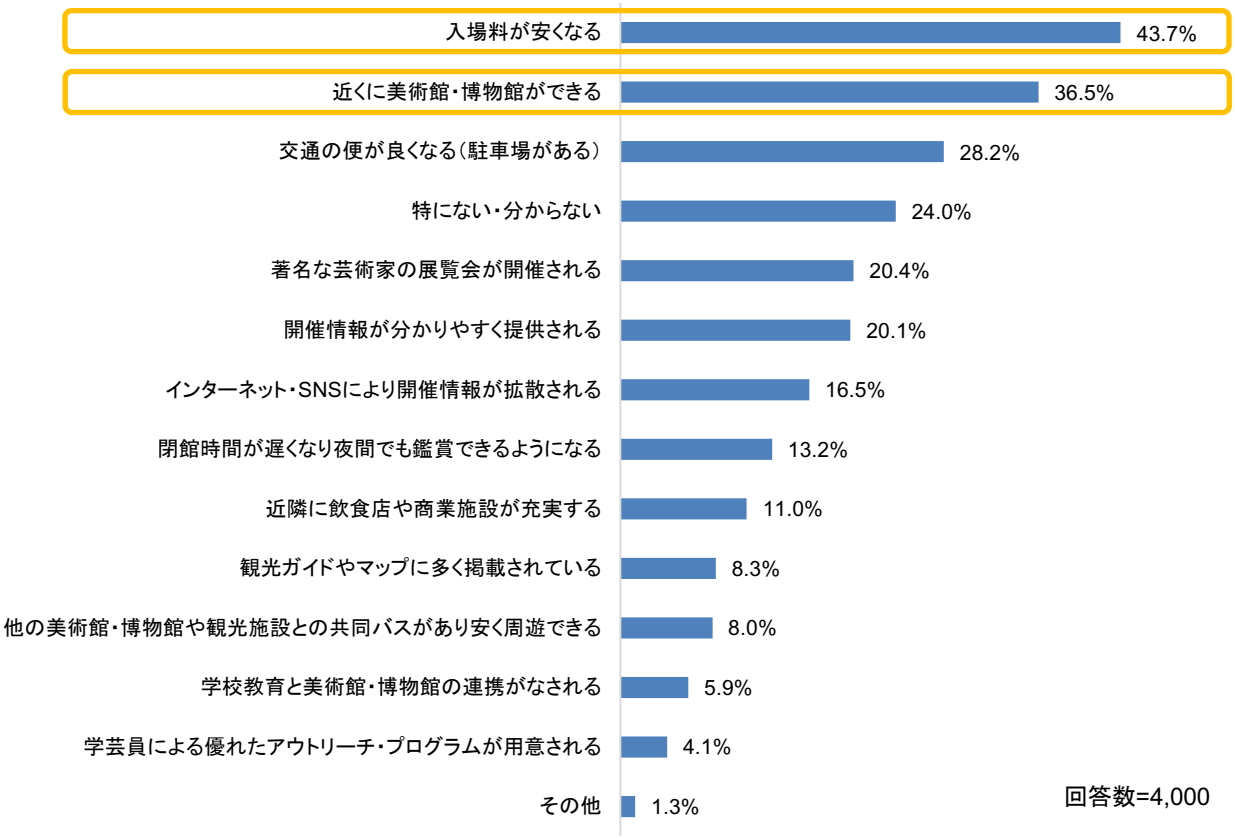
【芸術・芸能・生活文化等活動の推進】より多くの県民が文化芸術の鑑賞や実践に参加できるように、多彩で魅力的な文化事業を実施する。また、新たな文化芸術の拠点となる新福岡県立美術館の設立準備と開館を成功させ、県民の文化芸術に対する関心をより一層喚起する。

- 県民を対象としたアンケート調査によると、文化芸術を年に1回程度以上鑑賞した回答者の割合（鑑賞率）は合わせて50.2%、「全く・ほとんど直接鑑賞していない／体験していない」が49.9%となっている。【➡図表1、Ⅰ-6】
- 直接、鑑賞・体験した理由は、「自分が興味のある内容だったから」が81.0%で最も高く、次いで「家族・友人等から誘われたから」が27.4%、「自宅の近くで開催していたから」が10.2%となっている。【Ⅰ-12】
- 美術館・博物館へもっと行きやすくなるには、「入場料が安くなる」が43.7%で最も高く、次いで「近くに美術館・博物館ができる」が36.5%、「交通の便が良くなる」が28.2%と続いている。【➡図表2、Ⅰ-23】
- 自ら実践した文化芸術活動のジャンルについて聞いたところ、「この１年間、自分自身では文化芸術活動をしていない」が81.8%で、それを除いた実践した割合は18.2%となっている。活動があったジャンルの中では「文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作」が6.6%となっているが、いずれも１割に満たない。【Ⅰ-34】
- 文化芸術活動に参加しやすくなる条件を聞いたところ、「特にない・分からない」が38.3%で最も高く、次いで「魅力ある内容の活動が行われる」が30.7%、「一緒に活動する仲間がいる」が23.8%、「参加するための費用の負担が軽くなる」が23.6%と続いている。【Ⅰ-41】

図表１ この１年間に文化芸術を直接鑑賞した頻度（県民調査、単一回答）



図表２ 美術館・博物館へもっと行きやすくなる条件（県民調査、複数回答）



(2)　伝統芸能・伝統工芸等の継承・発展

【ア　伝統芸能等の継承・発展】伝統芸能に関する専門性を有する県立文化施設と市町村の文化施設が連携や協力をしながら、伝統芸能の鑑賞や体験の機会を県内各地で提供する。また、各地で継承される祭礼や神楽等の地域の伝統芸能を発信し、担い手の参加や交流を支援する。

- 福岡県立の文化施設のうち、大濠公園能楽堂の認知率は31.4%で、利用したことがある回答者※は1.6%となっている。【Ⅰ-27・Ⅰ-31】※県立の文化施設で１施設以上知っている回答者を母数とする。
- 「自分が住んでいる地域の伝統芸能への担い手としての参加状況を聞いたところ、『参加層』[1]は9.2%で、『参加希望者層』[2]は29.5%となっている。【➡図表3、Ⅰ-60】1：「参加しているし、今後も続けたいと思う」と「参加しているが、今後は続けたいと思わない（続けられない）」、2：「参加しているし、今後も続けたいと思う」と「参加していないが、今後は参加したいと思う」
- 地域の伝統芸能への担い手としての参加意向がない理由について聞いたところ、「興味がない・楽しくないから」が51.9%と最も高く、次いで「高齢になったから」が27.3%となっている。【Ⅰ-62】

【イ　伝統工芸の継承・発展】県内で継承されている伝統工芸の作品を展示する。また、継承されてきた技術の紹介や体験等のイベント、民間事業者と連携した展示販売を開催する。

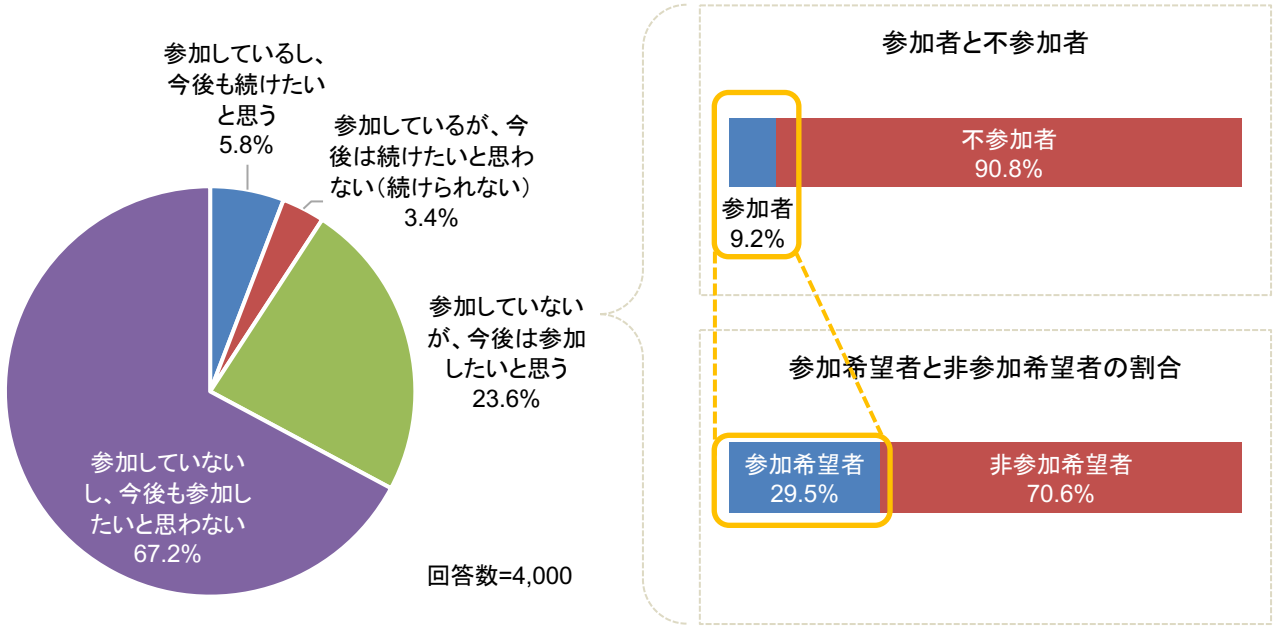
- 県民を対象としたアンケート調査によると、諸外国に発信すべき日本の文化芸術ジャンルで、「文化財の保存に必要な材料製作、修理、修復の技術（茅葺、染織、手すき和紙、和楽器製作など）等」は18.3%（選択肢20項目のうち12位）となっている。【Ⅰ-83】
- 近年、文化芸術には教育や福祉など様々な面での可能性が期待されている中で、文化芸術に期待するものとして「伝統工芸品の振興や地域産業の創出につながる」とする回答は19.8%（選択肢14項目のうち10位）となっている。【Ⅰ-91】

(3)　文化財等の保存・活用

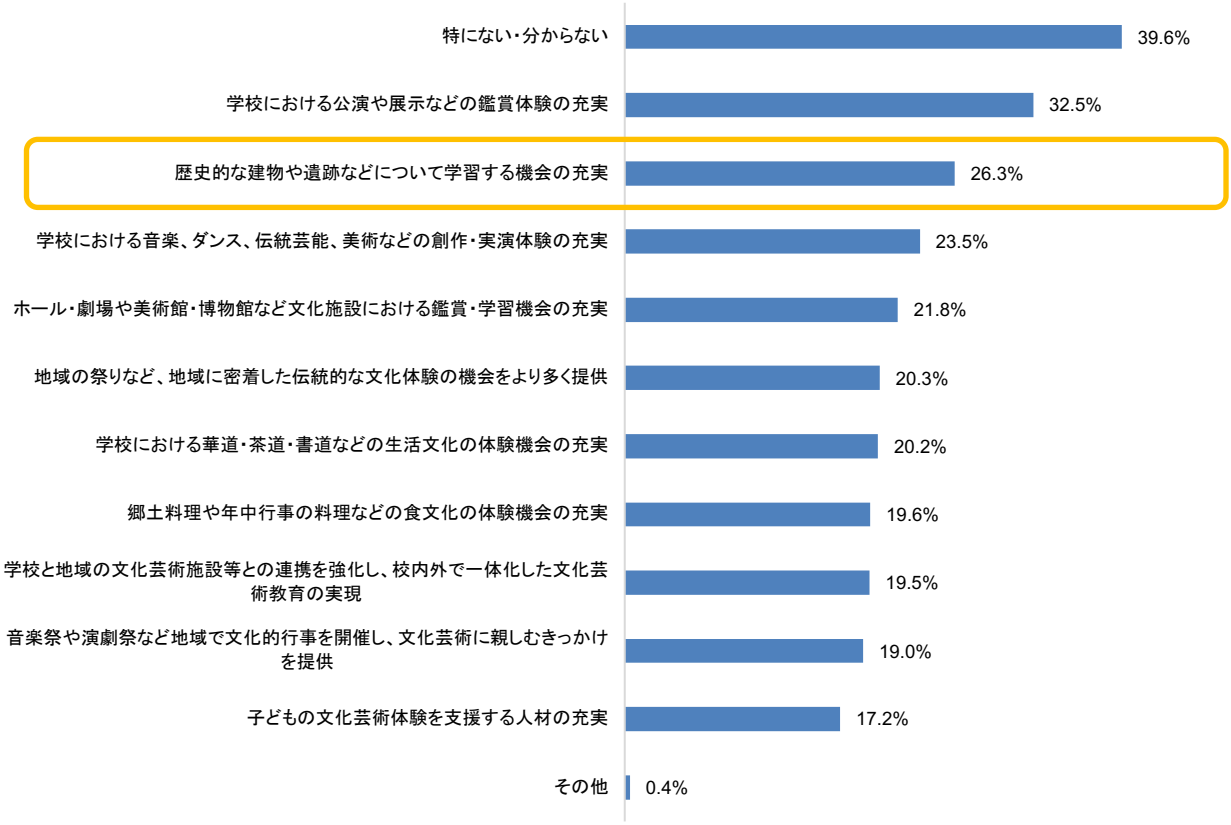
【ア　文化財等の保存】文化財等を良好な状態で保存、管理を行うとともに、調査や活用においても最新のデジタル機器や新たな手法を導入し、文化財等の価値をより引き出す。

- 文化財を観光資源として魅力あるものにするために重要なことについて聞いたところ、「文化財が良好な状態で美しく保存・管理されている」が37.6%（選択肢12項目のうち1位）となっている。【Ⅰ-77】
- 福岡県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきことについて聞いたところ、「世界文化遺産を含む文化財の保存・活用・継承」は25.1%（選択肢15項目のうち4位）となっている。【Ⅰ-95】

図表３ 地域の伝統芸能への担い手としての参加状況（県民調査、単一回答）



図表４ 子どもの文化芸術体験に重要なこと（県民調査、複数回答）



【イ　文化財等の活用】九州国立博物館や九州歴史資料館での常設展や特別展を通じて文化財等の魅力を県民や国内外の観光客に発信する。また、県内の学校等への教育普及活動や県民対象の講座を開催する。

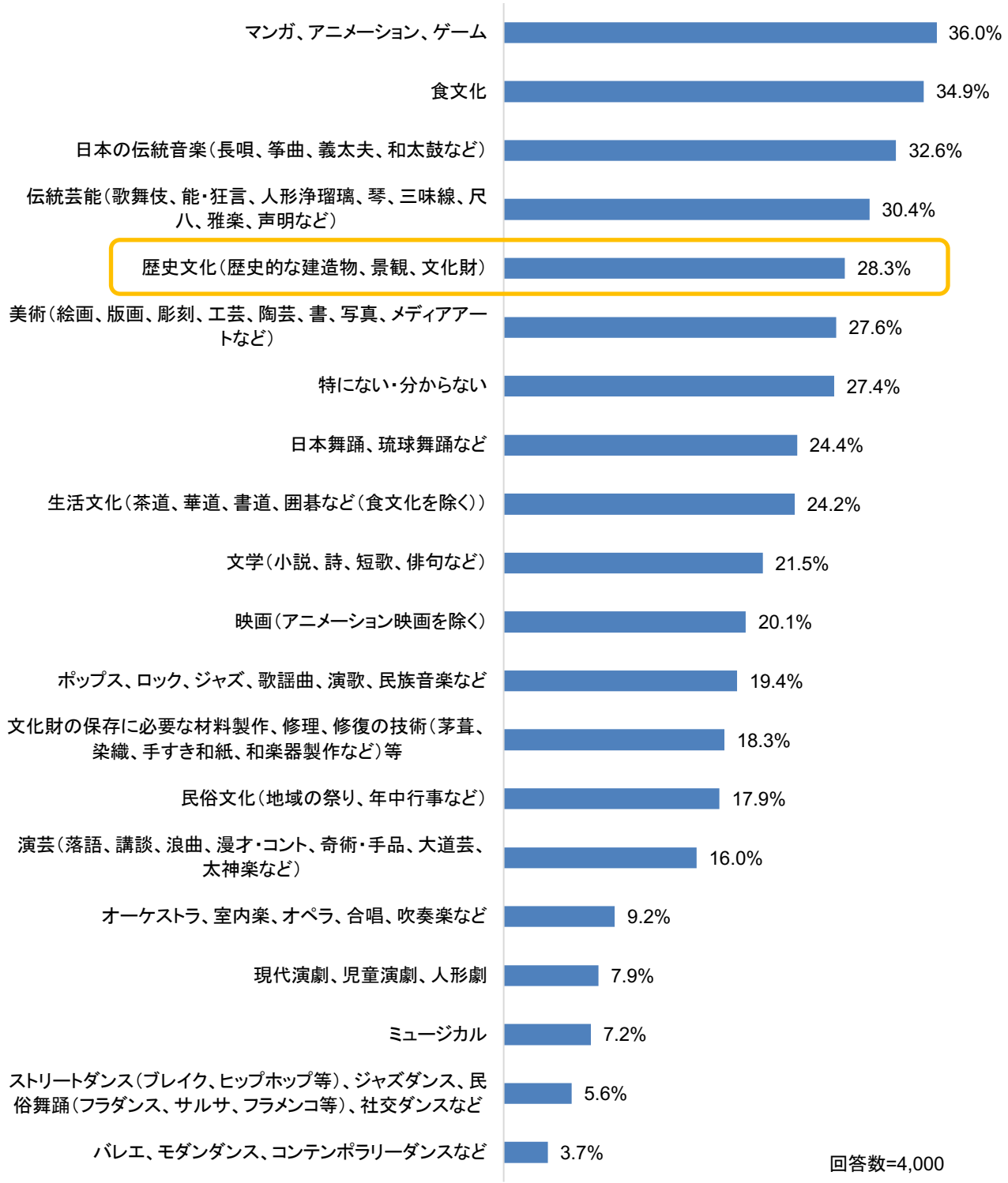
- 福岡県立の文化施設のうち、九州国立博物館の認知度は63.3%（選択肢13項目のうち2位）、利用したことがある回答者は12.2%（3位）となっている。また、九州歴史資料館の認知度は21.8%（9位）、利用したことがある回答者は3.1%（8位）となっている。【Ⅰ-27・Ⅰ-31】
- 子どもの文化芸術体験に重要なことを聞いたところ、「歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会の充実」が26.3%（選択肢12項目のうち3位）となっている。【➡図表4、Ⅰ-65】

(4)　世界文化遺産等の継承

【ユネスコに登録された世界文化遺産、世界の記憶、無形文化遺産の保存・活用】明治日本の産業革命遺産、宗像・沖ノ島と関連遺産群、山・鉾・屋台行事等の世界に誇る福岡の文化遺産の保存や継承とともに、それらの価値や魅力を世界に向けて積極的に発信する。

- 文化財を観光資源として魅力あるものにするために重要なことについて県民を対象としたアンケート調査で聞いたところ、「歴史的な建物などを用いたイベントが開催されている」が23.6%（選択肢12項目のうち4位）、「歴史的な文化を学び体感できる講座やツアー、ワークショップなどが充実している」が17.8%（8位）となっている。【Ⅰ-77】
- 諸外国に発信すべき日本の文化芸術ジャンルは、「歴史文化（歴史的な建造物、景観、文化財）」が28.3%（選択肢20項目のうち5位）となっている。【➡図表5、Ⅰ-83】

図表 5 諸外国に発信すべき日本の文化芸術ジャンル（県民調査、複数回答）



2.

柱２　文化芸術に親しむことができる環境づくり

文化芸術の直接鑑賞や体験の機会を、県内各地で幅広い世代に提供する。また、担い手の育成や文化財の保全・活用等、次世代に継承する。

(1)　文化芸術に親しむ機会の充実

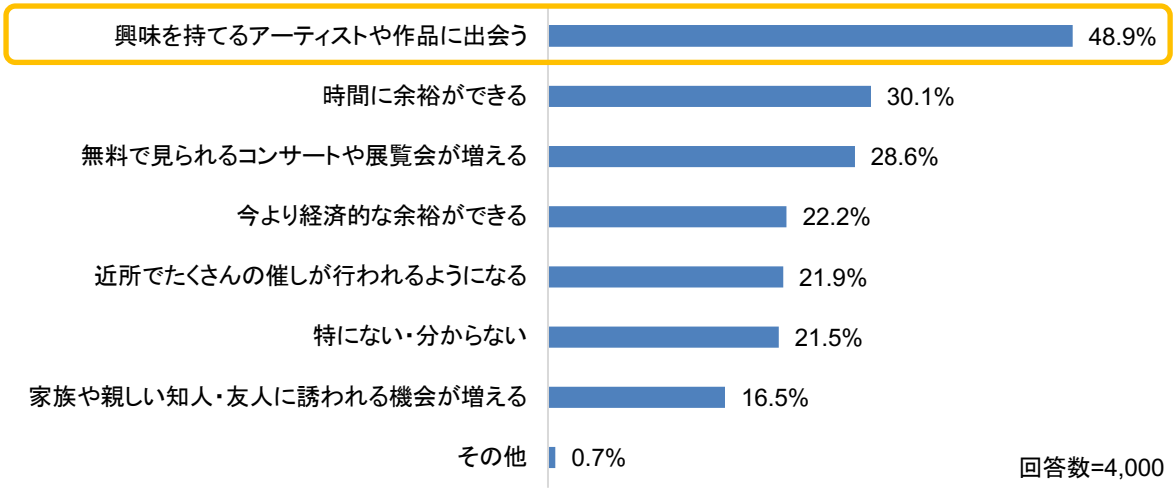
【ア　県民の鑑賞等の機会の充実】文化芸術の直接鑑賞や体験の機会を、県内各地で幅広い世代を対象に、文化芸術が身近に感じられるよう多彩なジャンルで展開する。

- 県民を対象としたアンケート調査によると、年に1回程度以上鑑賞した県民の割合（鑑賞率）は合わせて50.2%で、直接鑑賞した頻度は「年に１回程度」が17.7%、「半年に1回程度」が13.8%となっている。となっている。【Ⅰ-6】
- 「直接、鑑賞・体験したジャンル」では、「映画[3]」が47.9%、「美術[4]」が32.8%、「歴史的な建物や遺跡など[5]」が26.6%、「ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など」が24.3%、「オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など」が18.8%となっている。【Ⅰ-9】3：アニメーション映画を除く、4：絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾、メディアアートなど、5：神社、仏閣、城郭、古墳、炭鉱跡、庭園などの文化財
- 文化芸術の鑑賞に関心を持つには、「興味を持てるアーティストや作品に出会う」が48.9%で最も高く、「時間に余裕ができる」が30.1%、「無料で見られるコンサートや展覧会が増える」が28.6%と続いている。**【➡図表6**、Ⅰ-16】
- 福岡県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきことについて聞いたところ、「公演・展覧会・芸術祭等の文化芸術を鑑賞・体験する機会の充実」は20.3%（選択肢15項目のうち5位）となっている。【Ⅰ-95】

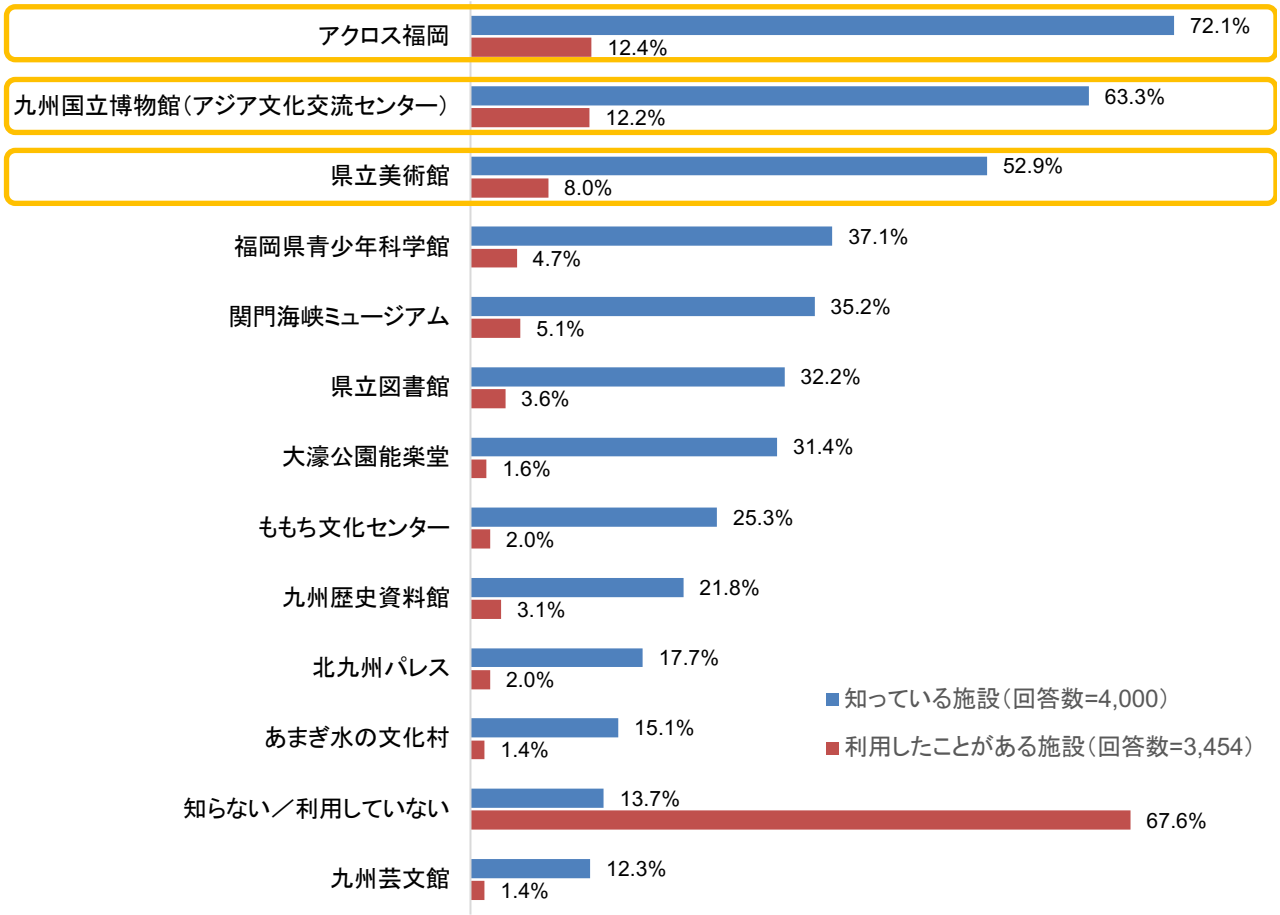
【イ　文化芸術に関する県立文化施設の充実・活用促進】県立文化施設が有する専門性や特徴を十分に活かしながら、周辺圏域の住民の利用を促し、市町村との連携や協力を推進する。

- 県立文化施設の認知率は、「アクロス福岡」が72.1%で最も高く、次いで「九州国立博物館」が63.3%、「県立美術館」が52.9%と続いている。全ての施設を知らない非認知率は13.7%となっている。**【➡図表7**、Ⅰ-27】
- 県立文化施設を知っている回答者で、この1年で県立の文化施設を「利用していない」割合は67.6%。利用した回答がある中では「アクロス福岡」が12.4%、「九州国立博物館」が12.2%で、その他の施設の利用は１割未満となっている。**【➡図表7**、Ⅰ-31】
- 福岡県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきことについて聞いたところ、「文化会館やホール、美術館・博物館等の文化施設の充実」は20.3%（選択肢15項目のうち7位）となっている。【Ⅰ-95】

図表 6 文化芸術の鑑賞に関心を持つ条件（県民調査、複数回答）



図表 7 県立文化施設の認知及びこの 1 年で利用した施設（県民調査、複数回答）



(2)　文化芸術を育む人づくり

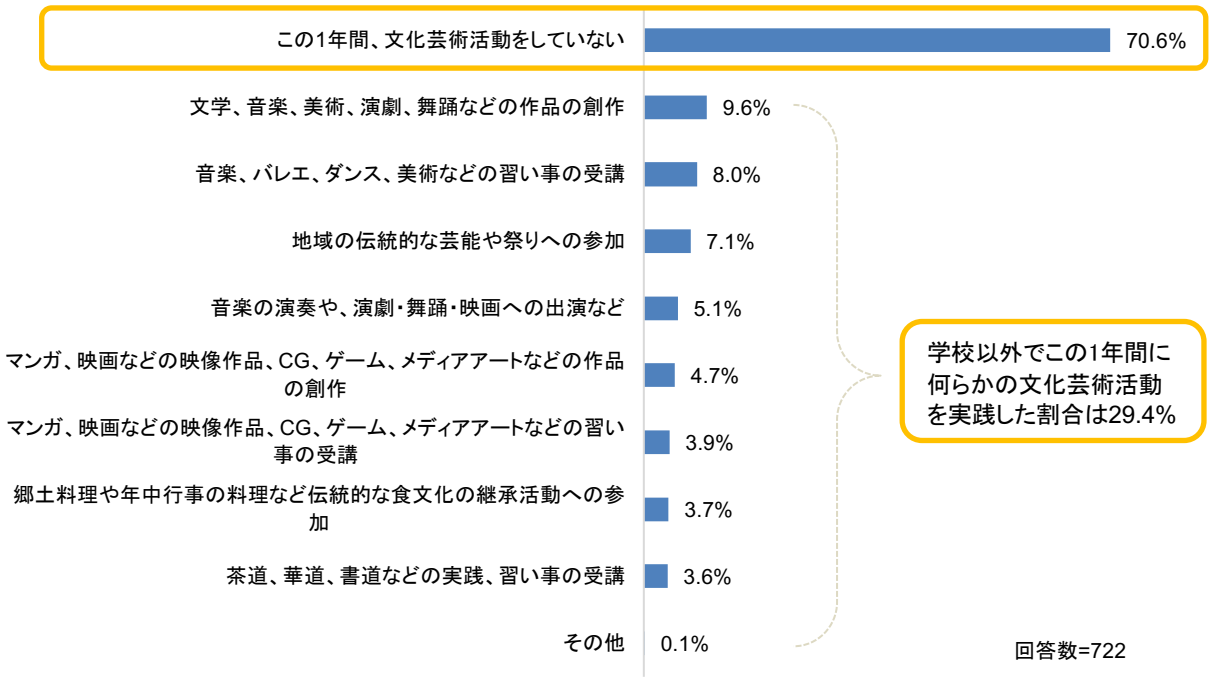
【ア　青少年・高齢者の文化芸術活動の充実】文化芸術の体験は乳幼児や未就学児を含む子どもの成長にとって重要であり、高齢者や子育て世代との世代間交流にもつながるため、県内各地で子どもに身近な地域の居場所での文化芸術の体験機会を提供する。

- 同居の高校生以下の末子がこの1年間に文化芸術を直接鑑賞したジャンルを聞いたところ、「鑑賞したものはない」が38.9%となっている。直接鑑賞したジャンルでは「映画」が24.1%、「アニメーション」が20.5%、「オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など」が13.3%、「美術」が11.1%と続いている。【Ⅰ-19】
- 同居の末子が学校以外でこの1年間に行った文化芸術活動について聞いたところ、「この１年間、文化芸術活動をしていない」が70.6%で最も高い。活動があったジャンルで「文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作」が9.6%となっているが、いずれも１割に満たない。「活動をしていない」を除いた実践した割合は29.4%となっている。**【➡図表8**、Ⅰ-38】
- 子どもの文化芸術体験に重要なことを聞いたところ、「ホール・劇場や美術館・博物館など文化施設における鑑賞・学習機会の充実」は21.8%（選択肢12項目のうち5位）、「学校と地域の文化芸術施設等との連携を強化し、校内外で一体化した文化芸術教育の実現」は19.5%（9位）、「子どもの文化芸術体験を支援する人材の充実」は17.2%（11位）となっている。【Ⅰ-65】

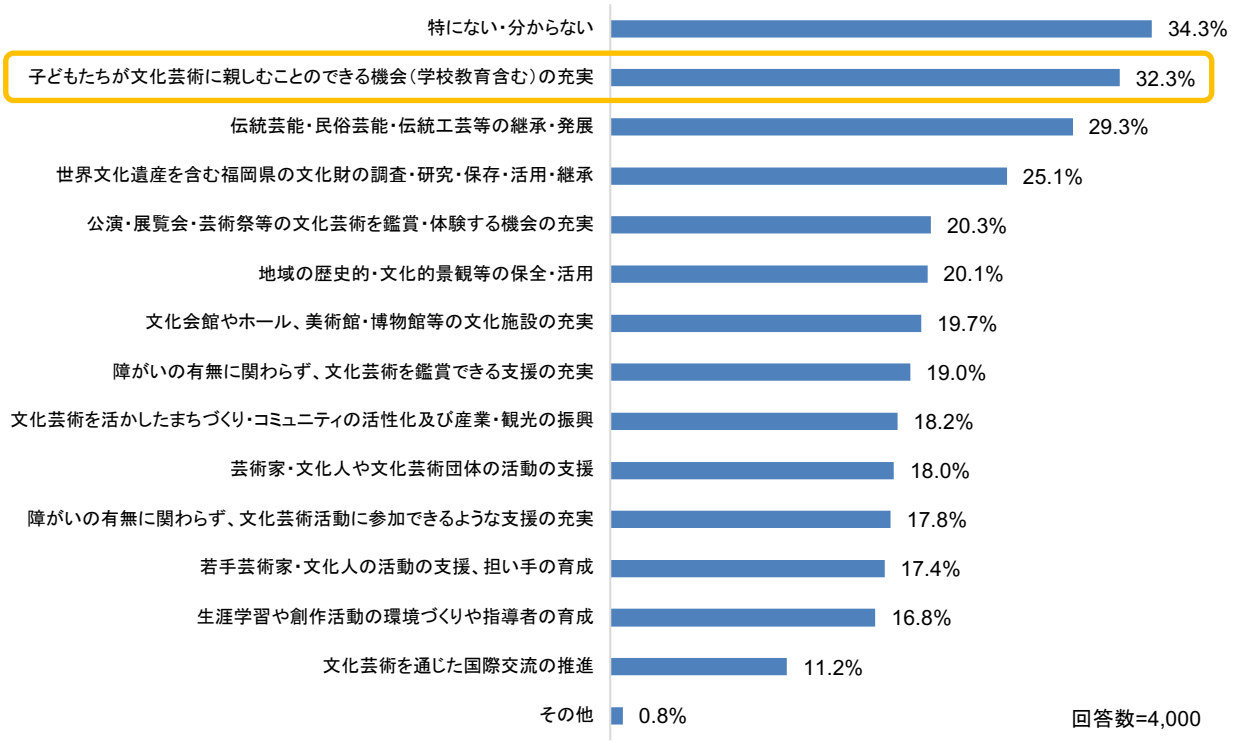
【イ　学校教育における文化芸術活動の充実】県立文化施設と市町村の文化施設、文化行政担当課が連携・協力し、県内の学校教育現場での出前授業や体験活動に文化芸術団体、芸術家等を派遣する仕組みを整備する。

- 子どもの文化芸術体験に重要なことを聞いたところ、「学校における公演や展示などの鑑賞体験の充実」が32.5%（選択肢12項目のうち2位）、「学校における音楽、ダンス、伝統芸能、美術などの創作・実演体験の充実」は23.5%（選択肢12項目のうち4位）となっている。【Ⅰ-65】
- 子どもの文化芸術体験に期待する効果は、「創造性や工夫をする力が高まる」が36.7%（選択肢10項目のうち1位）、「日本の文化を知り、国や地域に対する愛着を持つようになる」が33.5%（3位）、「美しさなどの感性が育まれる」が32.0%（4位）、「コミュニケーション能力が高まる」が27.3%（5位）となっている。【Ⅰ-69】
- 県民を対象としたアンケート調査によると、福岡県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきことは、「子どもたちが文化芸術に親しむことのできる機会（学校教育含む）の充実」が32.3%（選択肢15項目のうち2位）となっている。**【➡図表9**、Ⅰ-95】
- 文化芸術団体を対象としたアンケート調査によると、福岡県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきことは、「子どもたちが文化芸術に親しむことのできる機会（学校教育含む）の充実」が80.7%で最も高くなっている。【Ⅲ-27】

図表８ 同居の末子が、学校以外でこの１年間に行った文化芸術活動（県民調査、複数回答）



図表９ 県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきこと（県民調査、複数回答）



【ウ　文化芸術活動の担い手の育成・確保】芸術家や文化芸術団体の活動の支援に加えて、文化施設の職員や文化芸術の企画制作に携わる人材の育成や交流を推進する。また、県の文化芸術施策へのニーズや、事業の成果や課題を検証する調査を行う。

- 県民を対象としたアンケート調査によると、福岡県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきことは、「芸術家・文化人や文化芸術団体の活動の支援」が18.0%（選択肢15項目のうち10位）、「若手芸術家・文化人の活動の支援、担い手の育成」が17.4%（12位）、「生涯学習や創作活動の環境づくりや指導者の育成」が16.8%（13位）となっている。【Ⅰ-95】
- 文化芸術団体を対象としたアンケート調査によると、団体として実施する発表会や展示会等の頻度は「年に１回程度」が50.9%、「半年に１回程度」が28.1%、２～３ヶ月に１回程度が10.5%となっている。「全く・ほとんど実施していない」と回答した団体はない。【Ⅲ-6】
- 同じく文化芸術団体調査では、福岡県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきことは、「芸術家・文化人や文化芸術団体の活動の支援」が64.9%（選択肢15項目のうち2位）、「若手芸術家・文化人の活動の支援、担い手の育成」が54.4%（5位）、「生涯学習や創作活動の環境づくりや指導者の育成」が31.6%（10位）となっている。**【➡図表10**、Ⅲ-27】

【エ　顕彰の実施】長年の福岡県の文化芸術振興に貢献してきた団体や個人の功績を評価するとともに、次世代に活動を受け継ぐ指導者の支援や参加者の若年化を促す。

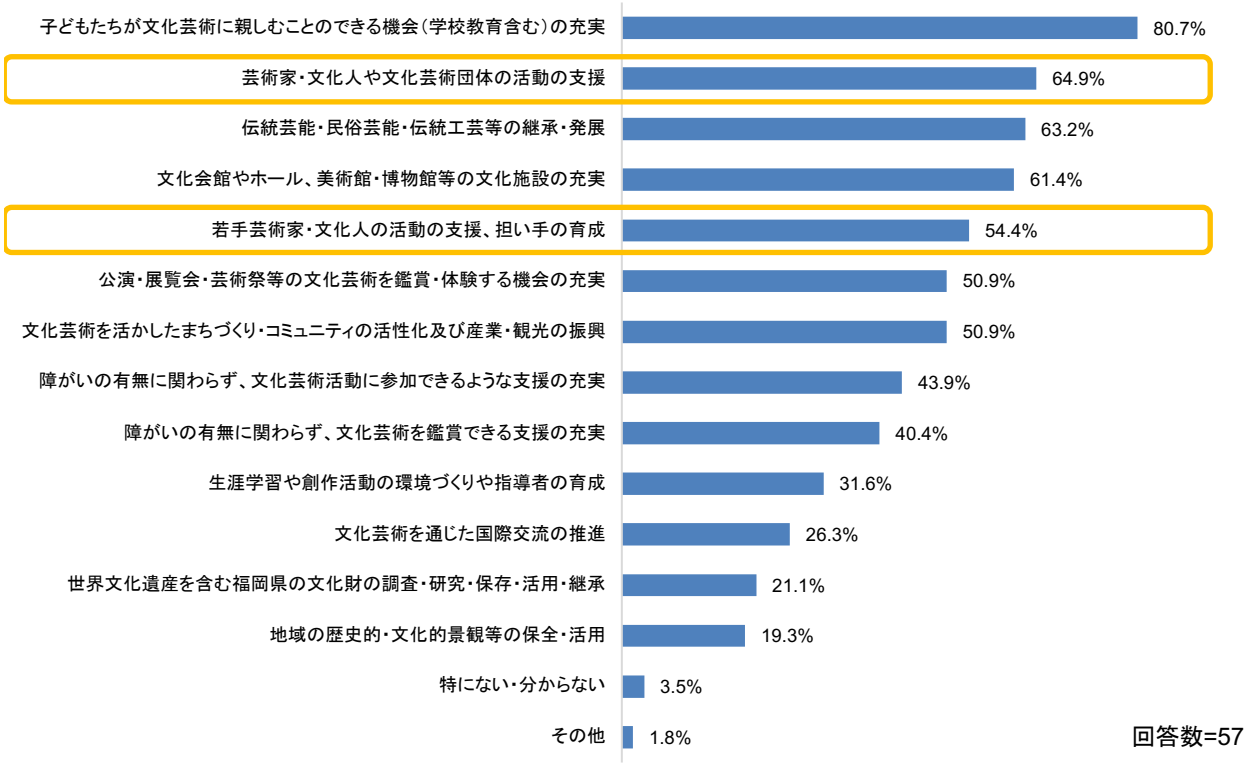
- 文化芸術団体を対象としたアンケート調査によると、団体の会員の平均年齢は70代が36.8%、50代が24.6%、60代が22.8%となっており、40代以下を合わせた割合は14.0%となっている。【Ⅲ-3】
- 団体が活動するにあたって、感じている課題は「新規加入者の減少」が64.9%で最も高く、次いで「活動に参加する者の減少」が63.2%、「活動資金の不足」が61.4%となっている。【Ⅲ-20】

(3)　文化的・歴史的景観等の保全・活用

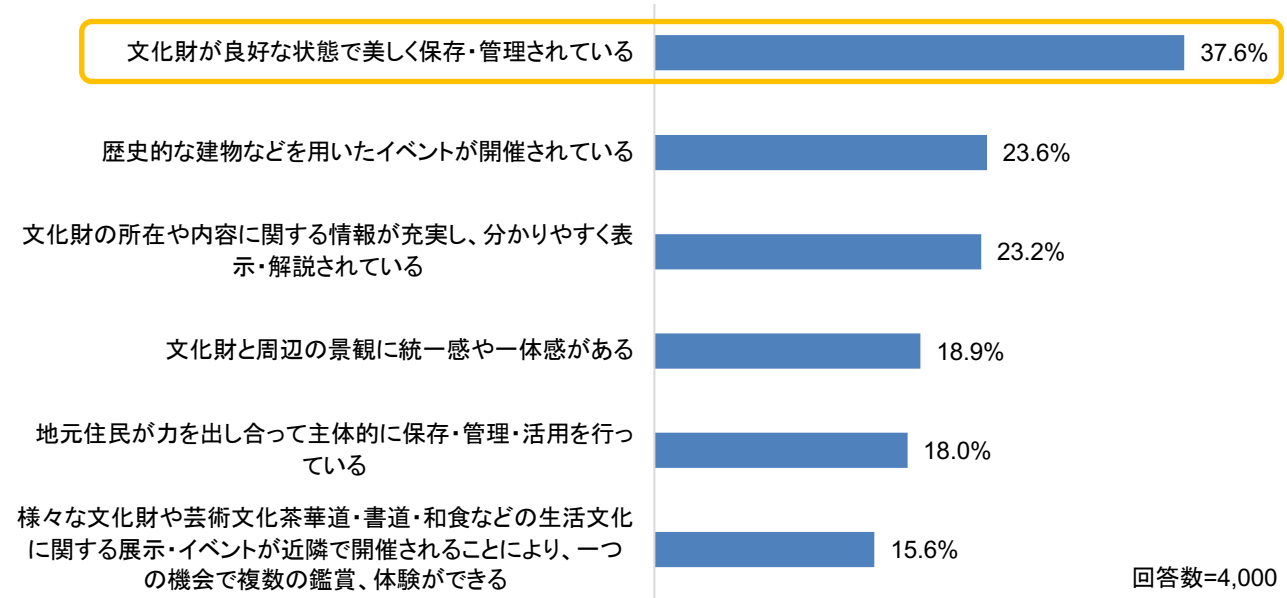
【文化的・歴史的景観等の保全・活用】文化的・歴史的景観や各地の農山漁村に残されている景観等を魅力あるものにするために、保全や管理を行うことに加えて、それらの価値を伝えるためのイベントの開催や、分かりやすい表示や解説等の情報提供を充実させる。

- 県民を対象としたアンケート調査によると、文化財を観光資源として魅力あるものにするために重要なことは、「文化財が良好な状態で美しく保存・管理されている」が37.6%で最も高く、「周辺環境（文化財周辺への交通手段、トイレ、歩道等）が整備されている」が25.0%（選択肢12項目のうち3位）、「歴史的な建物などを用いたイベントが開催されている」が23.6%（4位）、「文化財の所在や内容に関する情報が充実し、分かりやすく表示・解説されている」が23.2%（5位）となっている。**【➡図表11**、Ⅰ-77】

図表10 県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきこと（文化芸術団体調査、複数回答）



図表 11 文化財を地域資源として魅力あるものにするために重要なこと（県民調査、複数回答）



3.

柱３　障がいのある人の文化芸術活動の推進

障がいのある人が参加できる鑑賞、創作、発表の機会を提供し、文化芸術活動を支援するための連携、協力や人材の育成、確保等を推進する。

(1)　障がいのある人の文化芸術活動の促進

【ア　鑑賞の機会の拡大】障がいのある人が参加できる多彩な分野の鑑賞機会を提供する。また、県立文化施設と市町村の文化施設が連携し、障がいのある人の文化芸術活動における合理的配慮に関する職員研修などを実施する。

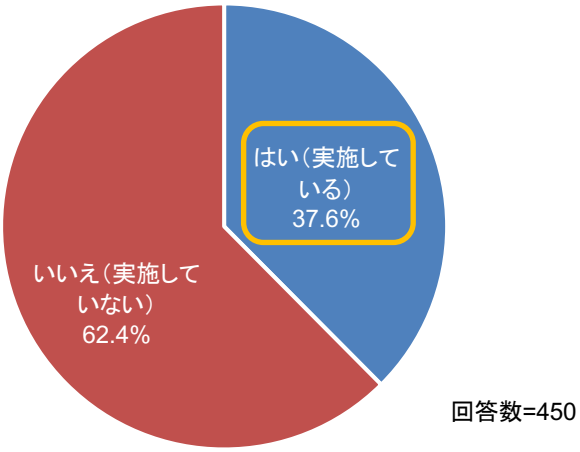
- 障がい福祉サービス事業所を対象としたアンケート調査によると、文化芸術活動の実施の有無は、「はい（実施している）」が37.6%、「いいえ（実施していない）」が62.4%となっている。【➡図表12、Ⅱ-4】
- 文化芸術活動を実施している事業所のうち、＜鑑賞＞活動を実施している回答の分野別の割合で、「映画／アニメ」は40.2%、「絵画／写真」は38.5%、「合唱／合奏」は18.3%、「織物／手芸」は16.6%となっている。【➡図表13、Ⅱ-10】
- 文化芸術活動を実施していない事業所での文化芸術活動への関心は、『関心層』[6]が59.1%に対して、『無関心層』[7]は40.9%となっている。【Ⅱ-26】6：「関心がある」と「やや関心がある」、7：「関心はない」と「あまり関心はない」
- 文化芸術活動を実施していないものの『関心層』の事業所で、＜鑑賞＞活動に関心がある回答の分野別の割合は、「絵画／写真」は67.5%、「映画／アニメ」は42.2%、「陶芸／木工」は32.5%、「合唱／合奏」が30.1%となっている。【Ⅱ-28、Ⅱ-30】

【イ　創作活動・発表機会の拡大】障がいのある人が参加できる多彩な分野の創作活動や発表機会を提供する。また、障がい福祉サービス事業所や特別支援学校に向けた文化芸術活動に関する広報宣伝や情報発信をより積極的に行う。

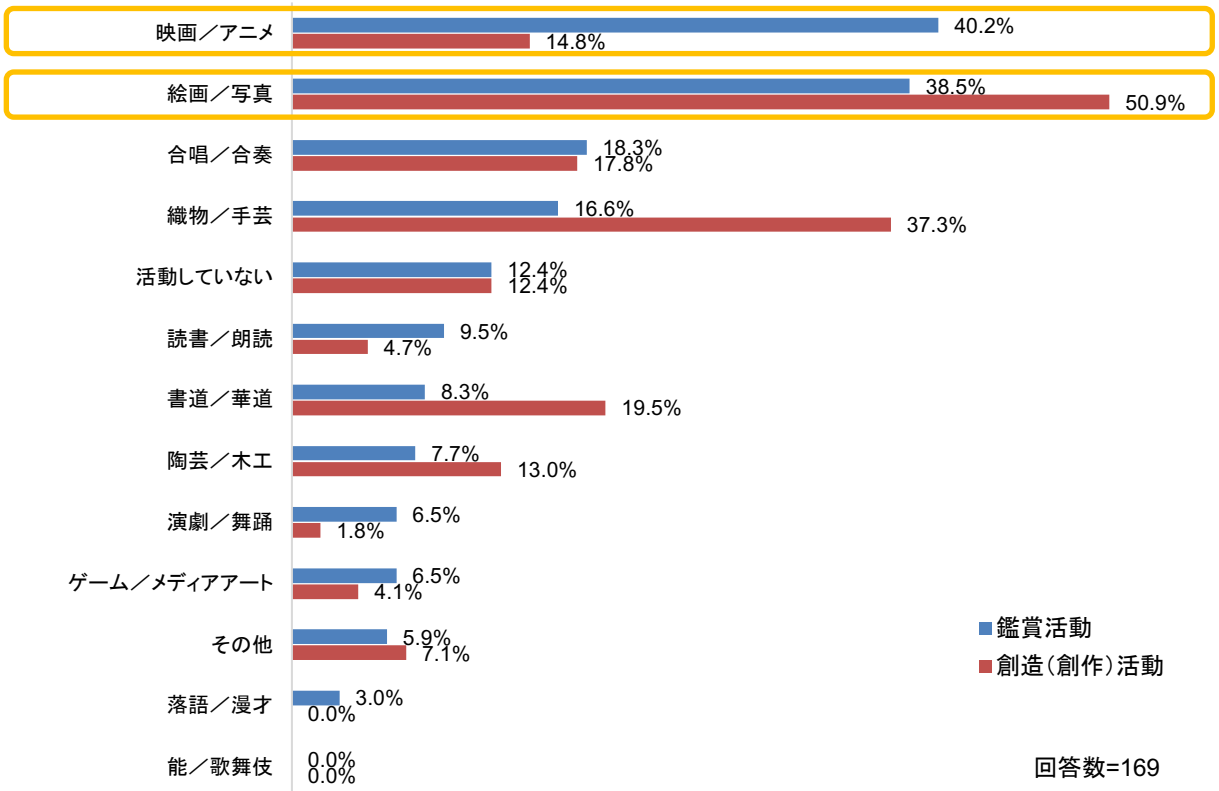
- 文化芸術活動の実施の有無は、「はい（実施している）」が37.6%、「いいえ（実施していない）」が62.4%となっている。【➡図表12、Ⅱ-4】
- 文化芸術活動を実施している事業所のうち、＜創造（創作）＞活動を実施している回答の分野別の割合で、「絵画／写真」は50.9%、「織物／手芸」は37.3%、「書道／華道」は19.5%、「合唱／合奏」は17.8%となっている。【➡図表13、Ⅱ-12】
- 文化芸術活動を実施していない事業所での文化芸術活動への関心は、『関心層』[6]が59.1%に対して、『無関心層』[7]は40.9%となっている。【Ⅱ-26】6：「関心がある」と「やや関心がある」、7：「関心はない」と「あまり関心はない」
- 文化芸術活動を実施していないものの『関心層』の事業所で、＜創造（創作）＞活動に関心がある回答の分野別の割合は、「絵画／写真」は67.5%、「陶芸／手芸」は42.2%、「織物／手芸」が41.0%、「ゲーム／メディアアート」が26.5%となっている。【Ⅱ-28、Ⅱ-30】

- 県が取り組む＜障がい者文化施策＞に対する意見等について自由記述の回答を、主旨を12項目に整理、分類した。「特にない・わからない」や「分類できない」、無回答を除くと、最も多い意見は「広報宣伝や情報発信」となっている。【Ⅱ-55】

図表 12 文化芸術活動の実施の有無（障がい福祉サービス事業所調査、単一回答）



図表 13 鑑賞及び創造（創作）活動のジャンル（障がい福祉サービス事業所調査、複数回答）



(2)　障がいのある人の創造活動を支える体制づくり

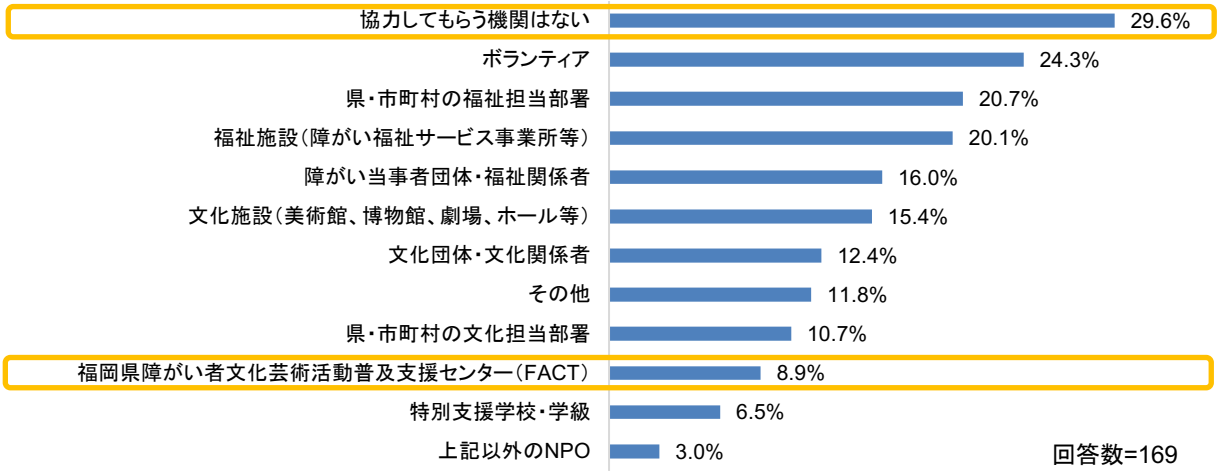
【ア　創作活動の支援】障がいのある人の文化芸術活動の実施に協力するため、福岡県障がい者文化芸術活動普及支援センター（FACT）と県・市町村の福祉担当部署との間で、相談支援や情報収集・発信等の連携や協力を強化する。

- 障がいのある人を対象とした文化芸術活動実施上の協力機関について聞いたところ、「協力してもらう機関はない」が29.6%で最も高く、次いで「ボランティア」が24.3%、「県・市町村の福祉担当部署」が20.7%、「福祉施設（障がい福祉サービス事業所等）」が20.1%となっている。「福岡県障がい者文化芸術活動普及支援センター（FACT）」は8.9%（選択肢12項目のうち10位）となっている。【➡図表14、Ⅱ-24】
- 利用者が＜ふくおか県障がい児者美術展＞に出品した経験は、「いいえ（ない）」が88.0%、「はい（ある）」が12.0%となっている。【Ⅱ-50】
- 「福岡県障がい者文化芸術活動普及支援センター FACT」の認知について、「いいえ（知らない）」が82.4%、「はい（知っている）」が17.6%となっている。【Ⅱ-52】
- 「福岡県障がい者文化芸術活動推進費補助金」の認知について、「いいえ（知らない）」が93.1%、「はい（知っている）」が6.9%となっている。【Ⅱ-54】

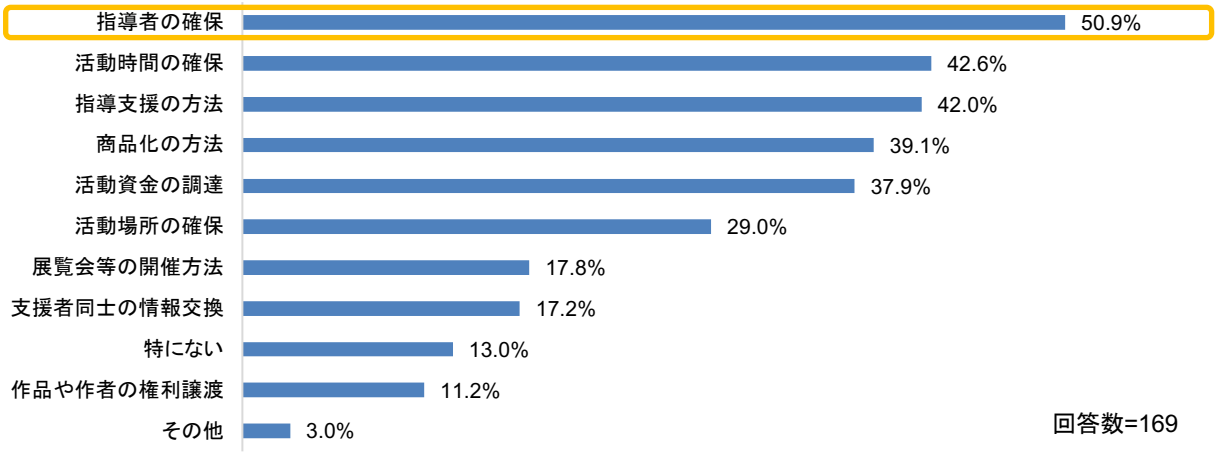
【イ　文化芸術活動を支える人材の育成・確保】福岡県障がい者文化芸術活動普及支援センター（FACT）、県立文化施設と市町村の文化施設が連携・協力し、障がい福祉サービス事業所や特別支援学校に文化芸術活動の指導者等の紹介や派遣をする仕組みを整備する。

- 文化芸術活動実施上の課題必要なことは、「指導者の確保」が50.9%で最も高く、次いで「活動時間の確保」が42.6%、「指導支援の方法」が42.0%と続いている。【➡図表15、Ⅱ-22】
- 文化芸術活動を実施していない事業所のうち『関心層』の事業所で、文化芸術活動実施上の重視点で「商品化の方法」は44.0%となっている。【Ⅱ-32】
- 県内で障がいのある人が文化芸術についての＜相談体制の整備や支援者の育成（研修等）に関する施策＞は十分だと思うか聞いたところ、『賛同層』（「そう思う」と「まあそう思う」）が27.1%に対して、『非賛同層』（「そう思わない」と「まあそう思わない」）は72.9%となっている。【➡図表16、Ⅱ-48】

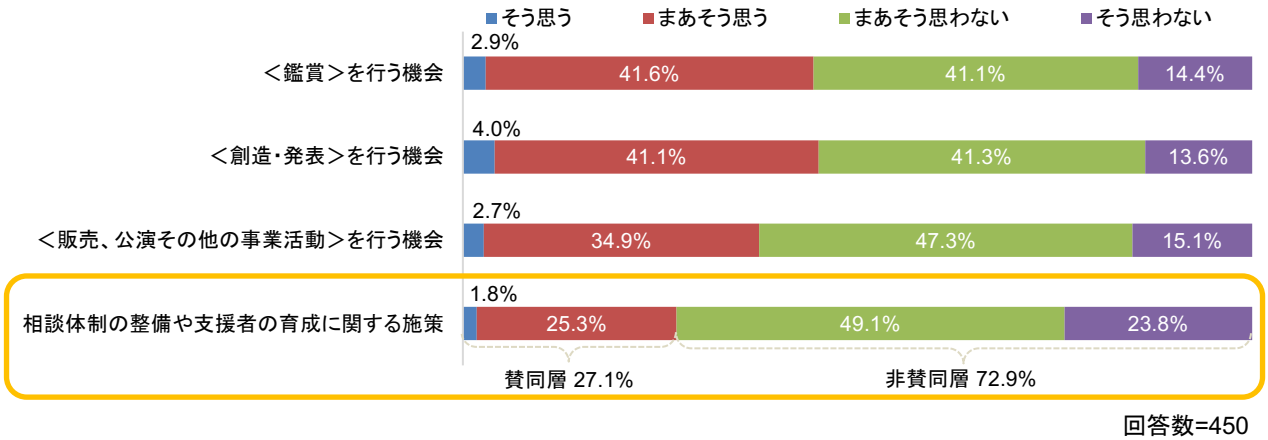
図表 14 文化芸術活動実施上の協力機関（障がい福祉サービス事業所調査、複数回答）



図表 15 文化芸術活動実施上の課題必要なこと（障がい福祉サービス事業所調査、複数回答）



図表 17 障がいのある人のための文化芸術活動の機会は十分だと思うか（障がい福祉サービス事業所調査、単一回答）



回答数=450

4.

柱４　文化芸術を活用した地域づくりと魅力の発信

まちづくり、地域産業の振興、観光振興、国際交流等に文化芸術を活用する。また、県や市町村の文化イベントの情報を収集、発信する。

(1)　文化芸術を活用した地域活性化

【文化芸術を活用したまちづくり・産業・観光等の振興】地域の文化芸術活動をまちづくりに、伝統工芸の魅力を地域産業の振興に、歴史的・文化的景観を観光の振興に、文化芸術を触媒として、県・市町村、民間事業者、県民等と協働しながら地域の活性化につなげる。

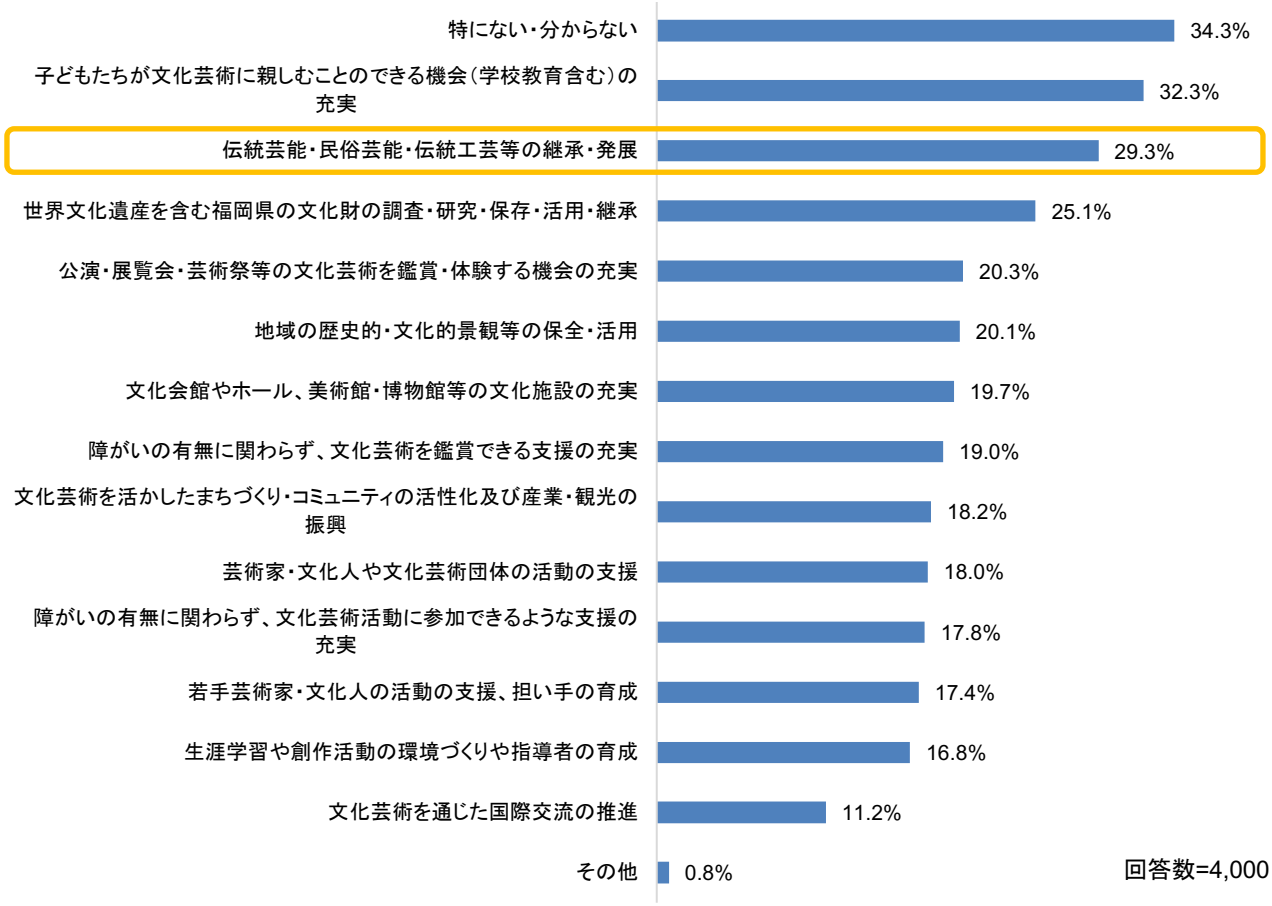
- 居住地域において文化的環境を充実させるのに必要な内容について県民を対象としたアンケート調査で聞いたところ、「特にない・分からない」が41.6%と最も高く、次いで「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」が24.5%、「公演、展示会、芸術祭などの文化事業の充実」が21.5%、「文化芸術の創作や準備、活動ができる施設や情報の充実」が19.2%と続いている。【Ⅰ-56】
- 近年、文化芸術には教育や福祉など様々な面での可能性が期待されている中で、文化芸術に期待するものとして「地域の誇りや活性化につながる」は23.6%（選択肢14項目のうち7位）、「伝統工芸品の振興や地域産業の創出につながる」は19.8%（10位）、「にぎわいの創出や観光地の魅力向上につながる」は15.7%（11位）となっている。【Ⅰ-91】
- 福岡県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきことの中で、「伝統芸能・民俗芸能・伝統工芸等の継承・発展」は29.3%（選択肢15項目のうち3位）、「地域の歴史的・文化的景観等の保全・活用」は20.1%（6位）、「文化芸術を活かしたまちづくり・コミュニティの活性化及び産業・観光の振興」は18.2%（8位）となっている。**【➡図表17**、Ⅰ-95】

(2)　文化芸術を通じた国際交流の推進

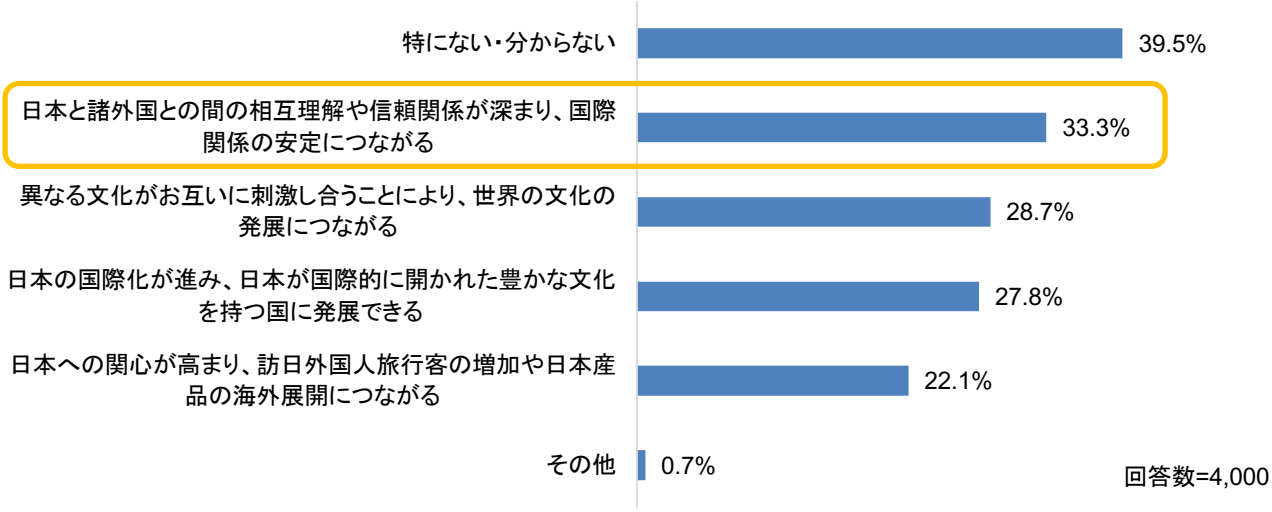
【アジアその他地域等との文化芸術を通じた国際交流の推進】県内の国際交流機関との連携・協力を推進しながら、伝統的な文化から現代的な文化や生活文化まで多彩な分野の活動を通じた文化交流を展開し、国内外に情報を発信する。

- 日本と諸外国が文化交流を進める意義について聞いたところ、「特にない・分からない」が39.5%で最も高く、次いで「日本と諸外国との間の相互理解や信頼関係が深まり、国際関係の安定につながる」が33.3%、「異なる文化がお互いに刺激し合うことにより、世界の文化の発展につながる」が28.7%、「日本の国際化が進み、日本が国際的に開かれた豊かな文化を持つ国に発展できる」が27.8%となっている。**【➡図表18**、Ⅰ-80】
- 諸外国に発信すべき日本の文化芸術ジャンルは、「マンガ、アニメーション、ゲーム」が36.0%で最も高く、次いで「食文化」が34.9%、「日本の伝統音楽（長唄、箏曲、義太夫、和太鼓など）」が32.6%、「伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）」が30.4%と続いている。【Ⅰ-83】

図表 17 県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきこと（県民調査、複数回答）



図表 18 日本と諸外国が文化交流を進める意義（県民調査、複数回答）

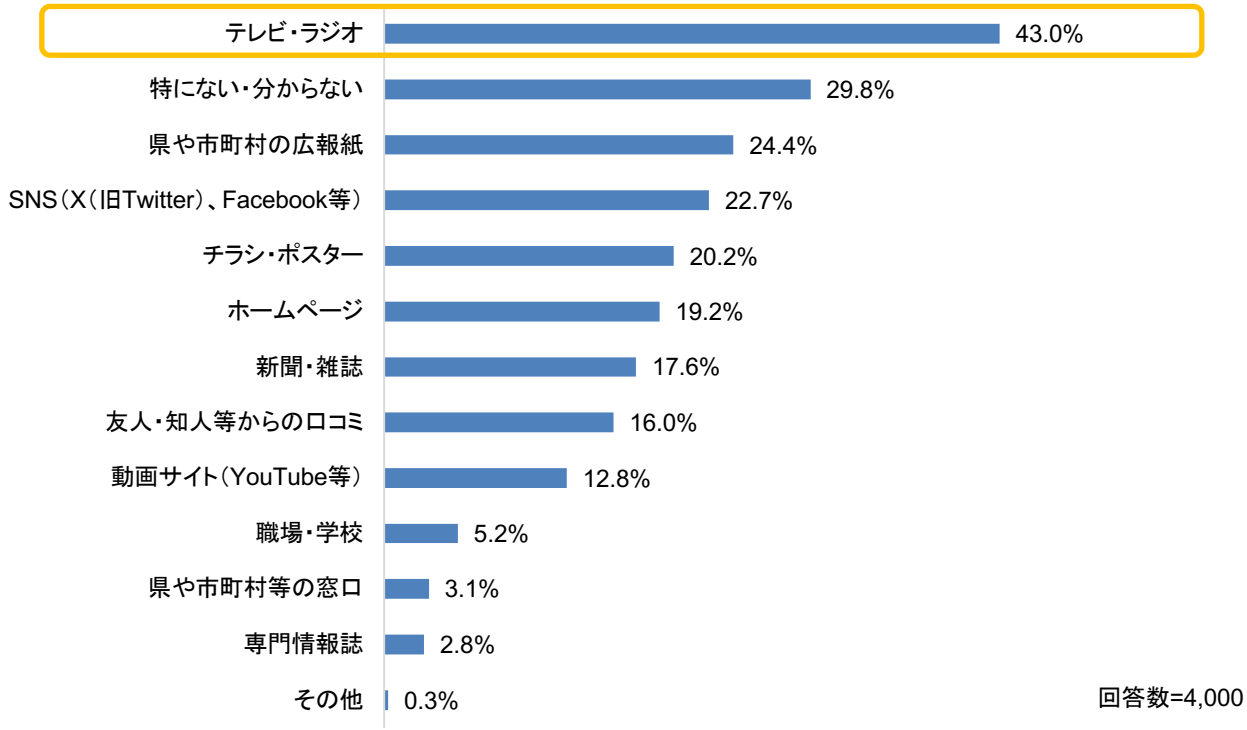


(3) 文化芸術の魅力の発信

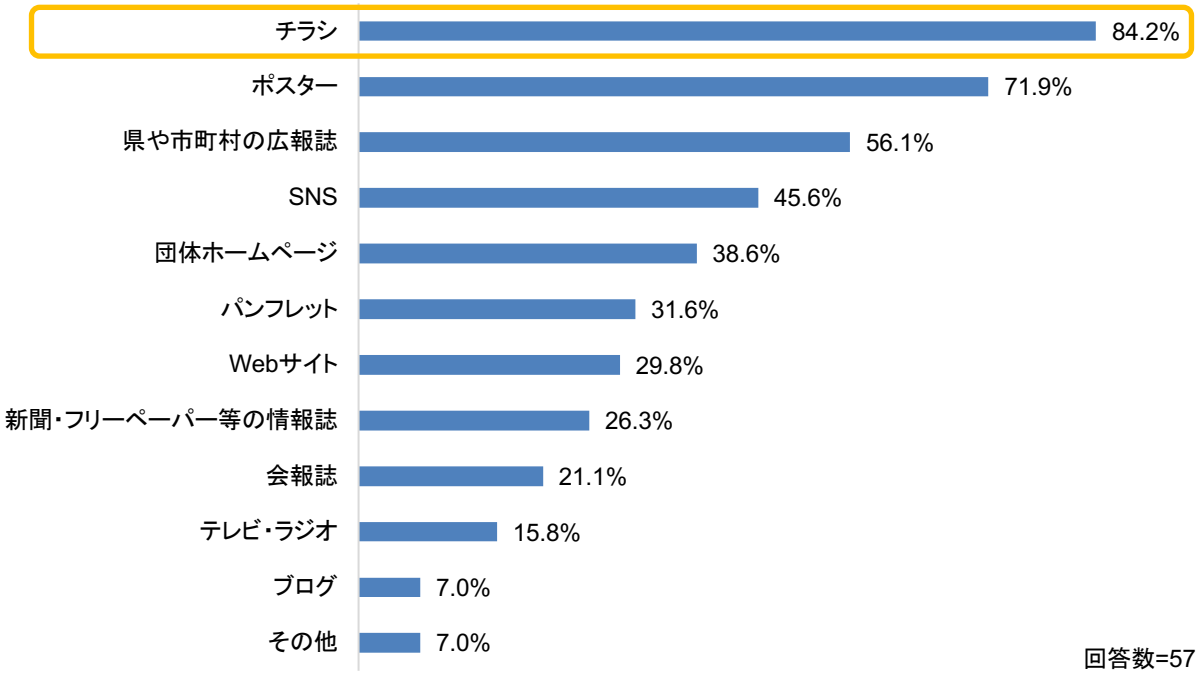
【国内外への文化芸術の魅力に関する情報の発信】県立文化施設や県が行う文化イベントについて情報発信を行うとともに、県内各市町村での文化イベントの情報収集及び発信を行う。また、幅広い世代に情報を届けるため、印刷物、ホームページ、SNS 等多様な媒体を活用する。

- 県民を対象としたアンケート調査によると、文化芸術の鑑賞や体験に関する情報の入手手段は、「テレビ・ラジオ」が43.0%で最も高く、次いで「特にない・分からない」が29.8%、「県や市町村の広報紙」が24.4%、「SNS（X（旧 Twitter）、Facebook 等）が22.7%となっている。「ホームページ」は19.2%（選択肢13項目のうち6位）となっている。**【➡図表19**、Ⅰ-51】
- 文化芸術団体を対象としたアンケート調査によると、文化芸術団体の発表会や展示会、その他の広報活動・お知らせ等を行う場合に利用する情報発信媒体は、「チラシ」が最も高く84.2%となっている。次いで「ポスター」が71.9%、「県や市町村の広報紙」が56.1%、「SNS」が45.6%と続いている。「団体ホームページ」は38.6%（選択肢12項目のうち5位）、「Web サイト」は29.8%（7位）となっている。**【➡図表20**、Ⅲ-12】

図表 19 鑑賞や体験に関する情報の入手手段（県民調査、複数回答）



図表 20 発表会や展示会等の広報活動の情報発信媒体（文化芸術団体調査、複数回答）



5. その他の必要と考えられる施策の提案

(1) 新福岡県立美術館の設立準備と開館

新福岡県立美術館の開館に向けた県民と新美術館との「関係の構築＝パブリック・リレーションズ（PR）」につなげるとともに、新美術館の開館をきっかけに、文化芸術の振興への県民の理解と関心をより一層喚起することが求められる。

- 新福岡県立美術館の開館は2029年度に予定されている。次期基本計画（2026～2031年度）期間中の最大の文化事業となる。「新福岡県立美術館基本計画」が策定されており、美術館の機能や役割、施設整備、管理運営の方針等が策定されている。
- 現在進行している新福岡県立美術館整備事業（愛称「大濠 START PROJECT」では、新美術館の目指す姿とコンセプト、建物の特徴や機能等をウェブサイトで発信し、施設の整備と並行して開館に向けた機運を醸成する取組などを展開している。
- 柱１「文化芸術の振興」の「(1) 芸術・芸能・生活文化等の振興」で述べたとおり、福岡県の施策全体としても大規模な事業である新福岡県立美術館の設立準備や開館は、県民の文化芸術全般に対する興味と関心や期待を換気させる絶好の機会でもある。
- 次期基本計画に位置付けられる様々な文化事業の展開に際しては、新福岡県立美術館の開館に向けて新美術館と県民との関係を構築する、いわばパブリック・リレーションズ（PR）につながることが期待される。同時に、新美術館の開館をきっかけに、文化芸術の振興への県民の理解と関心をより一層喚起することが求められる。

(2) 福岡県アーツカウンシル（仮称）の設立

文化芸術の担い手となる芸術家や文化芸術団体、文化施設の運営やアートマネジメントに携わる人材の育成・確保に加えて、様々な政策領域との接続やネットークの構築、文化施策や文化事業に関する情報の収集・発信や調査研究を通じて、文化芸術振興の提言・提唱を担う。

- 福岡県では、文化芸術活動の担い手の育成と確保をするために、次期基本計画中に福岡県アーツカウンシル（仮称）の設立を予定している。この取組は柱２「文化芸術に親しむことができる環境づくり」の「（2）文化芸術を育む人づくり」に位置付けられるものである。
- アーツカウンシルとは「芸術文化に対する助成を基軸に、政府・行政組織と一定の距離を保ちながら、文化政策の執行を担う専門機関」[8]であり、1945年に英国が発祥とされる。日本においては2015年に閣議決定された「文化芸術の振興に関する基本的な方針（第４次）」に基づき、芸術文化振興基金の機能強化が行われてきたが、それと前後して、地方公共団体がいわゆる「地域アーツカウンシル」を設置する動きが活発化した。8：吉本光宏「地域アーツカウンシルーその現状と展望」（ニッセイ基礎研所報 vol.60 | June 2016）
- 関鎭京氏（北海道教育大学岩見沢校芸術文化政策研究室准教授）の調査[9]によると、国内での「地域アーツカウンシル」の設置状況（2025年2月現在）は20団体を数え、そのうち10団体の設置者は広域

自治体（都または県）[10]となっている。9：地域アーツカウンシルの現状：役割と課題（2025年3月、日本文化政策学会第18年次研究大会予稿集、https://ifcc.jp/colum/SI02-1） 10：大阪アーツカウンシルは大阪府と大阪市の共同設置で10団体に含めている。

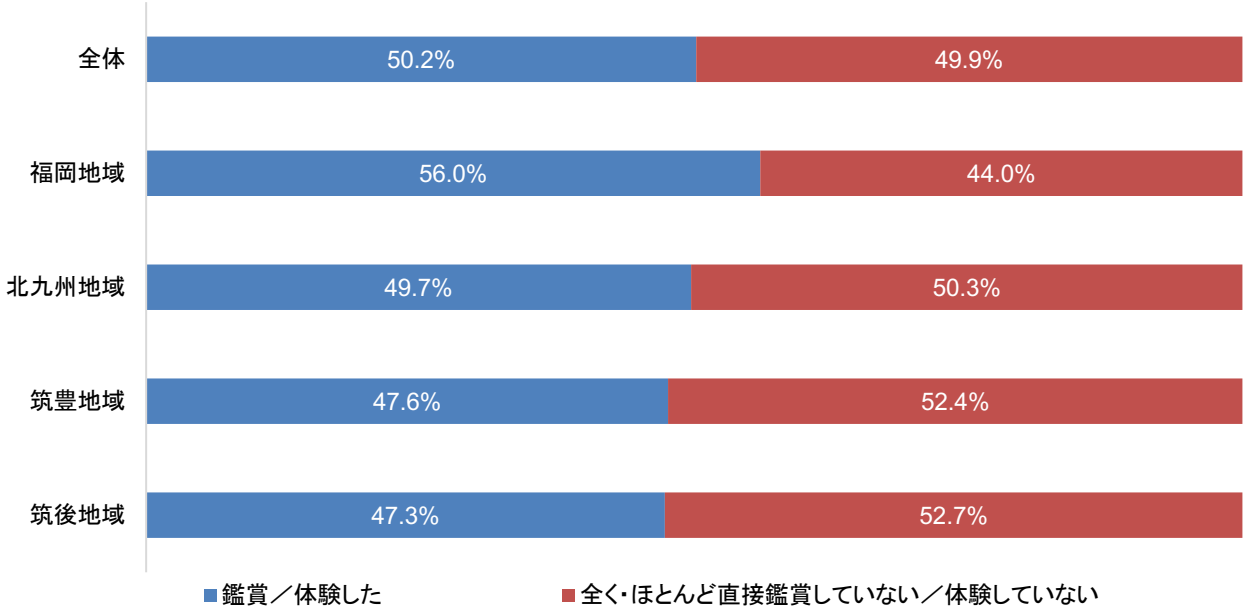
- 福岡県アーツカウンシル（仮称）設立の検討は「文化芸術を育む人づくり」が主要な目的であり、文化芸術の担い手となる芸術家や文化芸術団体、文化施設の運営やアートマネジメントに携わる人材の育成・確保を推進することが必要である。
- 加えて、次期基本計画で取り組む文化事業の数多くで、教育、福祉、まちづくり、産業、観光等、文化芸術以外の政策領域との接続やネットワークの構築が必要とされるため、そうした分野の連携や協力を促す中間支援機能も、福岡県アーツカウンシル（仮称）に期待される。
- 県民の文化芸術に対する理解や関心をより一層高めるために、県や市町村の文化施策、文化事業に関する情報の収集と発信や、調査研究を通じて施策や事業の成果や課題を把握し、文化芸術振興に対する支持や賛同を高めるべく、提言・提唱を担う役割が求められる。

(3) 地域の均衡の取れた文化施策の展開

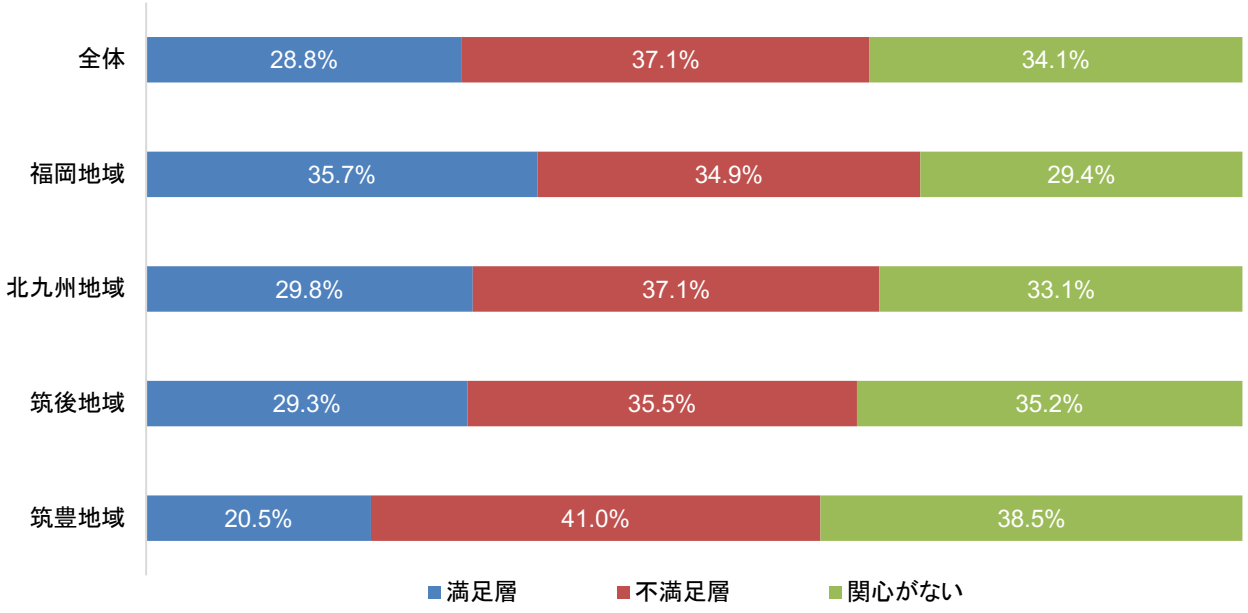
調査結果からは文化芸術の鑑賞率や地域の文化環境の満足度で、福岡地域とそれ以外の地域での差が見られる。地域間の均衡がとれた文化芸術環境の整備を求める意見が数多く、県全域を見据えた文化芸術の振興と、地域の活性化に文化芸術を活用することが期待される。

- 県民を対象としたアンケート調査によると、１年間に文化芸術を直接鑑賞した割合を居住地別に比較すると、福岡地域の鑑賞率（「全く・ほとんど直接鑑賞していない／体験していない」以外の回答の計）が56.0%で、北九州地域（49.7%）、筑豊地域（47.6%）、筑後地域（47.3%）と他地域との間に差が見られる。**【➡図表21**、Ⅰ-7】
- また、文化芸術を鑑賞したり習い事をしたりする機会や文化財・伝統的なまちなみの保存・整備など、居住地域での文化的な環境への満足度について居住地別に比較すると、満足層（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）は福岡地域が35.7%で、北九州地域（29.8%）、筑後地域（29.3%）、筑豊地域（20.5%）と他地域との間に差が見られる。**【➡図表22**、Ⅰ-55】
- アンケートの自由記述では、県が取り組む文化施策に対して「福岡地区に集中せずすべての子どもたちが触れられる機会が欲しい」、「福岡市に施設、イベントを集中させず公平に分散してください」など、地域間の均衡がとれた文化芸術環境の整備を求める意見が数多く見られた。
- 「福岡県の文化」でイメージするものを自由記述で聞いたところ「福岡地方、北九州地方、筑豊地方、筑後地方。この４地方それぞれに固有の文化があり、固有の個性がある」、「福岡、北九州、筑後、筑豊等地方ごとの食や方言の違いなど独自性があること」といった意見もあり、それぞれの地域固有の文化資源を活かした文化施策の展開が肝要である。
- 例えば、現在も実施しているアーティスト・イン・レジデンス事業を継続しながら、筑豊・筑後地域の市町村での文化施設や文化事業との連携や、子どもから高齢者まで多様な集う地域の居場所等での文化芸術の体験機会の提供など、県全域を見据えた文化芸術の振興と地域の活性化に文化芸術を活用することが期待される。

図表 21　１年間に文化芸術を直接鑑賞した割合の居住地別の比較（県民調査、単一回答）



図表 22　居住地における文化的な環境への満足度の居住地別の比較（県民調査、単一回答）



(4) 地域の多様な主体との連携・協力

県庁内の文化振興以外の政策領域や市町村、県立文化施設と市町村の文化施設、アート NPO や民間企業など、地域の多様な主体との連携し、相互の協力や協働を進めながら、人材の育成と確保等につなげていく。

- 柱１から柱４までの施策の方向性では、多くの取組で、県庁内の文化振興課以外の部課や教育委員会、市町村との連携が必要となる。
- 例えば、柱１の(3) 「文化財等の保存・活用柱」や柱２の(2)「文化芸術を育む人づくり」では教育委員会との連携、柱３「障がいのある人の文化芸術活動の推進」では障がい福祉との連携、柱４の(1)「文化芸術を活用した地域活性化」では観光振興や物産振興、柱４の(2)「文化芸術を通じた国際交流の推進」では国際交流との連携は欠かせないものとなる。
- 前頁の(3)「地域の均衡の取れた文化施策の展開」の観点からも、施設機能の専門性や専門人材を有する県立文化施設が、県内各地の市町村の文化施設との連携し、お互いの事業の現場での相互の協力や協働を進めることで、都市部以外の市町村での文化事業を展開することが考えられる。
- さらには、アート NPO、民間企業との連携多様な担い手の参画・参加により、芸術家やコーディネーター等の人材の育成と確保、労力や費用の相互負担をすることで、事業にかかる合理化や効率化を図ることが期待される。

「福岡県における文化芸術活動の実態調査」に基づく分析及び施策提案

［資料編］

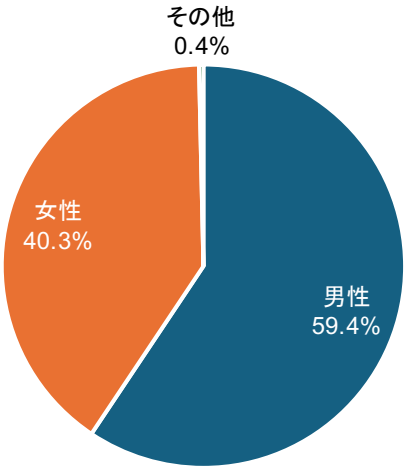
Ⅰ

県民に対する
アンケート調査

回答者の基本属性（単一回答）

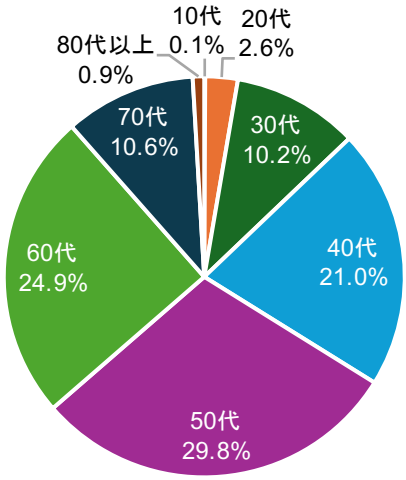
回答者の基本的な属性をグラフにまとめた。性別は男性が59.4%、女性が40.3%となっている。世代は50代が29.8%、60代が24.9%、40代が21.0%、70代が10.6%、30代が10.2%と、40～60代を中心に幅広い世代が回答している。職業は企業、役所、団体などの正職員・社員が38.7%、パート・アルバイト、契約社員、派遣社員などが22.0%、無職（定年退職者を含む）が19.0%となっている。世帯構成は親子同居（2世代同居）が43.5%、夫婦のみが29.9%、単身世帯（ひとり暮らし）が20.4%となっている。

問1　性別



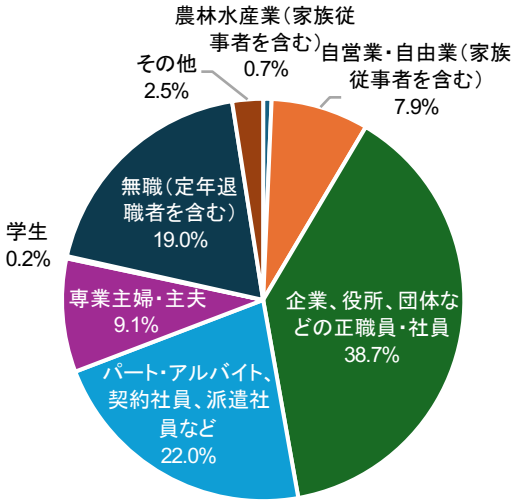
回答数=4,000

問2　世代



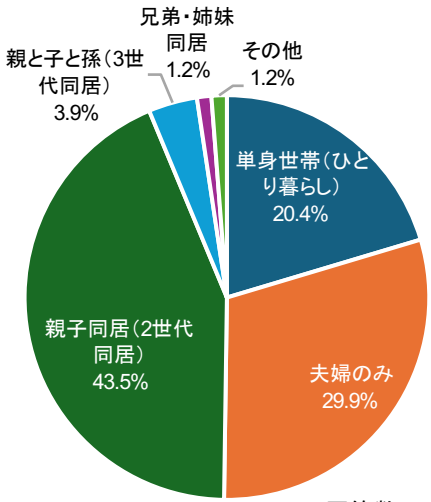
回答数=4,000

問3　職業



回答数=4,000

問4　世帯構成

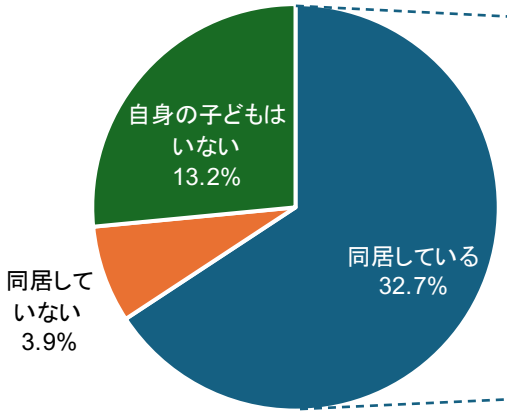


回答数=4,000

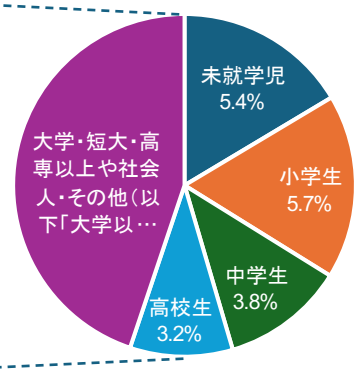
回答者の基本属性（単一回答）

回答者全体のうち、子どもと「同居している」割合は32.7%で、同居している場合の末子の学齢は大学・短大・高専以上や社会人・その他が14.7%、小学生が5.7%、未就学児が5.4%となっている。世帯収入は300～700万円未満が37.0%、300万円未満が22.7%、「わからない・答えたくない」が19.9%となっている。学生時代の文化活動の経験は、「活動しなかった（活動していない）」が65.8%、「活動した（活動している）」が34.2%となっている。

問4-1　子どもとの同居

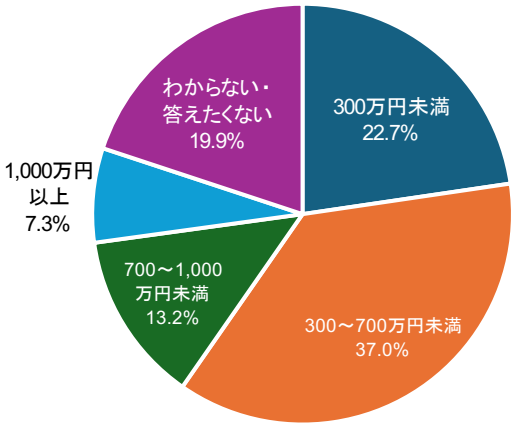


問4-2　末子の学齢



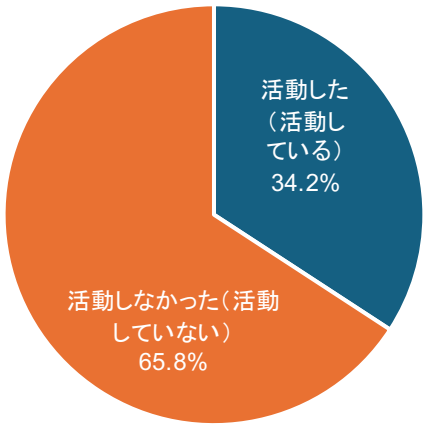
回答数=4,000

問5　世帯収入



回答数=4,000

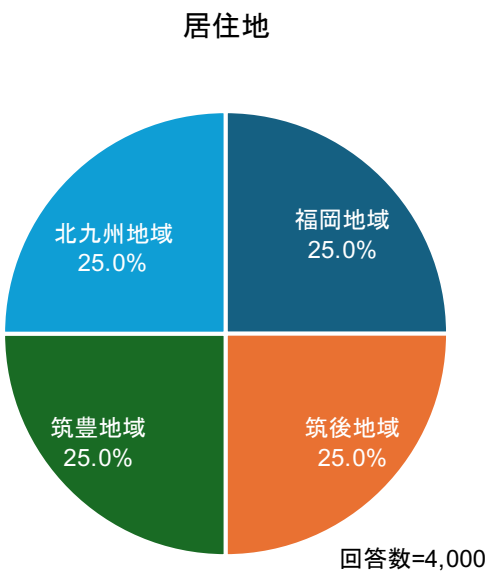
問6　学生時代の文化活動の経験



回答数=4,000

回答者の基本属性（単一回答）

居住地は、福岡地域、筑後地域、筑豊地域、北九州地域がそれぞれ25.0%となっている。居住地を市町村別に見ると、北九州市が20.1%、福岡市が16.5%、久留米市が11.9%となっている。

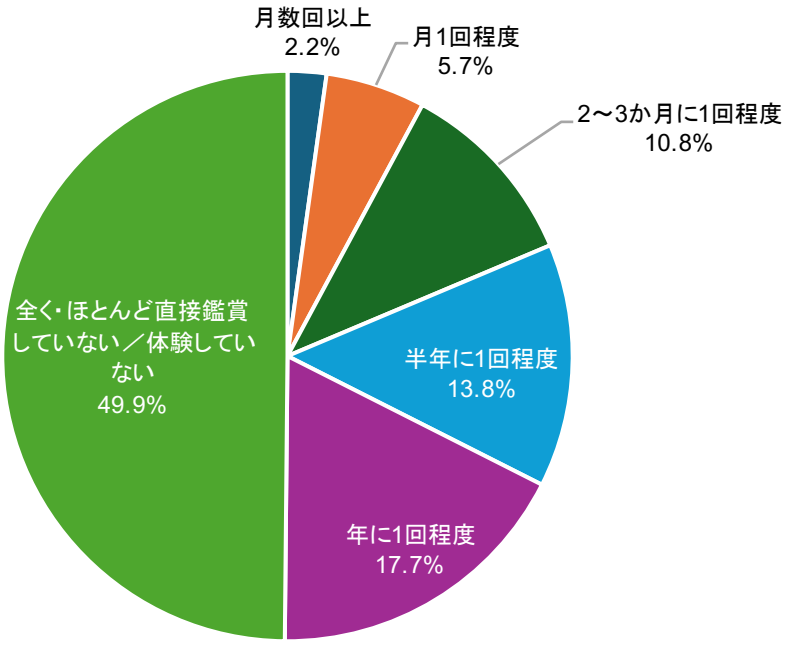


問7 市町村名

		回答数	割合(%)
全体		4,000	100.0
福岡地域		1,000	25.0
	福岡市	661	16.5
	筑紫野市	49	1.2
	春日市	37	0.9
	大野城市	34	0.9
	宗像市	33	0.8
	太宰府市	26	0.7
	古賀市	26	0.7
	福津市	17	0.4
	朝倉市	4	0.1
	糸島市	28	0.7
	那珂川市	14	0.4
	宇美町	10	0.3
	篠栗町	13	0.3
	志免町	7	0.2
	須恵町	7	0.2
	新宮町	15	0.4
	久山町	2	0.1
	粕屋町	13	0.3
	筑前町	3	0.1
	東峰村	1	0.0
筑後地域		1,000	25.0
	大牟田市	135	3.4
	久留米市	474	11.9
	柳川市	67	1.7
	八女市	39	1.0
	筑後市	57	1.4
	大川市	31	0.8
	小郡市	113	2.8
	うきは市	21	0.5
	みやま市	21	0.5
	大刀洗町	12	0.3
	大木町	14	0.4
	広川町	16	0.4
筑豊地域		1,000	25.0
	直方市	156	3.9
	飯塚市	382	9.6
	田川市	131	3.3
	嘉麻市	73	1.8
	宮若市	55	1.4
	小竹町	15	0.4
	鞍手町	42	1.1
	桂川町	25	0.6
	香春町	17	0.4
	添田町	7	0.2
	糸田町	18	0.5
	川崎町	26	0.7
	大任町	11	0.3
	福智町	36	0.9
	赤村	6	0.2
北九州地域		1,000	25.0
	北九州市	802	20.1
	行橋市	52	1.3
	豊前市	8	0.2
	中間市	26	0.7
	芦屋町	10	0.3
	水巻町	16	0.4
	岡垣町	31	0.8
	遠賀町	14	0.4
	苅田町	22	0.6
	みやこ町	4	0.1
	吉富町	5	0.1
	上毛町	2	0.1
	築上町	8	0.2

問8　この1年間に文化芸術を直接鑑賞した頻度（単一回答）

あなたは、この1年間にどの程度、ホール・劇場、映画館、美術館・博物館等で、文化芸術を直接鑑賞したり体験したりしましたか。（○は1つだけ）



回答数=4,000

この1年間に文化芸術を直接鑑賞した頻度は、「全く・ほとんど直接鑑賞していない／体験していない」が49.9%、「年に1回程度」が17.7%、「半年に1回程度」が13.8%となっている。年に1回程度以上鑑賞した県民の割合（鑑賞率）は合わせて50.2%となっている。

問8　この1年間に文化芸術を直接鑑賞した頻度（単一回答）

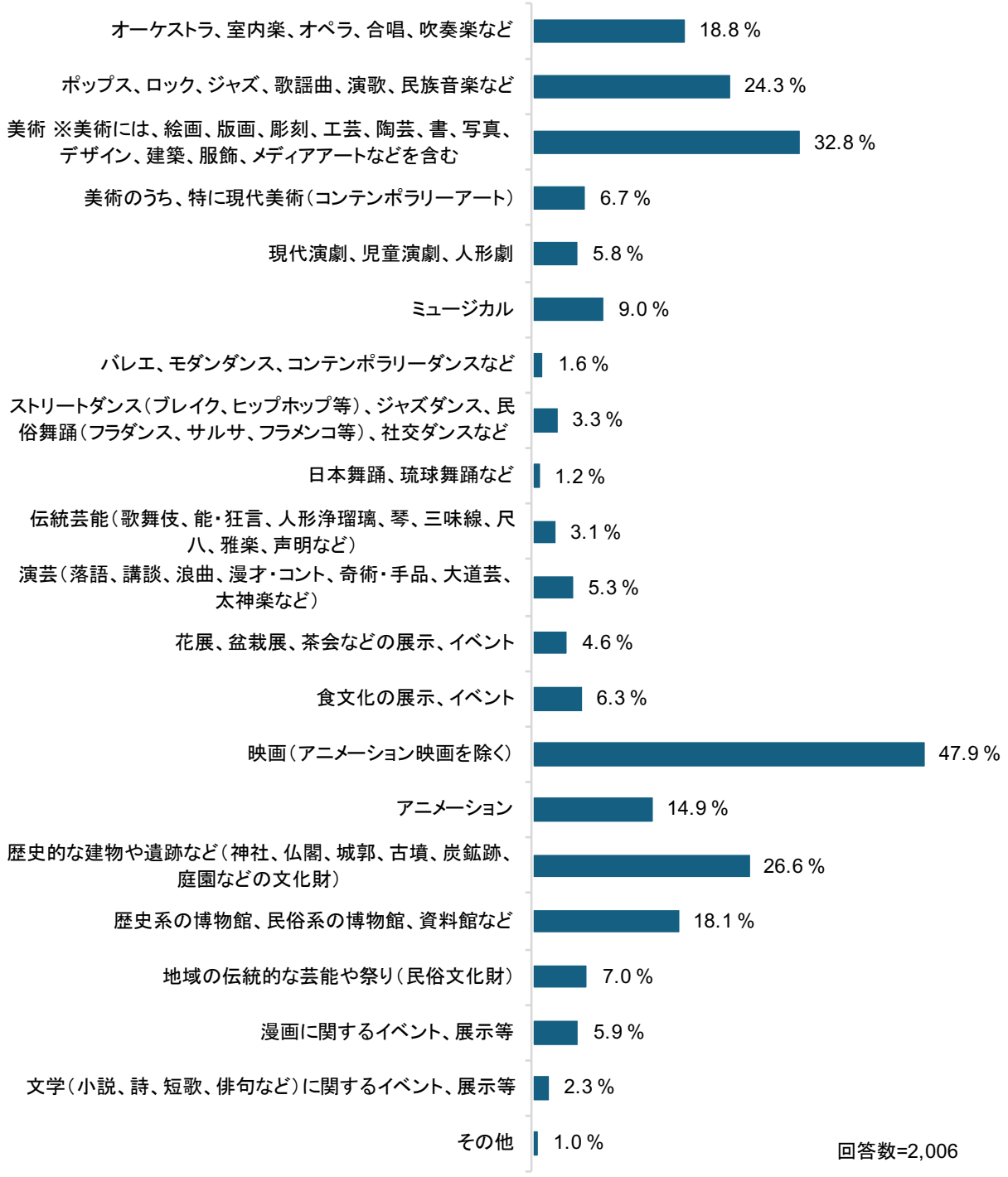
あなたは、この1年間にどの程度、ホール・劇場、映画館、美術館・博物館等で、文化芸術を直接鑑賞したり体験したりしましたか。（○は1つだけ）

		回答数	月数回以上	月1回程度	2～3か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	全く・ほとんど直接鑑賞していない／体験していない
全体		4,000	2.2	5.7	10.8	13.8	17.7	49.9
性別	男性	2,379	2.5	5.5	9.8	13.1	17.7	51.3
	女性	1,621	1.7	5.8	12.2	14.9	17.7	47.7
年代	18歳～29歳	108	3.7	8.3	13.9	12.0	14.8	47.2
	30歳～39歳	407	2.7	8.4	9.8	11.5	18.7	48.9
	40歳～49歳	839	2.3	6.4	10.7	12.8	19.1	48.7
	50歳～59歳	1,191	1.7	4.8	9.6	13.5	18.5	52.0
	60歳～69歳	995	2.7	5.0	12.0	15.1	15.9	49.3
	70歳以上	460	1.5	4.8	11.7	16.1	17.0	48.9
居住地	福岡地域	1,000	2.4	6.1	13.0	16.6	17.9	44.0
	筑後地域	1,000	2.5	5.9	8.8	12.7	17.4	52.7
	筑豊地域	1,000	2.1	6.3	10.2	11.9	17.1	52.4
	北九州地域	1,000	1.8	4.3	11.2	14.0	18.4	50.3
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	2.2	6.9	9.4	12.8	15.3	53.4
	夫婦のみ	1,194	1.9	5.1	11.2	16.4	18.2	47.2
	親子同居（2世代同居）	1,740	2.4	5.4	11.2	12.4	19.0	49.7
	親と子と孫（3世代同居）	156	3.2	7.1	11.5	16.7	14.1	47.4
	兄弟・姉妹同居	46	2.2	4.3	8.7	10.9	10.9	63.0
及び末子の学齢	同居の子 あり	1,309	1.8	5.1	11.6	13.5	19.2	48.8
	末子の学齢 未就学児	215	1.4	6.0	9.3	6.5	20.9	55.8
	末子の学齢 小学生	228	3.5	6.1	11.8	19.3	19.7	39.5
	末子の学齢 中学生	152	0.7	4.6	9.2	15.8	19.7	50.0
	末子の学齢 高校生	127	1.6	7.1	11.0	15.7	19.7	44.9
	末子の学齢 大学以上	587	1.5	4.1	13.1	12.8	18.1	50.4
	同居の子 なし	682	3.5	6.2	10.1	11.0	16.9	52.3

居住地別に見ると、福岡地域の鑑賞率（「全く・ほとんど直接鑑賞していない／体験していない」以外の回答の計）が56.0%と他地域よりも高くなっている。
同居の子がいる回答者で末子の学齢が小学生の場合の鑑賞率は60.5%と他よりも高くなっている。

問8-1　直接、鑑賞・体験したジャンル（複数回答）

問8で「1. 月数回以上」～「5. 年に1回程度」の方におたずねします。あなたが、この1年間に直接鑑賞・体験した文化芸術のジャンルは何ですか。（○はいくつでも）



この1年間に直接、鑑賞・体験したジャンルは、「映画（アニメを除く）」が47.9%で最も高く、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾、メディアアートなど）」（32.8%）、「歴史的建物や遺跡（建造物、遺跡、名勝地（庭園など）の文化財）」（26.6%）、「ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など」（24.3%）と続いている。

問8-1　直接、鑑賞・体験したジャンル（複数回答）

問8で「1. 月数回以上」～「5. 年に1回程度」の方におたずねします。あなたが、この1年間に直接鑑賞・体験した文化芸術のジャンルは何ですか。（○はいくつでも）

		回答数	オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など	ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など	美術 ※美術には、絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾、メディアアートなどを含む	美術のうち、特に現代美術（コンテンポラリーアート）	現代演劇、児童演劇、人形劇	ミュージカル	バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど	ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど	日本舞踊、琉球舞踊など	伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）	演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）
全体		2,006	18.8	24.3	32.8	6.7	5.8	9.0	1.6	3.3	1.2	3.1	5.3
性別	男性	1,158	17.8	21.7	32.3	6.6	5.2	6.4	1.4	2.4	1.1	2.1	5.5
	女性	848	20.3	27.9	33.4	6.8	6.7	12.5	2.0	4.6	1.3	4.5	5.0
年代	18歳～29歳	57	17.5	22.8	29.8	8.8	5.3	17.5	7.0	3.5	1.8	3.5	0.0
	30歳～39歳	208	17.3	19.7	30.8	9.6	4.8	11.1	1.9	2.9	0.5	2.4	1.9
	40歳～49歳	430	17.7	20.7	30.9	8.8	5.3	9.1	1.6	4.0	1.9	2.1	3.5
	50歳～59歳	572	18.2	30.4	32.7	5.8	6.6	7.2	1.9	3.5	0.9	2.6	6.3
	60歳～69歳	504	19.2	28.0	32.7	5.8	5.4	11.3	0.6	2.2	1.0	3.6	6.2
	70歳以上	235	23.4	12.8	38.7	4.3	6.8	4.3	1.7	4.7	1.7	5.5	8.5
居住地	福岡地域	560	20.0	28.6	32.9	8.0	5.4	10.5	1.3	2.7	0.5	3.6	5.5
	筑後地域	473	19.5	22.0	33.4	5.5	5.7	9.3	2.5	3.6	2.1	2.7	5.9
	筑豊地域	476	17.9	20.8	31.1	6.7	4.8	6.3	1.3	2.9	0.8	2.9	4.8
	北九州地域	497	17.9	25.2	33.6	6.4	7.4	9.5	1.6	4.2	1.4	3.0	4.8
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	380	15.3	28.4	34.5	9.7	6.3	11.1	2.1	2.9	1.6	3.9	6.6
	夫婦のみ	631	18.5	23.1	35.0	5.1	6.0	7.4	1.1	2.9	1.4	3.2	6.7
	親子同居（2世代同居）	875	20.8	23.2	30.2	6.6	5.3	8.9	1.9	3.5	0.7	2.4	3.7
	親と子と孫（3世代同居）	82	19.5	25.6	35.4	8.5	9.8	11.0	1.2	6.1	1.2	2.4	6.1
	兄弟・姉妹同居	17	5.9	17.6	29.4	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	11.8	5.9	5.9
及び末子の学齢 同居の子の有無	同居の子 あり	670	22.1	22.1	30.7	6.7	5.7	8.4	1.9	4.5	0.4	2.2	4.0
	末子の学齢 未就学児	95	24.2	12.6	26.3	8.4	7.4	11.6	4.2	5.3	0.0	0.0	1.1
	小学生	138	18.1	21.7	29.7	6.5	5.1	10.9	1.4	9.4	1.4	2.2	2.9
	中学生	76	28.9	14.5	26.3	3.9	3.9	3.9	3.9	1.3	0.0	0.0	3.9
	高校生	70	20.0	22.9	37.1	10.0	7.1	4.3	1.4	4.3	1.4	2.9	8.6
	大学以上	291	22.0	27.1	32.3	6.2	5.5	8.2	1.0	2.7	0.0	3.4	4.5
	同居の子 なし	325	16.9	26.5	30.5	6.5	5.2	10.8	1.5	2.5	1.8	3.7	3.7

年代別に見ると、18歳～29歳は「映画（アニメーション映画を除く）」（63.2%）、70歳以上は「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾、メディアアートなど）」（38.7%）や「歴史的な建物や遺跡など（神社、仏閣、城郭、古墳、炭鉱跡、庭園などの文化財）」（36.2%）で他の年代よりも高くなっている。

問8-1　直接、鑑賞・体験したジャンル（複数回答）

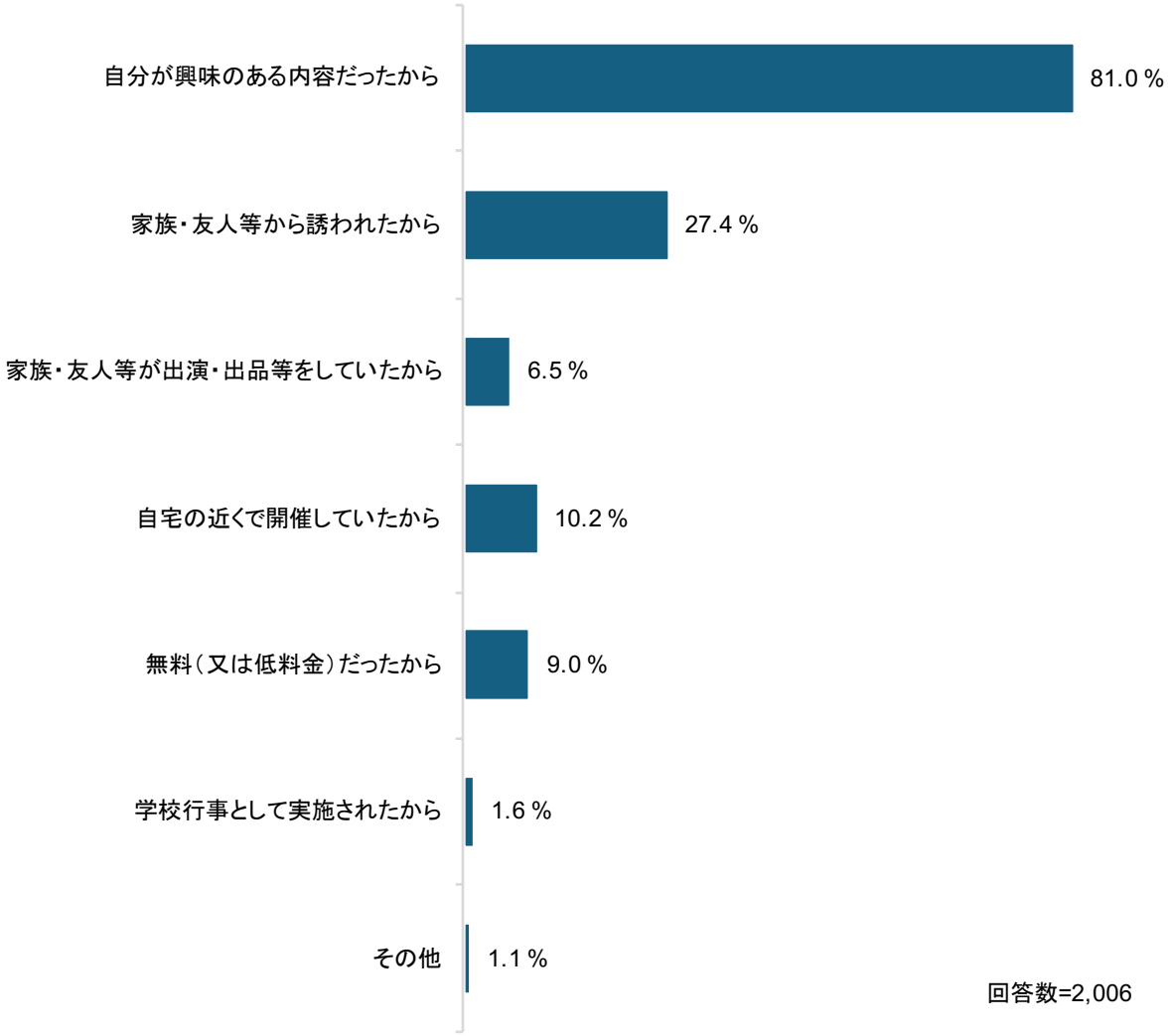
問8で「1. 月数回以上」～「5. 年に1回程度」の方におたずねします。あなたが、この1年間に直接鑑賞・体験した文化芸術のジャンルは何ですか。（○はいくつでも）

		回答数	花展、盆栽展、茶会などの展示、イベント	食文化の展示、イベント	映画（アニメーション映画を除く）	アニメーション	歴史的な建物や遺跡など（神社、仏閣、城郭、古墳、炭鉱跡、庭園などの文化財）	歴史系の博物館、民俗系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	漫画に関するイベント、展示等	文学（小説、詩、短歌、俳句など）に関するイベント、展示等	その他
全体		2,006	4.6	6.3	47.9	14.9	26.6	18.1	7.0	5.9	2.3	1.0
性別	男性	1,158	3.2	6.1	46.5	15.3	28.4	19.7	7.3	5.1	2.0	0.7
	女性	848	6.5	6.5	49.8	14.4	24.2	15.9	6.7	7.1	2.8	1.5
年代	18歳～29歳	57	3.5	14.0	63.2	36.8	26.3	21.1	1.8	14.0	3.5	0.0
	30歳～39歳	208	3.8	7.7	47.6	30.3	19.2	15.9	6.7	13.5	3.4	1.4
	40歳～49歳	430	5.1	6.0	46.7	20.2	19.5	15.3	7.4	10.0	2.8	1.2
	50歳～59歳	572	4.0	5.8	46.9	15.6	29.9	18.0	5.9	5.1	1.7	0.9
	60歳～69歳	504	4.8	6.3	52.2	6.7	27.6	20.2	6.7	2.2	1.8	1.0
	70歳以上	235	5.5	4.7	39.6	2.1	36.2	20.0	11.1	0.0	3.0	1.3
居住地	福岡地域	560	3.8	7.5	45.5	14.6	26.4	18.2	4.6	5.5	0.9	0.7
	筑後地域	473	5.7	6.6	45.9	13.7	30.2	18.2	7.6	5.5	3.2	0.6
	筑豊地域	476	5.9	5.0	52.3	15.3	23.1	16.6	6.9	6.3	1.7	1.7
	北九州地域	497	3.2	5.8	48.1	15.9	26.8	19.3	9.3	6.4	3.8	1.2
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	380	2.9	6.3	48.4	17.1	27.1	21.1	7.1	7.9	1.8	1.1
	夫婦のみ	631	5.7	5.4	46.0	9.5	29.0	18.9	7.3	3.0	1.7	0.6
	親子同居（2世代同居）	875	4.5	6.6	47.8	17.0	23.7	16.3	6.4	6.7	2.7	1.4
	親と子と孫（3世代同居）	82	6.1	9.8	59.8	20.7	37.8	19.5	14.6	9.8	6.1	1.2
	兄弟・姉妹同居	17	5.9	11.8	47.1	11.8	23.5	23.5	0.0	0.0	0.0	0.0
及び末子の学齢 同居の子の有無	同居の子 あり	670	5.2	6.7	48.4	15.2	26.6	17.5	7.6	5.5	2.7	1.6
	末子の学齢 未就学児	95	6.3	10.5	41.1	24.2	18.9	16.8	11.6	10.5	3.2	3.2
	小学生	138	5.8	5.1	48.6	20.3	24.6	19.6	10.1	4.3	2.2	2.2
	中学生	76	2.6	2.6	50.0	31.6	19.7	11.8	2.6	5.3	1.3	1.3
	高校生	70	8.6	10.0	51.4	14.3	25.7	14.3	7.1	11.4	2.9	0.0
	大学以上	291	4.5	6.5	49.5	5.8	32.0	18.9	6.5	3.1	3.1	1.4
	同居の子 なし	325	3.1	7.1	49.8	22.2	21.5	14.5	5.2	10.2	3.4	0.6

世帯構成別見ると、親と子と孫（3世代同居）は「映画（アニメーション映画を除く）」（59.8%）、「アニメーション」（20.7%）、「地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）」（14.6%）など、他の世帯構成に比べて鑑賞率が高い傾向が見られる。

問8-2　直接、鑑賞・体験した理由（複数回答）

直接鑑賞・体験した理由は何ですか。（〇はいくつでも）



直接、鑑賞・体験した理由は、「自分が興味のある内容だったから」が81.0%で最も高く、次いで「家族・友人等から誘われたから」が27.4%、「自宅の近くで開催していたから」が10.2%となっている。

問8-2　直接、鑑賞・体験した理由（複数回答）

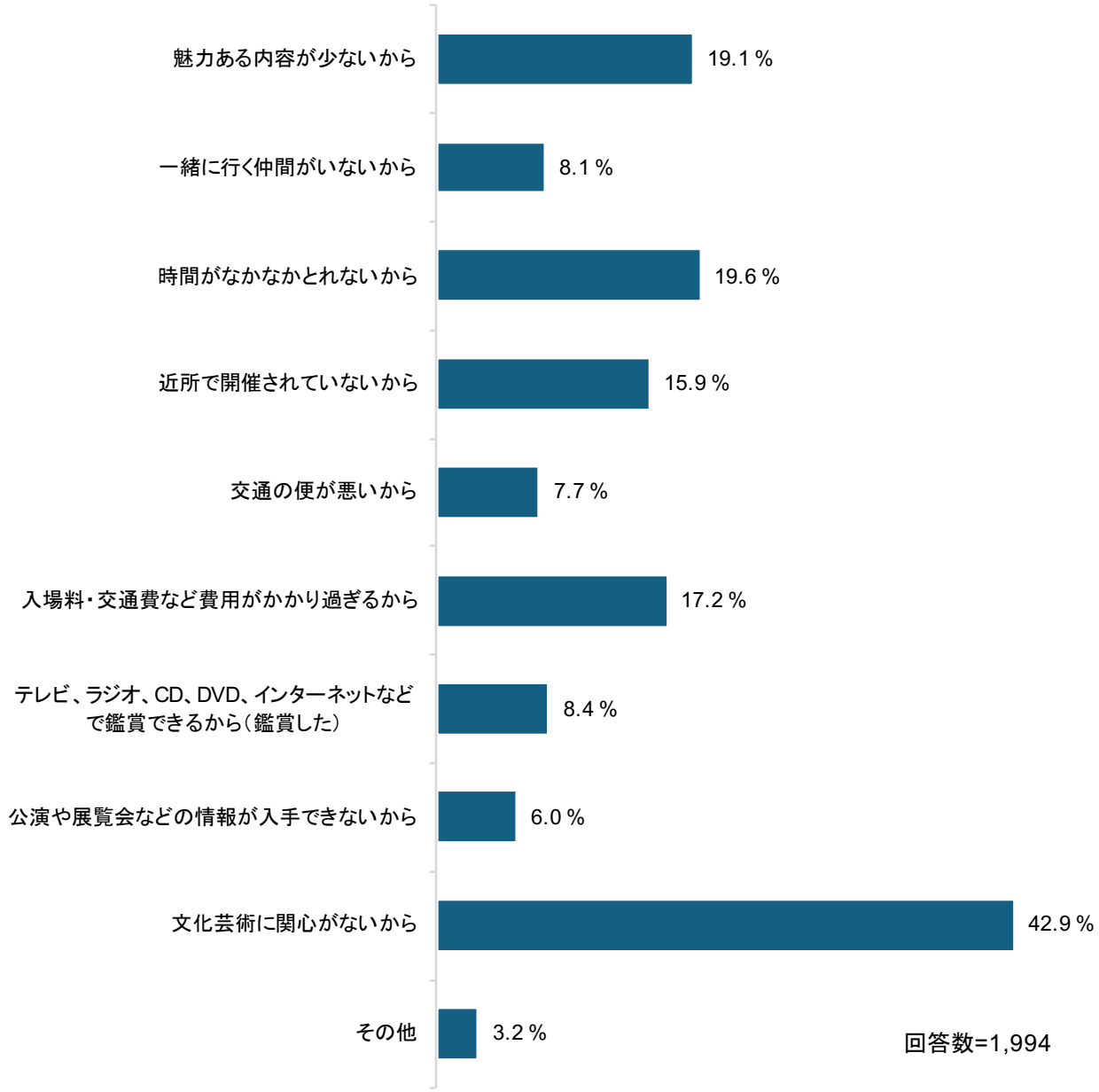
直接鑑賞・体験した理由は何ですか。（○はいくつでも）

		回答数	自分が興味のある内容だったから	家族・友人等から誘われたから	家族・友人等が出演・出品等をしていたから	自宅の近くで開催していたから	無料（又は低料金）だったから	学校行事として実施されたから	その他
全体		2,006	81.0	27.4	6.5	10.2	9.0	1.6	1.1
性別	男性	1,158	79.0	26.0	6.0	10.4	9.2	1.6	1.2
	女性	848	83.6	29.4	7.2	9.9	8.8	1.8	1.1
年代	18歳～29歳	57	93.0	26.3	1.8	8.8	10.5	0.0	1.8
	30歳～39歳	208	74.0	29.8	4.8	12.0	9.6	2.9	1.4
	40歳～49歳	430	75.6	26.7	8.8	11.2	8.8	3.0	0.9
	50歳～59歳	572	83.6	27.1	5.4	10.8	8.2	1.0	0.9
	60歳～69歳	504	85.5	28.4	5.0	7.7	8.9	1.2	0.8
	70歳以上	235	77.9	25.5	10.6	10.6	10.6	0.9	2.6
居住地	福岡地域	560	80.2	28.6	6.4	8.4	11.1	1.3	1.6
	筑後地域	473	80.1	26.4	7.0	12.7	10.6	2.7	0.6
	筑豊地域	476	82.4	26.1	6.3	8.2	5.9	1.7	1.1
	北九州地域	497	81.3	28.4	6.2	11.7	8.2	1.0	1.2
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	380	91.1	18.4	3.7	6.6	7.1	1.3	1.1
	夫婦のみ	631	81.6	27.7	6.2	9.8	8.9	0.6	1.3
	親子同居（2世代同居）	875	75.9	30.7	7.7	11.8	9.7	2.3	1.3
	親と子と孫（3世代同居）	82	80.5	32.9	9.8	11.0	9.8	4.9	0.0
	兄弟・姉妹同居	17	88.2	11.8	5.9	5.9	5.9	0.0	0.0
及び末子の学齢 同居の子の有無	同居の子 あり	670	72.8	34.5	9.4	12.7	9.7	2.8	1.2
	末子の学齢 未就学児	95	62.1	34.7	9.5	15.8	15.8	2.1	3.2
	末子の学齢 小学生	138	65.9	41.3	10.9	15.2	9.4	5.1	2.2
	末子の学齢 中学生	76	73.7	39.5	15.8	11.8	6.6	3.9	0.0
	末子の学齢 高校生	70	77.1	25.7	10.0	11.4	7.1	5.7	0.0
	末子の学齢 大学以上	291	78.4	32.0	6.9	11.0	9.3	1.0	0.7
	同居の子 なし	325	84.6	22.8	4.3	9.8	10.2	1.5	0.9

年代別に見ると、18歳～29歳は「自分が興味のある内容だったから」が93.0%で他の年代よりも高くなっている。
同居の子がいる回答者で末子の学齢が小学生の場合は「家族・友人等から誘われたから」が41.3%と他よりも高くなっている。

問8-3　直接、鑑賞・体験しなかった理由（複数回答）

問8で「6 全く・ほとんど鑑賞していない」の方におたずねします。直接鑑賞・体験しなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）



直接、鑑賞・体験しなかった理由は、「文化芸術に関心がないから」が42.9%で最も高く、「時間がなかなかとれないから」が19.6%、「魅力ある内容が少ないから」が19.1%と続いている。

問8-3　直接、鑑賞・体験しなかった理由（複数回答）

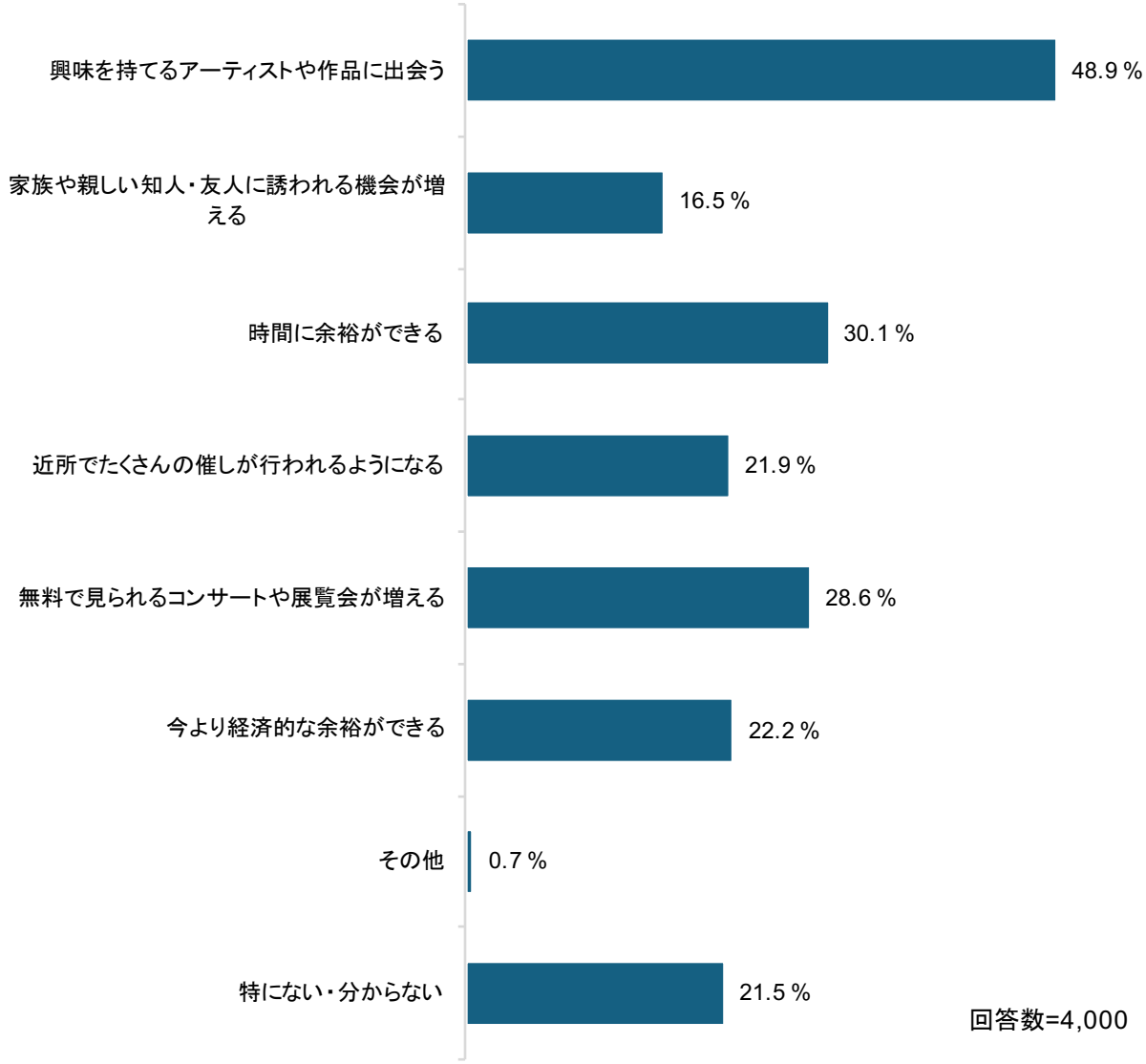
問8で「6 全く・ほとんど鑑賞していない」の方におたずねします。直接鑑賞・体験しなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）

		回答数	魅力ある内容が少ないから	一緒に行く仲間がいないから	時間がなかなかとれないから	近所で開催されていないから	交通の便が悪いから	入場料・交通費など費用がかかり過ぎるから	テレビ、ラジオ、CD、DVD、インターネットなどで鑑賞できるから（鑑賞した）	公演や展覧会などの情報が入手できないから	文化芸術に関心がないから	その他
全体		1,994	19.1	8.1	19.6	15.9	7.7	17.2	8.4	6.0	42.9	3.2
性別	男性	1,221	20.1	7.5	16.7	14.3	6.6	15.0	9.3	5.3	46.9	2.9
	女性	773	17.5	9.1	24.2	18.5	9.4	20.6	6.9	7.0	36.5	3.6
年代	18歳～29歳	51	23.5	17.6	15.7	15.7	3.9	13.7	2.0	7.8	37.3	0.0
	30歳～39歳	199	15.6	6.5	18.1	7.5	5.5	14.6	2.5	6.5	54.3	1.5
	40歳～49歳	409	18.6	9.8	23.7	16.4	7.8	18.1	5.4	4.2	43.3	2.4
	50歳～59歳	619	17.6	7.9	21.6	16.6	8.2	18.3	6.6	6.3	44.1	2.9
	60歳～69歳	491	21.6	6.3	19.3	15.9	8.6	16.7	10.4	5.9	39.3	4.5
	70歳以上	225	20.9	8.4	9.3	20.4	6.7	16.4	20.9	7.6	37.8	4.4
居住地	福岡地域	440	19.5	9.1	21.1	9.3	5.5	17.3	6.8	5.0	42.0	3.6
	筑後地域	527	19.0	7.0	19.9	17.8	7.4	17.1	9.3	5.7	39.5	3.2
	筑豊地域	524	18.9	7.6	18.7	19.7	9.4	16.0	8.2	6.1	45.8	3.2
	北九州地域	503	19.1	8.7	18.9	15.7	8.2	18.3	8.9	7.0	44.1	2.6
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	435	20.0	13.1	15.6	14.9	9.9	20.7	9.4	7.8	39.8	2.8
	夫婦のみ	563	20.4	6.2	16.5	18.1	6.6	14.0	9.6	8.0	40.7	5.0
	親子同居（2世代同居）	865	17.9	7.1	23.2	15.0	7.4	17.6	7.4	3.9	45.9	2.3
	親と子と孫（3世代同居）	74	25.7	6.8	21.6	17.6	8.1	13.5	4.1	5.4	37.8	2.7
	兄弟・姉妹同居	29	6.9	3.4	27.6	20.7	6.9	20.7	10.3	3.4	48.3	0.0
同居の子の有無及び末子の学齢	同居の子 あり	639	18.8	6.4	25.4	12.7	4.7	14.4	6.6	3.9	45.9	2.5
	末子の学齢 未就学児	120	13.3	8.3	38.3	12.5	7.5	10.8	0.8	2.5	48.3	4.2
	末子の学齢 小学生	90	16.7	3.3	20.0	15.6	6.7	12.2	4.4	7.8	55.6	0.0
	末子の学齢 中学生	76	23.7	3.9	27.6	10.5	1.3	11.8	2.6	2.6	52.6	0.0
	末子の学齢 高校生	57	12.3	5.3	29.8	17.5	3.5	15.8	3.5	3.5	47.4	1.8
	末子の学齢 大学以上	296	21.6	7.4	20.3	11.5	4.1	16.9	11.1	3.7	39.9	3.4
	同居の子 なし	357	16.5	7.8	19.0	19.3	12.0	22.7	8.4	4.2	44.8	2.0

年代別に見ると、30歳～39歳は「文化芸術に関心がないから」（54.3%）が他の年代よりも高い。他の理由では、18歳～29歳が「魅力ある内容が少ないから」（23.5%）、70歳以上が「テレビ、ラジオ、CD、DVD、インターネットなどで鑑賞できるから（鑑賞した）」（20.9%）が、他の年代に比べて高くなっている。
居住地別に見ると、福岡地域とそれ以外の地域では「近所で開催されていないから」の回答率に差が見られる（福岡地域9.3%、北九州地域15.7%、筑後地域17.8%、筑豊地域19.7%）。
同居の子がいる回答者で末子の学齢が未就学児の場合、「時間がなかなかとれないから」が38.3%と他よりも高くなっている。

問9　文化芸術の鑑賞に関心を持つ条件（複数回答）

あなたは、どのようなことがあれば自分が文化芸術の鑑賞にもっと関心を持つようになると思いますか。（〇はいくつでも）



文化芸術の鑑賞に関心を持つには、「興味を持てるアーティストや作品に出会う」が48.9%で最も高く、次いで「時間に余裕ができる」が30.1%、「無料で見られるコンサートや展覧会が増える」が28.6%と続いている。

問9　文化芸術の鑑賞に関心を持つ条件（複数回答）

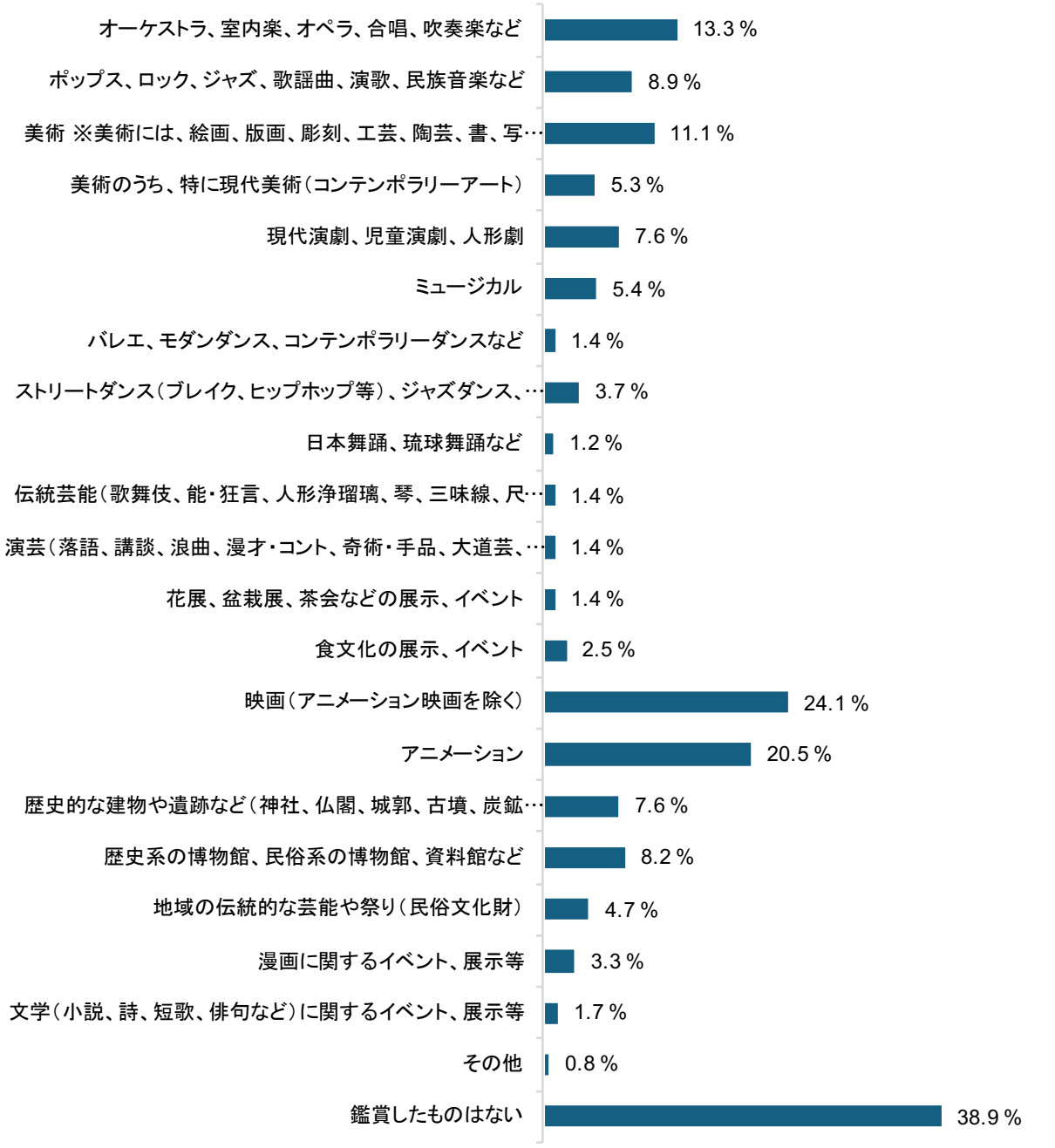
あなたは、どのようなことがあれば自分が文化芸術の鑑賞にもっと関心を持つようになると思いますか。（○はいくつでも）

		回答数	興味を持てるアーティストや作品に出会う	家族や親しい知人・友人に誘われる機会が増える	時間に余裕ができる	近所でたくさんの催しが行われるようになる	無料で見られるコンサートや展覧会が増える	今より経済的な余裕ができる	その他	特にない・分からない
全体		4,000	48.9	16.5	30.1	21.9	28.6	22.2	0.7	21.5
性別	男性	2,379	45.1	14.1	28.2	19.5	25.3	18.9	0.6	25.0
	女性	1,621	54.3	19.9	32.8	25.5	33.3	27.1	0.9	16.3
年代	18歳～29歳	108	50.9	18.5	28.7	16.7	29.6	23.1	0.9	21.3
	30歳～39歳	407	47.2	16.0	31.4	22.9	28.5	23.8	0.7	26.5
	40歳～49歳	839	48.2	17.8	35.2	19.5	28.6	25.0	0.7	20.6
	50歳～59歳	1,191	49.5	15.9	34.4	22.0	26.3	25.4	0.8	20.3
	60歳～69歳	995	52.6	15.7	26.7	22.8	29.8	18.7	0.6	19.6
	70歳以上	460	41.5	17.4	15.7	24.3	31.3	15.0	0.4	25.7
居住地	福岡地域	1,000	52.1	18.4	31.8	19.4	29.2	22.2	1.3	18.6
	筑後地域	1,000	47.7	17.0	30.6	24.8	30.1	23.9	0.1	21.2
	筑豊地域	1,000	46.2	15.5	28.5	19.4	26.2	23.3	0.8	25.0
	北九州地域	1,000	49.4	15.0	29.3	24.0	28.7	19.5	0.6	21.1
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	50.2	13.0	29.0	20.6	28.0	23.8	0.7	22.2
	夫婦のみ	1,194	50.9	17.9	23.1	21.9	28.9	16.2	0.8	20.9
	親子同居（2世代同居）	1,740	47.2	17.1	34.7	22.5	28.2	25.1	0.5	21.3
	親と子と孫（3世代同居）	156	50.0	20.5	34.0	25.0	32.1	24.4	1.3	20.5
	兄弟・姉妹同居	46	32.6	4.3	41.3	15.2	26.1	34.8	0.0	28.3
及び末子の学齢 同居の子	同居の子 あり	1,309	45.8	18.7	36.1	21.9	28.5	23.5	0.4	20.6
	末子の学齢 未就学児	215	38.6	16.7	42.8	25.6	33.5	22.3	0.5	23.7
	末子の学齢 小学生	228	47.8	21.5	35.1	23.2	27.2	24.6	0.0	19.7
	末子の学齢 中学生	152	48.7	23.0	39.5	18.4	32.2	28.9	0.0	16.4
	末子の学齢 高校生	127	51.2	13.4	37.0	22.0	23.6	22.0	1.6	18.1
	末子の学齢 大学以上	587	45.8	18.4	32.9	21.0	27.3	22.3	0.3	21.3
	同居の子 なし	682	49.4	13.8	32.0	23.5	28.7	28.4	1.2	23.5

年代別に見ると、40歳～59歳では「時間に余裕ができる」が他の年代よりも高くなっている（40歳～49歳が35.2%、50歳～59歳が34.4%）。
同居の子がいる回答者で末子の学齢が未就学児の場合、「時間に余裕ができる」（42.8%）が「興味を持てるアーティストや作品に出会う」（38.8%）を上回り、最も高くなっている。

問10　同居の末子が、この1年間に文化芸術を直接鑑賞したジャンル（複数回答）

問4-2で「1 未就学児」～「4 高校生」が末子の方におたずねします。あなたと同居しているあなた自身のお子さんの中で「最も下の年齢（末子）のお子さん」は、この1年間に、ホール・劇場、映画館、美術館・博物館などでどのようなジャンルの文化芸術を直接鑑賞しましたか。（○はいくつでも）※ご家族が連れて行った場合に限らず、お子さんだけで鑑賞した場合、学校で鑑賞した場合なども全て教えてください。



回答数=722

同居の高校生以下の末子が、この1年間に文化芸術を直接鑑賞したジャンルを聞いたところ、「鑑賞したものはない」が38.9%で最も高くなっている。直接鑑賞したジャンルでは「映画（アニメーション映画を除く）」が24.1%で最も高く、「アニメーション」が20.5%で続いている。

問10　同居の末子が、この1年間に文化芸術を直接鑑賞したジャンル（複数回答）

問4-2で「1 未就学児」～「4 高校生」が末子の方におたずねします。あなたと同居しているあなた自身のお子さんの中で「最も下の年齢（末子）のお子さん」は、この1年間に、ホール・劇場、映画館、美術館・博物館などでどのようなジャンルの文化芸術を直接鑑賞しましたか。（○はいくつでも）※ご家族が連れて行った場合に限らず、お子さんだけで鑑賞した場合、学校で鑑賞した場合なども全て教えてください。

		回答数	オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など	ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など	美術 ※美術には、絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾、メディアアートなどを含む	美術のうち、特に現代美術（コンテンポラリーアート）	現代演劇、児童演劇、人形劇	ミュージカル	バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど	ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど	日本舞踊、琉球舞踊など	伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）	演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）
全体		722	13.3	8.9	11.1	5.3	7.6	5.4	1.4	3.7	1.2	1.4	1.4
性別	男性	369	12.2	9.2	11.1	5.7	6.8	5.4	1.9	3.5	1.4	1.4	1.1
	女性	353	14.4	8.5	11.0	4.8	8.5	5.4	0.8	4.0	1.1	1.4	1.7
年代	18歳～29歳	20	5.0	10.0	0.0	5.0	5.0	20.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0
	30歳～39歳	167	7.2	6.6	9.6	3.0	11.4	4.2	0.0	4.2	0.6	1.2	0.0
	40歳～49歳	342	16.1	9.6	12.9	7.3	6.7	5.0	2.3	4.4	1.5	1.5	1.5
	50歳～59歳	178	13.5	9.6	10.7	3.4	6.2	5.6	0.6	2.2	1.1	1.7	2.8
	60歳～69歳	13	30.8	7.7	0.0	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0
	70歳以上	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地	福岡地域	193	13.0	9.3	9.3	3.1	8.8	6.2	2.6	6.2	0.5	2.1	2.6
	筑後地域	193	14.5	9.8	11.9	9.3	6.7	6.7	1.6	3.6	1.0	2.1	2.1
	筑豊地域	200	14.5	8.5	9.5	4.0	9.0	4.5	0.0	2.5	1.5	0.5	0.0
	北九州地域	136	10.3	7.4	14.7	4.4	5.1	3.7	1.5	2.2	2.2	0.7	0.7
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	夫婦のみ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	親子同居（2世代同居）	656	13.3	8.7	10.8	5.5	7.5	5.3	1.4	3.7	1.2	1.4	1.1
	親と子と孫（3世代同居）	58	15.5	12.1	13.8	3.4	8.6	5.2	1.7	5.2	1.7	1.7	5.2
	兄弟・姉妹同居	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
及び末子の学齢の有無	同居の子 あり	722	13.3	8.9	11.1	5.3	7.6	5.4	1.4	3.7	1.2	1.4	1.4
	末子の学齢 未就学児	215	10.2	6.5	6.0	4.2	10.2	6.0	1.4	4.2	0.5	0.9	0.0
	末子の学齢 小学生	228	13.6	11.0	14.5	6.1	8.8	5.3	1.8	5.3	0.9	1.3	1.8
	末子の学齢 中学生	152	16.4	3.9	12.5	5.9	3.3	5.9	2.0	1.3	0.7	0.7	1.3
	末子の学齢 高校生	127	14.2	15.0	11.8	4.7	6.3	3.9	0.0	3.1	3.9	3.1	3.1
	末子の学齢 大学以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	同居の子 なし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

年代別、世帯構成別に見ると、それぞれの回答の母数の差が大きいために比較が難しい。
居住地別に見ると、筑豊地域は「映画（アニメーション映画を除く）」（26.5%）、北九州地域は「アニメーション」（27.9%）、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾、メディアアートなど）」14.7%などで他の地域に比べて高くなっている。

問10　同居の末子が、この1年間に文化芸術を直接鑑賞したジャンル（複数回答）

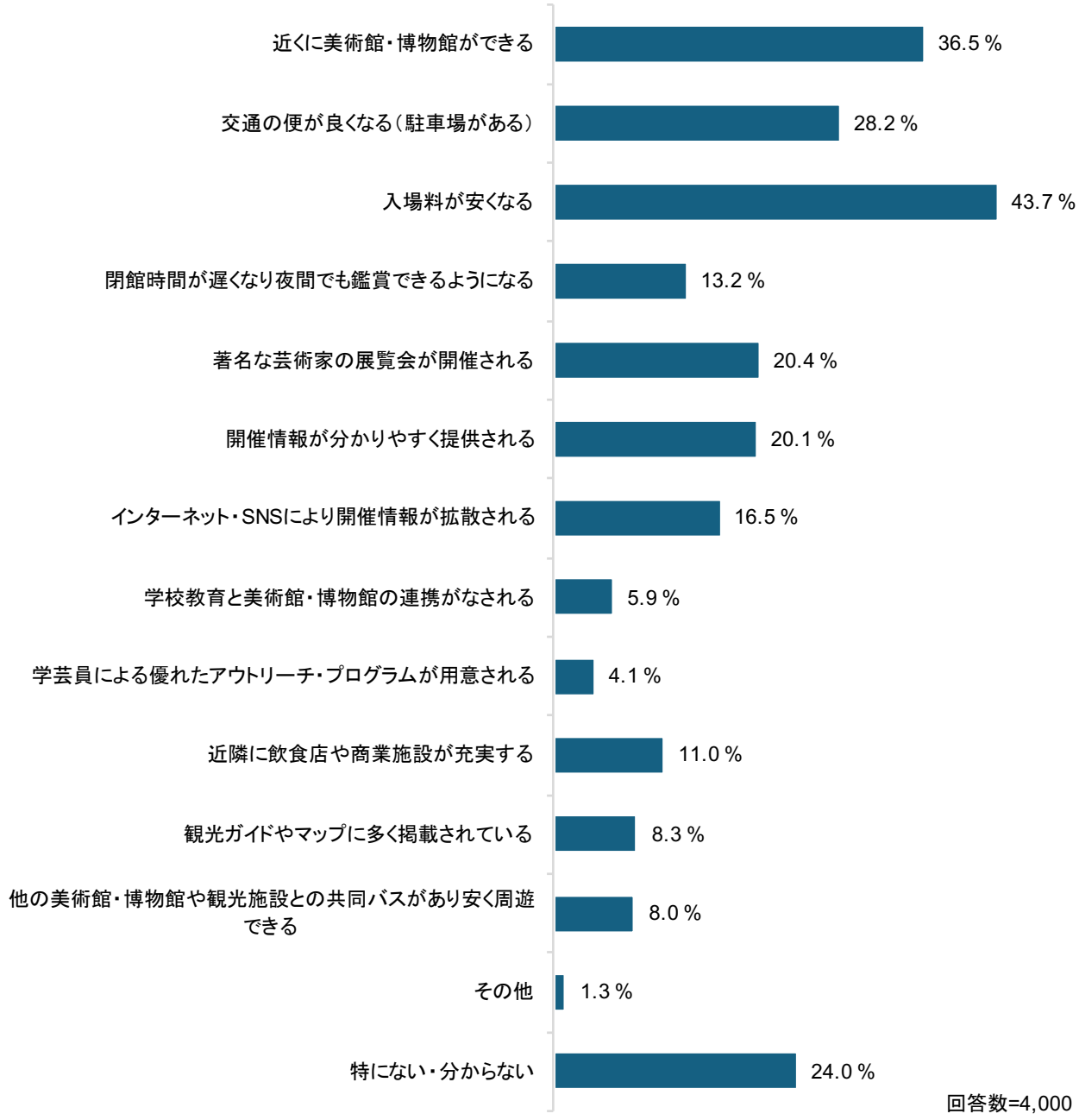
問4-2で「1 未就学児」～「4 高校生」が末子の方におたずねします。あなたと同居しているあなた自身のお子さんの中で「最も下の年齢（末子）のお子さん」は、この1年間に、ホール・劇場、映画館、美術館・博物館などでどのようなジャンルの文化芸術を直接鑑賞しましたか。（○はいくつでも）※ご家族が連れて行った場合に限らず、お子さんだけで鑑賞した場合、学校で鑑賞した場合なども全て教えてください。

		回答数	花展、盆栽展、茶会などの展示、イベント	食文化の展示、イベント	映画（アニメーション映画を除く）	アニメーション	歴史的な建物や遺跡など（神社、仏閣、城郭、古墳、炭鉱跡、庭園などの文化財）	歴史系の博物館、民俗系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	漫画に関するイベント、展示等	文学（小説、詩、短歌、俳句など）に関するイベント、展示等	その他	鑑賞したものはない
全体		722	1.4	2.5	24.1	20.5	7.6	8.2	4.7	3.3	1.7	0.8	38.9
性別	男性	369	0.5	1.6	19.5	21.4	7.6	7.6	3.8	3.5	2.2	0.8	42.5
	女性	353	2.3	3.4	28.9	19.5	7.6	8.8	5.7	3.1	1.1	0.8	35.1
年代	18歳～29歳	20	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0
	30歳～39歳	167	1.2	2.4	19.2	16.2	7.2	6.0	4.8	2.4	3.0	0.0	49.1
	40歳～49歳	342	1.5	2.9	24.9	21.9	6.7	7.6	5.3	3.5	0.9	1.8	35.1
	50歳～59歳	178	1.7	2.2	29.8	23.0	11.2	11.8	4.5	3.9	1.7	0.0	34.8
	60歳～69歳	13	0.0	0.0	7.7	38.5	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	38.5
	70歳以上	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地	福岡地域	193	2.1	2.1	23.8	23.8	7.8	8.8	3.6	4.1	2.1	1.0	38.9
	筑後地域	193	1.6	2.1	21.8	17.6	4.7	5.7	4.1	2.1	2.1	0.0	41.5
	筑豊地域	200	0.5	3.5	26.5	15.0	7.0	8.0	4.5	3.0	0.5	1.0	37.0
	北九州地域	136	1.5	2.2	24.3	27.9	12.5	11.0	7.4	4.4	2.2	1.5	38.2
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	夫婦のみ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	親子同居（2世代同居）	656	1.4	2.3	23.9	20.6	7.5	7.8	4.7	3.5	1.8	0.8	39.9
	親と子と孫（3世代同居）	58	1.7	5.2	25.9	20.7	10.3	12.1	5.2	1.7	0.0	1.7	25.9
	兄弟・姉妹同居	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居及び末子の学齢	同居の子 あり	722	1.4	2.5	24.1	20.5	7.6	8.2	4.7	3.3	1.7	0.8	38.9
	末子の学齢 未就学児	215	0.9	1.9	12.6	12.1	5.1	4.7	3.3	1.9	1.9	0.0	54.9
	末子の学齢 小学生	228	1.8	3.9	20.2	25.0	9.6	12.7	6.6	3.5	2.2	2.6	29.8
	末子の学齢 中学生	152	1.3	1.3	35.5	25.7	6.6	7.2	3.9	3.3	0.7	0.0	34.9
	末子の学齢 高校生	127	1.6	2.4	37.0	20.5	9.4	7.1	4.7	5.5	1.6	0.0	33.1
	末子の学齢 大学以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	同居の子 なし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

同居の子がいる回答者で末子の学齢が未就学児の場合は「鑑賞したものはない」が54.9%で、高校生の場合は33.1%となっており、学齢が低いほど「鑑賞したものはない」の割合が高い。

問11　美術館・博物館へもっと行きやすくなる条件（複数回答）

＜美術館と博物館＞に限定してお聞きします。あなたは、どうすれば美術館や博物館にもっと行きやすくなると思いますか。（〇はいくつでも）



美術館・博物館へもっと行きやすくなるには、「入場料が安くなる」が43.7％で最も高く、次いで「近くに美術館・博物館ができる」（36.5％）、「交通の便が良くなる」（28.2％）と続いている。

問11　美術館・博物館へもっと行きやすくなる条件（複数回答）

＜美術館と博物館＞に限定してお聞きします。あなたは、どうすれば美術館や博物館にもっと行きやすくなると思いますか。（○はいくつでも）

		回答数	近くに美術館・博物館ができる	交通の便が良くなる（駐車場がある）	入場料が安くなる	閉館時間が遅くなり夜間でも鑑賞できるようになる	著名な芸術家の展覧会が開催される	開催情報が分かりやすく提供される	インターネット・SNSにより開催情報が拡散される
全体		4,000	36.5	28.2	43.7	13.2	20.4	20.1	16.5
性別	男性	2,379	35.0	26.3	39.8	12.7	19.5	18.8	15.5
	女性	1,621	38.6	31.1	49.4	14.1	21.6	21.9	18.0
年代	18歳～29歳	108	29.6	19.4	38.9	12.0	15.7	13.9	20.4
	30歳～39歳	407	36.9	28.0	41.0	11.3	19.2	16.5	20.1
	40歳～49歳	839	35.4	26.9	45.8	14.5	19.0	19.5	17.9
	50歳～59歳	1,191	36.6	29.2	43.4	17.4	20.3	19.9	15.6
	60歳～69歳	995	38.5	28.9	45.6	11.6	21.8	21.8	15.8
	70歳以上	460	35.0	28.7	39.8	5.7	22.0	22.4	13.5
居住地	福岡地域	1,000	32.4	28.4	47.0	13.2	20.1	22.0	18.6
	筑後地域	1,000	37.3	27.7	44.7	14.0	21.1	19.8	17.2
	筑豊地域	1,000	41.7	27.7	39.4	12.0	18.0	17.6	15.0
	北九州地域	1,000	34.5	29.1	43.6	13.7	22.2	20.9	15.1
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	36.8	31.0	45.4	16.6	19.6	20.7	17.4
	夫婦のみ	1,194	36.3	28.4	42.2	10.4	22.1	21.9	15.7
	親子同居（2世代同居）	1,740	35.9	27.0	44.1	13.0	19.5	18.7	16.7
	親と子と孫（3世代同居）	156	41.0	25.6	37.2	19.2	23.7	21.2	17.3
	兄弟・姉妹同居	46	43.5	28.3	47.8	10.9	17.4	17.4	10.9
同居の子の有無及び同居の子の学齢	同居の子 あり	1,309	36.0	25.1	44.1	12.8	19.1	18.3	17.6
	末子の学齢 未就学児	215	36.7	25.1	40.5	9.3	14.4	15.8	18.6
	末子の学齢 小学生	228	36.8	21.1	43.9	8.8	18.4	22.4	18.4
	末子の学齢 中学生	152	32.2	21.7	41.4	13.8	19.7	17.8	13.2
	末子の学齢 高校生	127	37.8	27.6	46.5	17.3	18.9	17.3	16.5
	末子の学齢 大学以上	587	35.9	27.1	45.7	14.3	21.0	17.9	18.2
	同居の子 なし	682	37.4	30.5	43.4	15.1	20.5	19.6	14.7

性別で見ると、女性では「入場料が安くなる」が49.4%で、男性の回答割合（39.8%）よりも高くなっている。
年代別に見ると、18歳～29歳では「インターネット・SNSにより開催情報が拡散される」が20.4%で、年代が低いほど回答割合が高くなる傾向が見られる。

問11　美術館・博物館へもっと行きやすくなる条件（複数回答）

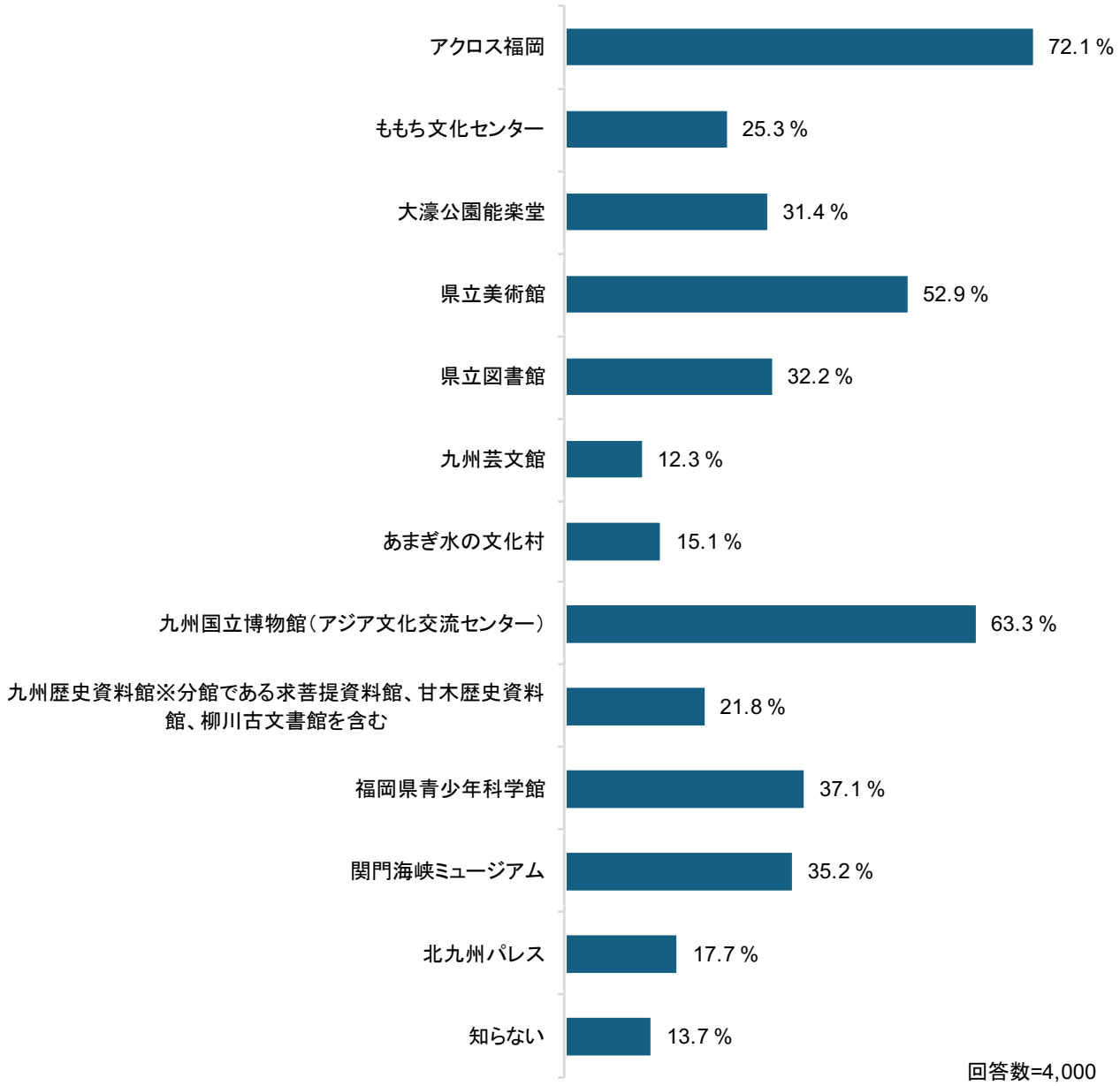
＜美術館と博物館＞に限定してお聞きします。あなたは、どうすれば美術館や博物館にもっと行きやすくなると思いますか。（○はいくつでも）

		回答数	学校教育と美術館・博物館の連携がなされる	学芸員による優れたアウトリーチ・プログラムが用意される	近隣に飲食店や商業施設が充実する	観光ガイドやマップに多く掲載されている	他の美術館・博物館や観光施設との共同バスがあり安く周遊できる	その他	特にない・分からない
全体		4,000	5.9	4.1	11.0	8.3	8.0	1.3	24.0
性別	男性	2,379	5.0	4.6	9.7	8.6	5.5	1.1	26.5
	女性	1,621	7.3	3.3	13.0	8.0	11.7	1.7	20.4
年代	18歳～29歳	108	2.8	4.6	16.7	6.5	5.6	0.9	28.7
	30歳～39歳	407	8.6	2.5	8.8	6.1	4.9	2.2	29.0
	40歳～49歳	839	11.2	4.4	12.8	8.3	8.2	1.5	23.6
	50歳～59歳	1,191	5.3	3.6	11.5	8.1	8.4	1.3	24.0
	60歳～69歳	995	2.9	4.3	11.5	9.9	7.5	0.9	21.1
	70歳以上	460	2.8	5.4	6.3	7.8	11.1	1.1	25.7
居住地	福岡地域	1,000	6.1	4.1	8.1	7.5	7.6	1.9	22.2
	筑後地域	1,000	6.8	4.9	10.8	8.1	7.7	1.1	24.0
	筑豊地域	1,000	6.9	3.0	12.4	9.0	7.8	1.0	27.1
	北九州地域	1,000	3.9	4.3	12.8	8.7	9.0	1.2	22.8
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	2.1	3.8	10.3	9.0	9.7	1.5	23.7
	夫婦のみ	1,194	3.6	4.3	11.0	9.0	8.0	1.1	23.1
	親子同居（2世代同居）	1,740	8.9	4.0	11.0	7.5	7.1	1.4	24.4
	親と子と孫（3世代同居）	156	11.5	3.2	13.5	9.0	8.3	0.6	26.3
	兄弟・姉妹同居	46	4.3	10.9	8.7	8.7	8.7	2.2	26.1
及び末子の学齢 同居の子の有無	同居の子 あり	1,309	11.8	4.4	10.8	8.2	6.8	1.3	24.4
	末子の学齢 未就学児	215	17.7	5.1	11.6	8.4	7.4	2.8	32.6
	末子の学齢 小学生	228	25.4	5.3	9.2	6.6	5.7	2.2	22.4
	末子の学齢 中学生	152	14.5	6.6	13.8	6.6	5.9	0.0	23.0
	末子の学齢 高校生	127	12.6	3.9	15.0	9.4	8.7	1.6	20.5
	末子の学齢 大学以上	587	3.4	3.4	9.5	8.9	6.8	0.7	23.3
	同居の子 なし	682	3.4	3.4	12.3	6.7	8.5	1.5	25.4

居住地別に見ると、筑豊地域では「近くに美術館・博物館ができる」が41.7%で、「入場料が安くなる」（39.4%）を上回って最も高くなっている。
同居の子がいる回答者で末子の学齢が未就学児の場合は「特にない・わかfらない」が32.8%、小学生の場合は「学校教育と美術館・博物館の連携がなされる」が25.4%で他よりも高くなっている。

問12　福岡県立文化施設の認知（複数回答）

以下の福岡県立の文化施設のうち、あなたが知っているものはどれですか。（〇はいくつでも）



福岡県立の文化施設の認知率は、「アクロス福岡」が72.1%で最も高く、次いで「九州国立博物館」（63.3%）、「県立美術館」（52.9%）、「福岡県青少年科学館」（37.1%）、「関門海峡ミュージアム」（35.2%）と続いている。全ての施設を知らない非認知率は13.7%となっている。

問12　福岡県立文化施設の認知（複数回答）

以下の福岡県立の文化施設のうち、あなたが知っているものはどれですか。（○はいくつでも）

		回答数	アクロス福岡	ももち文化センター	大濠公園能楽堂	県立美術館	県立図書館	九州芸文館	あまぎ水の文化村
全体		4,000	72.1	25.3	31.4	52.9	32.2	12.3	15.1
性別	男性	2,379	70.3	24.3	30.3	51.9	31.8	13.5	15.8
	女性	1,621	74.6	26.7	32.9	54.3	32.7	10.5	14.2
年代	18歳～29歳	108	64.8	20.4	22.2	39.8	31.5	5.6	6.5
	30歳～39歳	407	67.6	25.3	21.9	40.3	30.0	7.4	10.1
	40歳～49歳	839	72.1	26.7	30.3	47.8	30.3	14.8	14.3
	50歳～59歳	1,191	75.2	25.9	31.9	54.8	34.7	11.7	15.1
	60歳～69歳	995	72.5	25.7	34.6	57.5	31.3	13.7	18.8
	70歳以上	460	68.5	20.9	35.9	61.3	33.0	12.0	15.2
居住地	福岡地域	1,000	84.7	39.2	51.1	65.8	47.6	9.0	15.3
	筑後地域	1,000	72.2	19.6	27.4	52.2	28.6	24.3	24.4
	筑豊地域	1,000	67.3	23.9	24.9	47.2	27.2	7.4	14.2
	北九州地域	1,000	64.0	18.3	22.2	46.3	25.2	8.3	6.6
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	70.7	25.4	32.5	48.8	32.0	9.7	10.3
	夫婦のみ	1,194	71.3	24.6	34.5	58.1	31.9	13.3	16.8
	親子同居（2世代同居）	1,740	72.7	25.3	29.1	51.4	32.1	12.6	16.6
	親と子と孫（3世代同居）	156	78.2	25.6	33.3	55.1	34.6	14.7	18.6
	兄弟・姉妹同居	46	71.7	32.6	23.9	50.0	32.6	6.5	2.2
及び末子の学齢 同居の子の有無	同居の子 あり	1,309	72.3	26.3	28.3	51.7	32.6	12.1	19.3
	末子の学齢 未就学児	215	71.2	27.4	22.8	42.3	30.7	10.2	19.5
	末子の学齢 小学生	228	67.5	27.2	26.8	47.4	28.9	11.8	18.4
	末子の学齢 中学生	152	69.7	23.7	25.7	46.7	32.2	11.2	13.8
	末子の学齢 高校生	127	75.6	32.3	31.5	59.8	36.2	14.2	16.5
	末子の学齢 大学以上	587	74.4	24.9	31.0	56.4	34.1	12.6	21.5
	同居の子 なし	682	74.6	24.2	30.5	50.7	31.8	13.8	10.1

年代別に見ると、18歳～29歳は「知らない」が22.2%で他の年代よりも高く、「知らない」の回答割合は年代が低いほど高い傾向が見られる。「県立美術館」「大濠公園能楽堂」「関門海峡ミュージアム」など、年代が高いほど認知率も高い傾向が見られる。

問12　福岡県立文化施設の認知（複数回答）

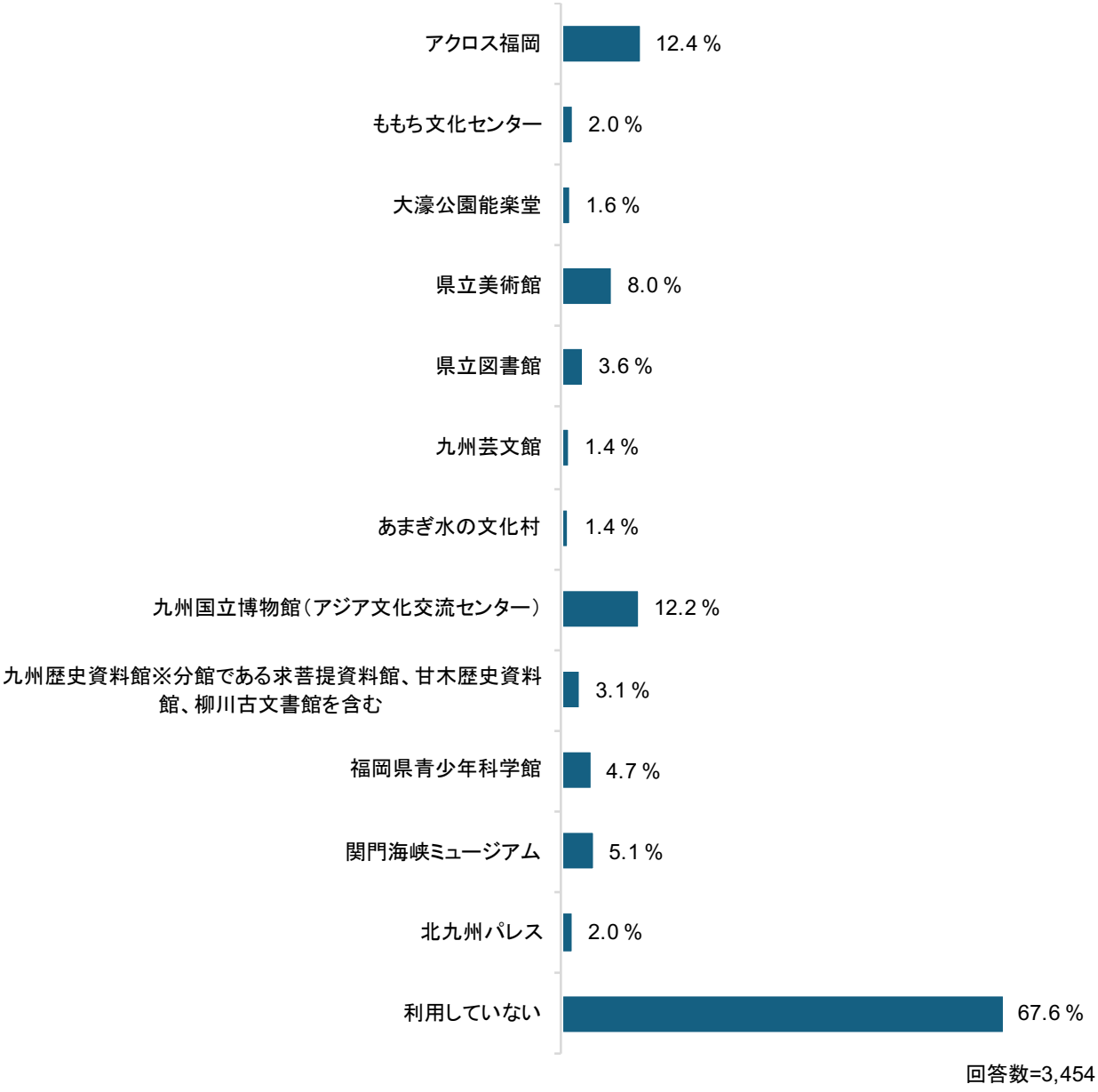
以下の福岡県立の文化施設のうち、あなたが知っているものはどれですか。（○はいくつでも）

		回答数	九州国立博物館（アジア文化交流センター）	九州歴史資料館※分館である求菩提資料館、甘木歴史資料館、柳川古文書館を含む	福岡県青少年科学館	関門海峡ミュージアム	北九州パレス	知らない
全体		4,000	63.3	21.8	37.1	35.2	17.7	13.7
性別	男性	2,379	63.2	23.7	33.7	34.4	18.2	13.7
	女性	1,621	63.5	19.1	42.0	36.4	16.8	13.6
年代	18歳～29歳	108	47.2	14.8	31.5	26.9	13.0	22.2
	30歳～39歳	407	51.8	13.8	37.3	27.8	10.1	19.7
	40歳～49歳	839	59.4	19.1	40.9	34.1	15.4	13.8
	50歳～59歳	1,191	64.5	23.8	39.7	36.7	18.1	13.3
	60歳～69歳	995	67.5	24.1	34.9	36.6	19.4	12.0
	70歳以上	460	72.2	25.2	28.9	39.1	24.8	10.7
居住地	福岡地域	1,000	70.8	19.0	46.7	24.8	6.1	8.1
	筑後地域	1,000	63.2	29.0	56.7	18.9	3.6	13.3
	筑豊地域	1,000	60.6	21.1	28.5	35.1	11.2	19.3
	北九州地域	1,000	58.6	18.1	16.3	62.1	49.7	13.9
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	58.4	19.6	32.1	30.7	15.2	15.3
	夫婦のみ	1,194	67.5	24.0	34.1	38.3	21.4	13.0
	親子同居（2世代同居）	1,740	63.4	21.4	41.1	36.0	16.4	13.2
	親と子と孫（3世代同居）	156	64.7	23.7	44.9	31.4	16.0	11.5
	兄弟・姉妹同居	46	47.8	17.4	26.1	28.3	17.4	17.4
及び末子の学齢	同居の子 あり	1,309	63.3	21.4	42.9	38.0	16.9	13.1
	末子の学齢 未就学児	215	54.4	18.6	38.6	34.0	13.5	18.6
	末子の学齢 小学生	228	60.5	17.1	49.1	35.5	12.3	14.9
	末子の学齢 中学生	152	61.8	25.0	42.8	30.9	11.8	12.5
	末子の学齢 高校生	127	67.7	24.4	49.6	44.1	22.0	11.8
	末子の学齢 大学以上	587	67.0	22.5	40.7	41.1	20.1	10.7
	同居の子 なし	682	61.9	21.3	36.8	29.9	15.4	13.9

居住地別に見ると、北九州地域は「関門海峡ミュージアム」（62.1%）と「北九州パレス」（49.7%）、筑後地域では「福岡県青少年科学館」（56.7%）、福岡地域では「大濠公園能楽堂」（51.1%）と、それぞれ他地域に比べて認知率が高くなっている。筑豊地域では他地域に比べて認知率の高い施設がなく、「知らない」が19.3%と他の地域に比べて高くなっている。

問13　この1年で利用した福岡県立文化施設（複数回答）

＜知っている福岡県立の文化施設＞のうち、この1年間に文化芸術の鑑賞や活動のために利用したことがあるものはどれですか。（〇はいくつでも）



福岡県立の文化施設を知っている回答者（3,454件）に、この1年で利用した福岡県立の文化施設について聞いたところ、「利用していない」が67.6%で最も高くなっている。利用した回答がある中では「アクロス福岡」（12.4%）、次いで「九州国立博物館」（12.2%） で、その他の施設の利用は1割未満となっている。

問13 この1年で利用した福岡県立文化施設（複数回答）

＜知っている福岡県立の文化施設＞のうち、この1年間に文化芸術の鑑賞や活動のために利用したことがあるものはどれですか。（○はいくつでも）

		回答数	アクロス福岡	ももち文化センター	大濠公園能楽堂	県立美術館	県立図書館	九州芸文館	あまぎ水の文化村
全体		3,454	12.4	2.0	1.6	8.0	3.6	1.4	1.4
性別	男性	2,053	12.9	1.9	2.0	8.0	4.1	1.6	1.6
	女性	1,401	11.7	2.1	1.0	7.9	2.7	1.3	1.3
年代	18歳～29歳	84	14.3	2.4	4.8	8.3	2.4	0.0	3.6
	30歳～39歳	327	12.8	1.8	2.4	7.3	4.9	0.3	1.8
	40歳～49歳	723	11.3	2.9	2.2	8.6	3.5	1.9	1.4
	50歳～59歳	1,033	11.7	2.0	1.2	7.1	3.4	1.3	0.8
	60歳～69歳	876	13.2	1.5	1.3	8.0	3.5	1.4	1.7
	70歳以上	411	13.4	1.7	1.2	9.5	3.4	2.4	1.9
居住地	福岡地域	919	24.4	4.7	3.0	10.9	6.6	0.5	0.9
	筑後地域	867	9.2	0.9	1.2	6.7	2.7	3.9	2.7
	筑豊地域	807	10.0	1.7	1.2	8.1	2.1	0.6	1.6
	北九州地域	861	5.0	0.6	0.9	6.0	2.6	0.7	0.7
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	690	14.9	2.8	1.9	8.7	3.8	0.6	1.4
	夫婦のみ	1,039	12.6	1.6	1.3	8.5	4.0	2.0	1.7
	親子同居（2世代同居）	1,511	11.6	2.0	1.7	7.3	2.8	1.6	1.3
	親と子と孫（3世代同居）	138	6.5	2.2	2.2	9.4	8.0	0.7	1.4
	兄弟・姉妹同居	38	13.2	2.6	2.6	2.6	2.6	0.0	0.0
及び末の子の学齢 同居の子	同居の子 あり	1,138	11.2	2.1	1.8	8.3	3.7	1.4	1.9
	末子の学齢 未就学児	175	8.6	1.1	4.0	6.3	4.0	0.6	4.0
	末子の学齢 小学生	194	13.9	3.1	2.1	12.4	6.7	0.5	3.1
	末子の学齢 中学生	133	10.5	0.8	0.0	6.8	2.3	1.5	1.5
	末子の学齢 高校生	112	10.7	2.7	1.8	10.7	2.7	0.0	0.0
	末子の学齢 大学以上	524	11.5	2.3	1.5	7.4	3.1	2.3	1.3
	同居の子 なし	587	11.2	1.7	1.4	5.5	2.2	1.5	0.0

年代別に見ると、50歳～59歳は「利用していない」が71.7%と他の年代よりも高くなっている。
居住地別に見ると、福岡地域では「アクロス福岡」が24.4%と他の地域に比べて高くなっている。また、「利用していない」が福岡地域では61.2%だが北九州地域では72.6%と回答の割合に差が見られる。

問13　この1年で利用した福岡県立文化施設（複数回答）

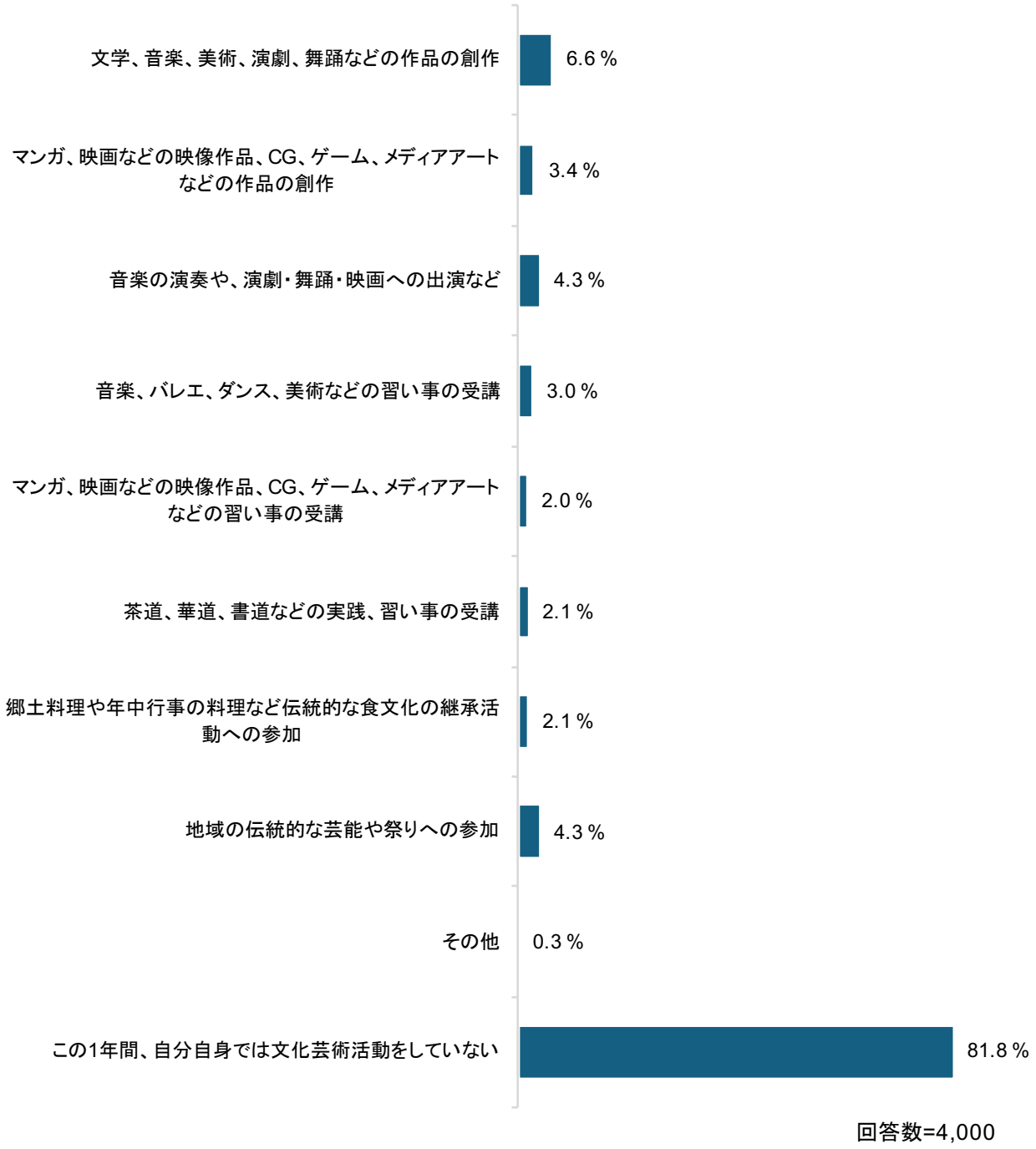
＜知っている福岡県立の文化施設＞のうち、この1年間に文化芸術の鑑賞や活動のために利用したことがあるものはどれですか。（○はいくつでも）

		回答数	九州国立博物館（アジア文化交流センター）	九州歴史資料館※分館である求菩提資料館、甘木歴史資料館、柳川古文書館を含む	福岡県青少年科学館	関門海峡ミュージアム	北九州パレス	利用していない
全体		3,454	12.2	3.1	4.7	5.1	2.0	67.6
性別	男性	2,053	13.5	3.8	4.3	5.5	2.1	67.2
	女性	1,401	10.2	2.2	5.4	4.6	1.9	68.1
年代	18歳～29歳	84	10.7	3.6	6.0	7.1	1.2	63.1
	30歳～39歳	327	12.5	2.4	8.3	4.6	2.4	65.1
	40歳～49歳	723	9.4	2.6	6.6	5.0	1.9	66.3
	50歳～59歳	1,033	10.6	2.7	3.4	3.4	1.4	71.7
	60歳～69歳	876	13.0	3.8	3.8	5.6	1.3	69.6
	70歳以上	411	19.5	4.1	3.9	8.8	5.1	57.9
居住地	福岡地域	919	13.7	2.2	5.3	2.1	0.3	61.2
	筑後地域	867	12.7	5.9	9.6	1.4	0.5	66.8
	筑豊地域	807	14.1	2.4	3.1	4.2	1.0	70.4
	北九州地域	861	8.2	2.1	0.8	13.0	6.3	72.6
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	690	12.3	3.0	2.5	5.1	1.3	68.8
	夫婦のみ	1,039	13.7	4.2	3.8	7.3	3.1	65.2
	親子同居（2世代同居）	1,511	11.3	2.4	5.8	3.8	1.6	68.5
	親と子と孫（3世代同居）	138	12.3	3.6	10.1	2.9	2.9	67.4
	兄弟・姉妹同居	38	13.2	2.6	0.0	0.0	0.0	71.1
及び末子の学齢 同居の子の有無	同居の子 あり	1,138	11.3	2.9	7.9	4.7	1.7	66.2
	末子の学齢 未就学児	175	6.3	2.3	10.9	6.3	4.0	68.6
	末子の学齢 小学生	194	14.9	3.6	22.2	7.7	0.5	45.9
	末子の学齢 中学生	133	8.3	3.8	5.3	3.8	0.8	70.7
	末子の学齢 高校生	112	8.0	1.8	3.6	1.8	0.9	69.6
	末子の学齢 大学以上	524	13.2	2.9	3.2	3.8	1.7	71.0
	同居の子 なし	587	11.1	1.7	2.9	2.2	1.5	73.1

同居の子がいる回答者で末子の学齢が小学生の場合は「福岡県青少年科学館」（22.2%）、「九州国立博物館」（14.9%）、「アクロス福岡」（13.9%）、「県立美術館」（12.4%）など、利用した回答の割合が他よりも高い傾向が見られる。

問14　この1年間に自ら実践した文化芸術活動のジャンル（複数回答）

この1年間に、鑑賞ではなく、自ら文化芸術活動の実践（創作や出演、習い事、祭りや体験活動へ参加など）をしたジャンルは何ですか。（○はいくつでも）



回答数=4,000

この1年間に自ら実践した文化芸術活動のジャンルを聞いたところ、「この1年間、自分自身では文化芸術活動をしていない」が81.8%と最も高くなっている。活動があったジャンルでは「文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作」が6.6%となっているが、いずれも1割に満たない。「活動をしていない」を除いた、実践した割合は18.2%となっている。

問14　この1年間に自ら実践した文化芸術活動のジャンル（複数回答）

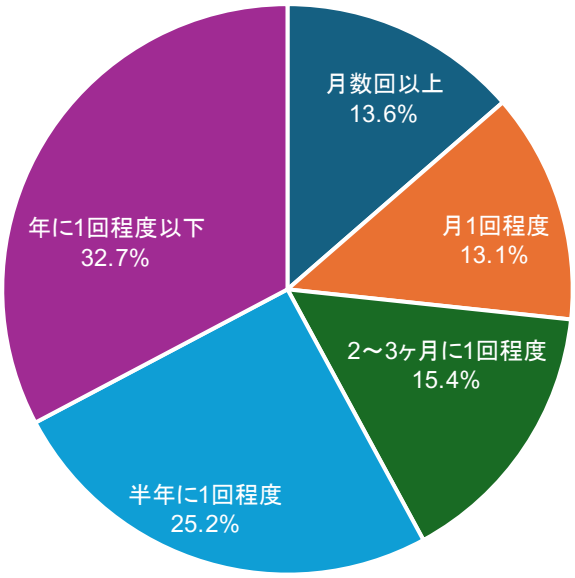
この1年間に、鑑賞ではなく、自ら文化芸術活動の実践（創作や出演、習い事、祭りや体験活動へ参加など）をしたジャンルは何ですか。（○はいくつでも）

		回答数	文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作	マンガ、映画などの映像作品、CG、ゲーム、メディアアートなどの作品の創作	音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など	音楽、バレエ、ダンス、美術などの習い事の受講	マンガ、映画などの映像作品、CG、ゲーム、メディアアートなどの習い事の受講	茶道、華道、書道などの実践、習い事の受講	郷土料理や年中行事の料理など伝統的な食文化の継承活動への参加	地域の伝統的な芸能や祭りへの参加	その他	この1年間、自分自身では文化芸術活動をしていない
全体		4,000	6.6	3.4	4.3	3.0	2.0	2.1	2.1	4.3	0.3	81.8
性別	男性	2,379	6.8	3.7	4.7	2.1	2.3	1.4	2.2	4.5	0.3	82.1
	女性	1,621	6.4	2.8	3.8	4.1	1.5	3.1	2.0	4.1	0.4	81.5
年代	18歳～29歳	108	13.9	11.1	12.0	7.4	4.6	3.7	4.6	1.9	0.9	66.7
	30歳～39歳	407	7.4	5.9	3.7	3.7	2.2	2.5	2.2	3.9	0.0	81.1
	40歳～49歳	839	7.3	6.6	4.8	5.1	3.9	2.3	2.9	5.6	0.4	77.1
	50歳～59歳	1,191	7.2	2.6	3.4	2.1	1.7	1.3	2.3	2.9	0.3	84.1
	60歳～69歳	995	5.3	1.2	4.3	1.5	1.1	2.2	1.5	4.8	0.2	84.3
	70歳以上	460	4.1	0.0	4.3	2.6	0.4	3.0	1.1	5.4	0.9	83.3
居住地	福岡地域	1,000	6.7	4.2	4.4	3.7	2.4	1.7	2.3	2.7	0.6	81.2
	筑後地域	1,000	6.9	3.8	4.0	2.5	1.9	2.6	2.0	4.8	0.3	81.6
	筑豊地域	1,000	7.0	2.7	4.0	2.6	2.3	1.9	2.3	5.9	0.0	82.3
	北九州地域	1,000	5.8	2.7	4.8	3.0	1.4	2.3	1.9	3.8	0.4	82.2
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	6.7	3.6	3.4	2.3	1.5	1.2	2.1	1.6	0.4	85.2
	夫婦のみ	1,194	6.4	2.2	4.9	2.1	1.0	2.9	2.0	4.8	0.3	81.2
	親子同居（2世代同居）	1,740	6.7	3.9	4.4	3.8	3.0	2.0	2.1	4.9	0.3	80.7
	親と子と孫（3世代同居）	156	9.6	4.5	3.8	3.8	1.3	1.9	3.2	8.3	0.6	79.5
	兄弟・姉妹同居	46	4.3	4.3	2.2	2.2	0.0	2.2	2.2	4.3	0.0	82.6
同居の子の有無及び末子の学齢	同居の子 あり	1,309	6.3	3.8	4.7	4.4	3.3	2.2	2.2	5.7	0.2	80.3
	末子の学齢 未就学児	215	4.2	5.1	6.0	3.7	4.2	2.8	1.4	6.5	0.0	79.5
	末子の学齢 小学生	228	5.3	5.7	4.4	7.5	4.8	3.5	2.6	9.2	0.0	74.1
	末子の学齢 中学生	152	11.2	4.6	9.2	8.6	6.6	0.7	3.3	3.3	0.0	75.7
	末子の学齢 高校生	127	9.4	5.5	1.6	3.1	0.8	1.6	3.1	5.5	0.0	81.9
	末子の学齢 大学以上	587	5.5	2.0	3.9	2.6	2.0	2.0	1.9	4.6	0.5	83.8
	同居の子 なし	682	7.5	4.3	3.4	2.5	1.9	1.6	2.2	4.1	0.4	82.0

世代別に見ると、18歳～29歳は「文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作」（13.9%）、「音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など」（12.0%）、「マンガ、映画などの映像作品、CG、ゲーム、メディアアートなどの作品の創作」が11.1%で他の世代よりも高い。また、「この1年間、自分自身では文化芸術活動をしていない」（66.7%）は他の世代よりも低い。

問14-1　この1年間に自ら実践した文化芸術活動の頻度（単一回答）

問 14 で「1. 文学、音楽、美術、演劇、舞踏などの作品の創作 」～「 9. その他」の方におたずねします。あなたは、前問で提示したような創作や出演、習い事、地域の芸能や祭りへの参加などの活動を、この1年間でどの程度しましたか。



回答数=727

この1年間に自ら実践した文化芸術活動の頻度は、「年に1回程度以下」が32.7%、「半年に1回程度」が25.2%、「2～3ヶ月に1回程度」が15.4%で、「月1回程度」と「月数回以上」の回答を合わせた高頻度の割合が26.7%、月1回に満たない低頻度者の割合(73.3%)が高くなっている。

問14-1 この1年間に自ら実践した文化芸術活動の頻度（単一回答）

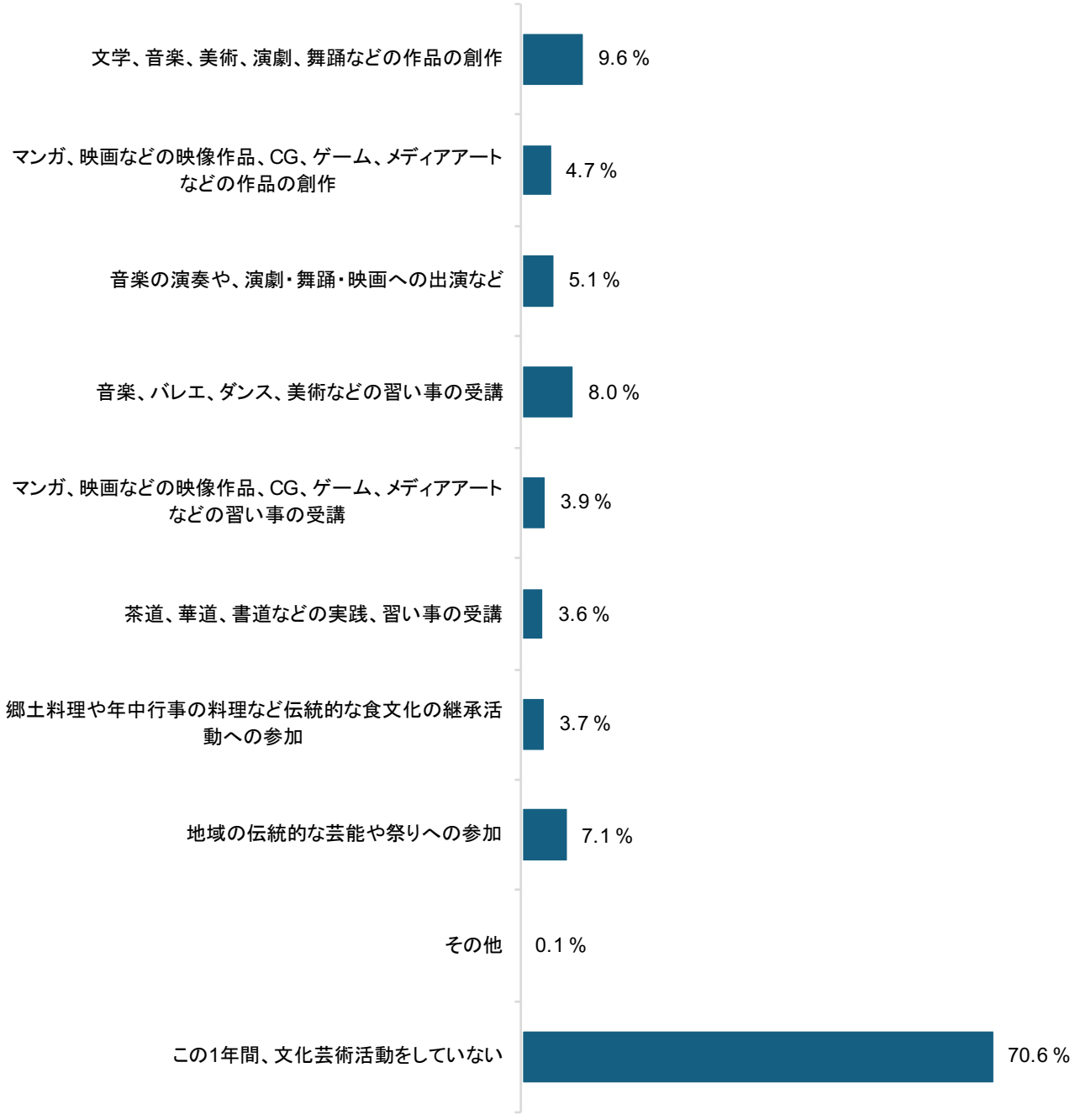
問 14 で「1. 文学、音楽、美術、演劇、舞踏などの作品の創作 」～「 9. その他」の方におたずねします。あなたは、前問で提示したような創作や出演、習い事、地域の芸能や祭りへの参加などの活動を、この1年間でどの程度しましたか。

		回答数	月数回以上	月1回程度	2～3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度以下
全体		727	13.6	13.1	15.4	25.2	32.7
性別	男性	427	10.1	13.1	16.6	27.4	32.8
	女性	300	18.7	13.0	13.7	22.0	32.7
年代	18歳～29歳	36	16.7	11.1	16.7	16.7	38.9
	30歳～39歳	77	11.7	10.4	14.3	26.0	37.7
	40歳～49歳	192	14.1	18.8	13.0	23.4	30.7
	50歳～59歳	189	10.1	10.6	17.5	27.0	34.9
	60歳～69歳	156	12.8	12.8	13.5	31.4	29.5
	70歳以上	77	23.4	9.1	20.8	15.6	31.2
居住地	福岡地域	188	15.4	12.2	18.1	24.5	29.8
	筑後地域	184	14.1	11.4	12.5	25.0	37.0
	筑豊地域	177	13.6	14.1	15.3	26.0	31.1
	北九州地域	178	11.2	14.6	15.7	25.3	33.1
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	121	15.7	16.5	13.2	21.5	33.1
	夫婦のみ	225	15.1	14.2	16.9	25.8	28.0
	親子同居（2世代同居）	335	11.9	11.3	15.8	26.9	34.0
	親と子と孫（3世代同居）	32	12.5	6.3	12.5	21.9	46.9
	兄弟・姉妹同居	8	12.5	25.0	0.0	12.5	50.0
及び末子の学齢 同居の子の有無	同居の子 あり	258	8.1	10.1	17.1	26.4	38.4
	末子の学齢 未就学児	44	11.4	13.6	6.8	31.8	36.4
	末子の学齢 小学生	59	8.5	11.9	15.3	22.0	42.4
	末子の学齢 中学生	37	5.4	10.8	16.2	29.7	37.8
	末子の学齢 高校生	23	8.7	8.7	26.1	26.1	30.4
	末子の学齢 大学以上	95	7.4	7.4	21.1	25.3	38.9
	同居の子 なし	123	20.3	13.8	11.4	25.2	29.3

年代別に見ると、70歳以上は「月数回以上」が23.4%と他の年代よりも高くなっている。
同居の子の有無の区別で見ると、「同居の子 なし」は「月数回以上」が20.3%で「同居の子 あり」の8.1%に比べて割合が高い。逆に「同居の子 あり」は「年に1回程度以下」が38.4%で「同居の子 なし」の29.3%に比べて割合が高い。

問15　同居の末子が、学校以外でこの1年間に行った文化芸術活動（複数回答）

問4-2で「1. 未就学児」～「4. 高校生」が末子の方におたずねします。あなたと同居しているあなた自身のお子さんの中で「最も下の年齢（末子）のお子さん」は、学校以外でこの1年間に、どのような内容の文化芸術活動をしましたか。（○はいくつでも）



回答数=722

同居の末子が、学校以外でこの1年間に行った文化芸術活動について聞いたところ、「この1年間、文化芸術活動をしていない」が70.6%で最も高くなっている。活動があったジャンルで「文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作」が9.6%となっているが、いずれも1割に満たない。「活動をしていない」を除いた、実践した割合は29.4%となっている。

問15　同居の末子が、学校以外でこの1年間に行った文化芸術活動（複数回答）

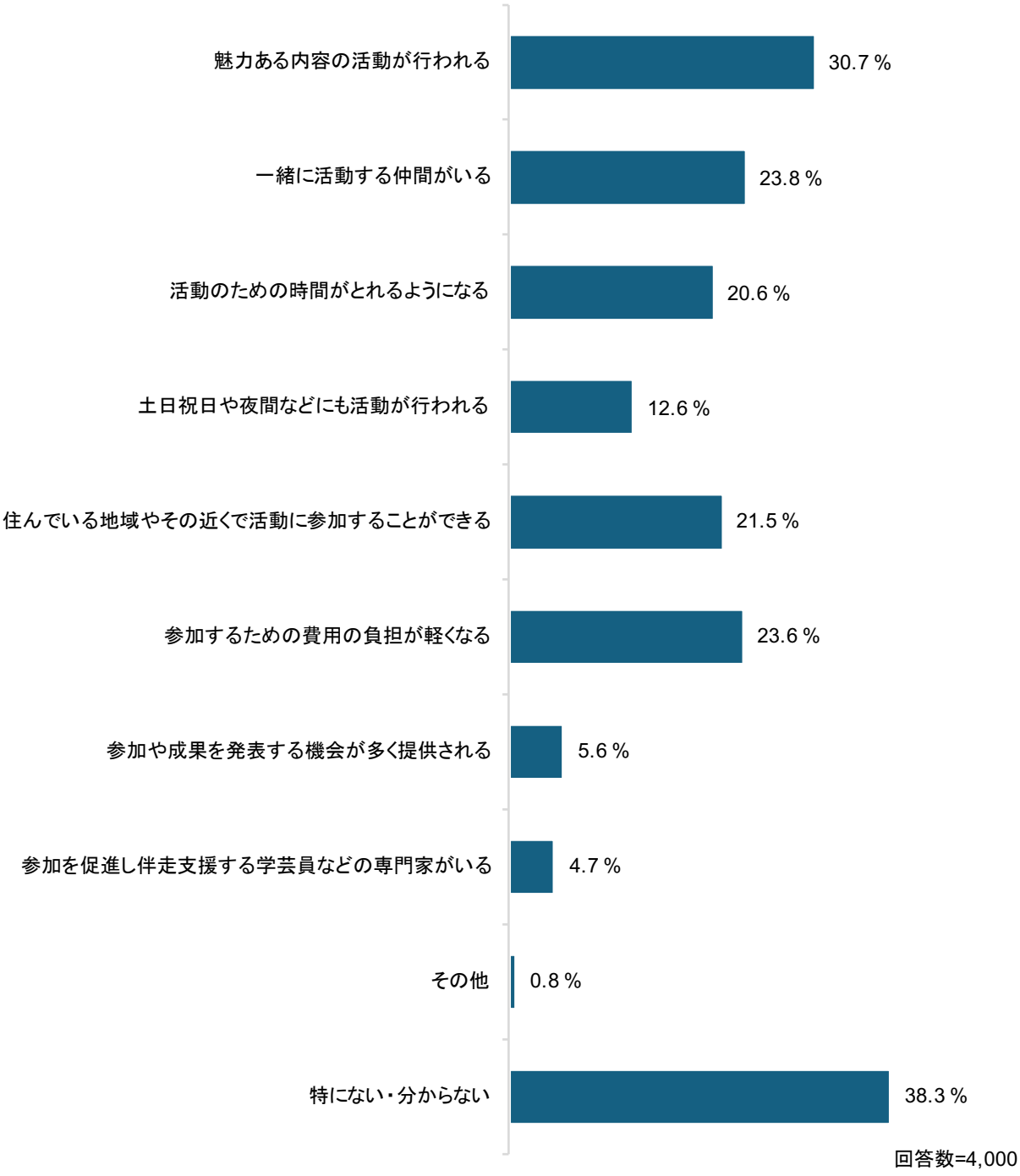
問4-2で「1. 未就学児」～「4. 高校生」が末子の方におたずねします。あなたと同居しているあなた自身のお子さんの中で「最も下の年齢（末子）のお子さん」は、学校以外でこの1年間に、どのような内容の文化芸術活動をしましたか。（○はいくつでも）

		回答数	文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作	マンガ、映画などの映像作品、CG、ゲーム、メディアアートなどの作品の創作	音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など	音楽、バレエ、ダンス、美術などの習い事の受講	マンガ、映画などの映像作品、CG、ゲーム、メディアアートなどの習い事の受講	茶道、華道、書道などの実践、習い事の受講	郷土料理や年中行事の料理など伝統的な食文化の継承活動への参加	地域の伝統的な芸能や祭りへの参加	その他	この1年間、文化芸術活動をしていない
全体		722	9.6	4.7	5.1	8.0	3.9	3.6	3.7	7.1	0.1	70.6
性別	男性	369	10.0	6.8	6.2	8.4	5.1	3.5	4.9	7.3	0.0	68.0
	女性	353	9.1	2.5	4.0	7.6	2.5	3.7	2.5	6.8	0.3	73.4
年代	18歳～29歳	20	0.0	0.0	0.0	15.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	80.0
	30歳～39歳	167	5.4	1.2	3.6	5.4	3.0	3.0	2.4	4.2	0.0	80.2
	40歳～49歳	342	11.4	6.4	5.6	7.0	4.7	4.4	5.0	7.6	0.3	68.4
	50歳～59歳	178	10.7	4.5	6.2	11.8	2.8	2.2	2.2	10.1	0.0	65.2
	60歳～69歳	13	15.4	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.2
	70歳以上	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
居住地	福岡地域	193	8.8	8.8	4.7	6.7	5.2	3.6	4.7	3.1	0.0	71.5
	筑後地域	193	9.3	2.6	6.2	11.4	4.7	5.7	4.1	9.3	0.0	66.8
	筑豊地域	200	12.0	3.0	4.5	7.0	4.0	3.0	4.0	7.5	0.5	72.5
	北九州地域	136	7.4	4.4	5.1	6.6	0.7	1.5	1.5	8.8	0.0	72.1
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	夫婦のみ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	親子同居（2世代同居）	656	9.3	4.7	5.3	8.2	3.7	3.5	3.8	6.7	0.2	70.7
	親と子と孫（3世代同居）	58	12.1	3.4	1.7	6.9	3.4	5.2	3.4	12.1	0.0	69.0
	兄弟・姉妹同居	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居及び末子の学齢	同居の子 あり	722	9.6	4.7	5.1	8.0	3.9	3.6	3.7	7.1	0.1	70.6
	末子の学齢 未就学児	215	4.7	2.3	1.9	5.6	3.7	2.8	3.3	5.1	0.0	81.4
	末子の学齢 小学生	228	11.4	5.3	5.3	10.5	3.9	4.8	4.8	9.6	0.0	64.5
	末子の学齢 中学生	152	11.2	5.3	5.9	9.2	4.6	4.6	3.3	5.3	0.7	69.1
	末子の学齢 高校生	127	12.6	7.1	9.4	6.3	3.1	1.6	3.1	7.9	0.0	65.4
	末子の学齢 大学以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	同居の子 なし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

年代別、世帯構成別に見ると、それぞれの回答の母数の差が大きいために比較が難しい。
居住地別に見ると、筑豊地域は「文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作」が12.0%、筑後地域は「音楽、バレエ、ダンス、美術などの習い事の受講」が11.4%と他の地域に比べて若干高くなっている。

問16　文化芸術活動に参加しやすくなる条件（複数回答）

あなたは、どうすれば文化芸術活動（鑑賞以外）にもっと参加しやすくなると思いますか。（○はいくつでも）



どうすれば文化芸術活動に参加しやすくなると思うか聞いたところ、「特にない・分からない」が38.3%で最も高くなっている。次いで「魅力ある内容の活動が行われる」（30.7%）、「一緒に活動する仲間がいる」（23.8%）、「参加するための費用の負担が軽くなる」（23.6%）と続いている。

問16　文化芸術活動に参加しやすくなる条件（複数回答）

あなたは、どうすれば文化芸術活動（鑑賞以外）にもっと参加しやすくなると思いますか。（○はいくつでも）

		回答数	魅力ある内容の活動が行われる	一緒に活動する仲間がいる	活動のための時間がとれるようになる	土日祝日や夜間などにも活動が行われる	住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる	参加するための費用の負担が軽くなる
全体		4,000	30.7	23.8	20.6	12.6	21.5	23.6
性別	男性	2,379	29.0	23.4	17.8	13.2	18.7	18.2
	女性	1,621	33.3	24.5	24.8	11.8	25.7	31.5
年代	18歳～29歳	108	34.3	27.8	19.4	17.6	15.7	28.7
	30歳～39歳	407	29.2	22.6	21.4	14.5	17.4	26.3
	40歳～49歳	839	32.2	26.0	26.0	15.7	21.2	25.3
	50歳～59歳	1,191	31.6	23.3	24.1	14.3	20.5	24.4
	60歳～69歳	995	30.7	23.1	16.6	11.2	23.3	21.6
	70歳以上	460	26.5	23.0	10.2	3.0	25.9	19.1
居住地	福岡地域	1,000	31.2	24.4	21.1	13.0	20.6	26.7
	筑後地域	1,000	29.0	25.0	21.0	11.4	21.9	22.8
	筑豊地域	1,000	31.7	23.7	20.4	13.7	22.0	23.5
	北九州地域	1,000	31.0	22.2	20.0	12.4	21.6	21.4
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	29.1	22.9	19.6	13.9	19.8	22.1
	夫婦のみ	1,194	32.0	22.9	15.5	10.1	23.5	21.9
	親子同居（2世代同居）	1,740	31.0	24.7	24.2	13.6	20.9	25.3
	親と子と孫（3世代同居）	156	33.3	26.9	22.4	14.7	21.8	25.0
	兄弟・姉妹同居	46	19.6	21.7	28.3	13.0	17.4	17.4
同居及び末子の学齢	同居の子 あり	1,309	31.7	25.6	25.7	13.6	21.2	25.8
	末子の学齢 未就学児	215	29.8	22.3	29.3	15.8	20.5	26.5
	末子の学齢 小学生	228	34.2	28.1	25.9	13.2	24.1	28.9
	末子の学齢 中学生	152	34.9	29.6	33.6	19.7	19.1	28.3
	末子の学齢 高校生	127	38.6	22.8	29.9	17.3	18.1	31.5
	末子の学齢 大学以上	587	29.1	25.4	21.5	10.6	21.5	22.5
	同居の子 なし	682	28.6	23.2	21.0	13.8	20.8	24.2

性別で見ると、女性は「参加するための費用の負担が軽くなる」（31.5%）、「初心者向けの活動が提供される」（26.8%）、「住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる」（25.7%）など、多くの項目で男性よりも回答の割合が高くなっている。

問16　文化芸術活動に参加しやすくなる条件（複数回答）

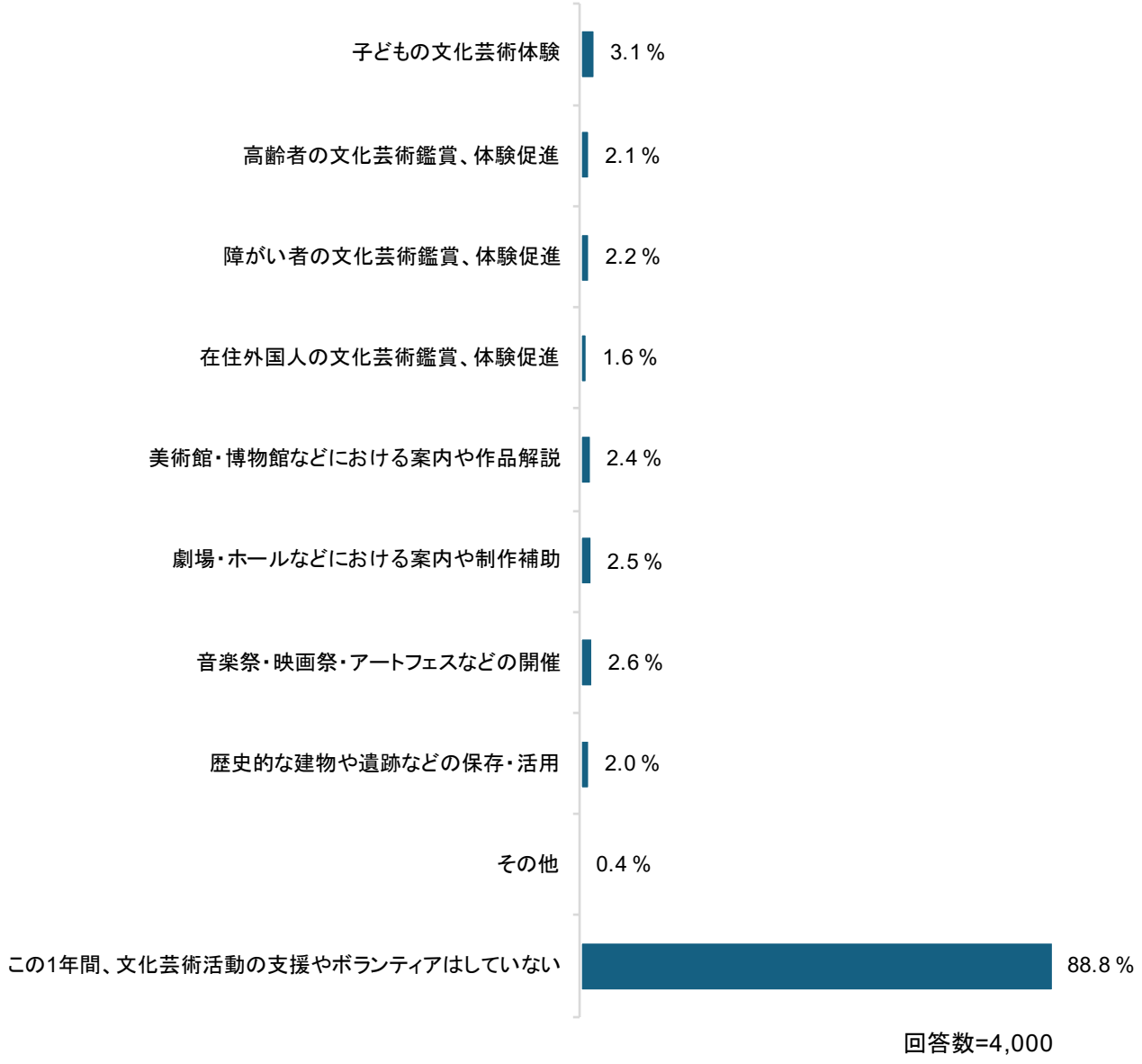
あなたは、どうすれば文化芸術活動（鑑賞以外）にもっと参加しやすくなると思いますか。（○はいくつでも）

		回答数	初心者向けの活動が提供される	参加や成果を発表する機会が多く提供される	参加を促進し伴走支援する学芸員などの専門家がいる	その他	特にない・分からない
全体		4,000	22.2	5.6	4.7	0.8	38.3
性別	男性	2,379	19.1	5.6	5.0	0.6	41.9
	女性	1,621	26.8	5.6	4.3	1.0	33.1
年代	18歳～29歳	108	20.4	7.4	5.6	0.9	33.3
	30歳～39歳	407	22.9	5.2	2.9	1.2	41.0
	40歳～49歳	839	23.2	6.7	4.5	0.7	35.2
	50歳～59歳	1,191	22.3	4.9	4.5	0.8	37.4
	60歳～69歳	995	21.4	5.3	4.8	0.7	39.1
	70歳以上	460	22.0	5.9	7.0	0.9	43.5
居住地	福岡地域	1,000	23.0	4.8	5.0	1.2	36.5
	筑後地域	1,000	23.1	5.6	4.9	0.5	38.6
	筑豊地域	1,000	22.7	5.6	4.5	0.8	39.2
	北九州地域	1,000	20.1	6.3	4.5	0.7	39.0
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	21.0	3.2	3.2	1.3	41.5
	夫婦のみ	1,194	22.1	6.5	5.5	0.8	39.4
	親子同居（2世代同居）	1,740	23.0	6.1	5.0	0.6	35.6
	親と子と孫（3世代同居）	156	23.1	5.8	5.1	0.6	37.8
	兄弟・姉妹同居	46	15.2	2.2	4.3	0.0	52.2
同居及び末子の学齢	同居の子 あり	1,309	23.5	6.1	4.7	0.6	34.9
	末子の学齢 未就学児	215	26.0	7.4	4.2	1.4	37.7
	末子の学齢 小学生	228	26.3	6.6	6.1	0.0	30.3
	末子の学齢 中学生	152	17.8	6.6	3.3	0.7	29.6
	末子の学齢 高校生	127	30.7	8.7	3.9	0.8	29.1
	末子の学齢 大学以上	587	21.3	4.8	4.9	0.5	38.3
	同居の子 なし	682	21.6	5.7	5.1	0.6	39.3

同居の子がいる回答者で末子の学齢が高校生の場合は「魅力ある内容の活動が行われる」が38.6%、「初心者向けの活動が提供される」が30.7%で、他よりも高くなっている。

問17　この1年間の文化芸術活動の支援やボランティアの参加状況（複数回答）

あなたは、この1年間に、以下のような文化芸術活動の支援やボランティアをしましたか。（〇はいくつでも）



この１年間に文化芸術活動の支援やボランティアについて聞いたところ、「この１年間、文化芸術活動の支援やボランティアはしていない」が88.8%と最も高くなっている。活動があったジャンルでは子どもの文化芸術体験」が3.1%となっているが、いずれも1割に満たない。「活動をしていない」を除いた、実践した割合は11.2%となっている。

問17　この1年間の文化芸術活動の支援やボランティアの参加状況（複数回答）

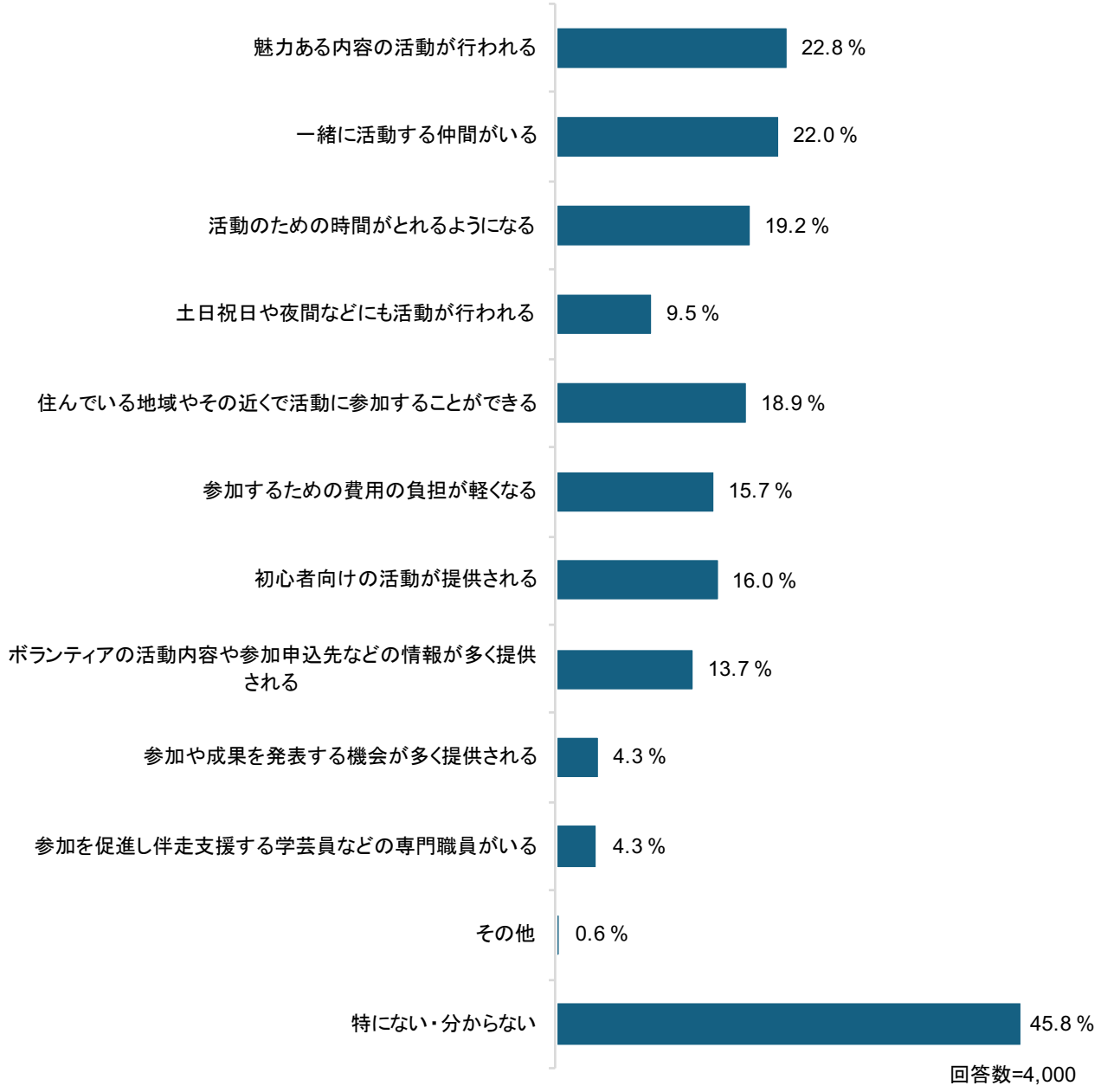
あなたは、この1年間に、以下のような文化芸術活動の支援やボランティアをしましたか。（○はいくつでも）

		回答数	子どもの文化芸術体験	高齢者の文化芸術鑑賞、体験促進	障がい者の文化芸術鑑賞、体験促進	在住外国人の文化芸術鑑賞、体験促進	美術館・博物館などにおける案内や作品解説	劇場・ホールなどにおける案内や制作補助	音楽祭・映画祭・アートフェスなどの開催	歴史的な建物や遺跡などの保存・活用	その他	この1年間、文化芸術活動の支援やボランティアはしていない
全体		4,000	3.1	2.1	2.2	1.6	2.4	2.5	2.6	2.0	0.4	88.8
性別	男性	2,379	3.1	2.6	2.4	1.7	2.7	2.9	2.7	2.4	0.6	87.4
	女性	1,621	3.0	1.4	1.8	1.4	1.9	1.9	2.5	1.4	0.1	90.7
年代	18歳～29歳	108	4.6	0.9	3.7	1.9	1.9	7.4	5.6	3.7	0.0	85.2
	30歳～39歳	407	4.4	2.0	2.0	2.0	2.2	2.2	2.7	1.7	0.0	88.9
	40歳～49歳	839	4.3	2.5	3.0	2.7	3.7	3.7	3.1	1.9	0.4	85.3
	50歳～59歳	1,191	2.9	1.8	2.1	1.5	1.8	2.6	2.5	1.8	0.4	89.6
	60歳～69歳	995	2.1	1.8	1.8	0.8	2.7	1.7	2.2	2.2	0.4	90.3
	70歳以上	460	1.5	3.0	1.3	0.9	0.9	0.9	2.2	2.2	0.7	90.2
居住地	福岡地域	1,000	2.7	2.2	2.1	1.9	3.4	3.7	3.0	2.2	0.5	87.0
	筑後地域	1,000	3.4	1.6	2.0	1.2	1.8	1.7	2.3	1.7	0.3	89.0
	筑豊地域	1,000	3.2	2.5	2.3	2.0	2.2	3.1	3.4	2.4	0.2	88.9
	北九州地域	1,000	2.9	2.0	2.2	1.2	2.1	1.5	1.8	1.8	0.5	90.1
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	1.7	2.1	1.3	0.7	1.7	2.7	2.7	2.2	0.5	90.9
	夫婦のみ	1,194	1.8	2.6	1.8	1.4	2.3	2.1	2.7	1.9	0.4	89.0
	親子同居（2世代同居）	1,740	4.5	1.7	2.9	2.1	2.8	2.7	2.6	2.0	0.2	87.3
	親と子と孫（3世代同居）	156	5.8	2.6	1.3	1.9	3.2	2.6	1.9	2.6	0.6	87.8
	兄弟・姉妹同居	46	0.0	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2	2.2	0.0	93.5
及び末子の学齢 同居の子の有無	同居の子 あり	1,309	5.6	1.8	3.4	2.5	3.1	2.7	2.5	2.1	0.2	86.1
	末子の学齢 未就学児	215	9.3	0.5	2.3	2.3	1.4	2.3	1.4	0.9	0.0	86.5
	末子の学齢 小学生	228	8.8	2.2	2.2	2.6	4.8	3.1	3.9	1.3	0.0	80.7
	末子の学齢 中学生	152	5.3	0.7	6.6	5.3	3.9	4.6	2.6	2.6	0.0	85.5
	末子の学齢 高校生	127	7.1	3.1	3.9	3.1	0.8	3.9	3.1	3.1	0.0	85.0
	末子の学齢 大学以上	587	2.7	2.2	3.4	1.7	3.2	1.9	2.2	2.4	0.5	88.4
	同居の子 なし	682	2.1	1.6	1.3	1.0	2.1	2.6	2.6	1.9	0.4	90.8

年代別に見ると、18歳～29歳は「劇場・ホールなどにおける案内や制作補助」が7.4%、「音楽祭・映画祭・アートフェスなどの開催」が5.6%と他の年代よりも若干高い。
同居の子がいる回答者で末子の学齢が未就学児の場合は「子どもの文化芸術体験」が9.3%、小学生の場合も同じ項目で8.8%で、他よりも若干高くなっている。

問18　文化芸術活動の支援やボランティアに参加しやすくなる条件（複数回答）

あなたは、どうすれば支援やボランティア活動にもっと参加しやすくなると思いますか。（〇はいくつでも）



どうすれば支援やボランティア活動に参加しやすくなると思うか聞いたところ、「特にない・分からない」が45.8%で最も高くなっている。次いで「魅力ある内容の活動が行われる」（22.8%）、「一緒に活動する仲間がいる」（22.0%）、「活動のための時間がとれるようになる」（19.2%）と続いている。

問18　文化芸術活動の支援やボランティアに参加しやすくなる条件（複数回答）

あなたは、どうすれば支援やボランティア活動にもっと参加しやすくなると思いますか。（○はいくつでも）

		回答数	魅力ある内容の活動が行われる	一緒に活動する仲間がいる	活動のための時間がとれるようになる	土日祝日や夜間などにも活動が行われる	住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる	参加するための費用の負担が軽くなる
全体		4,000	22.8	22.0	19.2	9.5	18.9	15.7
性別	男性	2,379	22.5	21.9	17.4	10.4	17.4	14.2
	女性	1,621	23.3	22.1	21.9	8.2	21.0	17.9
年代	18歳～29歳	108	18.5	15.7	13.9	15.7	14.8	14.8
	30歳～39歳	407	22.9	18.7	22.4	9.1	16.0	18.4
	40歳～49歳	839	22.8	21.5	20.9	11.0	17.3	18.6
	50歳～59歳	1,191	23.6	22.1	23.8	11.8	19.1	14.7
	60歳～69歳	995	23.3	23.3	16.9	8.2	21.1	15.1
	70歳以上	460	20.9	24.3	8.0	2.6	19.6	12.0
居住地	福岡地域	1,000	23.2	21.1	17.5	9.4	18.4	15.3
	筑後地域	1,000	22.9	21.9	20.5	8.5	18.8	17.3
	筑豊地域	1,000	22.0	23.4	19.4	10.2	19.6	15.7
	北九州地域	1,000	23.2	21.6	19.5	10.0	18.6	14.4
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	22.0	20.7	17.5	11.7	17.4	15.5
	夫婦のみ	1,194	22.2	22.6	15.5	7.4	19.8	13.8
	親子同居（2世代同居）	1,740	23.6	22.0	22.1	9.7	18.6	16.7
	親と子と孫（3世代同居）	156	24.4	23.1	23.7	14.1	21.2	16.7
	兄弟・姉妹同居	46	19.6	26.1	15.2	10.9	13.0	10.9
及び末の子の学齢	同居の子 あり	1,309	23.8	22.6	23.8	10.5	19.6	16.7
	末子の学齢 未就学児	215	20.9	18.1	24.7	11.2	18.6	19.1
	末子の学齢 小学生	228	22.4	19.3	24.6	9.6	18.4	14.5
	末子の学齢 中学生	152	25.0	24.3	33.6	16.4	21.7	19.1
	末子の学齢 高校生	127	34.6	23.6	29.1	11.0	18.1	19.7
	末子の学齢 大学以上	587	22.7	24.9	19.6	8.9	20.1	15.5
	同居の子 なし	682	23.2	21.3	18.9	8.9	17.6	17.2

年代別に見ると、18歳～29歳は「土日祝日や夜間などにも活動が行われる」が15.7%で他の年代よりも高い。70歳以上では「一緒に活動する仲間がいる」が24.3%で他の年代よりも高い。「一緒に活動する仲間がいる」では年代が高くなるほど回答の割合も高くなる傾向が見られる。

問18　文化芸術活動の支援やボランティアに参加しやすくなる条件（複数回答）

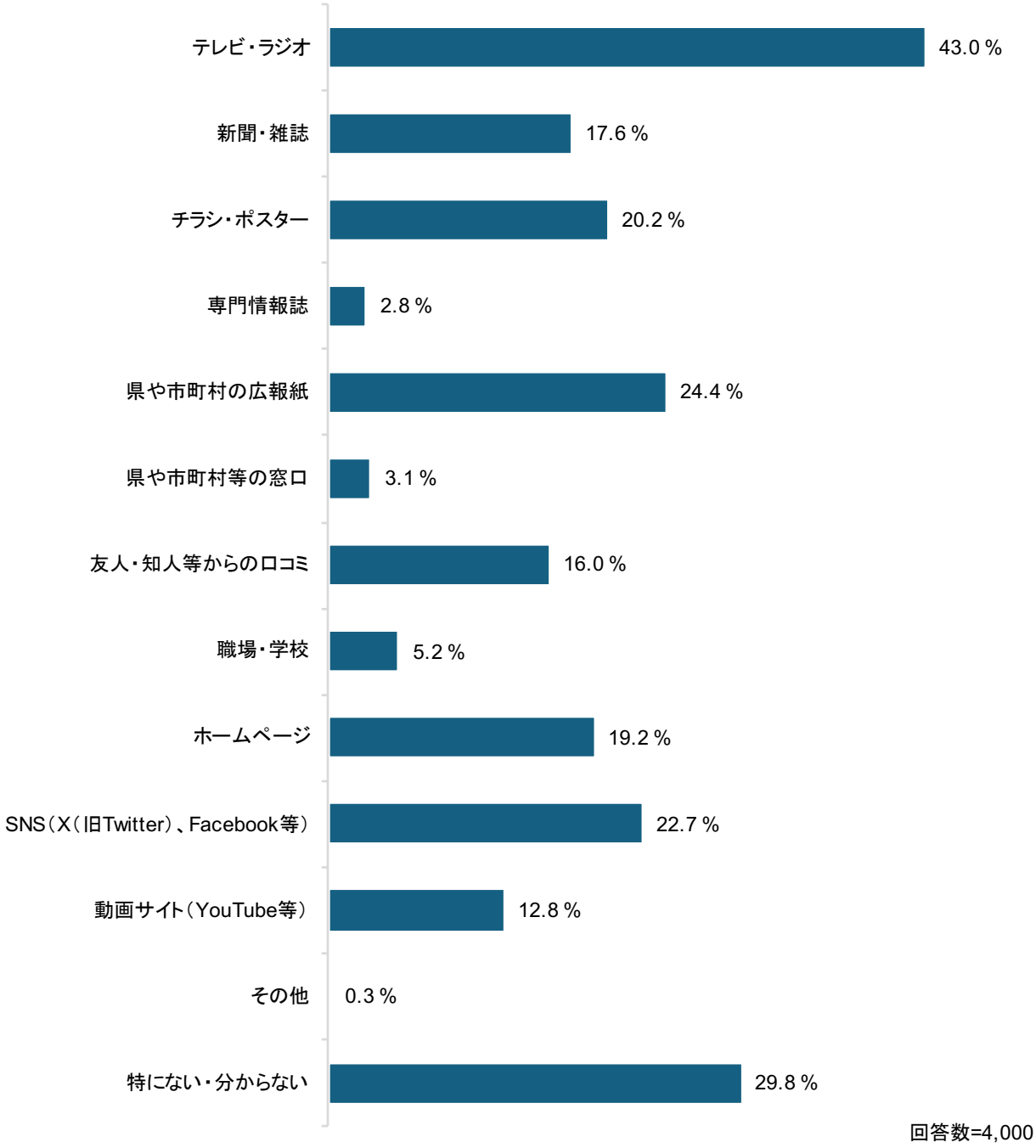
あなたは、どうすれば支援やボランティア活動にもっと参加しやすくなると思いますか。（○はいくつでも）

		回答数	初心者向けの活動が提供される	ボランティアの活動内容や参加申込先などの情報が多く提供される	参加や成果を発表する機会が多く提供される	参加を促進し伴走支援する学芸員などの専門職員がいる	その他	特にない・分からない
全体		4,000	16.0	13.7	4.3	4.3	0.6	45.8
性別	男性	2,379	14.7	11.8	4.1	3.9	0.4	47.5
	女性	1,621	18.0	16.4	4.6	4.8	0.9	43.2
年代	18歳～29歳	108	12.0	13.0	7.4	3.7	0.9	49.1
	30歳～39歳	407	17.2	12.5	3.4	2.9	0.2	49.1
	40歳～49歳	839	16.4	13.8	4.9	4.1	0.7	44.3
	50歳～59歳	1,191	14.9	14.9	3.6	4.1	0.6	43.8
	60歳～69歳	995	17.0	12.7	4.7	4.4	0.7	45.5
	70歳以上	460	16.1	13.3	4.3	6.1	0.7	50.0
居住地	福岡地域	1,000	16.2	13.1	4.0	4.0	1.0	44.4
	筑後地域	1,000	16.0	13.3	3.9	4.4	0.3	46.0
	筑豊地域	1,000	16.5	14.3	5.5	4.6	0.8	46.3
	北九州地域	1,000	15.4	13.9	3.9	4.1	0.4	46.3
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	16.0	11.7	3.8	4.0	0.9	48.8
	夫婦のみ	1,194	16.5	13.8	4.5	4.4	0.6	46.1
	親子同居（2世代同居）	1,740	16.0	14.3	4.7	4.1	0.6	43.3
	親と子と孫（3世代同居）	156	13.5	14.1	2.6	5.1	0.6	51.3
	兄弟・姉妹同居	46	17.4	15.2	2.2	10.9	0.0	56.5
及び末子の学齢 同居の子の有無	同居の子 あり	1,309	16.3	15.0	5.0	4.3	0.5	43.0
	末子の学齢 未就学児	215	16.3	14.0	2.8	3.3	0.0	45.6
	末子の学齢 小学生	228	19.7	15.8	8.3	4.4	0.9	43.0
	末子の学齢 中学生	152	17.8	16.4	4.6	3.3	0.7	41.4
	末子の学齢 高校生	127	17.3	17.3	3.1	4.7	0.0	35.4
	末子の学齢 大学以上	587	14.3	14.3	4.9	4.8	0.7	44.1
	同居の子 なし	682	14.8	13.0	3.4	4.4	0.6	46.8

同居の子がいる回答者で末子の学齢が高校生の場合は「魅力のある内容の活動が行われる」が34.6%、中学生の場合は「活動のための時間がとれるようになる」が33.6%で、他よりも高くなっている。

問19　鑑賞や体験に関する情報の入手手段（複数回答）

あなたは、文化芸術の鑑賞や体験に関する情報をどのようなものから入手していますか。（○はいくつでも）



鑑賞や体験に関する情報の入手手段は、「テレビ・ラジオ」が43.0%で最も高くなっている。次いで「特にない・分からない」（29.8%）、「県や市町村の広報紙」（24.4%）、「SNS（X（旧Twitter）、Facebook等）（22.7%）となっている。

問19　鑑賞や体験に関する情報の入手手段（複数回答）

あなたは、文化芸術の鑑賞や体験に関する情報をどのようなものから入手していますか。（○はいくつでも）

		回答数	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌	チラシ・ポスター	専門情報誌	県や市町村の広報紙	県や市町村等の窓口	友人・知人等からの口コミ
全体		4,000	43.0	17.6	20.2	2.8	24.4	3.1	16.0
性別	男性	2,379	44.0	20.0	17.5	3.1	22.5	3.5	12.7
	女性	1,621	41.5	14.1	24.2	2.4	27.1	2.6	20.9
年代	18歳～29歳	108	24.1	7.4	21.3	0.9	5.6	1.9	15.7
	30歳～39歳	407	30.2	6.1	19.9	2.5	15.2	2.5	17.7
	40歳～49歳	839	39.2	12.6	21.1	4.6	20.3	4.3	17.3
	50歳～59歳	1,191	44.8	15.9	19.6	3.1	22.0	2.8	15.6
	60歳～69歳	995	49.3	22.4	20.4	1.6	29.1	2.5	14.7
	70歳以上	460	47.0	33.0	19.6	2.0	40.2	4.1	16.1
居住地	福岡地域	1,000	44.9	18.2	22.2	2.5	25.2	2.8	16.2
	筑後地域	1,000	42.5	18.9	20.2	3.1	25.5	2.9	16.5
	筑豊地域	1,000	42.3	15.8	18.2	3.3	24.3	4.5	15.6
	北九州地域	1,000	42.1	17.4	20.2	2.3	22.5	2.3	15.7
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	37.7	12.5	18.9	2.3	21.2	3.2	13.9
	夫婦のみ	1,194	46.6	22.4	22.3	2.3	28.6	3.2	15.5
	親子同居（2世代同居）	1,740	43.3	17.0	19.7	3.4	22.6	3.0	17.0
	親と子と孫（3世代同居）	156	40.4	17.3	21.2	3.2	32.7	3.8	23.7
	兄弟・姉妹同居	46	50.0	17.4	10.9	2.2	19.6	0.0	10.9
及び末子の学齢 同居の子の有無	同居の子 あり	1,309	42.2	17.0	20.1	3.7	25.7	3.4	18.8
	末子の学齢 未就学児	215	34.4	7.0	17.2	3.3	21.9	4.2	20.5
	末子の学齢 小学生	228	32.9	10.1	23.2	3.9	23.7	3.5	18.0
	末子の学齢 中学生	152	44.1	7.9	23.0	5.3	21.1	2.0	17.8
	末子の学齢 高校生	127	46.5	21.3	24.4	6.3	29.1	2.4	19.7
	末子の学齢 大学以上	587	47.4	24.9	18.2	2.7	28.3	3.6	18.6
	同居の子 なし	682	44.3	16.1	18.3	2.6	18.2	2.5	14.1

年代別に見ると、「SNS（X（旧Twitter）、Facebook等）」は18歳～29歳が44.4%、30歳～39歳が35.4%で他の年代よりも高くなっており、年代が低いほど回答の割合が高い傾向が見られる。逆に、「テレビ・ラジオ」、「新聞・雑誌」、「県や市町村の広報紙」は年代が高いほど回答の割合が高い傾向が見られる。

問19 鑑賞や体験に関する情報の入手手段（複数回答）

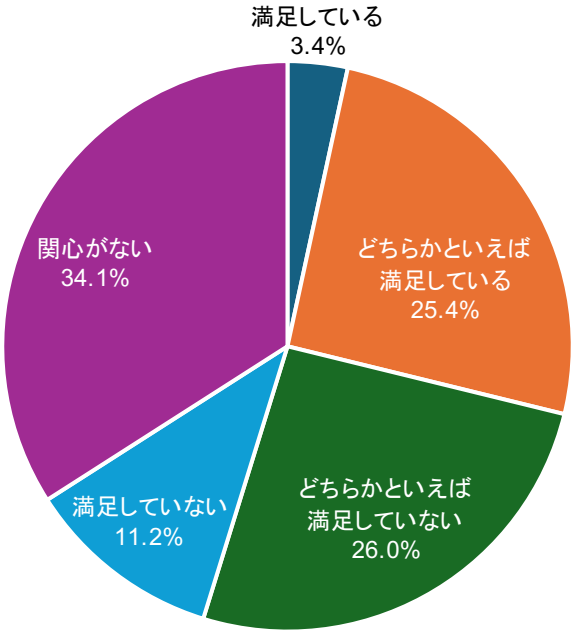
あなたは、文化芸術の鑑賞や体験に関する情報をどのようなものから入手していますか。（○はいくつでも）

		回答数	職場・学校	ホームページ	SNS（X（旧Twitter）、Facebook等）	動画サイト（YouTube等）	その他	特にない・分からない
全体		4,000	5.2	19.2	22.7	12.8	0.3	29.8
性別	男性	2,379	4.1	21.1	19.5	14.3	0.2	30.6
	女性	1,621	6.7	16.5	27.3	10.4	0.4	28.5
年代	18歳～29歳	108	5.6	10.2	44.4	11.1	0.9	35.2
	30歳～39歳	407	6.9	14.0	35.4	13.3	0.0	37.8
	40歳～49歳	839	9.7	19.1	27.9	11.6	0.5	32.2
	50歳～59歳	1,191	4.9	21.1	23.6	14.8	0.2	29.7
	60歳～69歳	995	2.8	20.9	15.9	12.1	0.2	26.0
	70歳以上	460	1.1	17.6	9.1	11.1	0.4	25.0
居住地	福岡地域	1,000	4.9	20.4	23.9	12.5	0.3	27.9
	筑後地域	1,000	6.0	19.6	24.4	13.3	0.1	28.0
	筑豊地域	1,000	6.1	17.0	21.5	12.7	0.4	33.2
	北九州地域	1,000	3.6	19.8	20.9	12.5	0.3	29.9
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	2.8	20.1	27.1	16.4	0.2	31.5
	夫婦のみ	1,194	3.4	19.5	15.8	11.1	0.5	27.5
	親子同居（2世代同居）	1,740	6.9	19.0	25.2	12.2	0.1	29.5
	親と子と孫（3世代同居）	156	12.2	16.0	23.7	12.2	0.6	34.6
	兄弟・姉妹同居	46	2.2	17.4	15.2	8.7	0.0	39.1
及び末子の学齢 同居の子の有無	同居の子 あり	1,309	8.9	18.7	23.9	12.1	0.1	29.2
	末子の学齢 未就学児	215	12.1	14.9	32.6	10.7	0.0	34.9
	末子の学齢 小学生	228	15.4	22.4	25.0	10.1	0.4	30.7
	末子の学齢 中学生	152	14.5	17.1	25.0	11.8	0.0	27.6
	末子の学齢 高校生	127	10.2	28.3	22.8	12.6	0.0	23.6
	末子の学齢 大学以上	587	3.6	17.0	20.3	13.5	0.0	28.1
	同居の子 なし	682	3.7	18.5	27.0	12.5	0.3	32.7

世帯構成別に見ると、親と子と孫（3世代同居）は「県や市町村の広報紙」が32.7%、「友人・知人等からの口コミ」が23.7%と他よりも高くなっている。
同居の子がいる回答者で末子の学齢が未就学児の場合は「SNS（X（旧Twitter）、Facebook等）」が32.6%と他よりも高くなっている。

問20　居住地域における文化的環境の満足度（単一回答）

あなたは、文化芸術を鑑賞したり習い事をしたりする機会や文化財・伝統的なまちなみの保存・整備など、お住まいの地域での文化的な環境に満足していますか。（○は1つだけ）



回答数=4,000

居住地域における文化的環境の満足度を聞いたところ、「関心がない」が34.1%で最も高くなっている。「満足している」（3.4%）と「どちらかといえば満足している」（25.4%）を合わせた『満足層』が28.8%に対して、「満足していない」（11.2%）と「どちらかといえば満足していない」（26.0%）を合わせた『不満層』が37.1%となっており『満足層』を上回っている。

問20　居住地域における文化的環境の満足度（単一回答）

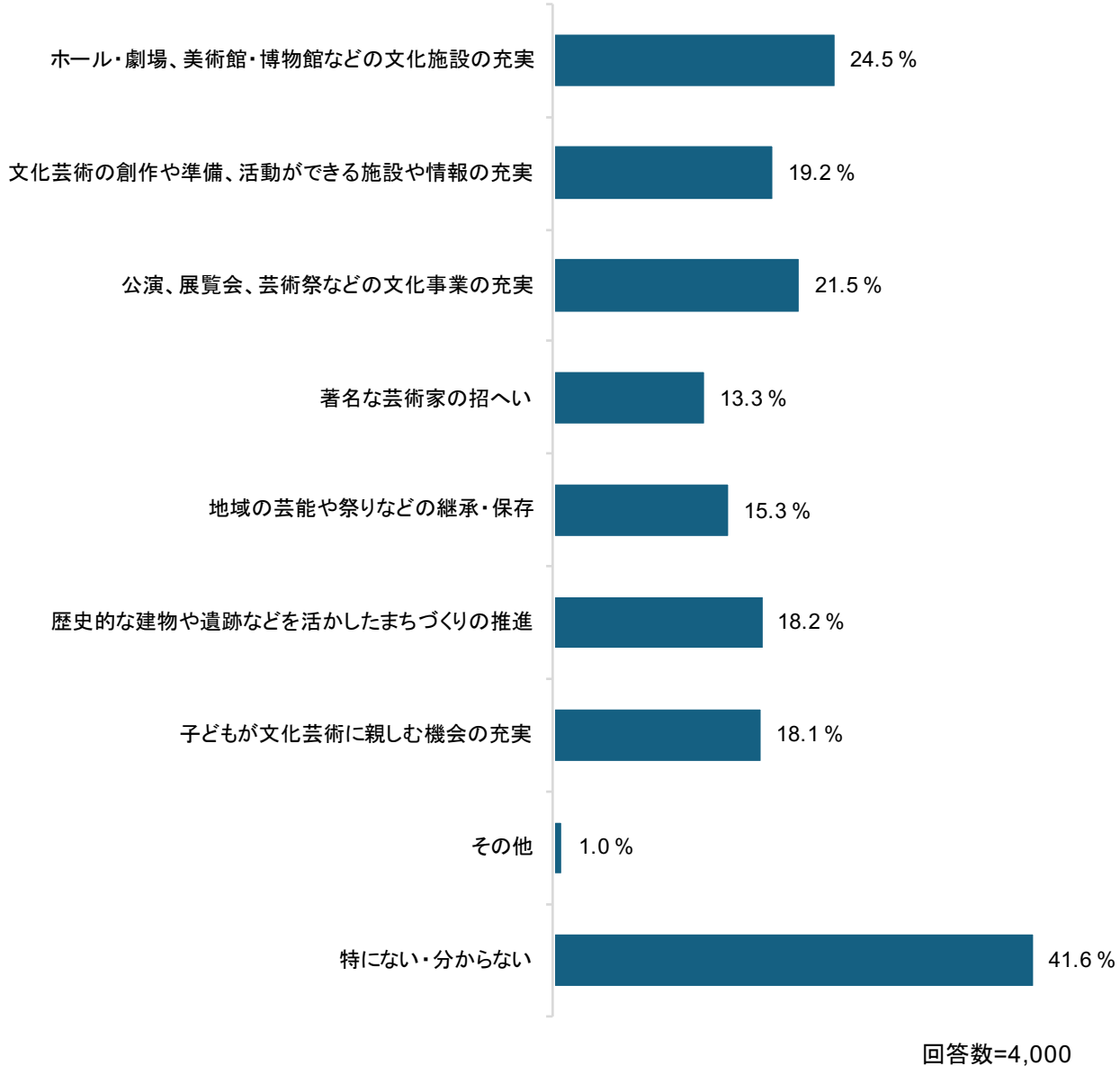
あなたは、文化芸術を鑑賞したり習い事をしたりする機会や文化財・伝統的なまちなみの保存・整備など、お住まいの地域での文化的な環境に満足していますか。（○は1つだけ）

			回答数	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば満足していない	満足していない	関心がない
全体			4,000	3.4	25.4	26.0	11.2	34.1
性別		男性	2,379	3.5	24.7	25.5	10.6	35.8
		女性	1,621	3.3	26.5	26.7	12.0	31.5
年代		18歳～29歳	108	7.4	31.5	17.6	7.4	36.1
		30歳～39歳	407	5.4	19.4	28.0	9.3	37.8
		40歳～49歳	839	4.6	25.5	23.7	11.4	34.7
		50歳～59歳	1,191	2.8	24.4	26.0	10.5	36.3
		60歳～69歳	995	2.2	25.4	27.7	13.1	31.6
		70歳以上	460	2.6	31.7	26.1	10.9	28.7
居住地		福岡地域	1,000	4.6	31.1	25.2	9.7	29.4
		筑後地域	1,000	3.2	26.1	23.9	11.6	35.2
		筑豊地域	1,000	2.6	17.9	27.8	13.2	38.5
		北九州地域	1,000	3.2	26.6	26.9	10.2	33.1
世帯構成		単身世帯（ひとり暮らし）	815	3.4	25.2	22.7	10.3	38.4
		夫婦のみ	1,194	2.8	28.1	27.1	12.6	29.4
		親子同居（2世代同居）	1,740	3.8	24.1	26.6	10.6	34.8
		親と子と孫（3世代同居）	156	1.9	27.6	27.6	10.3	32.7
		兄弟・姉妹同居	46	8.7	13.0	26.1	8.7	43.5
及び末子の学齢	同居の子 あり		1,309	3.8	25.3	26.8	10.8	33.3
	末子の学齢	未就学児	215	2.8	20.5	24.2	11.6	40.9
		小学生	228	5.3	26.3	29.8	11.8	26.8
		中学生	152	5.9	28.3	25.7	7.9	32.2
		高校生	127	3.9	27.6	29.9	10.2	28.3
		大学以上	587	3.1	25.4	26.2	10.9	34.4
	同居の子 なし		682	3.7	21.3	26.1	10.6	38.4

年代別に見ると、70歳以上は「どちらかといえば満足している」が31.7%で他の年代よりも高くなっている。
居住地別に見ると、福岡地域では「どちらかといえば満足している」が31.7%で他の地域よりも高く、筑豊地域では「どちらかといえば満足していない」（27.8%）、「満足していない」（13.2%）と不満足層の割合が他の地域よりも高い。
同居の子がいる回答者で末子の学齢が小学生の場合は「関心がない」が26.8%と他よりも低くなっている。

問21　居住地域において文化的環境を充実させる内容（複数回答）

あなたは、お住まいの地域の文化的な環境を充実させるために、何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）



回答数=4,000

居住地域において文化的環境を充実させるのに必要な内容について聞いたところ、「特にない・分からない」が41.6%と最も高くなっている。次いで「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」（24.5%）、「公演、展示会、芸術祭などの文化事業の充実」（21.5%）、「文化芸術の創作や準備、活動ができる施設や情報の充実」（19.2%）と続いている。

問21　居住地域において文化的環境を充実させる内容（複数回答）

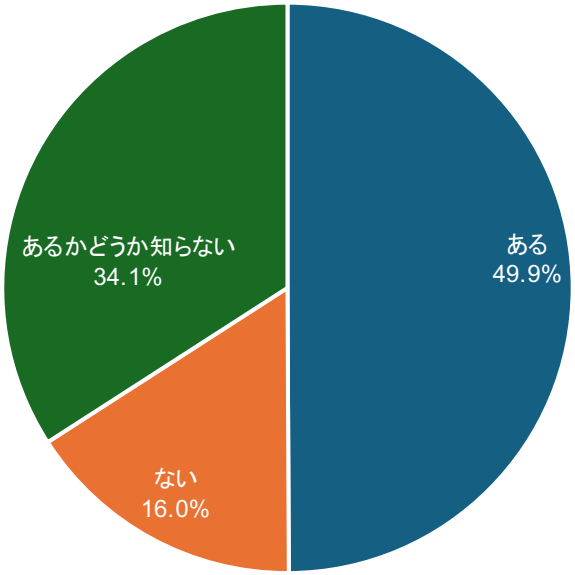
あなたは、お住まいの地域の文化的な環境を充実させるために、何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

		回答数	ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実	文化芸術の創作や準備、活動ができる施設や情報の充実	公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実	著名な芸術家の招へい	地域の芸能や祭りなどの継承・保存	歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進	子どもが文化芸術に親しむ機会の充実	その他	特にない・分からない
全体		4,000	24.5	19.2	21.5	13.3	15.3	18.2	18.1	1.0	41.6
性別	男性	2,379	23.4	18.0	21.3	12.8	15.8	19.0	16.1	1.1	42.8
	女性	1,621	26.2	20.8	21.8	13.9	14.7	17.1	21.0	0.8	39.8
年代	18歳～29歳	108	25.0	15.7	14.8	11.1	13.9	13.9	18.5	0.0	46.3
	30歳～39歳	407	21.1	18.4	16.2	11.3	12.5	13.5	20.9	0.5	49.4
	40歳～49歳	839	24.1	19.0	17.6	15.1	13.7	15.4	20.0	1.7	41.4
	50歳～59歳	1,191	24.9	19.6	22.8	13.2	15.8	19.4	18.1	0.9	41.4
	60歳～69歳	995	26.0	19.3	23.3	13.4	16.3	19.1	16.5	1.0	39.6
	70歳以上	460	23.7	19.6	27.4	12.0	17.8	23.7	15.7	0.4	38.9
居住地	福岡地域	1,000	24.1	21.2	22.3	13.2	16.5	19.0	17.3	1.3	41.0
	筑後地域	1,000	23.2	18.5	21.7	15.1	14.2	18.3	19.0	0.9	39.8
	筑豊地域	1,000	24.4	19.0	19.6	12.3	16.3	17.7	19.2	1.2	44.3
	北九州地域	1,000	26.3	17.9	22.3	12.4	14.3	17.9	17.0	0.5	41.3
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	25.0	20.2	20.4	13.1	15.0	18.4	12.3	1.2	45.2
	夫婦のみ	1,194	25.1	18.8	25.0	13.1	17.7	19.8	15.2	1.0	39.8
	親子同居（2世代同居）	1,740	23.6	18.7	19.3	13.0	13.3	16.7	21.6	0.9	41.6
	親と子と孫（3世代同居）	156	23.7	17.9	23.1	15.4	19.9	21.8	34.0	1.3	34.6
	兄弟・姉妹同居	46	32.6	23.9	30.4	21.7	17.4	19.6	13.0	0.0	41.3
及び末子の学齢 同居の子の有無	同居の子 あり	1,309	22.2	19.4	19.6	13.2	14.6	17.8	27.6	0.5	39.5
	末子の学齢 未就学児	215	17.7	14.9	11.6	9.3	12.1	13.0	38.1	0.5	45.6
	末子の学齢 小学生	228	18.9	18.0	18.9	15.4	11.0	18.9	39.0	0.9	32.9
	末子の学齢 中学生	152	21.7	19.7	17.1	15.8	17.8	13.2	30.3	0.0	39.5
	末子の学齢 高校生	127	27.6	22.8	25.2	18.1	18.1	20.5	26.0	0.8	37.0
	末子の学齢 大学以上	587	24.0	20.8	22.3	12.1	15.3	19.8	18.9	0.5	40.4
	同居の子 なし	682	27.3	17.9	20.2	13.6	13.0	16.1	12.0	1.5	44.6

年代別に見ると、70歳以上は「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」が27.4%と他の年代よりも高くなっており、同項目は年代が高いほど回答の割合も高くなる傾向が見られる。
世帯構成別に見ると、親と子と孫（3世代同居）では「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」が34.0%と他よりも高くなっている。
同居の子がいる回答者で末子の学齢が小学生の場合は「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」が39.0%と他よりも高くなっている。

問22　居住地域での伝統文化（単一回答）

あなたが住んでいる地域では、伝統的な祭りや歴史的な建物などの伝統文化がありますか。（○は1つだけ）



回答数=4,000

住んでいる地域では、伝統的な祭りや歴史的な建物などの伝統文化が「ある」と回答した割合が49.9%、「あるかどうか知らない」が34.1%、「ない」が16.0%となっている。

問22　居住地域での伝統文化（単一回答）

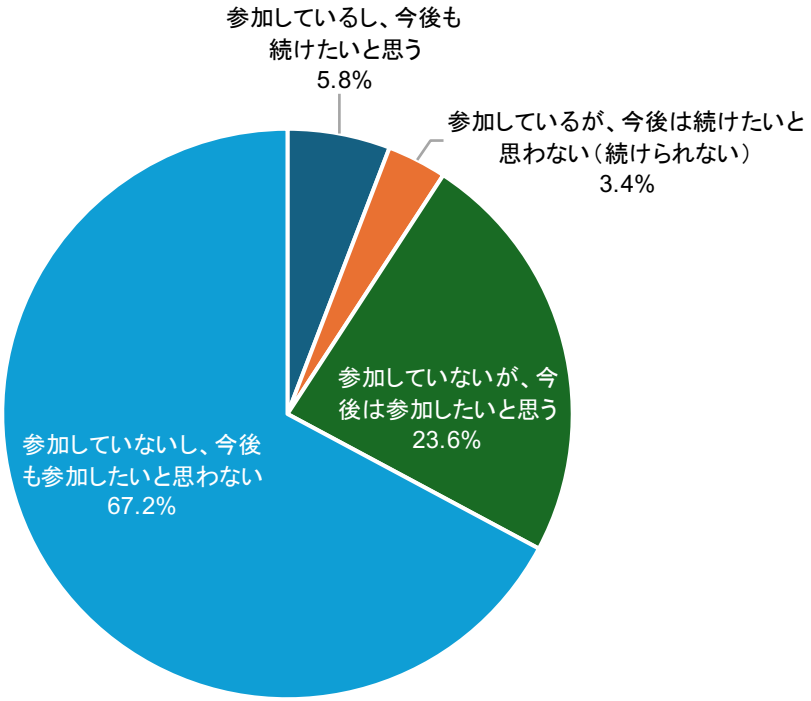
あなたが住んでいる地域では、伝統的な祭りや歴史的な建物などの伝統文化がありますか。（○は1つだけ）

		回答数	ある	ない	あるかどうか知らない
全体		4,000	49.9	16.0	34.1
性別	男性	2,379	50.3	16.3	33.4
	女性	1,621	49.4	15.5	35.1
年代	18歳～29歳	108	46.3	18.5	35.2
	30歳～39歳	407	44.0	16.2	39.8
	40歳～49歳	839	46.8	17.0	36.1
	50歳～59歳	1,191	49.7	14.9	35.3
	60歳～69歳	995	51.6	15.8	32.7
	70歳以上	460	58.7	16.3	25.0
居住地	福岡地域	1,000	41.3	20.5	38.2
	筑後地域	1,000	53.8	13.7	32.5
	筑豊地域	1,000	53.8	14.3	31.9
	北九州地域	1,000	50.8	15.4	33.8
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	49.1	14.2	36.7
	夫婦のみ	1,194	50.6	16.9	32.5
	親子同居（2世代同居）	1,740	49.9	16.6	33.5
	親と子と孫（3世代同居）	156	55.1	13.5	31.4
	兄弟・姉妹同居	46	43.5	8.7	47.8
及び末子の学齢 同居の子の有無	同居の子 あり	1,309	50.3	16.2	33.5
	末子の学齢 未就学児	215	46.5	17.2	36.3
	末子の学齢 小学生	228	51.3	15.4	33.3
	末子の学齢 中学生	152	48.0	23.7	28.3
	末子の学齢 高校生	127	55.1	17.3	27.6
	末子の学齢 大学以上	587	50.9	14.0	35.1
	同居の子 なし	682	49.0	16.0	35.0

年代別に見ると、30歳～39歳は「あるかどうか知らない」が39.8%と他の年代よりも高く、70歳以上は「ある」が58.7%と他の年代よりも高くなっている。
居住地別に見ると、福岡地域は「あるかどうか知らない」が38.2%と他の地域よりも高くなっている。
世帯構成別に見ると、「親と子と孫（3世代同居）」は「ある」が55.1%と他よりも高くなっている。

問23　地域の伝統芸能への担い手としての参加状況（単一回答）

あなたは、自分が住んでいる地域の伝統芸能に担い手（出演、みこしの担ぎ手、裏方等）として参加していますか。または参加したいと思いますか。（○は1つだけ）



回答数=4,000

自分が住んでいる地域の伝統芸能への担い手としての参加状況は、「参加していないし、今後も参加したいと思わない」が67.2%、「参加していないが、今後は参加したいと思う」が23.6%、「参加しているし、今後も続けたいと思う」が5.8%、「参加しているが、今後は続けたいと思わない（続けられない）」が3.4%となっている。『参加層』（「参加しているし、今後も続けたいと思う」と「参加しているが、今後は続けたいと思わない（続けられない）」）は9.2%で、『参加希望者層』（「参加しているし、今後も続けたいと思う」と「参加していないが、今後は参加したいと思う」）は29.5%となっている。

問23　地域の伝統芸能への担い手としての参加状況（単一回答）

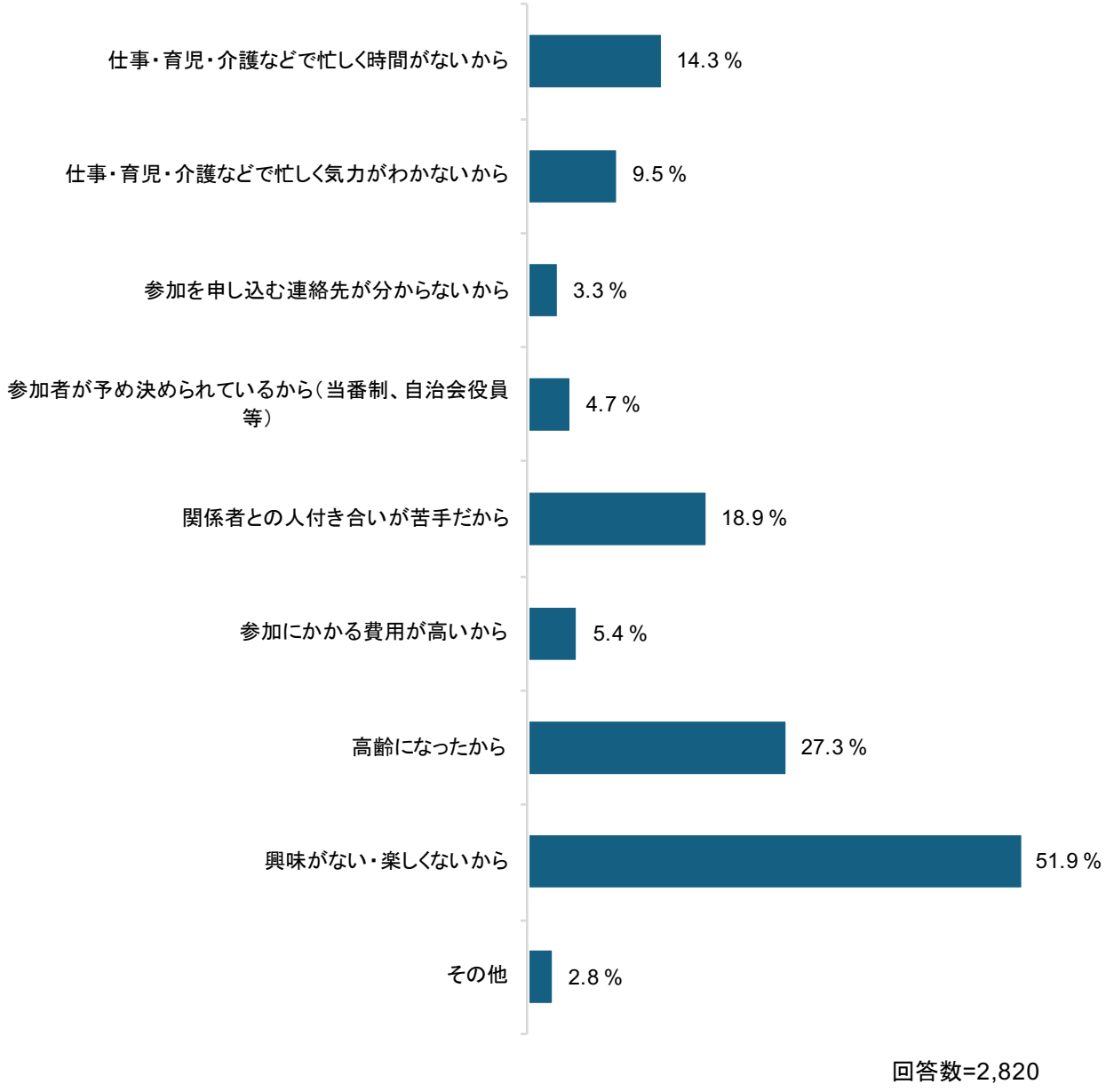
あなたは、自分が住んでいる地域の伝統芸能に担い手（出演、みこしの担ぎ手、裏方等）として参加していますか。または参加したいと思いますか。（○は1つだけ）

		回答数	参加しているし、今後も続けたいと思う	参加しているが、今後は続けたいと思わない（続けられない）	参加していないが、今後は参加したいと思う	参加していないし、今後も参加したいと思わない
全体		4,000	5.8	3.4	23.6	67.2
性別	男性	2,379	6.6	4.1	23.5	65.8
	女性	1,621	4.8	2.3	23.8	69.2
年代	18歳～29歳	108	7.4	4.6	27.8	60.2
	30歳～39歳	407	5.4	1.2	30.7	62.7
	40歳～49歳	839	7.7	3.5	25.0	63.8
	50歳～59歳	1,191	5.2	3.4	24.6	66.8
	60歳～69歳	995	4.9	4.2	21.4	69.4
	70歳以上	460	5.9	2.8	16.1	75.2
居住地	福岡地域	1,000	3.7	2.5	26.8	67.0
	筑後地域	1,000	6.0	4.0	24.6	65.4
	筑豊地域	1,000	8.0	4.6	20.6	66.8
	北九州地域	1,000	5.6	2.4	22.5	69.5
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	4.5	1.5	21.2	72.8
	夫婦のみ	1,194	4.9	3.9	23.3	67.8
	親子同居（2世代同居）	1,740	6.4	3.6	25.8	64.2
	親と子と孫（3世代同居）	156	14.1	5.8	19.2	60.9
	兄弟・姉妹同居	46	6.5	4.3	19.6	69.6
及び末子の学齢 同居の子の有無	同居の子 あり	1,309	7.9	4.3	26.6	61.2
	末子の学齢 未就学児	215	4.7	2.8	34.4	58.1
	末子の学齢 小学生	228	13.2	3.5	29.4	53.9
	末子の学齢 中学生	152	9.2	3.9	29.6	57.2
	末子の学齢 高校生	127	7.9	7.9	22.8	61.4
	末子の学齢 大学以上	587	6.8	4.4	22.7	66.1
	同居の子 なし	682	4.8	2.9	21.4	70.8

年代別に見ると、70歳以上では「参加していないし、今後も参加したいと思わない」が75.2%で他の年代よりも高くなっている。同項目は年代が高いほど回答の割合も高くなる傾向が見られる。
居住地別に見ると、福岡地域では「参加していないが、今後は参加したいと思う」が26.8%で他の地域よりも高くなっている。
同居の子がいる回答者で末子の学齢が小学生の場合は「参加しているし、今後も続けたいと思う」が13.2%、未就学児の場合は「参加していないが、今後は参加したいと思う」が34.4%と他よりも高くなっている。「同居の子 なし」の場合は「参加していないし、今後も参加したいと思わない」が70.8%で他よりも高くなっている。

問23-1　地域の伝統芸能への担い手としての参加意向がない理由（複数回答）

問23で「2. 参加しているが、今後は続けたいと思わない（続けられない）」と「4. 参加していないし、今後も参加したいと思わない」の方におたずねします。あなたが担い手（出演、みこしの担ぎ手、裏方等）として参加を続けたいとは思わない（続けられない）、または参加したいと思わない理由はなんですか。（〇はいくつでも）



回答数=2,820

地域の伝統芸能への担い手としての参加意向がない理由について聞いたところ、「興味がない・楽しくないから」が51.9%と最も高く、次いで「高齢になったから」（27.3%）、「関係者との人付き合いが苦手だから」（18.9%）、「仕事・育児・介護などで忙しく時間が無いから」（14.3%）となっている。

問23-1　地域の伝統芸能への担い手としての参加意向がない理由（複数回答）

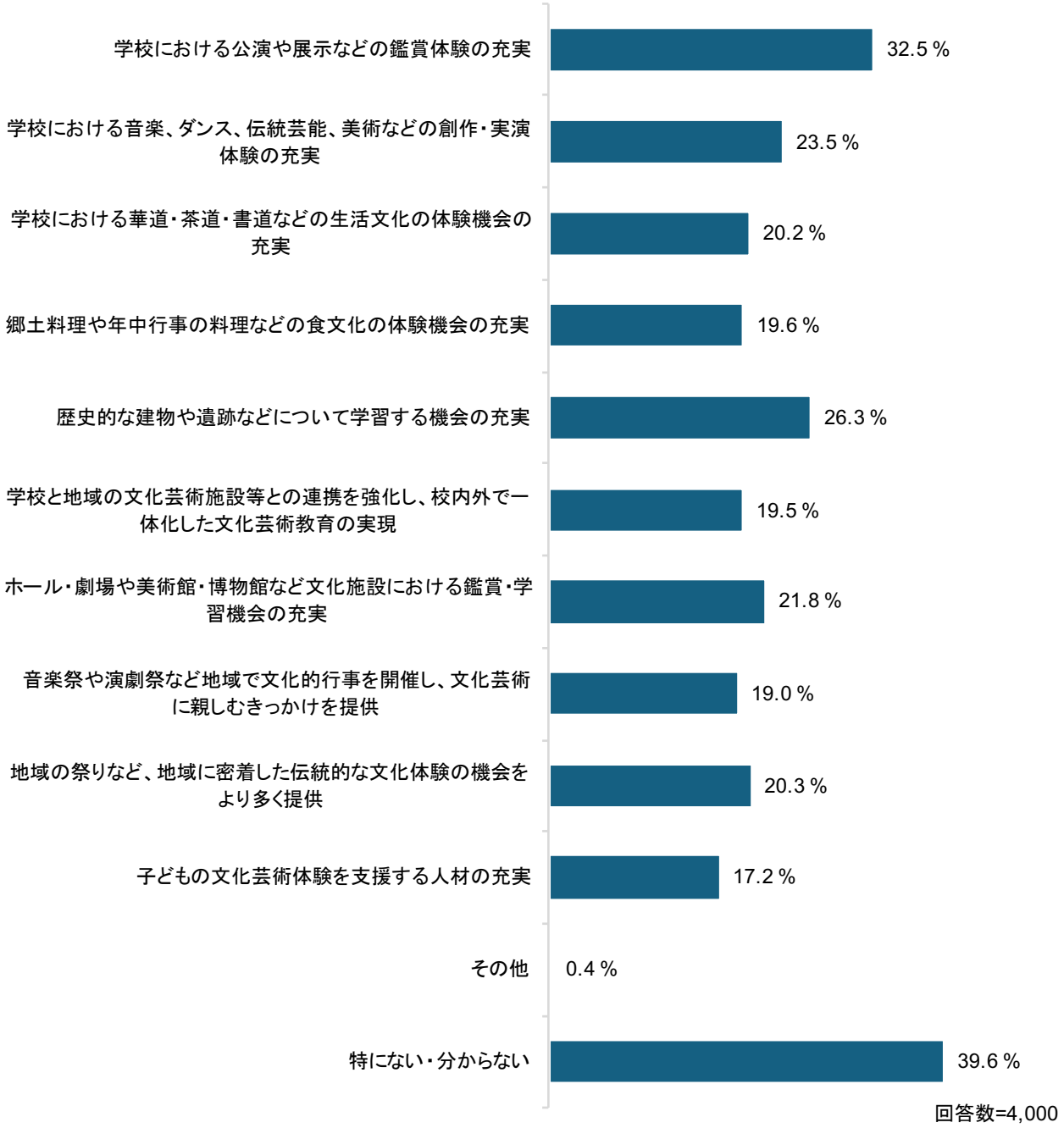
問23で「2. 参加しているが、今後は続けたいと思わない（続けられない）」と「4. 参加していないし、今後も参加したいと思わない」の方におたずねします。あなたが担い手（出演、みこしの担ぎ手、裏方等）として参加を続けたいとは思わない（続けられない）、または参加したいと思わない理由はなんですか。（○はいくつでも）

		回答数	仕事・育児・介護などで忙しく時間がないから	仕事・育児・介護などで忙しく気力がわかないから	参加を申し込む連絡先が分からないから	参加者が予め決められているから（当番制、自治会役員等）	関係者との人付き合いが苦手だから	参加にかかる費用が高いから	高齢になったから	興味がない・楽しくないから	その他
全体		2,820	14.3	9.5	3.3	4.7	18.9	5.4	27.3	51.9	2.8
性別	男性	1,662	11.7	7.0	3.1	4.5	16.2	4.3	31.5	54.2	2.8
	女性	1,158	17.9	13.1	3.7	4.9	22.8	7.0	21.2	48.6	2.9
年代	18歳～29歳	70	21.4	15.7	1.4	1.4	17.1	10.0	0.0	62.9	2.9
	30歳～39歳	259	22.4	17.0	4.2	4.2	26.3	5.0	0.4	64.1	0.8
	40歳～49歳	564	18.8	12.4	4.1	5.5	24.1	9.9	5.1	60.1	2.8
	50歳～59歳	836	18.1	12.2	4.1	4.8	21.1	5.3	15.2	55.7	3.7
	60歳～69歳	732	8.5	5.1	2.6	5.2	15.4	3.7	49.3	44.9	3.0
	70歳以上	359	2.8	1.4	1.7	3.1	8.1	1.7	70.2	33.1	1.9
居住地	福岡地域	695	14.4	10.6	3.5	4.9	18.0	6.3	25.9	50.9	3.3
	筑後地域	694	12.7	9.1	3.2	4.9	20.2	5.2	27.5	50.7	2.0
	筑豊地域	712	16.7	10.8	2.8	4.2	18.0	4.6	26.0	53.8	3.4
	北九州地域	719	13.2	7.6	3.9	4.7	19.6	5.6	29.8	52.0	2.6
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	603	11.4	6.8	3.5	3.5	20.1	6.3	28.5	54.1	4.1
	夫婦のみ	857	9.1	6.1	2.7	4.4	15.4	3.2	40.5	48.8	2.5
	親子同居（2世代同居）	1,180	18.7	13.4	3.6	5.4	21.3	6.2	17.1	53.4	2.5
	親と子と孫（3世代同居）	104	22.1	10.6	5.8	6.7	14.4	8.7	26.0	45.2	2.9
	兄弟・姉妹同居	34	2.9	2.9	0.0	2.9	14.7	5.9	23.5	67.6	0.0
及び末子の学齢 同居の子の有無	同居の子 あり	857	21.4	14.5	4.0	5.8	20.0	6.4	20.5	48.7	2.0
	末子の学齢 未就学児	131	43.5	28.2	3.1	4.6	20.6	10.7	2.3	51.1	0.8
	末子の学齢 小学生	131	23.7	17.6	4.6	6.1	30.5	5.3	2.3	53.4	1.5
	末子の学齢 中学生	93	28.0	16.1	5.4	7.5	19.4	6.5	6.5	54.8	1.1
	末子の学齢 高校生	88	23.9	18.2	5.7	5.7	29.5	8.0	10.2	52.3	2.3
	末子の学齢 大学以上	414	11.6	8.0	3.4	5.8	14.5	5.1	37.4	44.2	2.7
	同居の子 なし	503	14.3	10.3	3.2	4.6	21.9	6.6	14.9	60.0	3.4

年代別に見ると、70歳以上では「高齢になったから」が70.2%で、同項目は年代が高いほど回答の割合も高くなる傾向が見られる。30歳から39歳は「興味がない・楽しくないから」が64.1%と他の年代よりも高くなっており、同項目は年代が低いほど回答の割合も高くなる傾向が見られる。
同居の子がいる回答者で末子の学齢が未就学児の場合は「仕事・育児・介護などで忙しく時間がないから」が43.5%、「仕事・育児・介護などで忙しく気力がわかないから」が28.2%と他よりも高くなっている。

問24　子どもの文化芸術体験に重要なこと（複数回答）

あなたは、子どもの文化芸術体験について、何が重要だと思いますか。（〇はいくつでも）



子どもの文化芸術体験に重要なことを聞いたところ、「特にない・分からない」が39.6%と最も高くなっている。次いで「学校における公演や展示などの鑑賞体験の充実」（32.5%）、「歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会の充実」（26.3%）、「学校における音楽、ダンス、伝統芸能、美術などの創作・実演体験の充実」（23.5%）と続いている。

問24　子どもの文化芸術体験に重要なこと（複数回答）

あなたは、子どもの文化芸術体験について、何が重要だと思いますか。（○はいくつでも）

		回答数	学校における公演や展示などの鑑賞体験の充実	学校における音楽、ダンス、伝統芸能、美術などの創作・実演体験の充実	学校における華道・茶道・書道などの生活文化の体験機会の充実	郷土料理や年中行事の料理などの食文化の体験機会の充実	歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会の充実	学校と地域の文化芸術施設等との連携を強化し、校内外で一体化した文化芸術教育の実現
全体		4,000	32.5	23.5	20.2	19.6	26.3	19.5
性別	男性	2,379	30.9	22.6	18.2	18.0	27.5	18.7
	女性	1,621	35.0	24.8	23.0	21.8	24.4	20.6
年代	18歳～29歳	108	26.9	24.1	20.4	16.7	18.5	13.0
	30歳～39歳	407	31.9	21.1	21.1	18.4	20.9	15.2
	40歳～49歳	839	30.9	23.1	20.7	22.6	22.2	19.8
	50歳～59歳	1,191	33.2	23.9	20.2	19.2	28.0	18.7
	60歳～69歳	995	33.2	22.8	20.6	19.5	27.9	21.0
	70歳以上	460	34.3	26.5	17.2	16.5	32.4	23.0
居住地	福岡地域	1,000	32.2	27.3	21.5	19.7	27.1	18.5
	筑後地域	1,000	32.7	22.7	19.8	21.5	27.2	20.0
	筑豊地域	1,000	32.8	21.6	19.7	18.5	26.3	21.3
	北九州地域	1,000	32.4	22.4	19.7	18.5	24.5	18.2
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	29.6	21.1	19.1	18.8	25.5	18.4
	夫婦のみ	1,194	31.7	23.5	19.1	19.2	28.2	20.3
	親子同居（2世代同居）	1,740	33.7	23.7	20.6	19.6	25.0	19.3
	親と子と孫（3世代同居）	156	41.7	31.4	28.2	24.4	32.7	23.1
	兄弟・姉妹同居	46	30.4	26.1	17.4	19.6	26.1	17.4
及び末子の学齢 同居の子の有無	同居の子 あり	1,309	36.3	25.8	22.9	20.9	26.1	21.4
	末子の学齢 未就学児	215	32.1	26.0	24.7	20.0	21.4	18.6
	末子の学齢 小学生	228	42.5	29.8	22.8	28.1	26.8	22.4
	末子の学齢 中学生	152	34.2	27.0	23.7	19.7	30.9	24.3
	末子の学齢 高校生	127	43.3	26.8	26.8	18.1	27.6	25.2
	末子の学齢 大学以上	587	34.4	23.7	21.3	19.3	26.1	20.4
	同居の子 なし	682	30.4	21.8	18.0	18.6	24.0	15.8

年代別に見ると、70歳以上は「学校における公演や展示などの鑑賞体験の充実」が34.3%、「歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会の充実」が32.4%など、他の年代よりも高くなっている。

問24　子どもの文化芸術体験に重要なこと（複数回答）

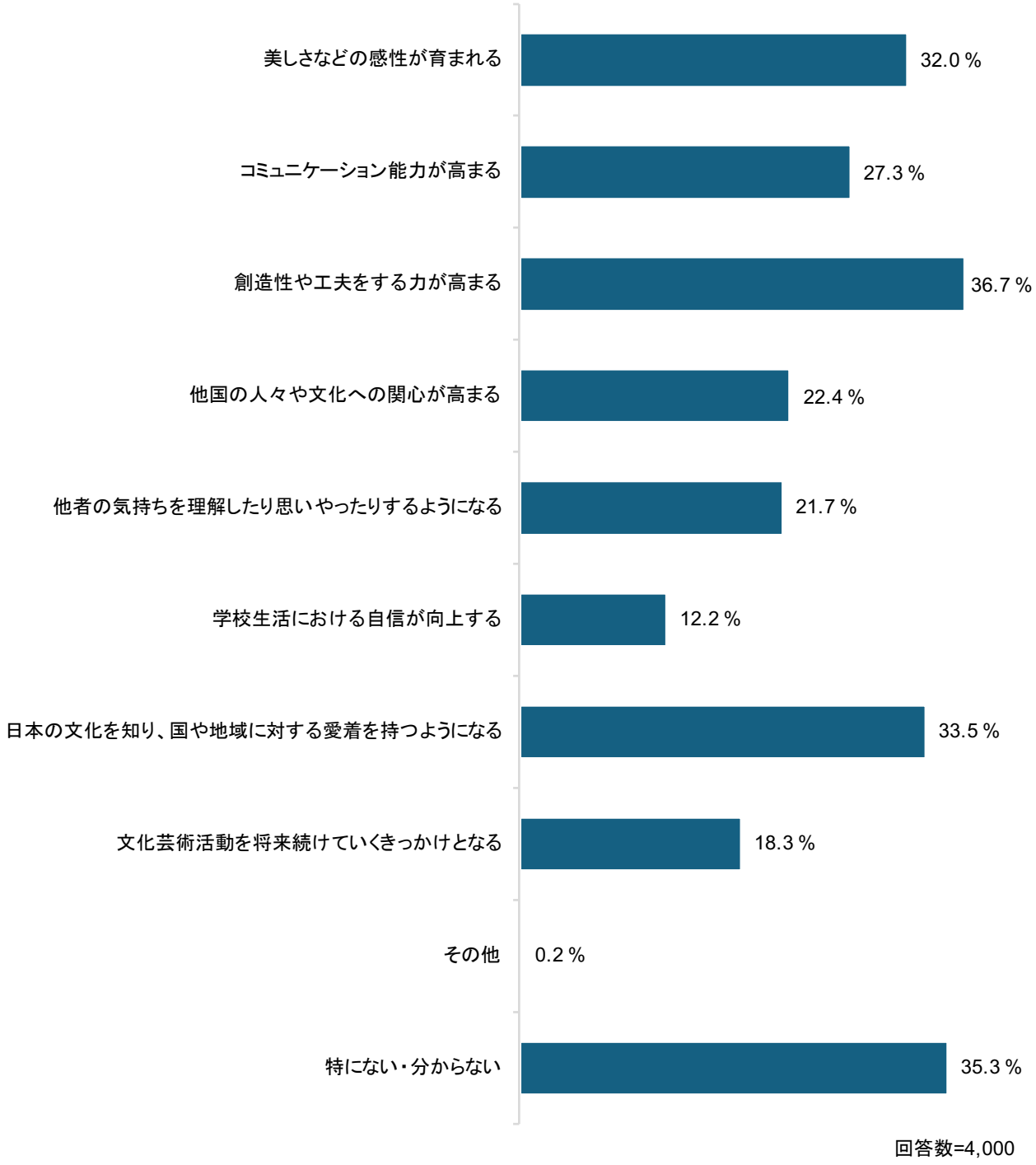
あなたは、子どもの文化芸術体験について、何が重要だと思いますか。（○はいくつでも）

		回答数	ホール・劇場や美術館・博物館など文化施設における鑑賞・学習機会の充実	音楽祭や演劇祭など地域で文化的行事を開催し、文化芸術に親しむきっかけを提供	地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会をより多く提供	子どもの文化芸術体験を支援する人材の充実	その他	特にない・分からない
全体		4,000	21.8	19.0	20.3	17.2	0.4	39.6
性別	男性	2,379	19.6	17.2	19.2	16.2	0.5	40.6
	女性	1,621	24.9	21.6	22.0	18.6	0.2	38.0
年代	18歳～29歳	108	21.3	20.4	20.4	13.0	0.0	48.1
	30歳～39歳	407	21.1	16.2	16.0	15.5	0.0	44.2
	40歳～49歳	839	21.2	18.1	18.0	15.0	0.1	40.8
	50歳～59歳	1,191	21.6	19.5	19.7	15.3	0.6	40.8
	60歳～69歳	995	21.9	19.3	22.2	20.6	0.6	36.4
	70歳以上	460	23.5	20.7	25.7	20.9	0.4	35.0
居住地	福岡地域	1,000	21.3	19.1	19.3	15.9	0.6	37.5
	筑後地域	1,000	24.3	20.0	21.7	19.0	0.3	37.4
	筑豊地域	1,000	21.1	18.4	21.0	17.7	0.3	41.5
	北九州地域	1,000	20.3	18.4	19.2	16.0	0.4	41.9
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	21.1	18.7	19.1	15.5	0.5	45.8
	夫婦のみ	1,194	20.2	19.6	22.2	18.3	0.5	38.5
	親子同居（2世代同居）	1,740	22.7	18.7	19.2	16.7	0.3	37.8
	親と子と孫（3世代同居）	156	24.4	20.5	21.8	21.8	0.6	30.1
	兄弟・姉妹同居	46	17.4	15.2	23.9	13.0	0.0	52.2
同居及び末子の学齢	同居の子 あり	1,309	23.8	18.9	20.2	18.6	0.3	33.3
	末子の学齢 未就学児	215	21.4	15.8	19.5	17.2	0.0	40.0
	末子の学齢 小学生	228	23.7	18.9	20.2	20.2	0.0	26.8
	末子の学齢 中学生	152	28.3	17.8	18.4	15.1	0.0	28.3
	末子の学齢 高校生	127	29.9	24.4	18.9	16.5	0.0	34.6
	末子の学齢 大学以上	587	22.1	19.1	21.1	19.8	0.7	34.4
	同居の子 なし	682	21.4	18.5	18.6	14.5	0.3	46.0

「同居の子 なし」の場合は「特にない・分からない」が46.0%で「同居の子 あり」に比べて高くなっている。
同居の子がいる回答者で末子の学齢が高校生の場合は「学校における公演や展示などの鑑賞体験の充実」が43.3%、小学生の場合も同項目は42.5%と高くなっている。

問25　子どもの文化芸術体験に期待する効果（複数回答）

あなたが子どもの文化芸術体験について、期待する効果は何ですか。（○はいくつでも）



子どもの文化芸術体験に期待する効果は、「創造性や工夫をする力が高まる」が36.7%で最も高く、次いで「特にない・分からない」（35.3%）、「日本の文化を知り、国や地域に対する愛着を持つようになる」（33.5%）、「美しさなどの完成が育まれる」（32.0%）と続いている。

問25　子どもの文化芸術体験に期待する効果（複数回答）

あなたが子どもの文化芸術体験について、期待する効果は何ですか。（○はいくつでも）

		回答数	美しさなどの感性が育まれる	コミュニケーション能力が高まる	創造性や工夫をする力が高まる	他国の人々や文化への関心が高まる	他者の気持ちを理解したり思いやったりするようになる	学校生活における自信が向上する
全体		4,000	32.0	27.3	36.7	22.4	21.7	12.2
性別	男性	2,379	30.5	27.3	34.6	20.1	19.9	11.3
	女性	1,621	34.1	27.3	39.7	25.7	24.4	13.6
年代	18歳～29歳	108	31.5	22.2	31.5	21.3	16.7	13.0
	30歳～39歳	407	34.2	25.8	38.1	25.1	23.3	12.0
	40歳～49歳	839	31.1	28.1	35.0	22.3	21.6	13.0
	50歳～59歳	1,191	32.7	26.4	35.8	23.1	20.7	11.6
	60歳～69歳	995	30.9	28.5	38.3	20.0	21.7	12.3
	70歳以上	460	32.2	27.8	38.3	23.5	24.6	12.2
居住地	福岡地域	1,000	33.2	25.0	35.9	24.4	22.9	11.5
	筑後地域	1,000	33.8	28.4	40.5	22.8	22.0	13.2
	筑豊地域	1,000	28.9	29.8	34.9	22.2	21.3	13.3
	北九州地域	1,000	31.9	26.0	35.3	20.0	20.7	10.8
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	28.5	24.3	33.6	23.9	22.7	12.3
	夫婦のみ	1,194	30.0	26.9	35.0	20.7	21.8	13.5
	親子同居（2世代同居）	1,740	33.7	28.9	38.6	22.2	20.9	11.4
	親と子と孫（3世代同居）	156	45.5	27.6	43.6	27.6	28.8	12.8
	兄弟・姉妹同居	46	23.9	19.6	34.8	15.2	15.2	10.9
同居の子の有無及び末子の学齢	同居の子 あり	1,309	36.7	30.9	42.2	24.7	22.6	12.9
	末子の学齢 未就学児	215	40.5	34.4	43.3	27.0	22.8	14.0
	末子の学齢 小学生	228	40.4	29.4	47.8	28.1	23.7	17.5
	末子の学齢 中学生	152	30.9	29.6	39.5	26.3	18.4	16.4
	末子の学齢 高校生	127	36.2	35.4	39.4	26.0	26.8	16.5
	末子の学齢 大学以上	587	35.4	29.6	40.9	21.8	22.3	9.0
	同居の子 なし	682	30.5	24.6	32.6	18.9	18.8	8.5

年代別に見ると、70歳以上は「日本の文化を知り、国や地域に対する愛着を持つようになる」が45.4%と他の年代よりも高くなっている。
世帯構成別に見ると、親と子と孫（3世代同居）は「美しさなどの感性が育まれる」（45.5%）、「日本の文化を知り、国や地域に対する愛着を持つようになる」（44.2%）、「創造性や工夫をする力が高まる」（43.6%）と他よりも高くなっている。

問25　子どもの文化芸術体験に期待する効果（複数回答）

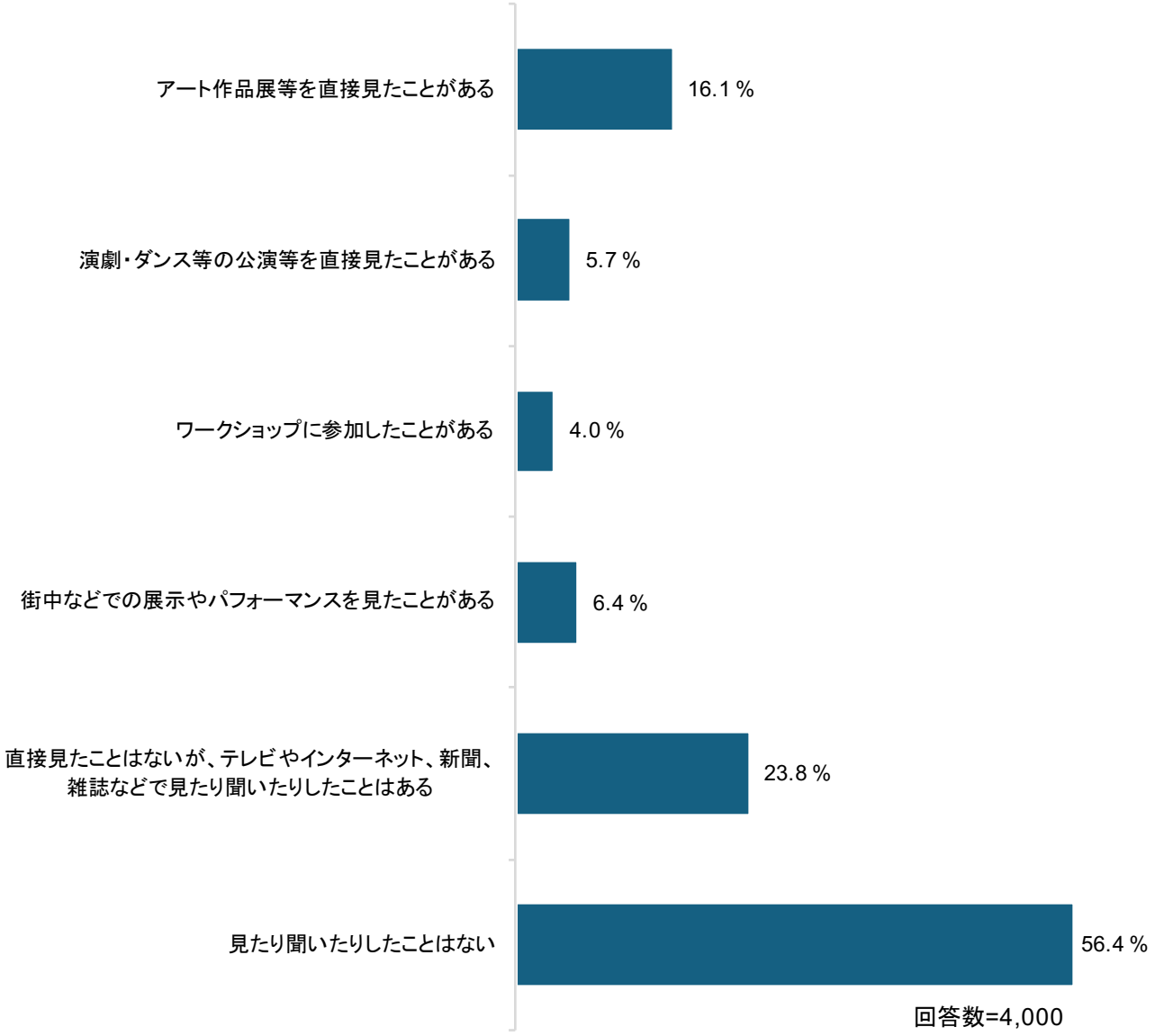
あなたが子どもの文化芸術体験について、期待する効果は何ですか。（○はいくつでも）

		回答数	困難に直面した時の解決力が向上する	日本の文化を知り、国や地域に対する愛着を持つようになる	文化芸術活動を将来続けていくきっかけとなる	その他	特にない・分からない
全体		4,000	10.2	33.5	18.3	0.2	35.3
性別	男性	2,379	9.6	33.0	16.7	0.3	36.7
	女性	1,621	11.0	34.2	20.6	0.1	33.1
年代	18歳～29歳	108	9.3	30.6	16.7	0.0	38.0
	30歳～39歳	407	10.1	21.9	12.8	0.0	40.8
	40歳～49歳	839	12.2	28.0	15.9	0.4	37.7
	50歳～59歳	1,191	10.6	33.7	18.8	0.2	35.4
	60歳～69歳	995	8.9	37.3	19.5	0.3	32.7
	70歳以上	460	8.7	45.4	24.1	0.2	30.7
居住地	福岡地域	1,000	10.1	33.9	18.5	0.4	33.3
	筑後地域	1,000	10.0	34.6	18.9	0.2	33.0
	筑豊地域	1,000	11.7	34.6	17.2	0.3	38.5
	北九州地域	1,000	9.0	30.7	18.6	0.0	36.3
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	11.9	30.6	19.1	0.4	41.3
	夫婦のみ	1,194	8.9	36.1	19.7	0.3	34.4
	親子同居（2世代同居）	1,740	10.0	32.2	16.7	0.1	33.0
	親と子と孫（3世代同居）	156	13.5	44.2	19.9	0.0	28.8
	兄弟・姉妹同居	46	10.9	30.4	19.6	0.0	47.8
同居及び末子の学齢	同居の子 あり	1,309	11.1	35.1	16.3	0.1	29.0
	末子の学齢 未就学児	215	13.0	27.4	15.8	0.0	33.5
	末子の学齢 小学生	228	14.5	29.4	14.5	0.0	25.9
	末子の学齢 中学生	152	7.9	36.8	12.5	0.0	27.6
	末子の学齢 高校生	127	14.2	36.2	18.1	0.0	28.3
	末子の学齢 大学以上	587	9.2	39.4	17.9	0.2	29.0
	同居の子 なし	682	8.8	29.2	18.6	0.1	41.6

「同居の子 なし」の場合は「特にない・分からない」が41.6％で「同居の子 あり」に比べて高くなっている。
同居の子がいる回答者で末子の学齢が小学生の場合は「創造性や工夫をする力が高まる」が47.8％と他よりも高くなっている。

問26　障がいのある人のアート作品等の鑑賞や参加（複数回答）

あなたは、障がいのある人のアート作品（絵画・造形等）や演劇、ダンスなどの芸術活動について、これまで鑑賞や参加などしたことはありますか。（○はいくつでも）※「あてはまるものはない」方は「見たり聞いたりしたことはない」をお答えください。



障がいのある人のアート作品等の鑑賞や参加について聞いたところ、「見たり聞いたりしたことはない」が56.4%と最も高くなっている。次いで「直接見たことはないが、テレビやインターネット、新聞。雑誌などで見たり聞いたりしたことはある」（23.8%）、「アート作品展等を直接見たことがある」（16.1%）となっている。

問26 障がいのある人のアート作品等の鑑賞や参加（複数回答）

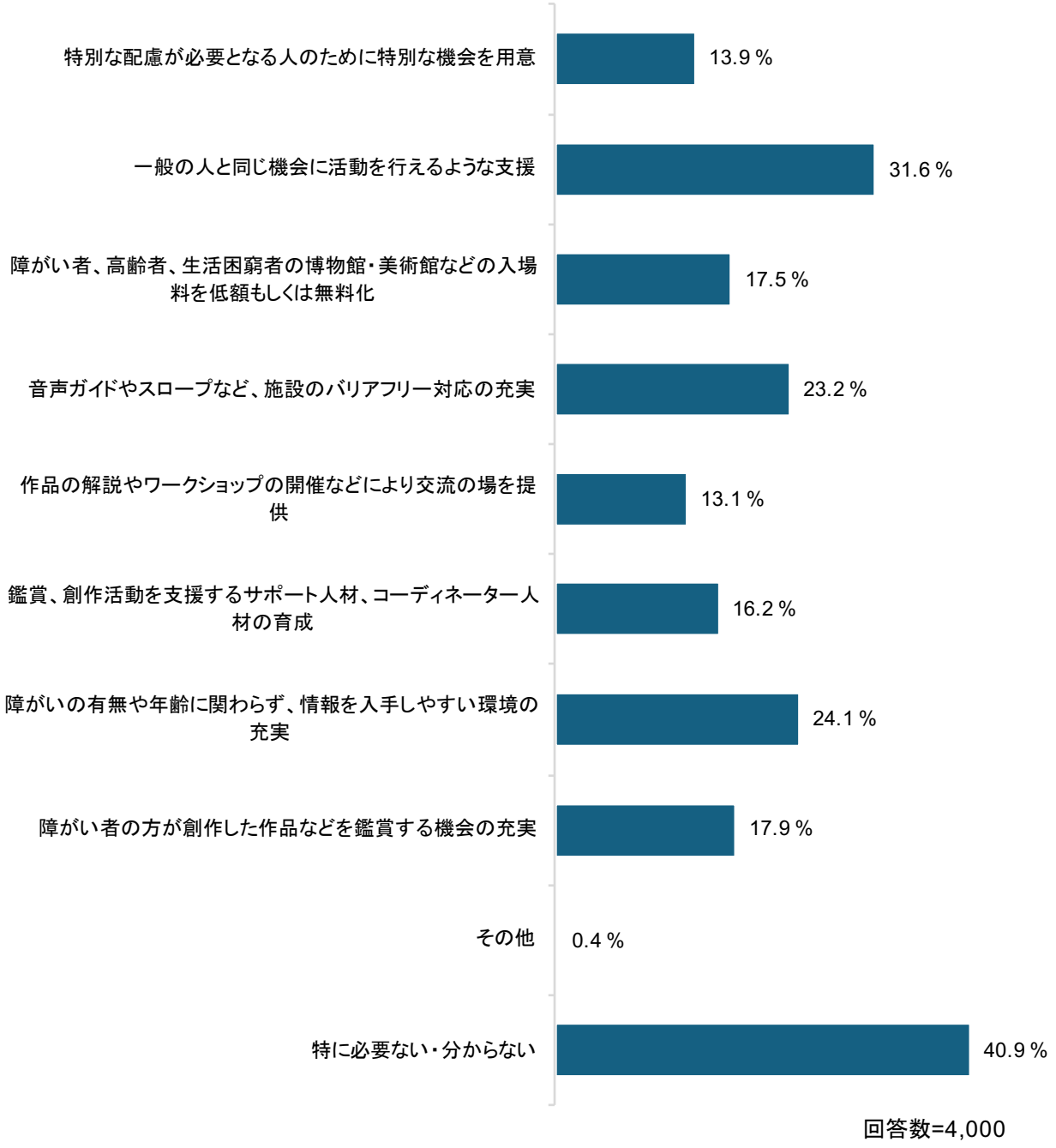
あなたは、障がいのある人のアート作品（絵画・造形等）や演劇、ダンスなどの芸術活動について、これまで鑑賞や参加などしたことはありますか。（〇はいくつでも）※「あてはまるものはない」方は「見たり聞いたりしたことはない」をお答えください。

		回答数	アート作品展等を直接見たことがある	演劇・ダンス等の公演等を直接見たことがある	ワークショップに参加したことがある	街中などでの展示やパフォーマンスを見たことがある	直接見たことはないが、テレビやインターネット、新聞、雑誌などで見たり聞いたりしたことはある	見たり聞いたりしたことはない
全体		4,000	16.1	5.7	4.0	6.4	23.8	56.4
性別	男性	2,379	14.9	5.9	4.2	6.3	21.4	59.3
	女性	1,621	17.7	5.3	3.7	6.5	27.2	52.3
年代	18歳～29歳	108	12.0	9.3	5.6	9.3	20.4	58.3
	30歳～39歳	407	13.3	5.9	5.2	6.4	18.2	62.7
	40歳～49歳	839	16.3	7.0	5.4	8.0	22.5	56.3
	50歳～59歳	1,191	15.2	5.0	3.0	5.8	24.2	57.2
	60歳～69歳	995	16.9	5.0	4.0	5.2	25.3	54.9
	70歳以上	460	19.3	5.0	2.8	7.0	27.2	52.2
居住地	福岡地域	1,000	18.3	5.5	4.5	7.0	23.4	54.3
	筑後地域	1,000	16.1	4.7	4.4	5.8	24.7	55.6
	筑豊地域	1,000	16.0	6.2	4.1	7.2	24.1	56.8
	北九州地域	1,000	13.8	6.2	3.1	5.6	22.8	59.0
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	16.9	5.3	3.7	6.1	21.2	59.1
	夫婦のみ	1,194	17.0	5.6	3.8	5.9	24.7	54.9
	親子同居（2世代同居）	1,740	15.3	6.0	4.4	6.8	23.9	56.0
	親と子と孫（3世代同居）	156	12.8	4.5	4.5	9.0	28.8	56.4
	兄弟・姉妹同居	46	13.0	4.3	4.3	4.3	21.7	63.0
同居の子の有無及び末子の学齢	同居の子 あり	1,309	15.9	6.8	5.2	7.6	23.5	55.2
	末子の学齢 未就学児	215	11.2	6.5	5.6	7.4	22.8	59.1
	末子の学齢 小学生	228	12.7	7.9	6.6	10.1	22.4	53.1
	末子の学齢 中学生	152	21.7	12.5	7.9	6.6	19.7	55.9
	末子の学齢 高校生	127	19.7	8.7	5.5	9.4	23.6	53.5
	末子の学齢 大学以上	587	16.5	4.6	3.7	6.5	25.2	54.9
	同居の子 なし	682	13.6	4.0	2.6	5.3	25.5	58.2

年代別に見ると、70歳以上は「直接見たことはないが、テレビやインターネット、新聞、雑誌などで見たり聞いたりしたことはある」が27.2%、「アート作品展等を直接見たことがある」が19.3%と他の年代よりも高くなっている。
同居の子がいる回答者で末子の学齢が中学生の場合は「アート作品展等を直接見たことがある」が21.7%と他よりも高くなっている。

問27　文化活動を通じて、障がいのある人等と交流を深めコミュニティを強くしていこうとする考え方を実現させるための取組（複数回答）

近年、文化芸術活動を共に行うことを通じて、障がいのある人や高齢者、生活に困窮している方など社会的に孤立しがちな人との交流を深め、コミュニティを強くしていくために様々な取組がなされています。あなたはどのような取組が必要だと思いますか。（○はいくつでも）



＜文化活動を通じて、障がいのある人や高齢者、生活に困窮している方など社会的に孤立しがちな人との交流を深め、コミュニティを強くしていこうとする考え方＞を実現させるための取組について聞いたところ、「特に必要ない・分からない」が40.9%と最も高く、次いで「一般の人と同じ機会に活動を行えるような支援」（31.6%）、「障がいの有無や年齢に関わらず、情報を入手しやすい環境の充実」（24.1%）、「音声ガイドやスロープなど、施設のバリアフリー対応の充実」（23.2%）となっている。

問27　文化活動を通じて、障がいのある人等と交流を深めコミュニティを強くしていこうとする考え方を実現させるための取組（複数回答）

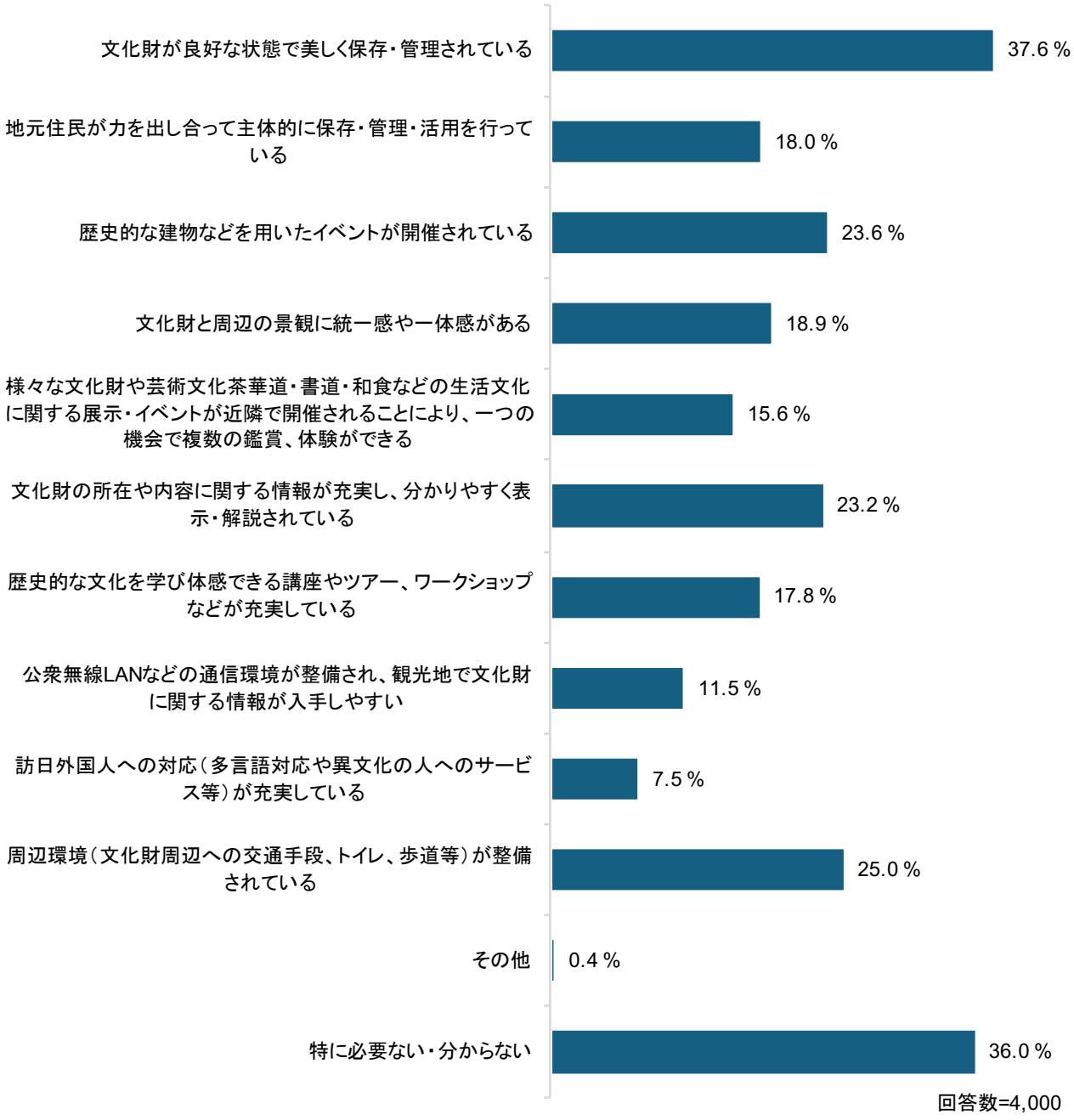
近年、文化芸術活動を共に行うことを通じて、障がいのある人や高齢者、生活に困窮している方など社会的に孤立しがちな人との交流を深め、コミュニティを強くしていくために様々な取組がなされています。あなたはどのような取組が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

		回答数	特別な配慮が必要となる人のために特別な機会を用意	一般の人と同じ機会に活動を行えるような支援	障がい者、高齢者、生活困窮者の博物館・美術館などの入場料を低額もしくは無料化	音声ガイドやスロープなど、施設のバリアフリー対応の充実	作品の解説やワークショップの開催などにより交流の場を提供	鑑賞、創作活動を支援するサポート人材、コーディネーター人材の育成	障がいの有無や年齢に関わらず、情報を入手しやすい環境の充実	障がい者の方が創作した作品などを鑑賞する機会の充実	その他	特に必要ない・分からない
全体		4,000	13.9	31.6	17.5	23.2	13.1	16.2	24.1	17.9	0.4	40.9
性別	男性	2,379	14.5	31.3	18.1	20.2	11.6	15.7	22.0	16.4	0.5	43.9
	女性	1,621	13.0	32.1	16.5	27.6	15.3	17.0	27.2	20.0	0.2	36.5
年代	18歳～29歳	108	14.8	23.1	15.7	21.3	13.0	13.0	21.3	14.8	0.0	47.2
	30歳～39歳	407	13.3	28.0	13.8	19.7	13.5	11.8	17.4	12.5	0.0	46.9
	40歳～49歳	839	14.3	29.3	13.6	20.6	13.8	13.6	21.0	16.2	0.6	43.4
	50歳～59歳	1,191	13.9	31.2	15.7	22.3	12.5	15.8	24.4	17.2	0.4	41.8
	60歳～69歳	995	13.5	34.4	20.5	27.8	12.7	19.2	25.9	21.1	0.4	36.7
	70歳以上	460	14.6	35.9	26.3	23.7	13.9	20.2	31.7	21.1	0.2	36.3
居住地	福岡地域	1,000	12.6	29.8	18.0	22.7	13.1	15.9	24.4	17.7	0.5	39.6
	筑後地域	1,000	14.3	32.3	18.2	24.9	12.3	16.3	23.4	17.8	0.4	38.9
	筑豊地域	1,000	14.8	32.9	16.6	24.2	14.3	17.6	25.2	18.6	0.4	42.2
	北九州地域	1,000	14.0	31.4	17.1	21.0	12.7	15.0	23.5	17.4	0.2	42.9
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	13.3	29.7	17.3	22.1	11.8	15.0	23.7	16.6	0.6	44.8
	夫婦のみ	1,194	14.6	33.2	18.2	23.7	12.9	16.7	24.8	19.9	0.4	39.2
	親子同居（2世代同居）	1,740	13.4	30.9	16.4	23.0	13.7	16.0	23.9	16.8	0.2	39.8
	親と子と孫（3世代同居）	156	13.5	35.9	19.2	23.7	14.1	17.9	22.4	18.6	1.3	42.9
	兄弟・姉妹同居	46	17.4	28.3	23.9	19.6	13.0	19.6	23.9	21.7	0.0	50.0
及び末子の学齢 同居の子の有無	同居の子 あり	1,309	13.1	33.0	16.6	23.2	14.7	16.6	24.9	16.9	0.4	38.0
	末子の学齢 未就学児	215	12.1	27.4	11.6	20.5	14.0	14.4	22.3	10.7	0.0	47.9
	小学生	228	10.1	28.9	12.3	21.5	14.9	14.9	22.4	15.4	0.4	36.8
	中学生	152	8.6	36.2	19.1	24.3	13.2	10.5	21.1	18.4	0.7	38.2
	高校生	127	12.6	36.2	11.0	18.9	17.3	19.7	25.2	15.7	0.0	40.9
	大学以上	587	15.8	35.1	20.6	25.6	14.8	18.9	27.8	19.6	0.5	34.2
	同居の子 なし	682	15.2	28.3	18.2	23.6	11.9	16.1	22.0	17.7	0.0	44.7

年代別に見ると、70際以上は「一般の人と同じ機会に活動を行えるような支援」（35.9%）、「障がいの有無や年齢に関わらず、情報を入手しやすい環境の充実」（31.7%）、「障がい者、高齢者、生活困窮者の博物館・美術館などの入場料を低額もしくは無料化」（26.3%）などで他の年代よりも高くなっている。

問28　文化財を地域資源として魅力あるものにするために重要なこと（複数回答）

あなたは、文化財を地域資源として魅力あるものにしていくためにはどのようなことが重要だと思いますか。（○はいくつでも）



文化財を観光資源として魅力あるものにするために重要なことについて聞いたところ、「文化財が良好な状態で美しく保存・管理されている」が37.6%で最も高くなっている。次いで「特に必要ない・分からない」（36.0%）、「周辺環境（文化財周辺への交通手段、トイレ、歩道等）が整備されている」（25.0%）、「歴史的な建物などを用いたイベントが開催されている」（23.6%）、「文化財の所在や内容に関する情報が充実し、分かりやすく表示・解説されている」（23.2%）と続いている。

問28　文化財を地域資源として魅力あるものにするために重要なこと（複数回答）

あなたは、文化財を地域資源として魅力あるものにしていくためにはどのようなことが重要だと思いますか。（○はいくつでも）

		回答数	文化財が良好な状態で美しく保存・管理されている	地元住民が力を出し合って主体的に保存・管理・活用を行っている	歴史的な建物などを用いたイベントが開催されている	文化財と周辺の景観に統一感や一体感がある	様々な文化財や芸術文化茶華道・書道・和食などの生活文化に関する展示・イベントが近隣で開催されることにより、一つの機会で複数の鑑賞、体験ができる	文化財の所在や内容に関する情報が充実し、分かりやすく表示・解説されている
全体		4,000	37.6	18.0	23.6	18.9	15.6	23.2
性別	男性	2,379	37.7	19.3	23.3	19.4	14.0	23.0
	女性	1,621	37.4	16.0	24.1	18.1	18.1	23.6
年代	18歳～29歳	108	32.4	11.1	21.3	16.7	15.7	17.6
	30歳～39歳	407	30.7	13.3	21.6	13.3	17.4	19.2
	40歳～49歳	839	34.3	17.6	21.0	17.9	17.0	17.6
	50歳～59歳	1,191	38.3	19.6	25.4	20.4	14.7	23.3
	60歳～69歳	995	39.4	18.0	24.4	19.0	15.4	26.4
	70歳以上	460	45.4	19.8	24.1	22.0	14.3	31.1
居住地	福岡地域	1,000	38.6	17.3	22.9	18.9	15.6	24.8
	筑後地域	1,000	38.7	18.5	24.1	21.0	17.3	22.2
	筑豊地域	1,000	36.7	19.7	22.5	16.6	14.4	22.5
	北九州地域	1,000	36.5	16.3	24.9	19.0	15.2	23.3
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	39.9	18.9	24.2	20.4	13.7	25.3
	夫婦のみ	1,194	37.1	18.3	23.3	19.9	14.5	25.7
	親子同居（2世代同居）	1,740	36.0	16.7	23.3	17.2	17.2	20.1
	親と子と孫（3世代同居）	156	48.1	25.6	26.3	20.5	21.2	25.0
	兄弟・姉妹同居	46	34.8	15.2	23.9	21.7	6.5	26.1
同居及び末子の学齢の有無	同居の子 あり	1,309	36.7	18.8	24.4	17.4	18.3	21.9
	末子の学齢 未就学児	215	30.7	15.3	24.2	10.7	20.5	20.0
	末子の学齢 小学生	228	31.6	17.5	21.9	18.0	20.6	18.9
	末子の学齢 中学生	152	34.9	23.0	23.0	15.8	18.4	19.7
	末子の学齢 高校生	127	40.9	20.5	28.3	18.1	20.5	24.4
	末子の学齢 大学以上	587	40.4	19.1	24.9	19.9	16.2	23.9
	同居の子 なし	682	37.7	14.7	22.0	18.0	14.7	18.8

年代別に見ると、70歳以上は「文化財が良好な状態で美しく保存・管理されている」（45.4%）と「周辺環境（文化財周辺への交通手段、トイレ、歩道等）が整備されている」（29.8%）で他の年代よりも高くなっている。

問28　文化財を地域資源として魅力あるものにするために重要なこと(複数回答)

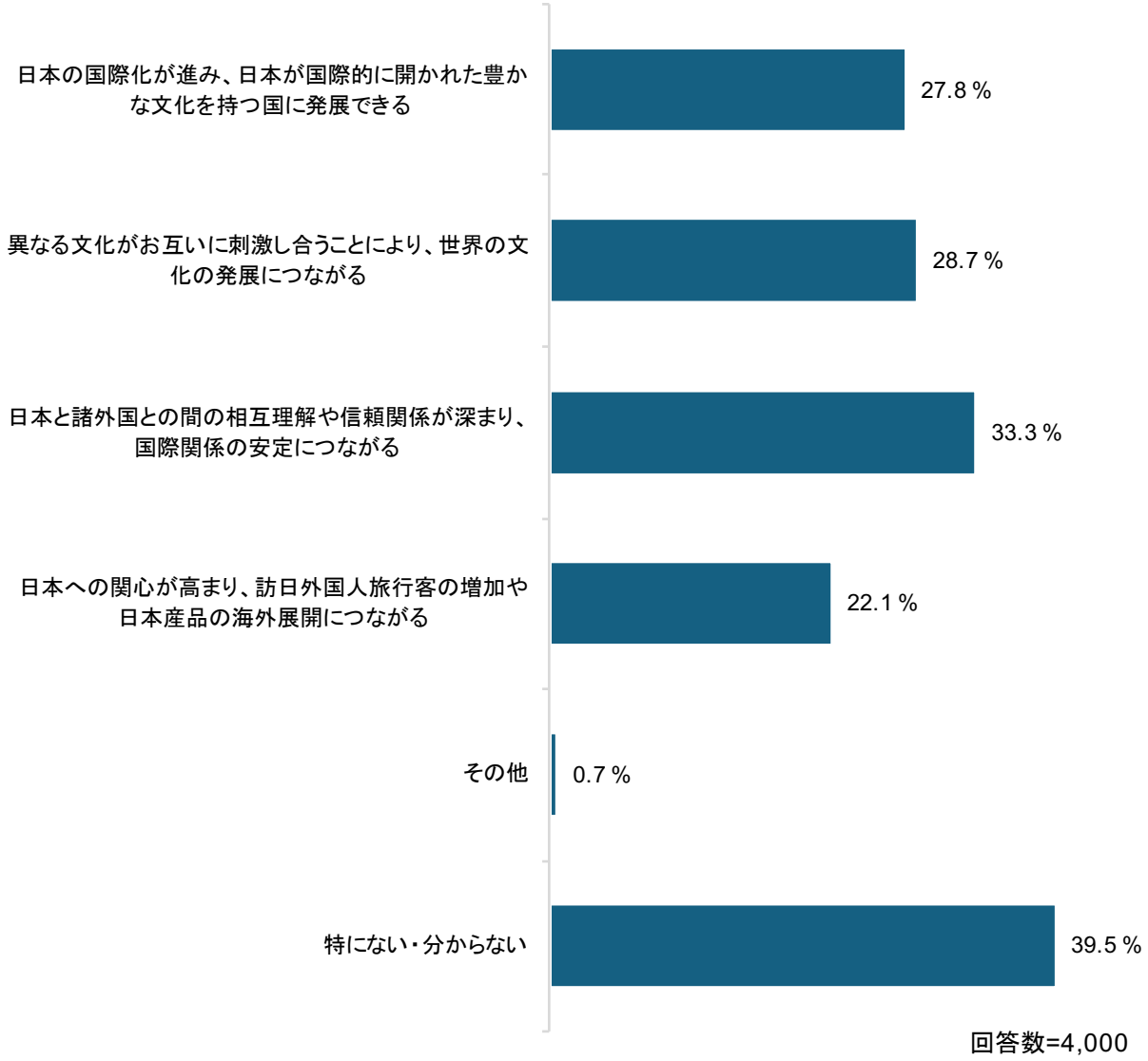
あなたは、文化財を地域資源として魅力あるものにしていくためにはどのようなことが重要だと思いますか。(○はいくつでも)

		回答数	歴史的な文化を学び体感できる講座やツアー、ワークショップなどが充実している	公衆無線LANなどの通信環境が整備され、観光地で文化財に関する情報が入手しやすい	訪日外国人への対応(多言語対応や異文化の人へのサービス等)が充実している	周辺環境(文化財周辺への交通手段、トイレ、歩道等)が整備されている	その他	特に必要ない・分からない
全体		4,000	17.8	11.5	7.5	25.0	0.4	36.0
性別	男性	2,379	16.1	11.5	6.9	22.6	0.6	37.0
	女性	1,621	20.4	11.4	8.5	28.4	0.1	34.5
年代	18歳～29歳	108	15.7	12.0	15.7	14.8	0.0	48.1
	30歳～39歳	407	16.2	9.1	9.1	19.4	0.0	44.5
	40歳～49歳	839	16.7	12.0	8.8	21.8	0.7	37.5
	50歳～59歳	1,191	18.3	12.0	6.9	25.8	0.3	35.3
	60歳～69歳	995	19.1	11.2	6.8	27.7	0.6	33.0
	70歳以上	460	17.8	11.7	5.0	29.8	0.2	31.3
居住地	福岡地域	1,000	18.7	10.0	8.0	23.2	0.3	33.6
	筑後地域	1,000	19.2	12.8	7.9	26.2	0.4	35.3
	筑豊地域	1,000	16.5	12.0	7.5	25.6	0.6	39.9
	北九州地域	1,000	16.9	11.1	6.7	24.8	0.4	35.3
世帯構成	単身世帯(ひとり暮らし)	815	18.9	12.4	8.0	25.5	0.4	37.4
	夫婦のみ	1,194	18.3	11.1	6.2	25.3	0.8	34.6
	親子同居(2世代同居)	1,740	16.8	11.5	8.2	23.9	0.2	36.1
	親と子と孫(3世代同居)	156	18.6	12.8	7.7	32.1	0.6	32.7
	兄弟・姉妹同居	46	10.9	8.7	8.7	23.9	0.0	47.8
及び末子の学齢 同居の子の有無	同居の子 あり	1,309	17.5	11.2	7.6	23.6	0.1	34.2
	末子の学齢 未就学児	215	14.9	10.2	7.9	17.7	0.0	42.3
	末子の学齢 小学生	228	17.5	7.5	10.5	22.4	0.0	32.9
	末子の学齢 中学生	152	16.4	9.2	8.6	21.7	0.0	30.9
	末子の学齢 高校生	127	22.8	15.0	8.7	22.8	0.0	35.4
	末子の学齢 大学以上	587	17.5	12.6	6.0	26.9	0.2	32.4
	同居の子 なし	682	16.3	11.6	9.1	26.2	0.6	40.3

同居の子がいる回答者で末子の学齢が高校生の場合は「歴史的な建物などを用いたイベントが開催されている」(28.3%)、「歴史的な文化を学び体感できる講座やツアー、ワークショップなどが充実している」(22.8%)が他よりも高くなっている。

問29　日本と諸外国が文化交流を進める意義（複数回答）

あなたは、日本と諸外国との文化交流を進めることは、どのような意義があると思いますか。（〇はいくつでも）



日本と諸外国が文化交流を進める意義について聞いたところ、「特にない・分からない」が39.5%で最も高くなっている。次いで「日本と諸外国との間の相互理解や信頼関係が深まり、国際関係の安定につながる」（33.3%）、「異なる文化がお互いに刺激し合うことにより、世界の文化の発展につながる」（28.7%）、「日本の国際化が進み、日本が国際的に開かれた豊かな文化を持つ国に発展できる」（27.8%）、「日本への関心が高まり、訪日外国人旅行客の増加や日本産品の海外展開につながる」（22.1%）となっている。

問29　日本と諸外国が文化交流を進める意義（複数回答）

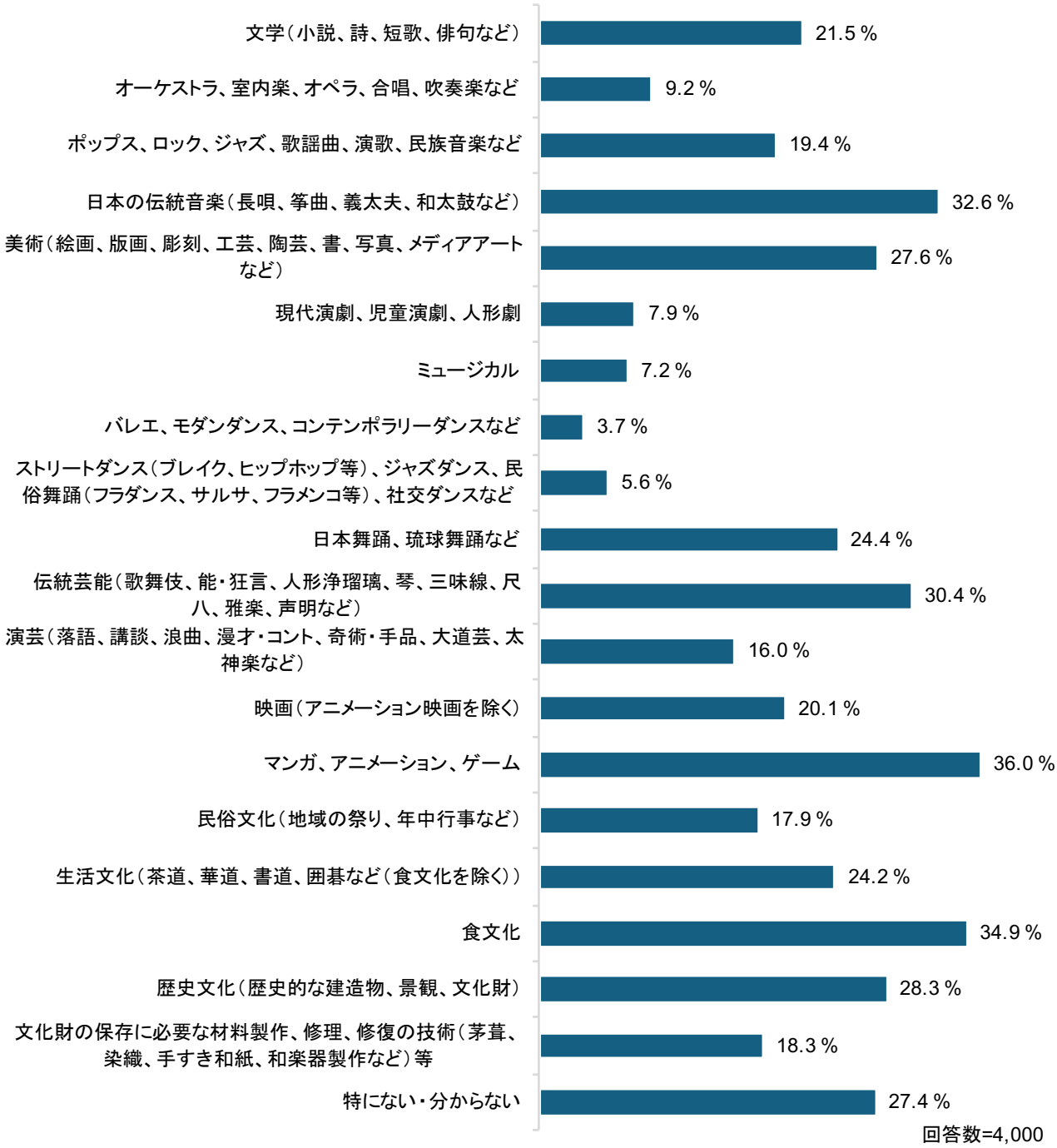
あなたは、日本と諸外国との文化交流を進めることは、どのような意義があると思いますか。（○はいくつでも）

		回答数	日本の国際化が進み、日本が国際的に開かれた豊かな文化を持つ国に発展できる	異なる文化がお互いに刺激し合うことにより、世界の文化の発展につながる	日本と諸外国との間の相互理解や信頼関係が深まり、国際関係の安定につながる	日本への関心が高まり、訪日外国人旅行客の増加や日本産品の海外展開につながる	その他	特にない・分からない
全体		4,000	27.8	28.7	33.3	22.1	0.7	39.5
性別	男性	2,379	27.8	26.9	32.6	21.4	0.8	40.8
	女性	1,621	27.8	31.3	34.2	22.9	0.4	37.5
年代	18歳～29歳	108	25.0	23.1	26.9	20.4	0.0	45.4
	30歳～39歳	407	24.3	27.3	24.6	17.0	0.5	48.9
	40歳～49歳	839	26.8	28.4	28.7	21.3	0.7	42.4
	50歳～59歳	1,191	26.7	27.8	33.0	21.4	0.6	39.2
	60歳～69歳	995	29.0	28.9	36.7	22.8	0.9	36.2
	70歳以上	460	33.5	33.7	43.9	28.3	0.7	32.0
居住地	福岡地域	1,000	28.4	30.1	34.8	21.6	1.1	36.7
	筑後地域	1,000	28.6	30.2	33.5	23.8	0.3	38.3
	筑豊地域	1,000	27.3	26.6	31.8	21.1	1.0	42.8
	北九州地域	1,000	26.9	27.9	32.9	21.7	0.3	40.0
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	26.3	28.0	29.1	22.5	0.9	42.0
	夫婦のみ	1,194	29.8	29.0	37.0	22.9	0.8	36.9
	親子同居（2世代同居）	1,740	27.0	28.7	32.9	21.3	0.4	39.7
	親と子と孫（3世代同居）	156	28.2	33.3	30.8	21.2	0.6	39.7
	兄弟・姉妹同居	46	32.6	13.0	30.4	21.7	2.2	47.8
及び末子の学齢	同居の子 あり	1,309	28.0	30.2	33.3	22.6	0.5	37.6
	末子の学齢 未就学児	215	26.5	27.9	30.2	22.3	0.5	45.6
	末子の学齢 小学生	228	26.8	29.8	30.3	21.1	0.9	36.4
	末子の学齢 中学生	152	23.7	30.9	36.2	17.1	0.0	36.8
	末子の学齢 高校生	127	30.7	37.0	30.7	21.3	0.0	35.4
	末子の学齢 大学以上	587	29.5	29.5	35.4	25.0	0.7	35.8
	同居の子 なし	682	25.8	26.2	31.5	19.1	0.4	44.4

年代別に見ると、70歳以上は「日本と諸外国との間の相互理解や信頼関係が深まり、国際関係の安定につながる」が43.9%で他の年代よりも高くなっている。
同居の子がいる回答者で末子の学齢が高校生の場合は「異なる文化がお互いに刺激し合うことにより、世界の文化の発展につながる」が37.0%と他よりも高くなっている。

問30　諸外国に発信すべき日本の文化芸術ジャンル（複数回答）

あなたは、どのようなジャンルを日本の文化芸術の魅力として諸外国に発信すべきだと思いますか。（〇はいくつでも）※「あてはまるものはない」方は「特にない・分からない」をお答えください。



諸外国に発信すべき日本の文化芸術ジャンルは、「マンガ、アニメーション、ゲーム」が36.0％で最も高く、次いで「食文化」（34.9％）、「日本の伝統音楽（長唄、箏曲、義太夫、和太鼓など）」（32.6％）、「伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）」（30.4％）と続いている。

問30　諸外国に発信すべき日本の文化芸術ジャンル（複数回答）

あなたは、どのようなジャンルを日本の文化芸術の魅力として諸外国に発信すべきだと思いますか。（〇はいくつでも）※「あてはまるものはない」方は「特にない・分からない」をお答えください。

		回答数	文学（小説、詩、短歌、俳句など）	オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など	ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など	日本の伝統音楽（長唄、箏曲、義太夫、和太鼓など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、メディアアートなど）	現代演劇、児童演劇、人形劇	ミュージカル	バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど	ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど	日本舞踊、琉球舞踊など
全体		4,000	21.5	9.2	19.4	32.6	27.6	7.9	7.2	3.7	5.6	24.4
性別	男性	2,379	18.9	8.4	19.0	30.3	26.8	6.9	5.2	2.5	4.8	20.1
	女性	1,621	25.3	10.5	19.9	35.8	28.8	9.3	10.2	5.3	6.8	30.5
年代	18歳～29歳	108	25.9	21.3	25.0	32.4	19.4	12.0	18.5	11.1	6.5	22.2
	30歳～39歳	407	23.1	9.1	17.7	26.5	22.9	9.6	8.8	2.7	5.4	25.3
	40歳～49歳	839	20.7	8.0	21.7	29.4	26.5	8.7	7.9	5.5	7.6	25.1
	50歳～59歳	1,191	21.2	8.2	22.1	32.0	26.4	7.8	7.2	3.3	5.5	24.2
	60歳～69歳	995	21.9	10.4	17.5	36.1	30.8	7.2	6.2	2.8	5.0	23.3
	70歳以上	460	20.2	8.9	12.2	37.6	32.0	5.2	4.1	2.2	3.7	25.2
居住地	福岡地域	1,000	23.0	11.6	22.0	34.1	26.7	6.8	7.5	4.1	6.0	26.0
	筑後地域	1,000	21.4	8.5	18.6	32.5	29.3	8.9	7.0	3.8	5.7	24.5
	筑豊地域	1,000	21.6	8.6	17.4	31.3	27.7	7.7	7.7	3.3	5.2	24.8
	北九州地域	1,000	20.0	8.2	19.4	32.4	26.7	8.0	6.7	3.4	5.6	22.1
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	23.6	10.7	20.7	32.4	27.1	7.4	7.2	3.8	6.1	23.4
	夫婦のみ	1,194	19.3	8.6	16.5	32.8	28.6	6.6	7.0	2.3	4.4	24.6
	親子同居（2世代同居）	1,740	21.8	8.8	20.2	32.4	27.2	8.7	7.2	4.5	6.1	24.4
	親と子と孫（3世代同居）	156	19.9	9.0	22.4	38.5	28.2	10.9	9.6	3.8	7.1	29.5
	兄弟・姉妹同居	46	26.1	6.5	26.1	23.9	23.9	4.3	2.2	4.3	6.5	13.0
及び末子の学齢 同居の子の有無	同居の子 あり	1,309	22.2	8.6	19.9	32.5	27.8	9.1	7.6	4.5	6.3	25.1
	末子の学齢 未就学児	215	26.5	10.2	16.7	32.1	20.5	11.6	7.4	3.7	4.7	30.2
	末子の学齢 小学生	228	21.5	6.6	18.9	29.4	28.9	9.2	7.9	6.6	8.8	26.3
	末子の学齢 中学生	152	21.7	11.2	21.1	29.6	25.7	7.2	9.9	5.9	7.2	22.4
	末子の学齢 高校生	127	21.3	9.4	27.6	32.3	31.5	7.9	8.7	3.9	4.7	24.4
	末子の学齢 大学以上	587	21.1	7.8	19.4	34.6	29.8	8.9	6.6	3.7	6.1	23.7
	同居の子 なし	682	21.7	9.8	21.7	32.6	26.0	8.2	6.9	4.1	5.7	23.5

性別で見ると、女性は「伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）」（35.0%）や「日本舞踊、琉球舞踊など」（30.5%）で男性の割合との差が大きくなっている。
年代別に見ると、18歳～29歳は「マンガ、アニメーション、ゲーム」が44.4%で他の年代よりも高くなっている。同項目は年代が低いほど回答の割合も高くなる傾向が見られる。

問30　諸外国に発信すべき日本の文化芸術ジャンル（複数回答）

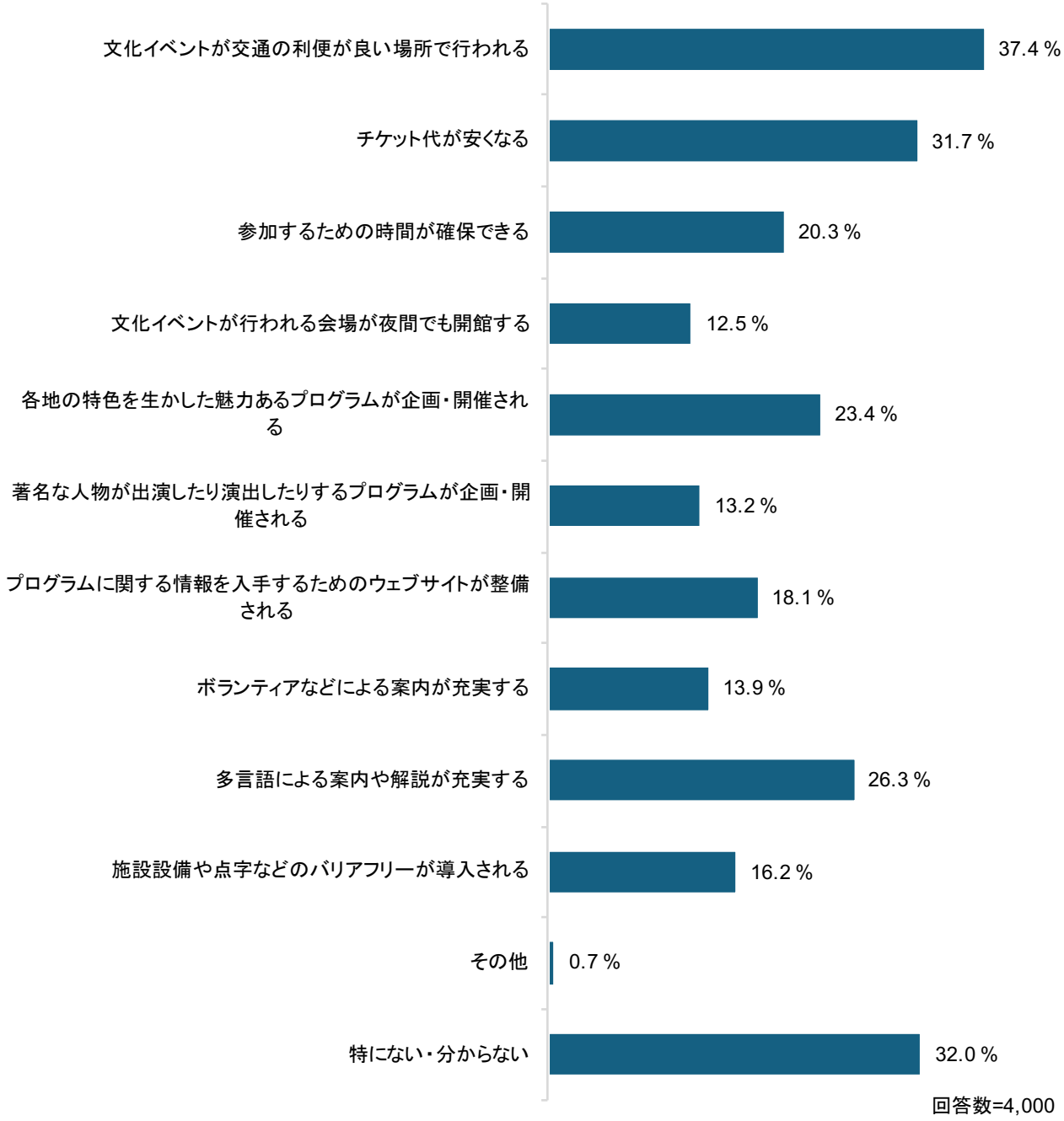
あなたは、どのようなジャンルを日本の文化芸術の魅力として諸外国に発信すべきだと思いますか。（〇はいくつでも）※「あてはまるものはない」方は「特にない・分からない」をお答えください。

		回答数	伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）	演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）	映画（アニメーション映画を除く）	マンガ、アニメーション、ゲーム	民俗文化（地域の祭り、年中行事など）	生活文化（茶道、華道、書道、囲碁など（食文化を除く））	食文化	歴史文化（歴史的な建造物、景観、文化財）	文化財の保存に必要な材料製作、修理、修復の技術（茅葺、染織、手すき和紙、和楽器製作など）等	特にない・分からない
全体		4,000	30.4	16.0	20.1	36.0	17.9	24.2	34.9	28.3	18.3	27.4
性別	男性	2,379	27.2	15.2	20.1	34.5	17.4	21.0	32.7	28.9	15.6	28.9
	女性	1,621	35.0	17.1	20.2	38.1	18.6	28.7	38.1	27.5	22.3	25.3
年代	18歳～29歳	108	21.3	15.7	24.1	44.4	16.7	23.1	34.3	21.3	12.0	25.0
	30歳～39歳	407	24.6	14.7	17.4	40.0	13.0	23.6	33.4	25.3	15.5	35.6
	40歳～49歳	839	26.9	15.6	23.1	40.4	18.0	22.8	33.6	25.4	18.8	27.8
	50歳～59歳	1,191	29.5	15.5	21.4	39.8	17.0	24.6	36.4	28.9	19.1	27.0
	60歳～69歳	995	34.4	18.3	19.4	31.8	18.4	23.4	35.4	29.3	19.6	25.1
	70歳以上	460	37.4	14.1	14.1	21.3	23.5	27.8	33.3	34.3	16.5	26.1
居住地	福岡地域	1,000	31.6	16.5	20.0	38.3	17.1	25.6	37.3	28.0	18.6	23.8
	筑後地域	1,000	30.7	17.3	19.5	36.9	18.2	23.7	34.5	31.0	19.7	27.9
	筑豊地域	1,000	30.0	14.9	19.6	34.1	18.6	22.7	32.5	26.2	17.7	30.3
	北九州地域	1,000	29.1	15.3	21.3	34.5	17.7	24.6	35.1	28.1	17.2	27.7
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	29.8	16.1	22.2	36.7	17.3	24.0	36.7	29.0	19.1	28.5
	夫婦のみ	1,194	31.9	15.9	17.8	29.5	19.0	23.9	32.9	29.7	18.3	27.0
	親子同居（2世代同居）	1,740	29.0	15.5	20.6	38.7	16.6	24.5	34.4	27.1	17.1	27.0
	親と子と孫（3世代同居）	156	35.3	19.9	21.8	46.2	26.3	27.6	39.7	33.3	26.3	26.9
	兄弟・姉妹同居	46	34.8	17.4	19.6	47.8	17.4	15.2	54.3	28.3	19.6	28.3
及び末子の学齢 同居の子の有無	同居の子 あり	1,309	30.3	16.3	21.0	37.9	18.1	24.8	34.8	27.3	17.4	26.1
	末子の学齢 未就学児	215	25.6	15.8	20.5	43.3	18.6	26.0	39.1	26.0	14.9	31.6
	小学生	228	26.8	18.0	21.1	40.4	17.1	26.3	30.7	23.2	17.1	24.1
	中学生	152	28.9	15.1	26.3	46.7	13.2	20.4	32.2	23.7	14.5	25.0
	高校生	127	26.0	13.4	23.6	40.9	18.9	26.0	34.6	29.1	23.6	23.6
	大学以上	587	34.8	16.9	19.3	32.0	19.4	24.5	35.6	30.0	17.9	25.7
	同居の子 なし	682	28.3	15.4	19.9	42.7	16.3	23.6	36.1	27.0	18.9	29.5

世帯構成別に見ると、親と子と孫（3世代同居）は「マンガ、アニメーション、ゲーム」が46.2%で他よりも高くなっている。
同居の子がいる回答者で末子の学齢が中学生の場合は「マンガ、アニメーション、ゲーム」が46.7%で他よりも高くなっている。

問31　国内外の多くの人が文化イベントに参加するための環境（複数回答）

あなたは、文化イベントに国内外の多くの人々が参加するために、どのような環境が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）



国内外の多くの人が文化イベントに参加するための環境は、「文化イベントが交通の利便が良い場所で行われる」が37.4%で最も高く、次いで「特にない・分からない」（32.0%）、「チケット代が安くなる」（31.7%）、「多言語による案内や解説が充実する」（26.3%）、「各地の特色を生かした魅力あるプログラムが企画・開催される」（23.4%）と続いている。

問31　国内外の多くの人が文化イベントに参加するための環境（複数回答）

あなたは、文化イベントに国内外の多くの人々が参加するために、どのような環境が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

		回答数	文化イベントが交通の利便が良い場所で行われる	チケット代が安くなる	参加するための時間が確保できる	文化イベントが行われる会場が夜間でも開館する	各地の特色を生かした魅力あるプログラムが企画・開催される	著名な人物が出演したり演出したりするプログラムが企画・開催される
全体		4,000	37.4	31.7	20.3	12.5	23.4	13.2
性別	男性	2,379	33.4	28.8	19.0	12.5	23.0	13.2
	女性	1,621	43.2	35.9	22.3	12.3	24.1	13.1
年代	18歳～29歳	108	34.3	31.5	20.4	13.9	14.8	15.7
	30歳～39歳	407	34.9	30.2	21.1	11.5	19.7	13.5
	40歳～49歳	839	33.7	31.0	23.8	14.5	18.5	13.8
	50歳～59歳	1,191	37.5	31.3	23.7	13.4	22.7	13.4
	60歳～69歳	995	39.8	33.9	18.4	10.9	25.7	11.6
	70歳以上	460	41.3	30.7	8.7	10.0	34.8	14.1
居住地	福岡地域	1,000	38.0	33.8	19.4	11.8	22.7	12.1
	筑後地域	1,000	37.3	32.0	21.6	12.8	25.0	15.7
	筑豊地域	1,000	35.8	28.7	20.7	11.4	21.9	11.9
	北九州地域	1,000	38.4	32.3	19.6	13.8	24.1	13.1
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	38.3	31.3	21.1	14.2	22.2	10.2
	夫婦のみ	1,194	37.1	31.9	16.9	10.9	25.6	13.8
	親子同居（2世代同居）	1,740	36.7	31.1	21.8	12.9	21.8	14.1
	親と子と孫（3世代同居）	156	42.9	37.8	26.3	12.8	27.6	15.4
	兄弟・姉妹同居	46	45.7	34.8	19.6	4.3	17.4	10.9
同居の子の有無及び末子の学齢	同居の子 あり	1,309	35.9	32.7	22.8	12.8	23.1	14.7
	末子の学齢 未就学児	215	32.1	32.6	26.0	11.2	18.6	12.6
	末子の学齢 小学生	228	34.6	30.3	26.3	10.5	25.0	16.7
	末子の学齢 中学生	152	34.9	31.6	25.7	17.1	21.1	13.8
	末子の学齢 高校生	127	37.8	36.2	22.8	15.7	21.3	13.4
	末子の学齢 大学以上	587	37.6	33.2	19.6	12.4	24.9	15.2
	同居の子 なし	682	39.6	29.9	20.5	12.5	21.7	12.9

年代別に見ると、70歳以上は「文化イベントが交通の利便が良い場所で行われる」（41.3%）、「各地の特色を生かした魅力あるプログラムが企画・開催される」（34.8%）、「多言語による案内や解説が充実する」（30.4%）で他の年代よりも高くなっている。

問31　国内外の多くの人が文化イベントに参加するための環境（複数回答）

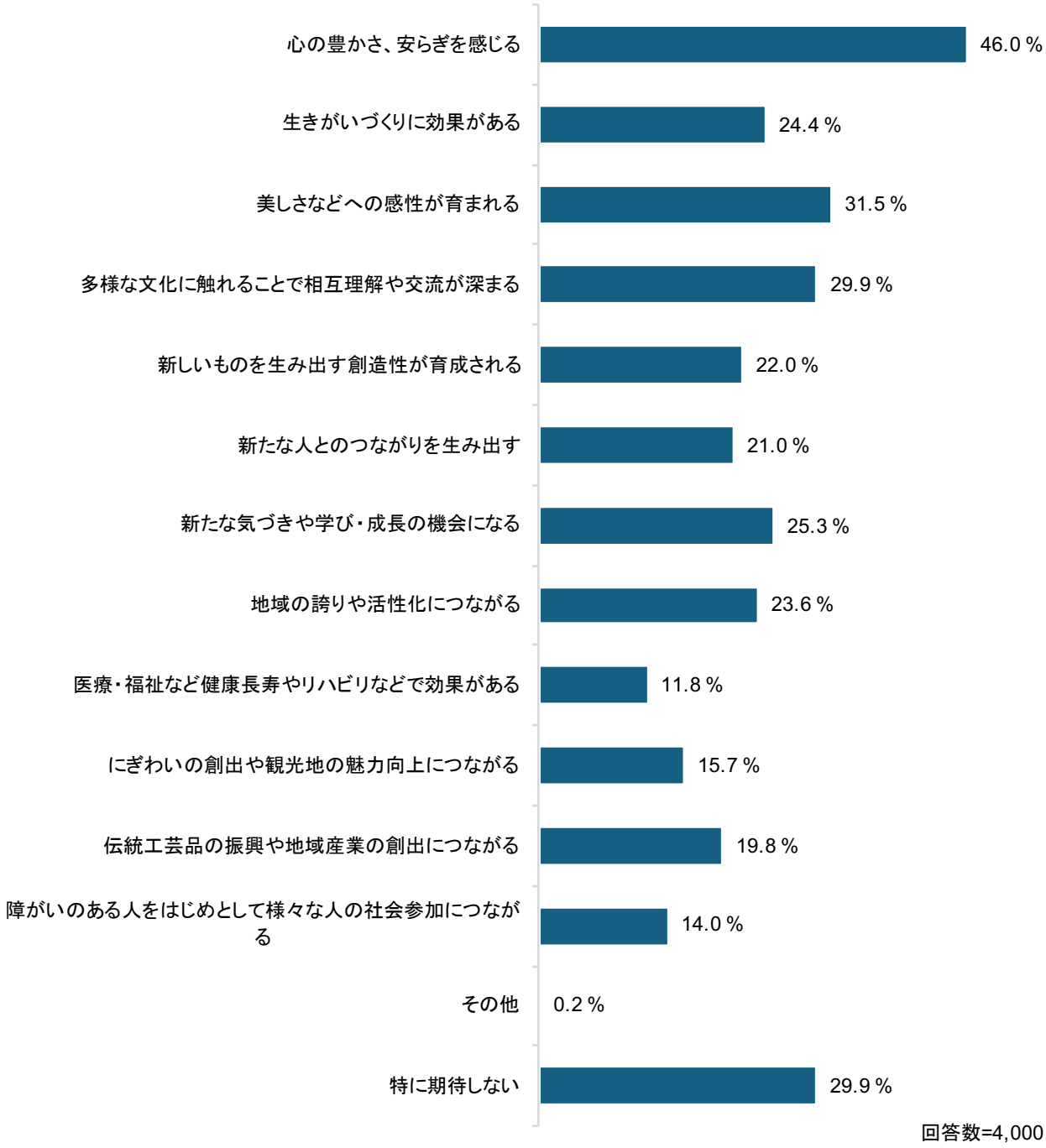
あなたは、文化イベントに国内外の多くの人々が参加するために、どのような環境が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

		回答数	プログラムに関する情報を入手するためのウェブサイトが整備される	ボランティアなどによる案内が充実する	多言語による案内や解説が充実する	施設設備や点字などのバリアフリーが導入される	その他	特にない・分からない
全体		4,000	18.1	13.9	26.3	16.2	0.7	32.0
性別	男性	2,379	18.1	12.7	24.0	13.1	0.8	34.7
	女性	1,621	18.0	15.6	29.6	20.9	0.5	28.0
年代	18歳～29歳	108	16.7	11.1	16.7	14.8	0.0	37.0
	30歳～39歳	407	15.7	8.1	21.9	14.0	0.0	39.8
	40歳～49歳	839	17.6	13.1	27.8	15.7	1.1	32.7
	50歳～59歳	1,191	16.5	13.0	25.0	15.4	0.8	32.4
	60歳～69歳	995	19.1	16.5	27.3	19.0	0.9	28.9
	70歳以上	460	22.8	17.6	30.4	15.7	0.0	28.0
居住地	福岡地域	1,000	17.2	12.9	26.7	15.6	1.3	28.5
	筑後地域	1,000	20.2	15.0	25.9	16.6	0.5	32.8
	筑豊地域	1,000	17.2	14.8	27.2	17.6	0.5	35.4
	北九州地域	1,000	17.6	12.8	25.2	15.1	0.5	31.2
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	18.5	14.7	25.5	17.5	1.2	34.5
	夫婦のみ	1,194	19.0	14.6	26.5	15.1	0.5	31.4
	親子同居（2世代同居）	1,740	16.7	13.3	25.7	15.4	0.5	31.1
	親と子と孫（3世代同居）	156	22.4	14.1	34.0	24.4	1.3	28.2
	兄弟・姉妹同居	46	19.6	6.5	30.4	19.6	2.2	37.0
及び末子の学齢	同居の子 あり	1,309	17.1	13.8	25.7	15.9	0.8	29.3
	末子の学齢 未就学児	215	18.6	11.6	25.1	14.0	0.0	34.0
	末子の学齢 小学生	228	17.1	10.5	24.1	17.1	1.3	27.6
	末子の学齢 中学生	152	18.4	11.2	27.6	11.2	0.7	28.9
	末子の学齢 高校生	127	15.0	15.7	26.8	15.7	0.0	30.7
	末子の学齢 大学以上	587	16.7	16.0	25.7	17.4	1.2	28.1
	同居の子 なし	682	17.6	11.9	27.9	17.3	0.1	35.0

居住地別に見ると、筑豊地域では「特にない・分からない」が35.4％と他の地域よりも高くなっている。

問32　文化芸術に期待するもの（複数回答）

近年、文化芸術には教育や福祉など様々な面での可能性が期待されています。あなたが文化芸術に期待するものは何ですか。（○いくつでも）



文化芸術に期待するものは、「心の豊かさ、安らぎを感じる」が46.0%で最も多く、次いで「美しさなどへの感性が育まれる」（31.5%）、「多様な文化に触れることで相互理解や交流が深まる」と「特に期待しない」（ともに29.9%）となっている。

問32　文化芸術に期待するもの（複数回答）

近年、文化芸術には教育や福祉など様々な面での可能性が期待されています。あなたが文化芸術に期待するものは何ですか。（○いくつでも）

		回答数	心の豊かさ、安らぎを感じる	生きがいづくりに効果がある	美しさなどへの感性が育まれる	多様な文化に触れることで相互理解や交流が深まる	新しいものを生み出す創造性が育成される	新たな人とのつながりを生み出す	新たな気づきや学び・成長の機会になる
全体		4,000	46.0	24.4	31.5	29.9	22.0	21.0	25.3
性別	男性	2,379	43.3	24.2	29.3	28.3	21.0	19.8	21.9
	女性	1,621	49.8	24.7	34.6	32.3	23.3	22.8	30.2
年代	18歳～29歳	108	34.3	16.7	36.1	20.4	23.1	15.7	20.4
	30歳～39歳	407	38.1	22.4	29.7	24.8	24.3	18.7	25.6
	40歳～49歳	839	43.0	23.5	31.6	28.8	22.9	23.7	27.2
	50歳～59歳	1,191	44.8	25.4	32.8	28.5	22.3	20.6	25.1
	60歳～69歳	995	51.0	25.5	31.0	31.5	19.4	20.9	26.2
	70歳以上	460	53.3	24.8	29.1	39.1	22.6	20.7	21.1
居住地	福岡地域	1,000	48.7	25.5	32.8	32.5	22.6	20.1	25.7
	筑後地域	1,000	45.8	23.9	31.8	31.1	22.8	20.4	27.3
	筑豊地域	1,000	43.3	24.1	30.5	27.5	21.0	21.9	25.0
	北九州地域	1,000	46.0	24.2	30.7	28.6	21.4	21.6	23.1
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	44.7	24.3	31.5	29.7	21.0	20.4	25.6
	夫婦のみ	1,194	47.7	24.0	29.2	30.6	19.3	19.5	23.0
	親子同居（2世代同居）	1,740	44.9	25.1	32.3	29.2	23.7	21.8	25.7
	親と子と孫（3世代同居）	156	53.8	20.5	40.4	35.9	25.6	26.3	33.3
	兄弟・姉妹同居	46	41.3	17.4	21.7	28.3	15.2	19.6	28.3
同居の子の有無及び末子の学齢	同居の子 あり	1,309	47.7	25.8	33.7	31.1	24.9	23.9	27.4
	末子の学齢 未就学児	215	41.4	22.3	30.2	24.2	27.0	27.0	27.0
	末子の学齢 小学生	228	47.4	28.9	35.5	33.3	27.6	22.8	32.5
	末子の学齢 中学生	152	42.1	23.0	35.5	30.3	23.0	23.7	28.9
	末子の学齢 高校生	127	49.6	28.3	39.4	35.4	20.5	29.1	26.8
	末子の学齢 大学以上	587	51.1	26.1	32.5	32.0	24.5	22.1	25.4
	同居の子 なし	682	41.1	22.7	30.9	26.8	22.1	18.8	24.6

年代別に見ると、18歳～29歳は「美しさなどへの感性が育まれる」が36.1%と他の世代よりも高くなっている。70歳以上は「心の豊かさ、安らぎを感じる」が53.3%と他の年代よりも高くなっている。同項目は年代が高いほど回答の割合も高くなる傾向が見られる。

問32　文化芸術に期待するもの（複数回答）

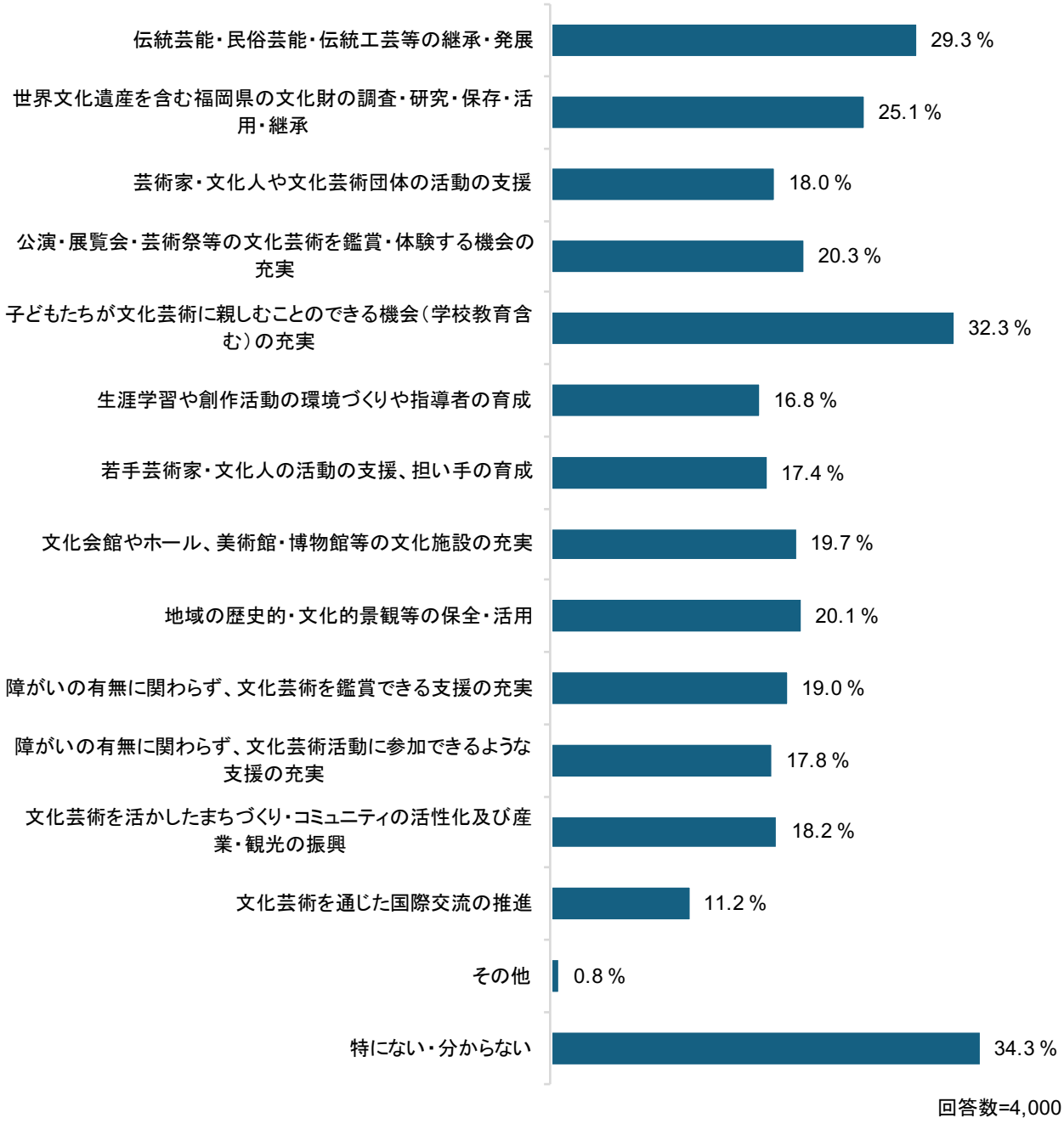
近年、文化芸術には教育や福祉など様々な面での可能性が期待されています。あなたが文化芸術に期待するものは何ですか。（○いくつでも）

		回答数	地域の誇りや活性化につながる	医療・福祉など健康長寿やリハビリなどで効果がある	にぎわいの創出や観光地の魅力向上につながる	伝統工芸品の振興や地域産業の創出につながる	障がいのある人をはじめとして様々な人の社会参加につながる	その他	特に期待しない
全体		4,000	23.6	11.8	15.7	19.8	14.0	0.2	29.9
性別	男性	2,379	23.6	9.8	15.5	18.2	13.1	0.3	32.5
	女性	1,621	23.5	14.7	16.0	22.1	15.2	0.1	25.9
年代	18歳～29歳	108	16.7	13.9	14.8	14.8	7.4	0.0	36.1
	30歳～39歳	407	21.1	9.6	13.8	13.5	8.4	0.0	38.6
	40歳～49歳	839	20.7	14.1	16.9	17.5	12.3	0.1	30.3
	50歳～59歳	1,191	22.5	11.4	16.5	20.1	13.3	0.3	31.0
	60歳～69歳	995	26.8	10.7	13.9	22.3	16.4	0.2	26.2
	70歳以上	460	28.3	12.2	17.2	24.6	20.0	0.0	24.8
居住地	福岡地域	1,000	23.0	11.4	14.6	18.7	13.5	0.2	26.2
	筑後地域	1,000	24.7	12.0	16.3	20.9	14.0	0.0	30.0
	筑豊地域	1,000	23.5	13.6	15.3	19.7	14.9	0.5	33.7
	北九州地域	1,000	23.1	10.0	16.6	19.9	13.4	0.0	29.5
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	21.1	12.3	14.7	19.3	15.1	0.4	31.4
	夫婦のみ	1,194	25.2	10.6	15.2	22.7	15.4	0.2	28.6
	親子同居（2世代同居）	1,740	23.3	11.6	16.0	17.4	12.4	0.1	29.6
	親と子と孫（3世代同居）	156	28.8	15.4	23.1	26.3	13.5	0.0	28.8
	兄弟・姉妹同居	46	19.6	8.7	6.5	21.7	6.5	0.0	39.1
及び末子の学齢 同居の子の有無	同居の子 あり	1,309	24.8	12.2	16.9	18.0	12.8	0.2	28.0
	末子の学齢 未就学児	215	22.3	14.0	15.8	14.9	9.3	0.0	35.3
	末子の学齢 小学生	228	22.8	8.3	18.4	15.4	11.0	0.0	25.9
	末子の学齢 中学生	152	24.3	17.1	16.4	17.1	7.9	0.0	27.0
	末子の学齢 高校生	127	25.2	14.2	14.2	15.7	15.0	0.0	27.6
	末子の学齢 大学以上	587	26.6	11.4	17.4	21.0	15.7	0.3	26.4
	同居の子 なし	682	21.3	12.2	15.5	18.8	12.2	0.0	33.9

世帯構成別に見ると、親と子と孫（3世代同居）は「心の豊かさ、安らぎを感じる」（53.8%）、「美しさなどへの感性が育まれる」（40.4%）など、他よりも高くなっている。

問33　福岡県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきこと（複数回答）

福岡県の文化芸術を振興するために行政（県・市町村）が積極的に取り組むべき事とはどのような事だと思いますか。（〇はいくつでも）



回答数=4,000

福岡県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきことについて聞いたところ、「特にない・分からない」が34.3%と最も高くなっている。次いで「子どもたちが文化芸術に親しむことのできる機会（学校教育含む）の充実」（32.3%）、「伝統芸能・民俗芸能・伝統工芸等の継承・発展」（29.3%）、「世界文化遺産を含む文化財の保存・活用・継承」（25.1%）、「公演・展覧会・芸術祭等の文化芸術を鑑賞・体験する機会の充実」（20.3%）となっている。

問33　福岡県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきこと（複数回答）

福岡県の文化芸術を振興するために行政（県・市町村）が積極的に取り組むべき事とはどのような事だと思いますか。（○はいくつでも）

		回答数	伝統芸能・民俗芸能・伝統工芸等の継承・発展	世界文化遺産を含む福岡県の文化財の調査・研究・保存・活用・継承	芸術家・文化人や文化芸術団体の活動の支援	公演・展覧会・芸術祭等の文化芸術を鑑賞・体験する機会の充実	子どもたちが文化芸術に親しむことのできる機会（学校教育含む）の充実	生涯学習や創作活動の環境づくりや指導者の育成	若手芸術家・文化人の活動の支援、担い手の育成	文化会館やホール、美術館・博物館等の文化施設の充実
全体		4,000	29.3	25.1	18.0	20.3	32.3	16.8	17.4	19.7
性別	男性	2,379	29.2	25.1	17.5	18.7	30.3	16.1	16.0	17.7
	女性	1,621	29.4	25.2	18.6	22.6	35.2	17.8	19.4	22.6
年代	18歳～29歳	108	23.1	17.6	14.8	19.4	18.5	10.2	13.0	21.3
	30歳～39歳	407	22.4	17.9	16.5	17.4	29.0	15.7	15.0	16.0
	40歳～49歳	839	26.1	21.9	17.6	18.0	30.6	14.9	17.4	17.5
	50歳～59歳	1,191	30.0	26.0	17.6	19.9	30.1	17.0	18.1	19.1
	60歳～69歳	995	31.5	28.8	19.8	20.4	35.1	18.1	18.1	22.5
	70歳以上	460	36.3	28.7	17.6	28.3	40.9	19.3	17.2	22.0
居住地	福岡地域	1,000	29.0	27.5	17.4	21.5	32.1	16.7	16.7	20.4
	筑後地域	1,000	29.8	25.3	18.9	22.1	34.0	14.7	17.1	20.7
	筑豊地域	1,000	29.6	25.4	17.6	18.2	32.1	18.5	19.9	19.9
	北九州地域	1,000	28.8	22.3	18.0	19.5	30.9	17.3	15.8	17.8
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	31.7	25.9	19.5	19.3	27.7	16.9	17.7	20.5
	夫婦のみ	1,194	30.5	25.8	18.3	21.5	32.2	17.5	17.1	21.1
	親子同居（2世代同居）	1,740	27.2	23.9	17.1	19.8	34.0	15.9	16.5	17.9
	親と子と孫（3世代同居）	156	31.4	31.4	16.0	21.8	37.8	19.9	22.4	21.2
	兄弟・姉妹同居	46	28.3	26.1	17.4	15.2	34.8	19.6	21.7	28.3
及び末子の学齢 同居の子の有無	同居の子 あり	1,309	27.9	25.1	17.4	20.8	38.2	16.4	17.9	18.3
	末子の学齢 未就学児	215	21.4	18.1	17.7	16.7	40.0	15.8	14.9	14.4
	末子の学齢 小学生	228	21.9	21.5	16.7	20.6	45.6	15.8	17.1	17.5
	末子の学齢 中学生	152	25.7	24.3	18.4	20.4	38.2	14.5	19.1	18.4
	末子の学齢 高校生	127	31.5	26.8	17.3	22.0	33.9	20.5	15.7	16.5
	末子の学齢 大学以上	587	32.4	28.8	17.4	22.1	35.6	16.5	19.4	20.3
	同居の子 なし	682	27.1	23.2	16.6	18.6	26.5	16.1	16.6	19.1

年代別に見ると、70歳以上は「子どもたちが文化芸術に親しむことのできる機会（学校教育含む）の充実」（40.9%）、「伝統芸能・民俗芸能・伝統工芸等の継承・発展」（36.3%）などが他の年代よりも高くなっている。18歳～29歳は「特にない・分からない」が47.2%で、同項目は年代が低いほど回答の割合が高い傾向が見られる。

問33　福岡県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきこと（複数回答）

福岡県の文化芸術を振興するために行政（県・市町村）が積極的に取り組むべき事とはどのような事だと思いますか。（○はいくつでも）

		回答数	地域の歴史的・文化的景観等の保全・活用	障がいの有無に関わらず、文化芸術を鑑賞できる支援の充実	障がいの有無に関わらず、文化芸術活動に参加できるような支援の充実	文化芸術を活かしたまちづくり・コミュニティの活性化及び産業・観光の振興	文化芸術を通じた国際交流の推進	その他	特にない・分からない
全体		4,000	20.1	19.0	17.8	18.2	11.2	0.8	34.3
性別	男性	2,379	20.6	16.9	15.9	17.2	10.0	1.0	36.1
	女性	1,621	19.4	22.0	20.5	19.7	13.0	0.6	31.7
年代	18歳～29歳	108	13.9	14.8	15.7	13.0	13.0	0.0	47.2
	30歳～39歳	407	15.2	15.7	12.8	14.0	8.8	0.2	45.7
	40歳～49歳	839	16.7	16.3	17.0	18.7	12.2	0.5	34.7
	50歳～59歳	1,191	19.6	19.3	17.0	17.3	10.0	1.1	34.5
	60歳～69歳	995	23.5	21.6	19.8	19.2	10.9	1.1	30.3
	70歳以上	460	25.9	21.3	21.5	22.4	15.0	0.7	28.9
居住地	福岡地域	1,000	23.1	17.7	16.3	16.9	12.3	1.0	32.4
	筑後地域	1,000	20.5	19.8	18.6	20.3	11.6	0.5	33.7
	筑豊地域	1,000	18.7	20.8	19.9	19.3	11.1	0.8	37.5
	北九州地域	1,000	18.1	17.7	16.3	16.3	9.8	0.9	33.7
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	815	22.3	21.2	17.8	18.4	11.9	1.3	36.8
	夫婦のみ	1,194	22.0	18.7	19.2	19.8	11.4	1.0	32.7
	親子同居（2世代同居）	1,740	17.5	17.3	16.6	16.6	10.2	0.4	33.9
	親と子と孫（3世代同居）	156	23.1	24.4	19.2	21.2	12.8	0.6	34.0
	兄弟・姉妹同居	46	15.2	28.3	15.2	13.0	17.4	0.0	41.3
及び末子の学齢 同居の子	同居の子 あり	1,309	18.6	18.6	17.7	18.0	10.9	0.5	31.7
	末子の学齢 未就学児	215	14.4	17.2	15.8	19.1	11.6	0.9	40.5
	末子の学齢 小学生	228	17.5	16.7	15.8	17.5	10.1	0.4	28.5
	末子の学齢 中学生	152	15.8	18.4	16.4	17.8	10.5	0.0	27.6
	末子の学齢 高校生	127	16.5	20.5	19.7	18.9	15.7	0.8	33.9
	末子の学齢 大学以上	587	21.8	19.6	19.1	17.5	10.1	0.3	30.3
	同居の子 なし	682	16.9	17.6	15.4	15.5	10.6	0.4	39.3

同居の子がいる回答者で末子の学齢が小学生の場合は「子どもたちが文化芸術に親しむことのできる機会（学校教育含む）の充実」が45.6%で他よりも高くなっている。

問34　その他、県が取り組む文化施策に対する意見等（自由記述）

その他、県が取り組む文化施策に対してご意見等がありましたらご記入ください。

記述内容の分類	回答件数
広報宣伝や情報発信	164
文化財や地域資源の保存、継承、活用	108
わかりやすい/参加しやすい/身近に感じる内容	81
学校教育や子ども・若者への取組	72
文化施設の整備や充実	55
地域間の均衡がとれた環境整備	53
文化施策の予算抑制、評価検証	50
入場料の無料化や安価な料金設定	46
現行の施策への賛同や今後の期待	45
アクセスや駐車場の課題	35
文化施策の予算拡充	35
文化施策以外の意見	34
高齢者や障がいのある人に向けた取組、バリアフリーの推進	31
興味や関心がない、期待していない	30
魅力的な/大規模なイベント、有名な/著名な出演者・作品	29
文化事業の機会拡充	26
文化の担い手となる人材の育成・支援・確保	21
国や市町村との連携や役割分担、市町村への支援	17
オーバーツーリズムの対策	16
文化施設の事業運営（ソフト面）の充実	8
分類できない	209
特にない・わからない	2,835
計	4,000

県が取り組む文化施設に対する意見等について自由記述の回答を、主旨を22項目に整理、分類した。主旨が複数項目に重なる意見等は、最初に触れた主旨で単一の分類とした。「特にない・わからない」や「分類できない」を除くと、最も多い意見は「広報宣伝や情報発信」、次いで「文化財や地域資源の保存、継承、活用」、「わかりやすい/参加しやすい/身近に感じる内容」、「学校教育や子ども・若者への取組」となっている。

問35 「福岡県の文化」でイメージするもの（自由記述）

最後に、あなたが思う 「福岡県の文化」（福岡県固有の文化、福岡県らしさ）でイメージするものは、どのようなものですか。どのようなことでも結構ですので、ご自由に記入してください。

記述内容の分類	回答件数
祭礼、行事、神事など無形文化財	599
食文化	473
アジアとの交流、九州の拠点都市	186
地域の歴史や歴史上の人物	112
人々の気質	111
史跡、遺跡、寺社など有形文化財	74
都市の特性	70
工芸、民芸	57
自然、環境	50
方言	47
各地域の個性、地域差	39
芸術、芸能、スポーツ	22
文化施設	16
分類できない	140
特にない・わからない	1,993
無回答	11
計	4,000

「福岡県の文化」でイメージするものについて自由記述の回答を、主旨を15項目に分類した。主旨が複数項目に重なる意見等は、最初に触れた主旨で単一の分類とした。「特にない・わからない」や「分類できない」を除くと、最も多い意見は「祭礼、行事、神事など無形文化財」、次いで「食文化」、「アジアとの交流、九州の拠点都市」、「地域の歴史や歴史上の人物」、「人々の気質」となっている。

はじめにあなた自身のことについておたずねします

問１　あなたの性別を教えてください。（○は１つだけ）

１．男性	２．女性	３．その他

問２　あなたの世代を教えてください。（○は１つだけ）

１．１０代	２．２０代	３．３０代	４．４０代
５．５０代	６．６０代	７．７０代	８．８０代以上

問３　あなたの職業を教えてください。（○は１つだけ）

１．農林水産業（家族従事者を含む）	２．自営業・自由業（家族従事者を含む）
３．企業、役所、団体などの正職員・社員	４．パート･アルバイト、契約社員、派遣社員など
５．専業主婦・主夫	６．学生
７．無職（定年退職者を含む）	８．その他（　　）

問４　現在のあなたの世帯構成について教えてください。（○は１つだけ）

１．単身世帯（ひとり暮らし）	２．夫婦のみ
３．親子同居（２世代同居）	４．親と子と孫（３世代同居）
５．兄弟・姉妹同居	６．その他（　　）

問４で「３．親子同居（２世代同居）」～「６.その他」の方におたずねします

問４－１　あなた自身のお子さんと同居していますか。（○は１つだけ）

１．同居している	２．同居していない
３．自身の子どもはいない	

問４－１で「１．同居している」の方におたずねします

問４－２　同居しているお子さんの中で**＜最も下の年齢（末子）のお子さん＞**の学齢を教えてください。（○は１つだけ）

１．未就学児	２．小学生	３．中学生
４．高校生	５．大学・短大・高専以上や社会人	

問５　あなたの世帯全体（同居の家族全員の合計）の年間収入（税込み）は、およそどのくらいですか。（○は１つだけ）

１．３００万円未満	２．３００～７００万円未満
３．７００～１,０００万円未満	４．１,０００万円以上
５．わからない・答えたくない	

問６　あなたは、学生時代に**文科系の部活動やサークル**で活動した経験がありますか。
※現在学生の方は現在の活動状況を教えてください。（○は１つだけ）

１．活動した（活動している）	２．活動しなかった（活動していない）

問７　現在お住まいの市町村名を教えてください。（○は１つだけ）

福岡地域	筑後地域	筑豊地域	北九州地域
１．福岡市	21．大牟田市	33．直方市	48．北九州市
２．筑紫野市	22．久留米市	34．飯塚市	49．行橋市
３．春日市	23．柳川市	35．田川市	50．豊前市
４．大野城市	24．八女市	36．嘉麻市	51．中間市
５．宗像市	25．筑後市	37．宮若市	52．芦屋町
６．太宰府市	26．大川市	38．小竹町	53．水巻町
７．古賀市	27．小郡市	39．鞍手町	54．岡垣町
８．福津市	28．うきは市	40．桂川町	55．遠賀町
９．朝倉市	29．みやま市	41．香春町	56．苅田町
10．糸島市	30．大刀洗町	42．添田町	57．みやこ町
11．那珂川市	31．大木町	43．糸田町	58．吉富町
12．宇美町	32．広川町	44．川崎町	59．上毛町
13．篠栗町		45．大任町	60．築上町
14．志免町		46．福智町	
15．須恵町		47．赤村	
16．新宮町			
17．久山町			
18．粕屋町			
19．筑前町			
20．東峰村			

文化芸術の「鑑賞」についておたずねします

問８　あなたは、この１年間にどの程度、ホール・劇場、映画館、美術館・博物館等で、文化芸術を直接鑑賞したり体験したりしましたか。（○は１つだけ）

１．月数回以上	２．月１回程度	３．２～３か月に１回程度
４．半年に１回程度	５．年に１回程度	６．全く・ほとんど鑑賞していない

問８で「１.月数回以上」～「５.年に１回程度」の方におたずねします

問８－１　あなたが、この１年間に直接鑑賞・体験した文化芸術のジャンルは何ですか。（○はいくつでも）

1. オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など
2. ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など
3. 美術 ※美術には、絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾、メディアアート（コンピュータや映像を活用したアート）などを含む。
4. 美術のうち、特に現代美術（コンテンポラリーアート）
5. 現代演劇、児童演劇、人形劇
6. ミュージカル
7. バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど
8. ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど
9. 日本舞踊
10. 伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）
11. 演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）
12. 花展、盆栽展、茶会などの展示、イベント
13. 食文化の展示、イベント
14. 映画（アニメーション映画を除く）
15. アニメーション
16. 歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、遺跡、名勝地（庭園など）の文化財）
17. 歴史系の博物館、民俗系の博物館、資料館など
18. 地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）
19. 漫画に関するイベント、展示等
20. 文学作品（小説、詩、短歌、俳句など）に関するイベント、展示等
21. その他　（　　）
22. 鑑賞したものはない

問８−２　直接鑑賞・体験した理由は何ですか。（○はいくつでも）

１．自分が興味のある内容だったから	２．家族・友人等から誘われたから
３．家族・友人等が出演・出品等をしていたから	
４．自宅の近くで開催していたから	５．無料（又は低料金）だったから
６．学校行事として実施されたから	７．その他（　　）

問８で「６.全く・ほとんど鑑賞していない」の方におたずねします

問８−３　直接鑑賞・体験しなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）

１．魅力ある内容が少ないから	２．一緒に行く仲間がいないから
３．時間がなかなかとれないから	４．近所で開催されていないから
５．交通の便が悪いから	
６．入場料・交通費など費用がかかり過ぎるから	
７．テレビ、ラジオ、ＣＤ、ＤＶＤ、インターネットなどで鑑賞できるから（鑑賞した）	
８．公演や展覧会などの情報が入手できないから	
９．その他（　　）	10．文化芸術に関心がないから

【全員の方へ】

問９　あなたは、どのようなことがあれば自分が文化芸術の鑑賞にもっと関心を持つようになると思いますか。（○はいくつでも）

１．興味を持てるアーティストや作品に出会う	
２．家族や親しい知人・友人に誘われる機会が増える	３．時間に余裕ができる
４．近所でたくさんの催しが行われるようになる	
５．無料で見られるコンサートや展覧会が増える	６．今より経済的な余裕ができる
７．その他（　　）	８．特にない・分からない

問４−２で「１.未就学児」～「４.高校生」が末子の方におたずねします

問 10　あなたと同居しているお子さんの中で「最も下の年齢（末子）のお子さん」は、この１年間に、ホール・劇場、映画館、美術館・博物館などでどのようなジャンルの文化芸術を**直接鑑賞**しましたか。（○はいくつでも）

§ご家族が連れて行った場合に限らず、お子さんだけで鑑賞した場合、学校で鑑賞した場合なども全て教えてください。

1. オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など
2. ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など
3. 美術 ※美術には、絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾、メディアアート（コンピュータや映像を活用したアート）などを含む。
4. 美術のうち、特に現代美術（コンテンポラリーアート）
5. 現代演劇、児童演劇、人形劇
6. ミュージカル
7. バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど
8. ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等)、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等)、社交ダンスなど
9. 日本舞踊
10. 伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）
11. 演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）
12. 花展、盆栽展、茶会などの展示、イベント
13. 食文化の展示、イベント
14. 映画（アニメーション映画を除く）
15. アニメーション
16. 歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など)、遺跡、名勝地（庭園など）の文化財）
17. 歴史系の博物館、民俗系の博物館、資料館など
18. 地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）
19. 漫画に関するイベント、展示等
20. 文学作品（小説、詩、短歌、俳句など）に関するイベント、展示等
21. その他　（　　）
22. 鑑賞したものはない

「文化施設」についておたずねします

問 11　**＜美術館と博物館＞に限定してお聞きします**

あなたは、どうすれば美術館や博物館にもっと行きやすくなると思いますか。

（○はいくつでも）

1．近くに美術館・博物館ができる	2．交通の便が良くなる（駐車場がある）
3．入場料が安くなる	4．閉館時間が遅くなり夜間でも鑑賞できるようになる
5．著名な芸術家の展覧会が開催される	6．開催情報が分かりやすく提供される
7．インターネット・SNS により開催情報が拡散される	
8．著名な芸術家の展覧会が開催される	9．学校教育と美術館・博物館の連携がなされる
10．学芸員による優れたアウトリーチ・プログラムが用意される	
11．近隣に飲食店や商業施設が充実する	12．観光ガイドやマップに多く掲載されている
13．他の美術館・博物館や観光施設との共同バスがあり安く周遊できる	
14．その他（　　）	15．特にない・分からない

問 12　**以下の福岡県立の文化施設のうち、あなたが知っているものはどれですか。**

問 13　**＜知っている福岡県立の文化施設＞のうち、この１年間に文化芸術の鑑賞や活動のために利用したことがあるものはどれですか。（○はそれぞれいくつでも）**

→	アクロス福岡	ももち文化センター	大濠公園能楽堂	県立美術館	県立図書館	九州芸文館	あまぎ水の文化村	九州国立博物館（アジア文化交流センター）	九州歴史資料館（※）	福岡県青少年科学館	関門海峡ミュージアム	北九州パレス	知らない／利用していない
知っている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1 年間に利用した	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13

（※）分館である求菩提資料館、甘木歴史資料館、柳川古文書館を含む

文化芸術の「参加」についておたずねします

問 14　この１年間に、鑑賞ではなく、自ら文化芸術活動の**実践（創作や出演、習い事、祭りや体験活動へ参加など）をしたジャンル**は何ですか。（○はいくつでも）

１．文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作
２．マンガ、映画などの映像作品、ＣＧ、ゲーム、メディアアートなどの作品の創作
３．音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など
４．音楽、バレエ、ダンス、美術などの習い事の受講
５．マンガ、映画などの映像作品、ＣＧ、ゲーム、メディアアートなどの習い事の受講
６．茶道、華道、書道などの実践、習い事の受講
７．郷土料理や年中行事の料理など伝統的な食文化の継承活動への参加
８．地域の伝統的な芸能や祭りへの参加
９．その他　（　　）
10．この１年間、自分自身では文化芸術活動をしていない

問 14 で「１.文学、音楽、美術、演劇、舞踏などの作品の創作」～「９.その他」の方におたずねします

問 14－１　あなたは、上記で提示したような創作や出演、習い事、地域の芸能や祭りへの参加などの活動を、この１年間でどの程度しましたか。

（○は１つだけ）

１．月数回以上　　２．月１回程度　　３．1～3ヶ月に１回程度
４．半年に１回程度　　５．年に１回程度

問４−２で「１.未就学児」～「４.高校生」が末子の方におたずねします

問 15　あなたと同居しているお子さんの中で「最も下の年齢（末子）のお子さん」は、学校以外でこの１年間に、どのような内容の文化芸術活動をしましたか。

（○はいくつでも）

１．文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作
２．マンガ、映画などの映像作品、ＣＧ、ゲーム、メディアアートなどの作品の創作
３．音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など
４．音楽、バレエ、ダンス、美術などの習い事の受講
５．マンガ、映画などの映像作品、ＣＧ、ゲーム、メディアアートなどの習い事の受講
６．茶道、華道、書道などの実践、習い事の受講
７．郷土料理や年中行事の料理など伝統的な食文化の継承活動への参加
８．地域の伝統的な芸能や祭りへの参加
９．その他　（　　）
10．この１年間、自分自身では文化芸術活動をしていない

問 16　あなたは、どうすれば文化芸術活動（鑑賞以外）にもっと参加しやすくなると思いますか。（○はいくつでも）

１．魅力ある内容の活動が行われる　　２．一緒に活動する仲間がいる
３．活動のための時間がとれるようになる　　４．土日祝日や夜間などにも活動が行われる
５．住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる
６．参加するための費用の負担が軽くなる　　７．初心者向けの活動が提供される
８．参加や成果を発表する機会が多く提供される
９．参加を促進し伴走支援する学芸員などの専門家がいる
10．その他（　　）　11．特にない・分からない

文化芸術の「参画（企画・支援）」についておたずねします

問 17　あなたは、この１年間に、以下のような文化芸術活動の**支援やボランティア**をしましたか。（○はいくつでも）

１．子どもの文化芸術体験
２．高齢者の文化芸術鑑賞、体験促進
３．障がい者の文化芸術鑑賞、体験促進
４．在住外国人の文化芸術鑑賞、体験促進
５．美術館・博物館などにおける案内や作品解説
６．劇場・ホールなどにおける案内や制作補助
７．音楽祭・映画祭・アートフェスなどの開催
８．歴史的な建物や遺跡などの保存・活用
８．その他（　　）
９．この１年間、文化芸術活動の支援やボランティアはしていない

問 18　あなたは、どうすれば支援やボランティア活動にもっと参加しやすくなると思いますか。（○はいくつでも）

１．魅力ある内容の活動が行われる　　２．一緒に活動する仲間がいる
３．活動のための時間がとれるようになる　　４．土日祝日や夜間などにも活動が行われる
５．住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる
６．参加するための費用の負担が軽くなる　　７．初心者向けの活動が提供される
８．ボランティアの活動内容や参加申込先などの情報が多く提供される
９．参加や成果を発表する機会が多く提供される
10．参加を促進し伴走支援する学芸員などの専門職員がいる
11．その他（　　）　12．特にない・分からない

文化芸術活動の情報の入手手段についておたずねします

問 19　あなたは、文化芸術の鑑賞や体験に関する情報をどのようなものから入手していますか。（○はいくつでも）

１．テレビ・ラジオ　　２．新聞・雑誌　　３．チラシ・ポスター
４．専門情報誌　　５．県や市町村の広報紙　　６．県や市町村等の窓口
７．友人・知人等からの口コミ　　８．職場・学校　　９．ホームページ
10．SNS（X、Facebook 等）11．動画サイト（YouTube 等）
12．その他（　　）　13．特にない・分からない

文化芸術の「環境整備」についておたずねします

問 20　あなたは、文化芸術を鑑賞したり習い事をしたりする機会や文化財・伝統的なまちなみの保存・整備など、お住まいの地域での文化的な環境に満足していますか。

（○は１つだけ）

１．満足している	２．どちらかといえば満足している
３．どちらかといえば満足していない	４．満足していない
５．関心がない	

問 21　あなたは、お住まいの地域の文化的な環境を充実させるために、何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

１．ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実
２．文化芸術の創作や準備、活動ができる施設や情報の充実
３．公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実
４．著名な芸術家の招へい
５．地域の芸能や祭りなどの継承・保存
６．歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進
７．子どもが文化芸術に親しむ機会の充実
８．その他（　　）
９．特にない・分からない

「地域の伝統文化」についておたずねします

問 22　あなたが住んでいる地域では、伝統的な祭りや歴史的な建物などの伝統文化がありますか。　（○は１つだけ）

１．ある	２．ない	３．あるかどうか知らない

問 23　あなたは、自分が住んでいる地域の伝統芸能に担い手（出演、みこしの担ぎ手、裏方等）として参加していますか。または参加したいと思いますか。（○は１つだけ）

１．参加しているし、今後も続けたいと思う
２．参加しているが、今後は続けたいと思わない（続けられない）
３．参加していないが、今後は参加したいと思う
４．参加していないし、今後も参加したいと思わない

問 23 で「２.参加しているが、今後は続けたいと思わない（続けられない）」と「４.参加していないし、今後も参加したいと思わない」の方におたずねします

問 23－１　あなたが担い手（出演、みこしの担ぎ手、裏方等）として参加を続けたいとは思わない、または参加したいと思わない理由はなんですか。
（○はいくつでも）

１．仕事・育児・介護などで忙しく時間がないから	
２．仕事・育児・介護などで忙しく気力がわかないから	
３．参加を申し込む連絡先が分からないから	
４．参加者が予め決められているから（当番制、自治会役員等）	
５．関係者との人付き合いが苦手だから	６．参加にかかる費用が高いから
７．その他（　　）	８．興味がない・楽しくないから

「子ども・学校教育における文化芸術活動」についておたずねします

問 24　あなたは、子どもの文化芸術体験について、何が重要だと思いますか。
（○はいくつでも）

1．学校における公演や展示などの鑑賞体験の充実
2．学校における音楽、ダンス、伝統芸能、美術などの創作・実演体験の充実
3．学校における華道・茶道・書道などの生活文化の体験機会の充実
4．郷土料理や年中行事の料理などの食文化の体験機会の充実
5．歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会の充実
6．学校と地域の文化芸術施設等との連携を強化し、校内外で一体化した文化芸術教育の実現
7．ホール･劇場や美術館･博物館など文化施設における子ども向けの鑑賞・学習機会の充実
8．音楽祭や演劇祭など地域で文化的行事を開催し、文化芸術に親しむきっかけを提供
9．地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会をより多く提供
10．子どもの文化芸術体験を支援する人材の充実
11．その他（　　）
12．特にない・分からない

問 25　あなたが子どもの文化芸術体験について、期待する効果は何ですか。
（○はいくつでも）

1．美しさなどの感性が育まれる　　2．コミュニケーション能力が高まる
3．創造性や工夫をする力が高まる　　4．他国の人々や文化への関心が高まる
5．他者の気持ちを理解したり思いやったりするようになる
6．学校生活における自信が向上する　　7．困難に直面した時の解決力が向上する
8．日本の文化を知り、国や地域に対する愛着を持つようになる
9．文化芸術活動を将来続けていくきっかけとなる
10．その他（　　）　11．特にない・分からない

「障がいのある人等の文化芸術活動」についておたずねします

問 26　あなたは、障がいのある人のアート作品（絵画・造形等）や演劇、ダンスなどの芸術活動について、これまで鑑賞や参加などしたことはありますか。（○はいくつでも）

1．アート作品展等を直接見たことがある
2．演劇・ダンス等の公演等を直接見たことがある
3．ワークショップに参加したことがある
4．街中などでの展示やパフォーマンスを見たことがある
5．直接見たことはないが、テレビやインターネット、新聞、雑誌などで見たり聞いたりしたことはある（直接見たり、参加したものは除く）
6．見たり聞いたりしたことはない

問 27　近年、文化芸術活動を共に行うことを通じて、障がいのある人や高齢者、生活に困窮している方など社会的に孤立しがちな人との交流を深め、コミュニティを強くしていくために様々な取組がなされています。あなたはどのような取組が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

1．特別な配慮が必要となる人のために特別な機会を用意
2．一般の人と同じ機会に活動を行えるような支援
3．障がい者、高齢者、生活困窮者の博物館・美術館などの入場料を低額もしくは無料化
4．音声ガイドやスロープなど、施設のバリアフリー対応の充実
5．作品の解説やワークショップの開催などにより交流の場を提供
6．鑑賞、創作活動を支援するサポート人材、コーディネーター人材の育成
7．障がいの有無や年齢に関わらず、情報を入手しやすい環境の充実
8．障がい者の方が創作した作品などを鑑賞する機会の充実
9．その他（　　）　10．特に必要ない・分からない

「文化資源の活用」についておたずねします

問 28　あなたは、文化財を地域資源として魅力あるものにしていくためにはどのようなことが重要だと思いますか。（○はいくつでも）

1．文化財が良好な状態で美しく保存・管理されている
2．地元住民が力を出し合って主体的に保存・管理・活用を行っている
3．歴史的な建物などを用いたイベントが開催されている
4．文化財と周辺の景観に統一感や一体感がある
5．様々な文化財や芸術文化茶華道・書道・和食などの生活文化に関する展示・イベントが近隣で開催されることにより、一つの機会で複数の鑑賞、体験ができる
6．文化財の所在や内容に関する情報が充実し、分かりやすく表示・解説されている
7．歴史的な文化を学び体感できる講座やツアー、ワークショップなどが充実している
8．公衆無線ＬＡＮなどの通信環境が整備され、観光地で文化財に関する情報が入手しやすい
9．訪日外国人への対応（多言語対応や異文化の人へのサービス等）が充実している
10．周辺環境（文化財周辺への交通手段、トイレ、歩道等）が整備されている
11．その他（　　）　12．特に必要ない・分からない

「文化芸術の国際交流・魅力発信」についておたずねします

問 29　あなたは、日本と諸外国との文化交流を進めることは、どのような意義があると思いますか。（○はいくつでも）

1．日本の国際化が進み、日本が国際的に開かれた豊かな文化を持つ国に発展できる
2．異なる文化がお互いに刺激し合うことにより、世界の文化の発展につながる
3．日本と諸外国との間の相互理解や信頼関係が深まり、国際関係の安定につながる
4．日本への関心が高まり、訪日外国人旅行客の増加や日本産品の海外展開につながる
5．その他（　　）
6．特にない・分からない

問 30　あなたは、どのようなジャンルを日本の文化芸術の魅力として諸外国に発信すべきだと思いますか。（○はいくつでも）

1. 文学（小説、詩、短歌、俳句など）
2. オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など
3. ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など
4. 日本の伝統音楽（長唄、箏曲、義太夫、和太鼓など）
5. 美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、メディアアートなど）
6. 現代演劇、児童演劇、人形劇
7. ミュージカル
8. バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど
9. ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等)、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等)、社交ダンスなど
10. 日本舞踊
11. 伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）
12. 演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）
13. 映画（アニメーション映画を除く）
14. マンガ、アニメーション、ゲーム
15. 民俗文化（地域の祭り、年中行事など）
16. 生活文化（茶道、華道、書道、囲碁など（食文化を除く））
17. 食文化
18. 歴史文化（歴史的な建造物、景観、文化財）
19. 文化財の保存に必要な材料製作、修理、修復の技術（茅葺、染織、手すき和紙、和楽器製作など）等
20. 特にない・分からない

問 31　あなたは、文化イベントに国内外の多くの人々が参加するために、どのような環境が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

1．文化イベントが交通の利便が良い場所で行われる
2．チケット代が安くなる
3．参加するための時間が確保できる
4．文化イベントが行われる会場が夜間でも開館する
5．各地の特色を生かした魅力あるプログラムが企画・開催される
6．著名な人物が出演したり演出したりするプログラムが企画・開催される
7．プログラムに関する情報を入手するためのウェブサイトが整備される
8．ボランティアなどによる案内が充実する
9．多言語による案内や解説が充実する
10．施設設備や点字などのバリアフリーが導入される
11．その他（　　）
12．特にない・分からない

問 32　近年、文化芸術には教育や福祉など様々な面での可能性が期待されています。あなたが文化芸術に期待するものは何ですか。（○はいくつでも）

1．心の豊かさ、安らぎを感じる
2．生きがいづくりに効果がある
3．美しさなどへの感性が育まれる
4．多様な文化に触れることで相互理解や交流が深まる
5．新しいものを生み出す創造性が育成される
6．新たな人とのつながりを生み出す
7．新たな気づきや学び・成長の機会になる
8．地域の誇りや活性化につながる
9．医療・福祉など健康長寿やリハビリなどで効果がある
10．にぎわいの創出や観光地の魅力向上につながる
11．伝統工芸品の振興や地域産業の創出につながる
12．障がいのある人をはじめとして様々な人の社会参加につながる
13．その他（　　）
14．特に期待しない

「行政の取組・ご意見」についておたずねします

問 33　福岡県の文化芸術を振興するために行政（県・市町村）が積極的に取り組むべき事とはどのような事だと思いますか。（○はいくつでも）

1．伝統芸能・民俗芸能・伝統工芸等の継承・発展
2．世界文化遺産を含む福岡県の文化財の調査・研究・保存・活用・継承
3．芸術家・文化人や文化芸術団体の活動の支援
4．公演・展覧会・芸術祭等の文化芸術を鑑賞・体験する機会の充実
5．子どもたちが文化芸術に親しむことのできる機会（学校教育含む）の充実
6．生涯学習や創作活動の環境づくりや指導者の育成
7．若手芸術家・文化人の活動の支援、担い手の育成
8．文化会館やホール、美術館・博物館等の文化施設の充実
9．地域の歴史的・文化的景観等の保全・活用
10．障がいの有無に関わらず、文化芸術を鑑賞できる支援の充実
11．障がいの有無に関わらず、文化芸術活動に参加できるような支援の充実
12．文化芸術を活かしたまちづくり・コミュニティの活性化及び産業・観光の振興
13．文化芸術を通じた国際交流の推進　　14．その他（　　）
15．特にない・分からない

問 34　その他、県が取り組む文化施策に対してご意見等がありましたらご記入ください。

問 35　最後に、あなたが思う「福岡県の文化」（福岡県固有の文化、福岡県らしさ）でイメージするものは、どのようなものですか。
どのようなことでも結構ですので、ご自由に記入してください。。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

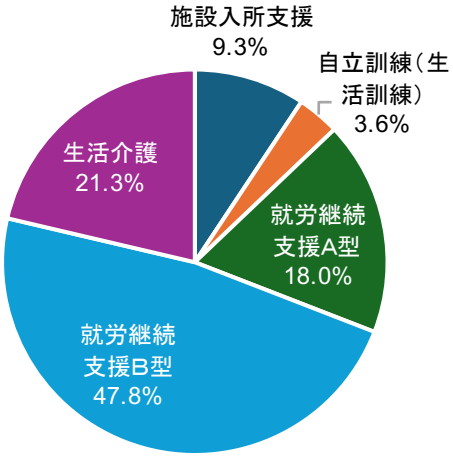
Ⅱ

県内の指定障がい福祉サービス事業所に対するアンケート調査

回答者の基本属性（単一回答）

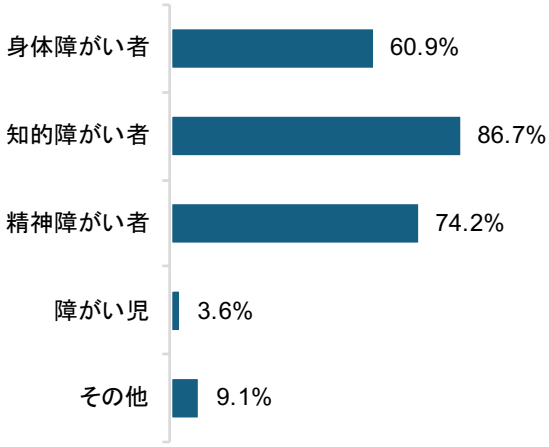
回答者の基本的な属性をグラフにまとめた。サービス種別は就労継続支援B型が47.8%、生活介護が21.3%、就労継続支援A型が18.0%となっている。専門の障がい種別（複数回答）は知的障がい者が86.7%、精神障がい者が74.2%、身体障がい者が60.9%となっている。職員人数は5～9人が52.6%、10～19人が21.8%、5人未満が8.9%となっている。職員での文化芸術活動の経験者については「いいえ（文化芸術活動の経験者はいない）」が85.3%、「はい（文化芸術活動の経験者がいる）」が14.7%となっている。

問1　サービス種別



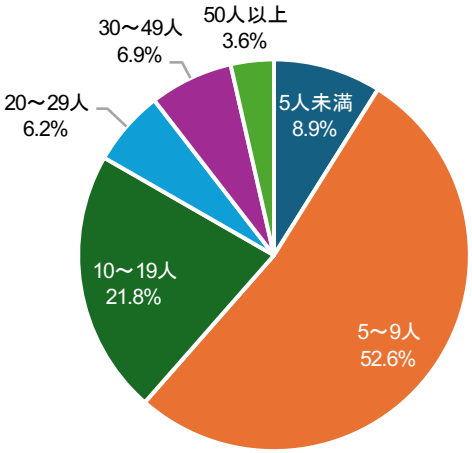
回答数=450

問2　専門の障がい種別



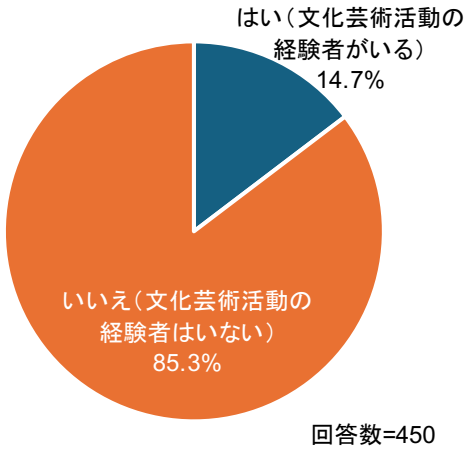
回答数=450

問3　職員人数



回答数=450

問4　職員での文化芸術活動の経験者

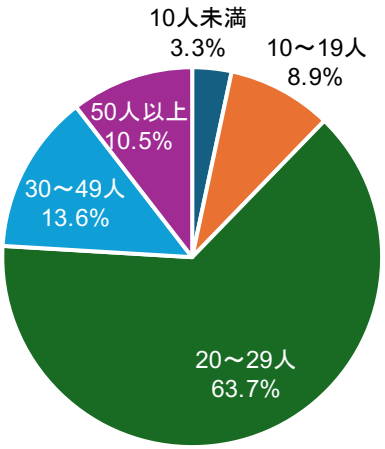


回答数=450

回答者の基本属性（単一回答）

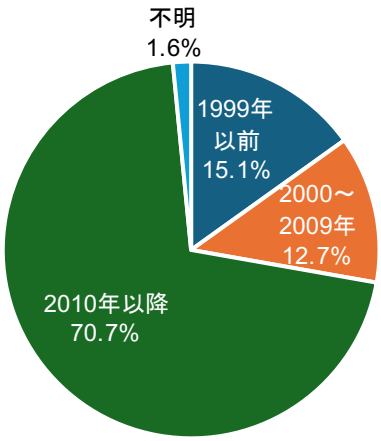
利用定員数は20～29人が63.7%、30～49人が13.6%、50人以上が10.5%となっている。設立年は2010年以降が70.7%、1999年以前が15.1%、2000～2009年が12.7%となっている。所在地は福岡地区が42.2%、北九州地区が22.0%、筑豊地区が17.3%、筑後地区が18.4%となっている。回答者の役職は管理者が56.2%、サービス管理責任者が20.9%、その他が12.7%となっている。

問5　利用定員数



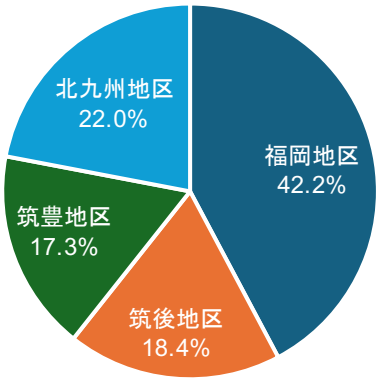
回答数=450

問6　設立年



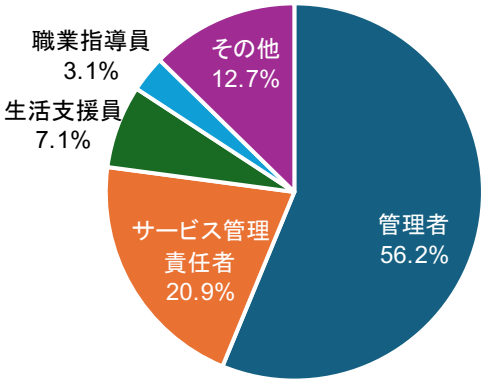
回答数=450

問7　所在地



回答数=450

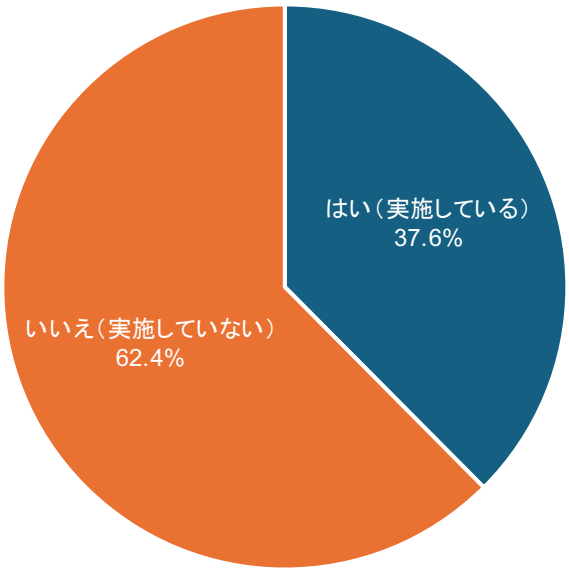
問8　回答者役職



回答数=450

問9　実施の有無（単一回答）

貴事業所では文化芸術活動を実施していますか。（○は1つだけ）



回答数=450

文化芸術活動の実施の有無は、「はい（実施している）」が37.6%「いいえ（実施していない）」が62.4%となっている。

問9　実施の有無（単一回答）

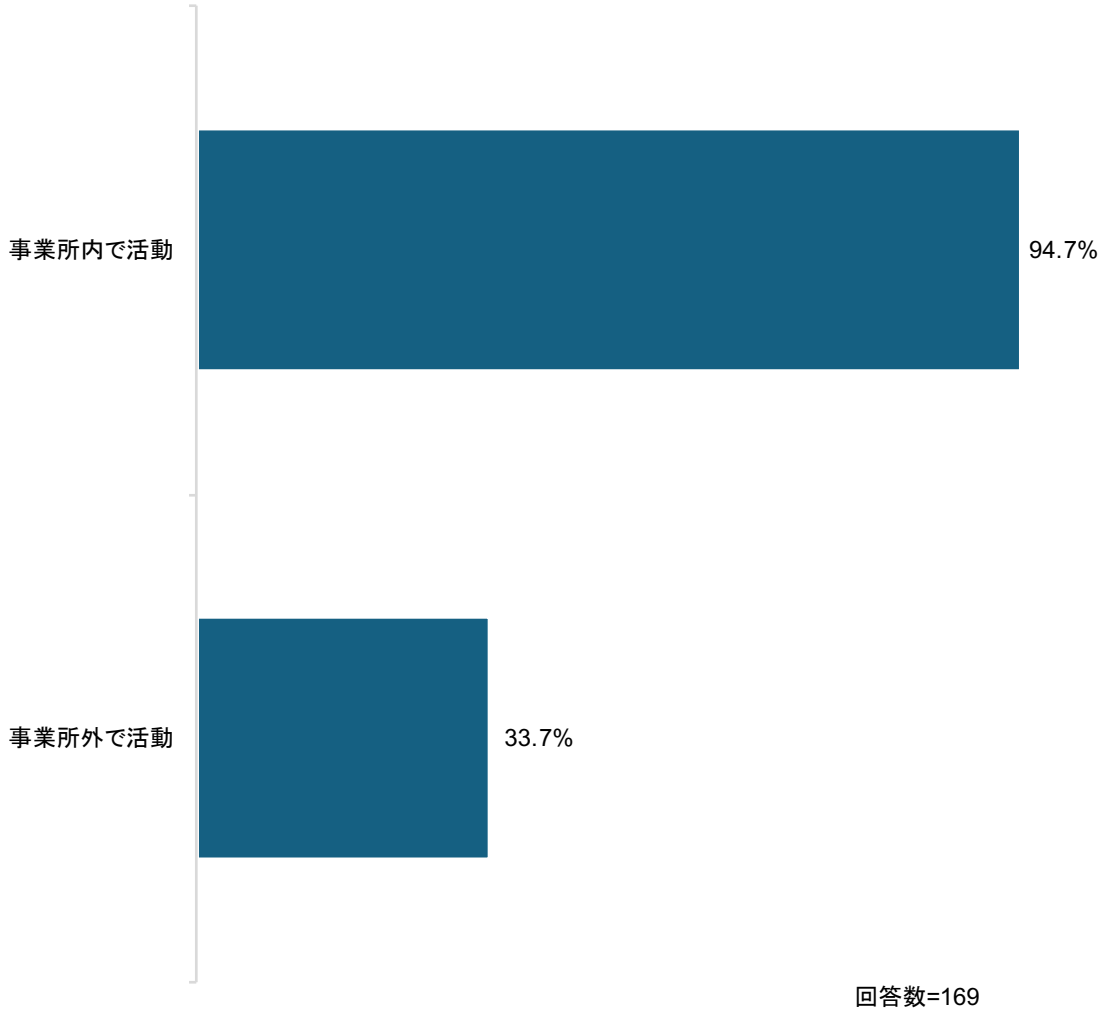
貴事業所では文化芸術活動を実施していますか。（○は1つだけ）

		回答数	はい（実施している）	いいえ（実施していない）
全体		450	37.6	62.4
サービス種別	施設入所支援	42	61.9	38.1
	自立訓練（生活訓練）	16	43.8	56.3
	就労継続支援A型	81	19.8	80.2
	就労継続支援B型	215	31.6	68.4
	生活介護	96	54.2	45.8
専門の障がい種別	身体障がい者	274	35.4	64.6
	知的障がい者	390	37.2	62.8
	精神障がい者	334	30.5	69.5
	障がい児	16	56.3	43.8
	その他	41	39.0	61.0
職員人数	5人未満	40	30.0	70.0
	5～9人	236	27.1	72.9
	10～19人	98	46.9	53.1
	20～29人	28	53.6	46.4
	30～49人	31	71.0	29.0
	50人以上	16	62.5	37.5
利用定員	10人未満	15	66.7	33.3
	10～19人	40	25.0	75.0
	20～29人	286	31.1	68.9
	30～49人	61	47.5	52.5
	50人以上	47	66.0	34.0
設立年	1999年以前	68	57.4	42.6
	2000～2009年	57	49.1	50.9
	2010年以降	318	31.8	68.2
所在地	福岡地区	190	38.9	61.1
	筑後地区	83	38.6	61.4
	筑豊地区	78	30.8	69.2
	北九州地区	99	39.4	60.6

サービス種別で見ると、「はい（実施している）」が施設入所支援が61.9%、生活介護が54.2%と過半の割合となっている。それ以外は「いいえ（実施していない）」が過半となっている。
設立年別で見ると、1999年以前は「はい（実施している）」が57.4%とそれ以降よりも高くなっている。
所在地別で見ると、筑豊地区では「いいえ（実施していない）」が69.2%と他の地区よりも高くなっている。

問10　実施場所（複数回答）

問9で「1 はい」（文化芸術活動を実施している）の 事業所におたずねします。文化芸術活動はどこで実施していますか。（○はいくつでも）



文化芸術活動を実施している事業所の実施場所は、「事業所内で活動」が94.7%「事業所外で活動」が33.7%となっている。

問10　実施場所（複数回答）

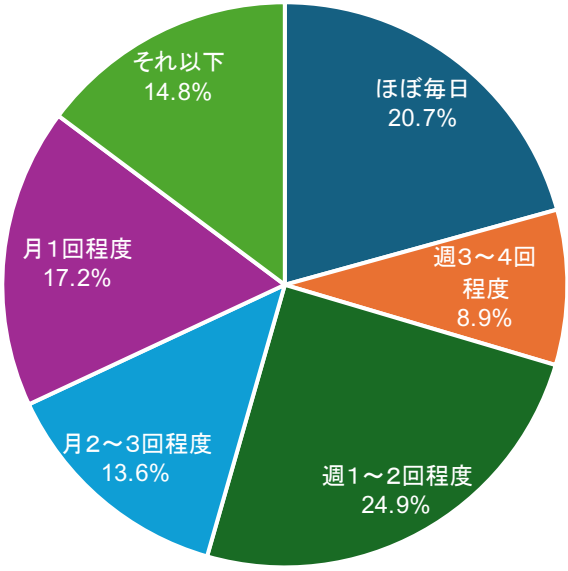
問9で「1 はい」（文化芸術活動を実施している）の 事業所におたずねします。文化芸術活動はどこで実施していますか。（○はいくつでも）

		回答数	事業所内で活動	事業所外で活動
全体		169	94.7	33.7
サービス種別	施設入所支援	26	100.0	26.9
	自立訓練（生活訓練）	7	85.7	14.3
	就労継続支援A型	16	81.3	31.3
	就労継続支援B型	68	92.6	44.1
	生活介護	52	100.0	26.9
専門の障がい種別	身体障がい者	97	94.8	32.0
	知的障がい者	145	94.5	35.2
	精神障がい者	102	93.1	35.3
	障がい児	9	88.9	44.4
	その他	16	93.8	56.3
職員人数	5人未満	12	83.3	25.0
	5～9人	64	90.6	42.2
	10～19人	46	97.8	26.1
	20～29人	15	100.0	26.7
	30～49人	22	100.0	27.3
	50人以上	10	100.0	50.0
利用定員	10人未満	10	100.0	20.0
	10～19人	10	100.0	30.0
	20～29人	89	89.9	34.8
	30～49人	29	100.0	34.5
	50人以上	31	100.0	35.5
設立年	1999年以前	39	100.0	30.8
	2000～2009年	28	100.0	28.6
	2010年以降	101	91.1	36.6
所在地	福岡地区	74	94.6	31.1
	筑後地区	32	96.9	40.6
	筑豊地区	24	95.8	33.3
	北九州地区	39	92.3	33.3

サービス種別で見ると、就労継続支援B型は「事業所外で活動」が44.1%と他よりも高くなっている。

問11　実施頻度（単一回答）

文化芸術活動をどの程度実施していますか（すべてのジャンル。（○は1つだけ）



回答数=450

文化芸術活動を実施している事業所の実施頻度は、「週1～2回程度」が24.9%で最も高くなっている。次いで「ほぼ毎日」（20.7%）、「月1回程度」（17.2%）、「それ以下」14.8%と続いている。『週1回以上』（「ほぼ毎日」、「週3～4回程度」、「週1～2回程度」）が54.4%となっている。

問11　実施頻度（単一回答）

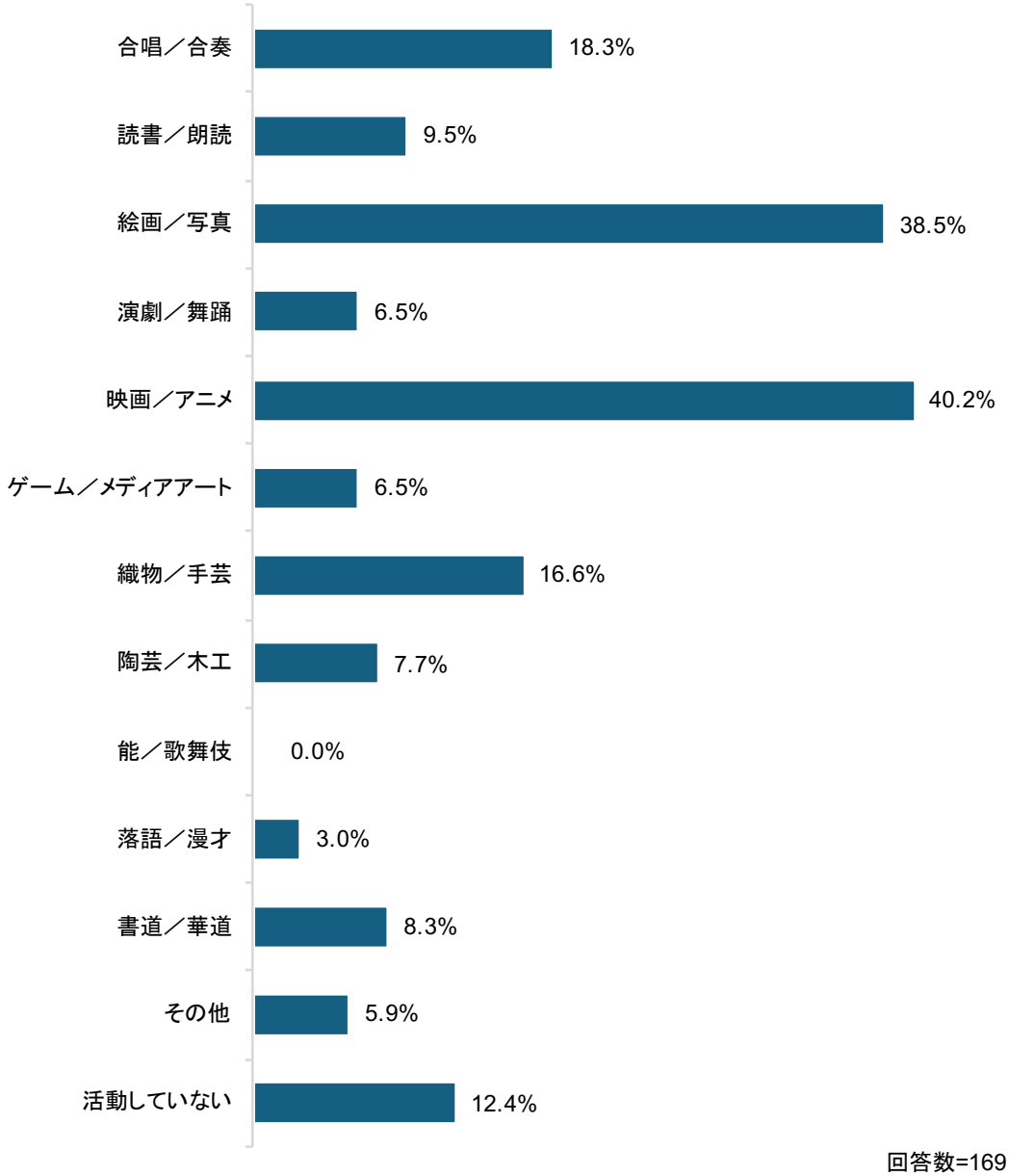
文化芸術活動をどの程度実施していますか（すべてのジャンル。（○は1つだけ）

		回答数	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月2～3回程度	月1回程度	それ以下
全体		169	20.7	8.9	24.9	13.6	17.2	14.8
サービス種別	施設入所支援	26	7.7	15.4	26.9	26.9	19.2	3.8
	自立訓練（生活訓練）	7	14.3	0.0	57.1	0.0	14.3	14.3
	就労継続支援A型	16	25.0	6.3	12.5	12.5	12.5	31.3
	就労継続支援B型	68	29.4	5.9	22.1	7.4	14.7	20.6
	生活介護	52	15.4	11.5	26.9	17.3	21.2	7.7
専門の障がい種別	身体障がい者	97	24.7	9.3	23.7	11.3	16.5	14.4
	知的障がい者	145	23.4	9.0	24.1	13.8	17.2	12.4
	精神障がい者	102	24.5	6.9	25.5	10.8	15.7	16.7
	障がい児	9	11.1	11.1	0.0	22.2	33.3	22.2
	その他	16	43.8	0.0	12.5	18.8	12.5	12.5
職員人数	5人未満	12	8.3	0.0	58.3	0.0	16.7	16.7
	5～9人	64	31.3	6.3	23.4	7.8	10.9	20.3
	10～19人	46	23.9	10.9	17.4	13.0	17.4	17.4
	20～29人	15	13.3	13.3	0.0	33.3	40.0	0.0
	30～49人	22	4.5	4.5	36.4	31.8	18.2	4.5
	50人以上	10	0.0	30.0	40.0	0.0	20.0	10.0
利用定員	10人未満	10	0.0	30.0	30.0	10.0	20.0	10.0
	10～19人	10	40.0	0.0	30.0	0.0	20.0	10.0
	20～29人	89	27.0	3.4	25.8	11.2	12.4	20.2
	30～49人	29	20.7	17.2	13.8	13.8	24.1	10.3
	50人以上	31	3.2	12.9	29.0	25.8	22.6	6.5
設立年	1999年以前	39	10.3	12.8	23.1	23.1	23.1	7.7
	2000～2009年	28	17.9	7.1	32.1	7.1	21.4	14.3
	2010年以降	101	25.7	7.9	22.8	11.9	13.9	17.8
所在地	福岡地区	74	16.2	10.8	31.1	14.9	13.5	13.5
	筑後地区	32	28.1	9.4	21.9	15.6	18.8	6.3
	筑豊地区	24	20.8	12.5	25.0	8.3	16.7	16.7
	北九州地区	39	23.1	2.6	15.4	12.8	23.1	23.1

サービス種別で見ると、就労継続支援B型は「ほぼ毎日」が29.4%と他よりも高くなっている。
所在地別で見ると、筑後地区では「ほぼ毎日」が28.1%と他の地区よりも高くなっている。

問12　活動しているジャンル（鑑賞）（複数回答）

＜鑑賞＞活動を実施しているジャンルを教えてください。（○はそれぞれいくつでも）



文化芸術活動を実施している事業所の＜鑑賞＞活動を実施しているジャンルは、「映画／アニメ」が40.2%で最も高く、次いで「絵画／写真」（38.5%）、「合唱／合奏」（18.3%）、「織物／手芸」（16.6%）と続いている。

問12　活動しているジャンル（鑑賞）（複数回答）

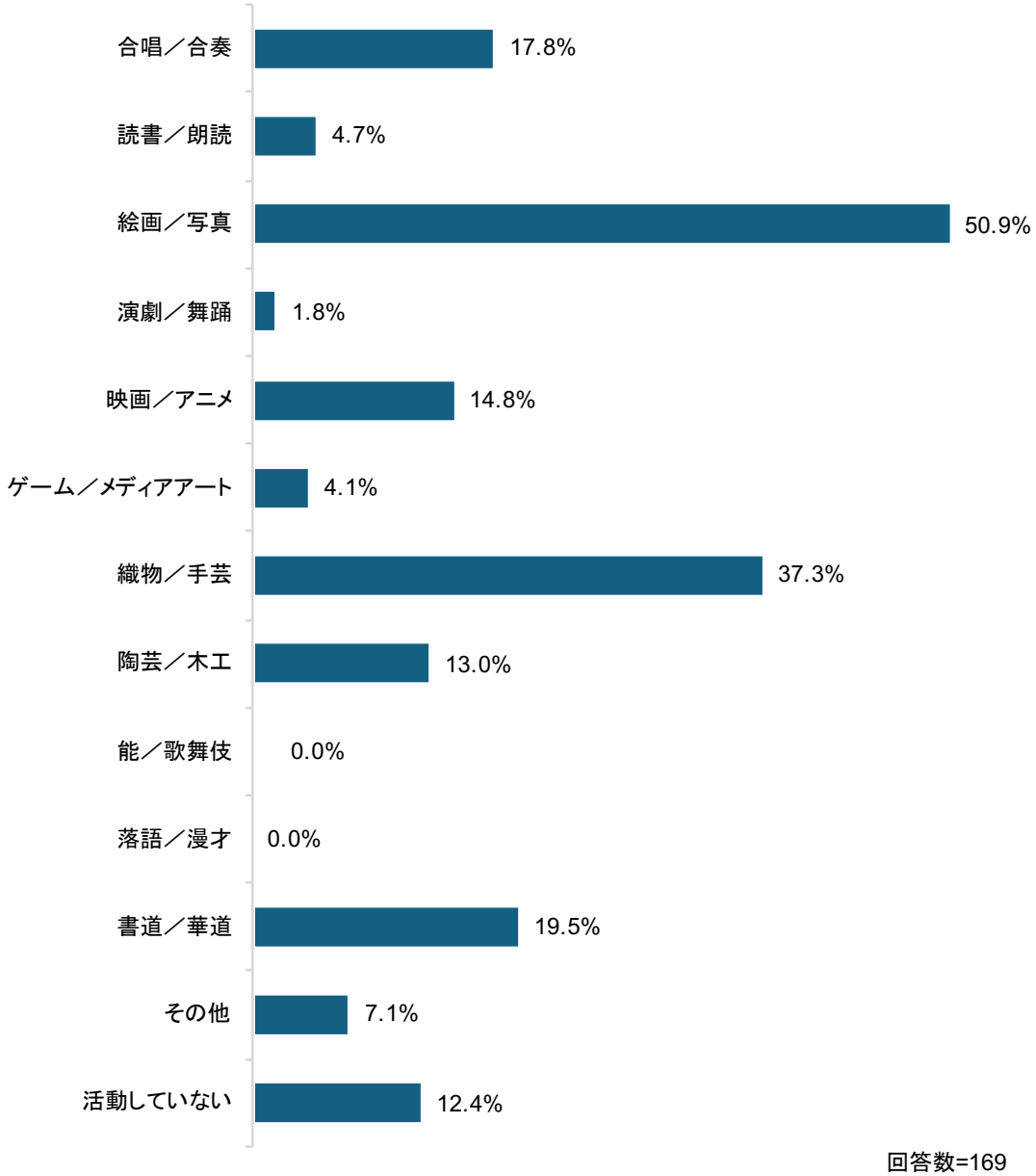
＜鑑賞＞活動を実施しているジャンルを教えてください。（○はそれぞれいくつでも）

		回答数	合唱／合奏	読書／朗読	絵画／写真	演劇／舞踊	映画／アニメ	ゲーム／メディアアート	織物／手芸	陶芸／木工	能／歌舞伎	落語／漫才	書道／華道	その他	活動していない
全体		169	18.3	9.5	38.5	6.5	40.2	6.5	16.6	7.7	0.0	3.0	8.3	5.9	12.4
サービス種別	施設入所支援	26	23.1	15.4	23.1	15.4	76.9	0.0	3.8	0.0	0.0	3.8	23.1	11.5	7.7
	自立訓練（生活訓練）	7	0.0	0.0	28.6	14.3	71.4	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
	就労継続支援A型	16	12.5	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	12.5	12.5	6.3	12.5
	就労継続支援B型	68	8.8	2.9	38.2	5.9	30.9	7.4	25.0	8.8	0.0	1.5	1.5	4.4	19.1
	生活介護	52	32.7	19.2	44.2	3.8	42.3	11.5	9.6	3.8	0.0	1.9	9.6	3.8	7.7
専門の障がい種別	身体障がい者	97	20.6	11.3	37.1	4.1	42.3	9.3	23.7	7.2	0.0	4.1	6.2	8.2	11.3
	知的障がい者	145	15.2	9.0	40.7	6.9	39.3	6.9	17.9	8.3	0.0	1.4	6.9	6.9	14.5
	精神障がい者	102	11.8	4.9	38.2	3.9	38.2	4.9	22.5	9.8	0.0	3.9	4.9	7.8	13.7
	障がい児	9	44.4	22.2	55.6	22.2	33.3	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
	その他	16	12.5	6.3	56.3	0.0	56.3	12.5	31.3	6.3	0.0	0.0	6.3	6.3	6.3
職員人数	5人未満	12	16.7	0.0	41.7	8.3	25.0	0.0	25.0	16.7	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0
	5～9人	64	9.4	4.7	32.8	3.1	35.9	7.8	25.0	7.8	0.0	6.3	4.7	6.3	15.6
	10～19人	46	30.4	17.4	39.1	6.5	41.3	10.9	13.0	10.9	0.0	0.0	6.5	4.3	13.0
	20～29人	15	20.0	0.0	60.0	0.0	33.3	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0	26.7
	30～49人	22	22.7	9.1	36.4	9.1	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	4.5	13.6	4.5
	50人以上	10	10.0	30.0	40.0	30.0	70.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
利用定員	10人未満	10	50.0	40.0	10.0	10.0	50.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0
	10～19人	10	20.0	0.0	30.0	0.0	50.0	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	20.0
	20～29人	89	13.5	5.6	42.7	3.4	34.8	6.7	21.3	10.1	0.0	3.4	5.6	4.5	11.2
	30～49人	29	20.7	10.3	41.4	10.3	34.5	6.9	17.2	6.9	0.0	3.4	3.4	10.3	17.2
	50人以上	31	19.4	12.9	35.5	12.9	54.8	3.2	3.2	3.2	0.0	0.0	19.4	6.5	12.9
設立年	1999年以前	39	15.4	12.8	38.5	12.8	53.8	2.6	2.6	2.6	0.0	2.6	17.9	10.3	15.4
	2000～2009年	28	25.0	10.7	42.9	10.7	42.9	3.6	3.6	14.3	0.0	0.0	3.6	3.6	3.6
	2010年以降	101	17.8	7.9	37.6	3.0	34.7	8.9	25.7	7.9	0.0	4.0	5.9	5.0	12.9
所在地	福岡地区	74	21.6	10.8	44.6	6.8	37.8	4.1	17.6	10.8	0.0	2.7	5.4	4.1	13.5
	筑後地区	32	21.9	9.4	31.3	0.0	37.5	12.5	21.9	6.3	0.0	3.1	6.3	6.3	12.5
	筑豊地区	24	12.5	8.3	29.2	12.5	58.3	12.5	16.7	0.0	0.0	8.3	12.5	4.2	4.2
	北九州地区	39	12.8	7.7	38.5	7.7	35.9	2.6	10.3	7.7	0.0	0.0	12.8	10.3	15.4

専門の障がい種別で見ると、障がい児は「絵画／写真」が55.6%と他よりも高くなっている。
所在地別に見ると、福岡地区は「絵画／写真」が44.6%と他の地区よりも高くなっている。

問13　活動しているジャンル（創造）（複数回答）

＜創造（創作）＞活動を実施しているジャンルを教えてください。（○はそれぞれいくつでも）



文化芸術活動を実施している事業所の＜創造＞活動を実施しているジャンルは、「絵画／写真」が50.9%で最も高く、次いで「織物／手芸」（37.3%）、「書道／華道」（19.5%）、「合唱／合奏」（17.8%）と続いている。

問13　活動しているジャンル（創造）（複数回答）

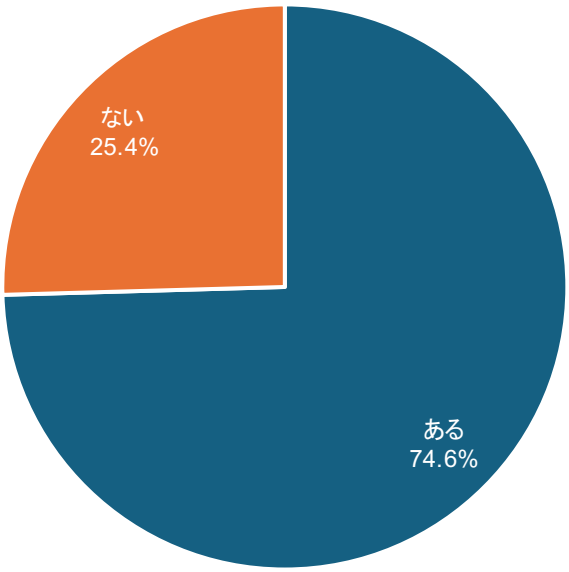
＜創造（創作）＞活動を実施しているジャンルを教えてください。（○はそれぞれいくつでも）

		回答数	合唱／合奏	読書／朗読	絵画／写真	演劇／舞踊	映画／アニメ	ゲーム／メディアアート	織物／手芸	陶芸／木工	能／歌舞伎	落語／漫才	書道／華道	その他	活動していない
全体		169	17.8	4.7	50.9	1.8	14.8	4.1	37.3	13.0	0.0	0.0	19.5	7.1	12.4
サービス種別	施設入所支援	26	34.6	7.7	34.6	0.0	15.4	3.8	34.6	7.7	0.0	0.0	34.6	19.2	15.4
	自立訓練（生活訓練）	7	0.0	14.3	42.9	0.0	28.6	0.0	71.4	28.6	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0
	就労継続支援A型	16	6.3	0.0	37.5	0.0	0.0	0.0	25.0	18.8	0.0	0.0	12.5	0.0	18.8
	就労継続支援B型	68	8.8	1.5	51.5	1.5	16.2	5.9	41.2	11.8	0.0	0.0	7.4	2.9	14.7
	生活介護	52	26.9	7.7	63.5	3.8	15.4	3.8	32.7	13.5	0.0	0.0	28.8	9.6	7.7
専門の障がい種別	身体障がい者	97	15.5	5.2	44.3	1.0	15.5	6.2	43.3	11.3	0.0	0.0	18.6	8.2	13.4
	知的障がい者	145	17.2	4.1	56.6	2.1	13.8	4.1	40.7	12.4	0.0	0.0	18.6	6.9	10.3
	精神障がい者	102	9.8	3.9	46.1	1.0	15.7	3.9	41.2	14.7	0.0	0.0	13.7	7.8	13.7
	障がい児	9	22.2	11.1	55.6	0.0	22.2	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0	22.2	0.0	22.2
	その他	16	12.5	6.3	56.3	0.0	37.5	6.3	43.8	12.5	0.0	0.0	12.5	6.3	12.5
職員人数	5人未満	12	8.3	0.0	25.0	0.0	8.3	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	8.3	8.3
	5～9人	64	6.3	1.6	42.2	0.0	17.2	6.3	40.6	12.5	0.0	0.0	10.9	3.1	15.6
	10～19人	46	21.7	6.5	60.9	2.2	15.2	4.3	32.6	13.0	0.0	0.0	17.4	8.7	13.0
	20～29人	15	26.7	6.7	86.7	6.7	13.3	0.0	53.3	13.3	0.0	0.0	33.3	6.7	0.0
	30～49人	22	31.8	4.5	40.9	0.0	4.5	0.0	13.6	4.5	0.0	0.0	27.3	13.6	18.2
	50人以上	10	40.0	20.0	60.0	10.0	30.0	10.0	50.0	20.0	0.0	0.0	40.0	10.0	0.0
利用定員	10人未満	10	20.0	20.0	40.0	0.0	10.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	30.0	10.0	20.0
	10～19人	10	10.0	0.0	60.0	0.0	30.0	10.0	50.0	30.0	0.0	0.0	30.0	10.0	0.0
	20～29人	89	12.4	2.2	48.3	0.0	14.6	4.5	39.3	14.6	0.0	0.0	13.5	5.6	12.4
	30～49人	29	13.8	3.4	58.6	3.4	10.3	3.4	37.9	6.9	0.0	0.0	10.3	3.4	17.2
	50人以上	31	38.7	9.7	51.6	6.5	16.1	3.2	29.0	12.9	0.0	0.0	38.7	12.9	9.7
設立年	1999年以前	39	25.6	5.1	56.4	7.7	7.7	2.6	25.6	12.8	0.0	0.0	33.3	15.4	15.4
	2000～2009年	28	25.0	3.6	53.6	0.0	21.4	0.0	35.7	14.3	0.0	0.0	14.3	7.1	17.9
	2010年以降	101	12.9	5.0	47.5	0.0	15.8	5.9	41.6	11.9	0.0	0.0	14.9	4.0	9.9
所在地	福岡地区	74	21.6	5.4	51.4	1.4	10.8	2.7	36.5	14.9	0.0	0.0	14.9	5.4	12.2
	筑後地区	32	21.9	3.1	50.0	3.1	12.5	6.3	37.5	9.4	0.0	0.0	28.1	12.5	6.3
	筑豊地区	24	12.5	4.2	37.5	0.0	20.8	8.3	37.5	0.0	0.0	0.0	16.7	4.2	25.0
	北九州地区	39	10.3	5.1	59.0	2.6	20.5	2.6	38.5	20.5	0.0	0.0	23.1	7.7	10.3

サービス種別で見ると、生活介護は「絵画／写真」が63.5%と他よりも高くなっている。自立訓練（生活訓練）は「織物／手芸」が71.4%と他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。
所在地別に見ると、筑豊地区では「活動していない」が25.0%と他の地域よりも高くなっている。

問14　創造した作品の発表機会の有無（単一回答）

創造（創作）した作品を発表・公開する機会はありますか。（○は1つだけ）



回答数=450

文化芸術活動を実施している事業所で、創造した作品の発表機会が「ある」事業所は74.6%となっている。

問14　創造した作品の発表機会の有無（単一回答）

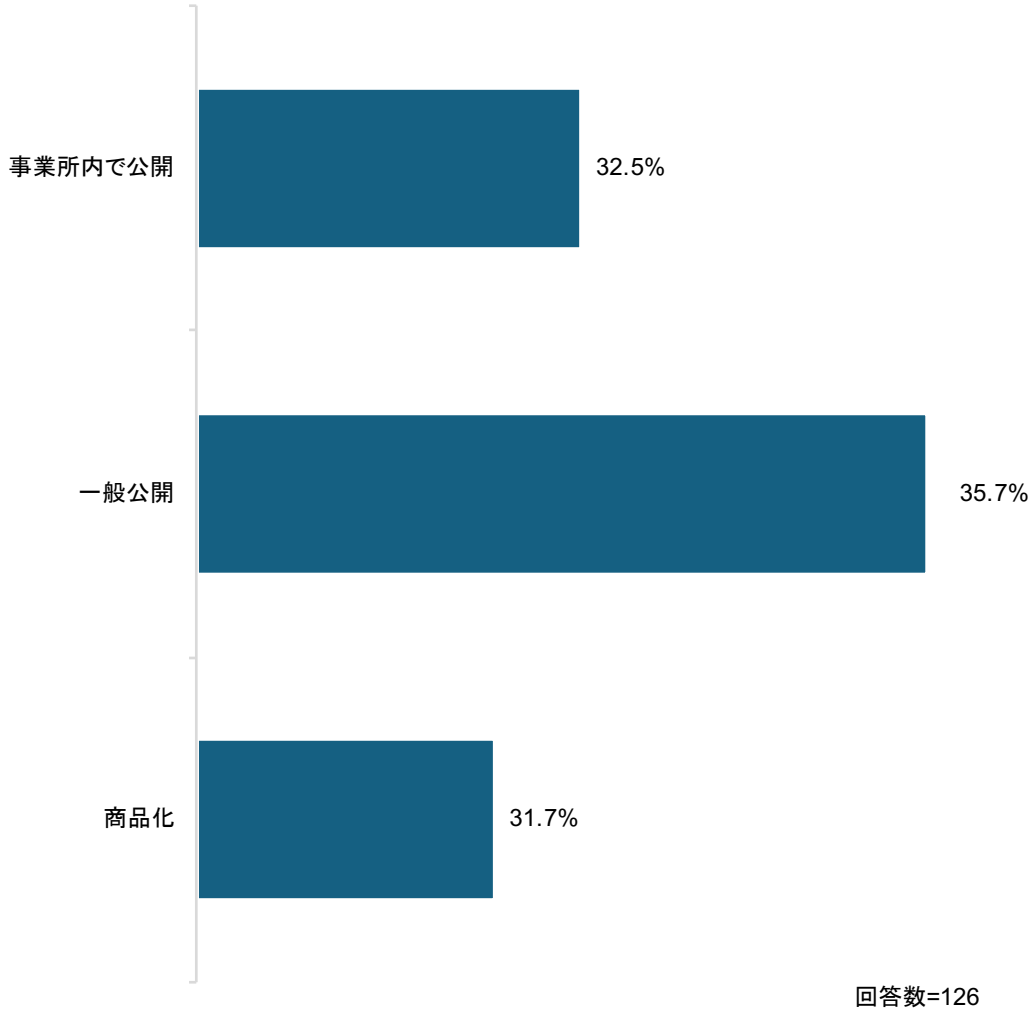
創造（創作）した作品を発表・公開する機会はありますか。（○は1つだけ）

		回答数	ある	ない
全体		169	74.6	25.4
サービス種別	施設入所支援	26	76.9	23.1
	自立訓練（生活訓練）	7	85.7	14.3
	就労継続支援A型	16	81.3	18.8
	就労継続支援B型	68	69.1	30.9
	生活介護	52	76.9	23.1
専門の障がい種別	身体障がい者	97	69.1	30.9
	知的障がい者	145	74.5	25.5
	精神障がい者	102	73.5	26.5
	障がい児	9	44.4	55.6
	その他	16	75.0	25.0
職員人数	5人未満	12	75.0	25.0
	5～9人	64	73.4	26.6
	10～19人	46	71.7	28.3
	20～29人	15	80.0	20.0
	30～49人	22	68.2	31.8
	50人以上	10	100.0	0.0
利用定員	10人未満	10	30.0	70.0
	10～19人	10	80.0	20.0
	20～29人	89	76.4	23.6
	30～49人	29	72.4	27.6
	50人以上	31	83.9	16.1
設立年	1999年以前	39	79.5	20.5
	2000～2009年	28	71.4	28.6
	2010年以降	101	74.3	25.7
所在地	福岡地区	74	74.3	25.7
	筑後地区	32	81.3	18.8
	筑豊地区	24	66.7	33.3
	北九州地区	39	74.4	25.6

サービス種別で見ると、自立訓練（生活訓練）は「ある」が85.7%と他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。
専門の障がい種別で見ると、障がい児は「ない」が55.6%と「ある」回答の割合を上回っている（回答数が少ないため留意が必要）。

問14-1　発表の仕方（複数回答）

問14で【1 あると回答した方】:それはどのような発表の仕方でしょうか。（○はいくつでも）



創造（創作）した作品を発表・公開する機会がある事業での発表の方法については、「一般公開」が35.7%、「事業所内で公開」が32.5%、「商品化」が31.7%となっている。

問14-1　発表の仕方（複数回答）

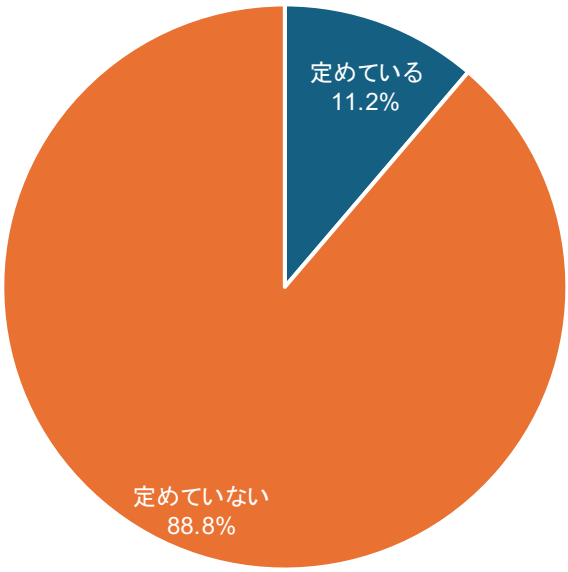
問14で【1 あると回答した方】:それはどのような発表の仕方でしょうか。（○はいくつでも）

		回答数	事業所内で公開	一般公開	商品化
全体		126	32.5	35.7	31.7
サービス種別	施設入所支援	20	60.0	35.0	5.0
	自立訓練（生活訓練）	6	33.3	16.7	50.0
	就労継続支援A型	13	7.7	30.8	61.5
	就労継続支援B型	47	14.9	42.6	42.6
	生活介護	40	47.5	32.5	20.0
専門の障がい種別	身体障がい者	67	28.4	32.8	38.8
	知的障がい者	108	29.6	37.0	33.3
	精神障がい者	75	14.7	44.0	41.3
	障がい児	4	25.0	50.0	25.0
	その他	12	33.3	41.7	25.0
職員人数	5人未満	9	33.3	44.4	22.2
	5～9人	47	10.6	38.3	51.1
	10～19人	33	42.4	33.3	24.2
	20～29人	12	41.7	33.3	25.0
	30～49人	15	60.0	33.3	6.7
	50人以上	10	50.0	30.0	20.0
利用定員	10人未満	3	66.7	0.0	33.3
	10～19人	8	50.0	37.5	12.5
	20～29人	68	19.1	42.6	38.2
	30～49人	21	33.3	19.0	47.6
	50人以上	26	57.7	34.6	7.7
設立年	1999年以前	31	48.4	38.7	12.9
	2000～2009年	20	45.0	35.0	20.0
	2010年以降	75	22.7	34.7	42.7
所在地	福岡地区	55	27.3	30.9	41.8
	筑後地区	26	38.5	38.5	23.1
	筑豊地区	16	37.5	50.0	12.5
	北九州地区	29	34.5	34.5	31.0

サービス種別で見ると、就労継続支援A型は「商品化」が61.5%と他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。
設立年別で見ると、2010年以降では「商品化」が42.7%とそれ以前よりも高くなっている。
所在地別で見ると、福岡地区では「商品化」が41.8%と他の地区よりも高くなっている。

問15　創造した作品の著作権の取り扱い（単一回答）

創造（創作）した作品の著作権等の取扱いを定めていますか。（○は1つだけ）



回答数=169

文化芸術活動を実施している事業所で、創造した作品の著作権の取り扱いを「定めていない」事業所は88.8%、「定めている」事業所が11.2%となっている。

問15　創造した作品の著作権の取り扱い（単一回答）

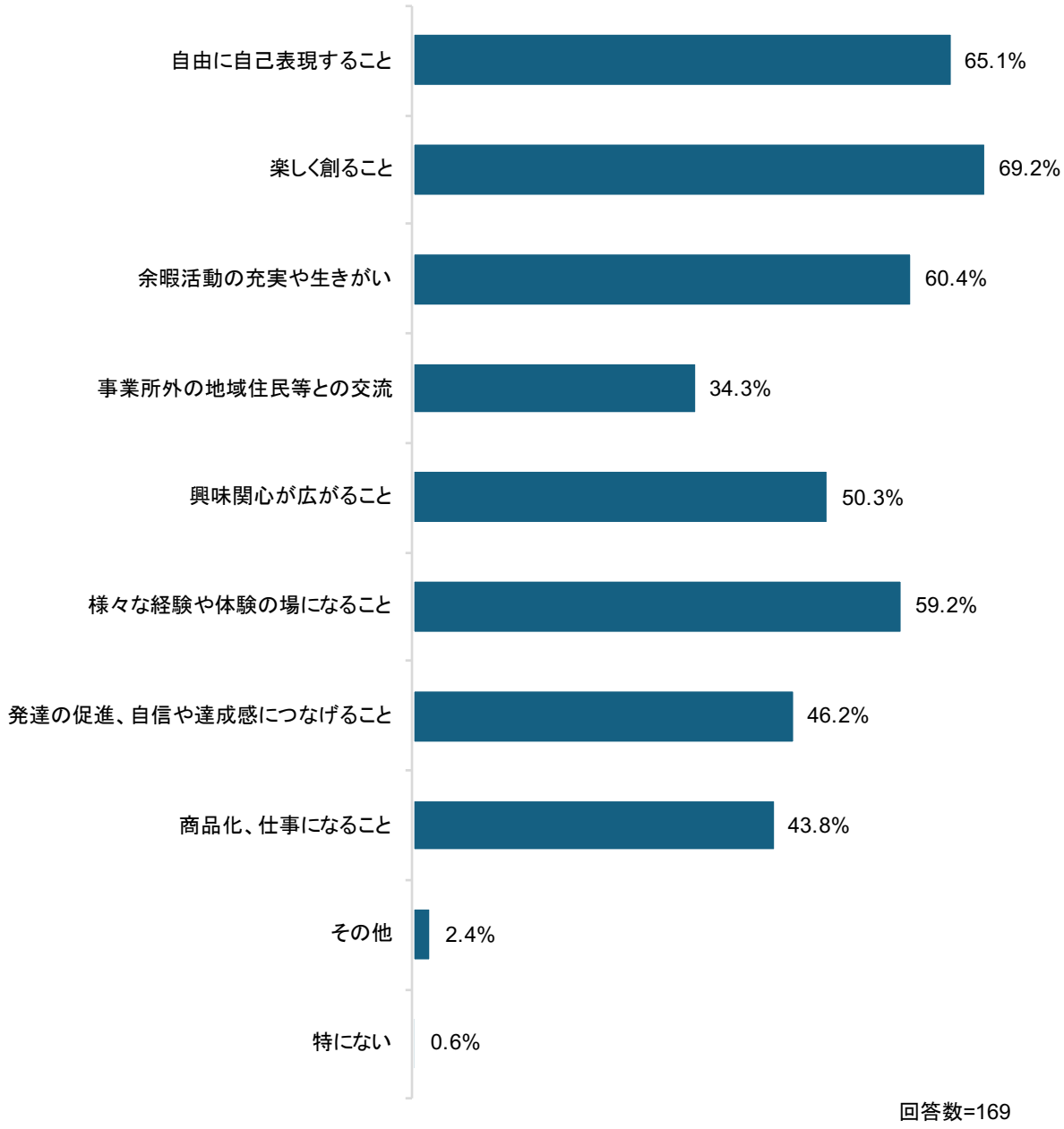
創造（創作）した作品の著作権等の取扱いを定めていますか。（○は1つだけ）

		回答数	定めている	定めていない
全体		169	11.2	88.8
サービス種別	施設入所支援	26	0.0	100.0
	自立訓練（生活訓練）	7	0.0	100.0
	就労継続支援A型	16	12.5	87.5
	就労継続支援B型	68	22.1	77.9
	生活介護	52	3.8	96.2
専門の障がい種別	身体障がい者	97	9.3	90.7
	知的障がい者	145	12.4	87.6
	精神障がい者	102	13.7	86.3
	障がい児	9	0.0	100.0
	その他	16	12.5	87.5
職員人数	5人未満	12	0.0	100.0
	5～9人	64	15.6	84.4
	10～19人	46	15.2	84.8
	20～29人	15	0.0	100.0
	30～49人	22	4.5	95.5
	50人以上	10	10.0	90.0
利用定員	10人未満	10	10.0	90.0
	10～19人	10	0.0	100.0
	20～29人	89	13.5	86.5
	30～49人	29	17.2	82.8
	50人以上	31	3.2	96.8
設立年	1999年以前	39	5.1	94.9
	2000～2009年	28	14.3	85.7
	2010年以降	101	12.9	87.1
所在地	福岡地区	74	14.9	85.1
	筑後地区	32	3.1	96.9
	筑豊地区	24	12.5	87.5
	北九州地区	39	10.3	89.7

サービス種別で見ると、就労継続支援B型は「定めている」が22.1%と他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。

問16　文化芸術活動実施上の重視点（複数回答）

貴事業所が、障がいのある人を対象とした、文化芸術活動を実施するにあたって**重視している**のはどのような事ですか。（○はいくつでも）



文化芸術活動実施上の重視点は、「楽しく創ること」が69.2%で最も高く、次いで「自由に自己表現すること」（65.1%）、「余暇活動の充実や生きがい」（60.4%）、「様々な経験や体験の場になること」（59.2%）と続いている。

問16　文化芸術活動実施上の重視点（複数回答）

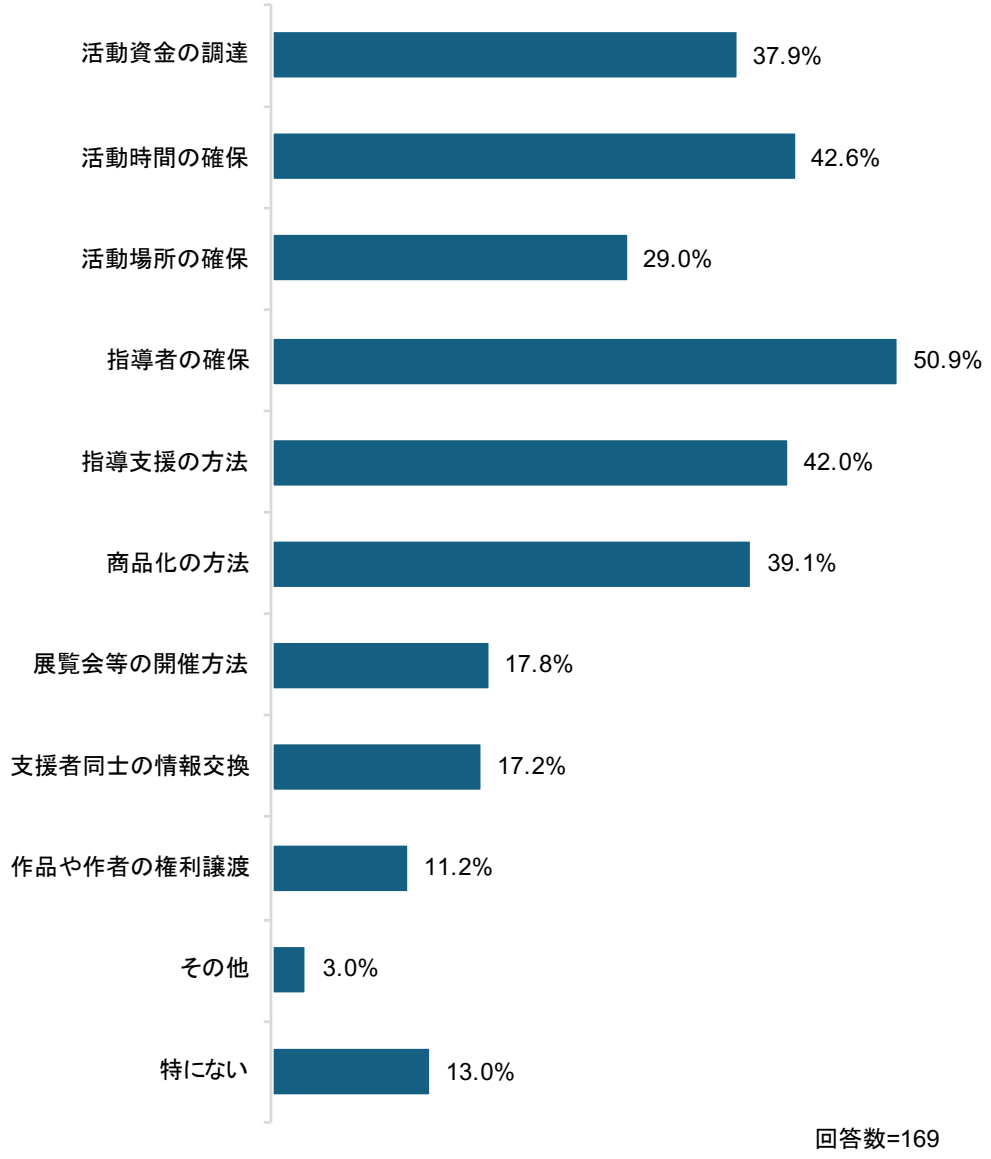
貴事業所が、障がいのある人を対象とした、文化芸術活動を実施するにあたって**重視している**のはどのような事ですか。（○はいくつでも）

		回答数	自由に自己表現すること	楽しく創ること	余暇活動の充実や生きがい	事業所外の地域住民等との交流	興味関心が広がること	様々な経験や体験の場になること	発達の促進、自信や達成感につなげること	商品化、仕事になること	その他	特にない
全体		169	65.1	69.2	60.4	34.3	50.3	59.2	46.2	43.8	2.4	0.6
サービス種別	施設入所支援	26	73.1	76.9	88.5	34.6	50.0	46.2	46.2	3.8	0.0	0.0
	自立訓練（生活訓練）	7	71.4	100.0	71.4	57.1	57.1	85.7	71.4	57.1	14.3	0.0
	就労継続支援A型	16	62.5	37.5	31.3	37.5	37.5	56.3	31.3	43.8	0.0	0.0
	就労継続支援B型	68	52.9	64.7	48.5	32.4	42.6	60.3	50.0	70.6	2.9	1.5
	生活介護	52	76.9	76.9	69.2	32.7	63.5	61.5	42.3	26.9	1.9	0.0
専門の障がい種別	身体障がい者	97	64.9	72.2	62.9	35.1	59.8	61.9	50.5	50.5	4.1	1.0
	知的障がい者	145	66.2	69.7	62.8	35.9	51.0	57.9	47.6	46.9	2.8	0.7
	精神障がい者	102	58.8	64.7	54.9	34.3	50.0	58.8	49.0	57.8	3.9	1.0
	障がい児	9	77.8	77.8	55.6	55.6	88.9	77.8	44.4	44.4	0.0	0.0
	その他	16	62.5	81.3	43.8	31.3	56.3	62.5	43.8	50.0	6.3	6.3
職員人数	5人未満	12	58.3	66.7	58.3	66.7	50.0	75.0	58.3	66.7	16.7	0.0
	5～9人	64	53.1	60.9	51.6	34.4	40.6	56.3	51.6	67.2	1.6	1.6
	10～19人	46	69.6	71.7	56.5	26.1	52.2	60.9	39.1	30.4	2.2	0.0
	20～29人	15	66.7	80.0	66.7	26.7	60.0	60.0	26.7	33.3	0.0	0.0
	30～49人	22	77.3	72.7	77.3	27.3	63.6	59.1	54.5	9.1	0.0	0.0
	50人以上	10	100.0	90.0	90.0	60.0	60.0	50.0	40.0	20.0	0.0	0.0
利用定員	10人未満	10	90.0	90.0	70.0	40.0	70.0	70.0	50.0	30.0	0.0	0.0
	10～19人	10	80.0	80.0	70.0	50.0	60.0	60.0	50.0	60.0	0.0	0.0
	20～29人	89	53.9	61.8	47.2	36.0	44.9	59.6	46.1	55.1	4.5	1.1
	30～49人	29	75.9	75.9	72.4	24.1	51.7	62.1	41.4	41.4	0.0	0.0
	50人以上	31	74.2	74.2	80.6	32.3	54.8	51.6	48.4	12.9	0.0	0.0
設立年	1999年以前	39	69.2	74.4	71.8	33.3	56.4	59.0	48.7	15.4	0.0	0.0
	2000～2009年	28	82.1	67.9	78.6	32.1	50.0	50.0	42.9	28.6	0.0	0.0
	2010年以降	101	58.4	67.3	50.5	35.6	47.5	62.4	46.5	59.4	4.0	1.0
所在地	福岡地区	74	64.9	66.2	55.4	33.8	47.3	63.5	43.2	48.6	4.1	0.0
	筑後地区	32	71.9	87.5	56.3	31.3	50.0	40.6	50.0	37.5	3.1	0.0
	筑豊地区	24	50.0	58.3	70.8	33.3	37.5	54.2	41.7	45.8	0.0	4.2
	北九州地区	39	69.2	66.7	66.7	38.5	64.1	69.2	51.3	38.5	0.0	0.0

サービス種別で見ると、就労継続支援B型は「商品化、仕事になること」が　70.6%と他よりも高くなっている。自立訓練（生活訓練）では「楽しく創ること」が100.0%と他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。

問17　文化芸術活動実施上の課題必要なこと(複数回答)

貴事業所が、障がいのある人を対象とした、文化芸術活動を実施するにあたって**課題や必要としている**のはどのような事ですか。(○はいくつでも)



文化芸術活動実施上の課題必要なことは、「指導者の確保」が50.9%で最も高く、次いで「活動時間の確保」(42.6%)、「指導支援の方法」(42.0%)、「商品化の方法」(39.1%)と続いている。

問17　文化芸術活動実施上の課題必要なこと(複数回答)

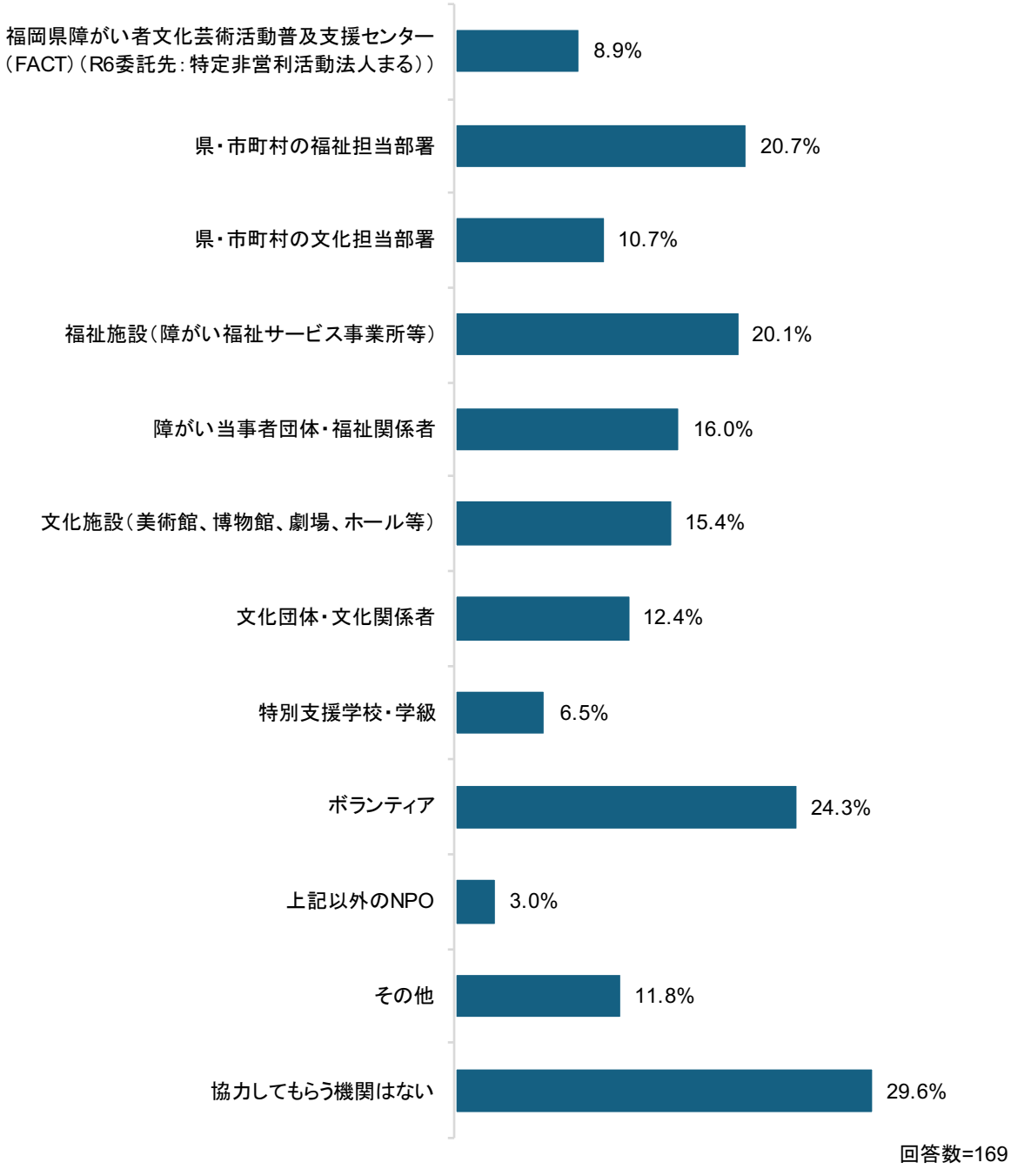
貴事業所が、障がいのある人を対象とした、文化芸術活動を実施するにあたって**課題や必要としている**のはどのような事ですか。(○はいくつでも)

		回答数	活動資金の調達	活動時間の確保	活動場所の確保	指導者の確保	指導支援の方法	商品化の方法	展覧会等の開催方法	支援者同士の情報交換	作品や作者の権利譲渡	その他	特にない
全体		169	37.9	42.6	29.0	50.9	42.0	39.1	17.8	17.2	11.2	3.0	13.0
サービス種別	施設入所支援	26	30.8	53.8	26.9	73.1	53.8	11.5	23.1	19.2	3.8	11.5	3.8
	自立訓練(生活訓練)	7	57.1	28.6	42.9	28.6	28.6	28.6	14.3	28.6	14.3	0.0	28.6
	就労継続支援A型	16	37.5	50.0	12.5	37.5	25.0	50.0	25.0	12.5	6.3	0.0	6.3
	就労継続支援B型	68	48.5	41.2	39.7	48.5	35.3	51.5	19.1	20.6	14.7	1.5	8.8
	生活介護	52	25.0	38.5	19.2	50.0	51.9	34.6	11.5	11.5	11.5	1.9	23.1
専門の障がい種別	身体障がい者	97	46.4	52.6	30.9	52.6	40.2	42.3	16.5	18.6	12.4	2.1	11.3
	知的障がい者	145	39.3	42.1	29.7	49.7	42.1	40.0	17.9	17.2	12.4	2.8	13.1
	精神障がい者	102	49.0	45.1	33.3	47.1	38.2	49.0	19.6	21.6	13.7	0.0	9.8
	障がい児	9	55.6	55.6	33.3	33.3	44.4	22.2	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1
	その他	16	50.0	50.0	18.8	37.5	31.3	43.8	6.3	18.8	25.0	6.3	12.5
職員人数	5人未満	12	66.7	33.3	33.3	66.7	33.3	41.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	5～9人	64	40.6	39.1	32.8	40.6	39.1	56.3	26.6	23.4	15.6	3.1	12.5
	10～19人	46	37.0	52.2	32.6	50.0	32.6	26.1	6.5	15.2	10.9	0.0	19.6
	20～29人	15	26.7	20.0	13.3	53.3	53.3	33.3	6.7	13.3	6.7	6.7	20.0
	30～49人	22	31.8	40.9	18.2	63.6	59.1	22.7	13.6	9.1	9.1	4.5	9.1
	50人以上	10	20.0	70.0	30.0	70.0	60.0	30.0	60.0	10.0	10.0	10.0	0.0
利用定員	10人未満	10	40.0	50.0	40.0	50.0	50.0	50.0	10.0	20.0	0.0	0.0	20.0
	10～19人	10	50.0	50.0	30.0	60.0	50.0	50.0	20.0	40.0	30.0	10.0	0.0
	20～29人	89	47.2	43.8	34.8	48.3	37.1	48.3	16.9	21.3	13.5	1.1	12.4
	30～49人	29	20.7	41.4	24.1	48.3	37.9	17.2	17.2	3.4	6.9	0.0	20.7
	50人以上	31	22.6	35.5	12.9	58.1	54.8	25.8	22.6	9.7	6.5	9.7	9.7
設立年	1999年以前	39	15.4	38.5	15.4	53.8	53.8	20.5	17.9	7.7	7.7	7.7	17.9
	2000～2009年	28	39.3	42.9	35.7	57.1	39.3	32.1	17.9	21.4	10.7	0.0	17.9
	2010年以降	101	46.5	44.6	32.7	48.5	38.6	47.5	17.8	19.8	12.9	2.0	9.9
所在地	福岡地区	74	37.8	37.8	31.1	48.6	39.2	40.5	18.9	18.9	12.2	1.4	18.9
	筑後地区	32	40.6	50.0	31.3	53.1	53.1	34.4	9.4	18.8	12.5	9.4	3.1
	筑豊地区	24	33.3	50.0	33.3	62.5	45.8	33.3	16.7	12.5	4.2	0.0	8.3
	北九州地区	39	38.5	41.0	20.5	46.2	35.9	43.6	23.1	15.4	12.8	2.6	12.8

サービス種別で見ると、施設入所支援は「指導者の確保」が73.1%と他よりも高くなっている。自立訓練(生活訓練)では「活動資金の調達」が57.1%と他よりも高くなっている(回答数が少ないため留意が必要)。

問18　文化芸術活動実施上の協力機関（複数回答）

貴事業所が、障がいのある人を対象とした、文化芸術活動を実施する際に協力してもらう機関があれば教えてください。（○はいくつでも）



文化芸術活動実施上の協力機関について聞いたところ、「協力してもらう機関はない」が29.6%で最も高くなっている。次いで「ボランティア」（24.3%）、「県・市町村の福祉担当部署」（20.7%）、「福祉施設（障がい福祉サービス事業所等）」（20.1%）となっている。

問18　文化芸術活動実施上の協力機関（複数回答）

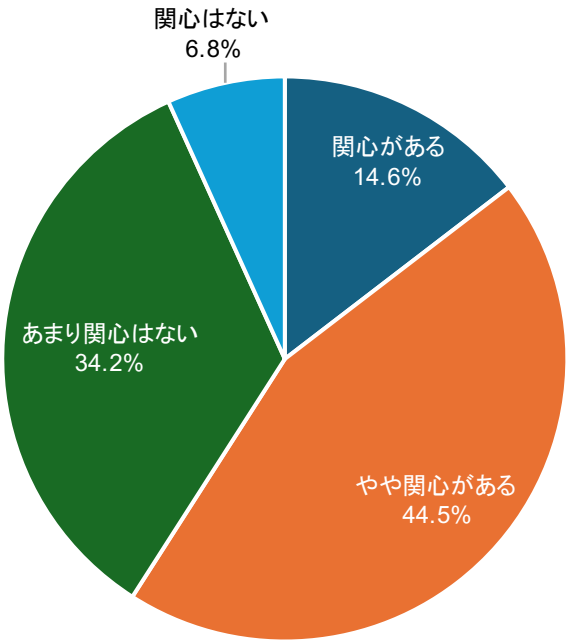
貴事業所が、障がいのある人を対象とした、文化芸術活動を実施する際に協力してもらう機関があれば教えてください。（○はいくつでも）

		回答数	福岡県障がい者文化芸術活動普及支援センター（FACT）（R6委託先：特定非営利活動法人まる））	県・市町村の福祉担当部署	県・市町村の文化担当部署	福祉施設（障がい福祉サービス事業所等）	障がい当事者団体・福祉関係者	文化施設（美術館、博物館、劇場、ホール等）	文化団体・文化関係者	特別支援学校・学級	ボランティア	上記以外のNPO	その他	協力してもらう機関はない
全体		169	8.9	20.7	10.7	20.1	16.0	15.4	12.4	6.5	24.3	3.0	11.8	29.6
サービス種別	施設入所支援	26	0.0	19.2	11.5	11.5	23.1	23.1	3.8	11.5	34.6	0.0	11.5	30.8
	自立訓練（生活訓練）	7	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0	28.6	0.0	28.6	0.0	14.3	42.9
	就労継続支援A型	16	6.3	25.0	6.3	31.3	25.0	0.0	25.0	0.0	6.3	0.0	12.5	25.0
	就労継続支援B型	68	13.2	26.5	16.2	22.1	14.7	19.1	13.2	7.4	23.5	5.9	10.3	27.9
	生活介護	52	9.6	15.4	3.8	17.3	11.5	13.5	9.6	5.8	25.0	1.9	13.5	30.8
専門の障がい種別	身体障がい者	97	4.1	22.7	6.2	23.7	15.5	12.4	9.3	9.3	29.9	5.2	12.4	26.8
	知的障がい者	145	8.3	21.4	9.7	22.1	17.9	15.9	13.8	7.6	20.7	2.8	13.1	29.7
	精神障がい者	102	8.8	21.6	9.8	25.5	17.6	13.7	11.8	7.8	23.5	3.9	10.8	27.5
	障がい児	9	0.0	11.1	0.0	33.3	11.1	11.1	0.0	0.0	33.3	11.1	0.0	44.4
	その他	16	12.5	37.5	18.8	31.3	18.8	12.5	12.5	12.5	18.8	18.8	0.0	31.3
職員人数	5人未満	12	8.3	41.7	25.0	41.7	33.3	8.3	25.0	0.0	16.7	0.0	8.3	25.0
	5～9人	64	10.9	25.0	14.1	18.8	12.5	14.1	12.5	4.7	17.2	1.6	12.5	31.3
	10～19人	46	10.9	13.0	4.3	21.7	17.4	17.4	15.2	8.7	28.3	6.5	8.7	26.1
	20～29人	15	6.7	26.7	20.0	13.3	13.3	13.3	0.0	13.3	20.0	6.7	6.7	46.7
	30～49人	22	4.5	13.6	4.5	18.2	18.2	13.6	4.5	9.1	31.8	0.0	18.2	31.8
	50人以上	10	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0	30.0	20.0	0.0	50.0	0.0	20.0	10.0
利用定員	10人未満	10	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	30.0	10.0	10.0	60.0
	10～19人	10	10.0	40.0	10.0	20.0	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	30.0
	20～29人	89	11.2	22.5	15.7	25.8	20.2	13.5	16.9	7.9	23.6	3.4	10.1	27.0
	30～49人	29	10.3	27.6	3.4	20.7	13.8	13.8	10.3	6.9	20.7	3.4	13.8	24.1
	50人以上	31	3.2	9.7	6.5	6.5	12.9	22.6	6.5	3.2	32.3	0.0	19.4	32.3
設立年	1999年以前	39	5.1	15.4	7.7	12.8	12.8	12.8	5.1	5.1	25.6	0.0	15.4	35.9
	2000～2009年	28	10.7	14.3	7.1	14.3	21.4	28.6	14.3	7.1	32.1	0.0	21.4	21.4
	2010年以降	101	9.9	24.8	12.9	24.8	15.8	12.9	14.9	6.9	20.8	5.0	7.9	29.7
所在地	福岡地区	74	9.5	17.6	9.5	21.6	14.9	10.8	13.5	5.4	28.4	4.1	16.2	28.4
	筑後地区	32	12.5	31.3	15.6	21.9	15.6	12.5	12.5	6.3	15.6	3.1	9.4	28.1
	筑豊地区	24	4.2	12.5	12.5	12.5	8.3	12.5	4.2	0.0	8.3	0.0	8.3	54.2
	北九州地区	39	7.7	23.1	7.7	20.5	23.1	28.2	15.4	12.8	33.3	2.6	7.7	17.9

サービス種別で見ると、施設入所支援　は「ボランティア」が34.6%と他よりも高くなっている。自立訓練（生活訓練）は「協力してもらう機関はない」が42.9%と他よりも高くなっている。
所在地別に見ると、北九州地区では「ボランティア」が33.3%と他の地区よりも高くなっている。

問19　文化芸術活動への関心の有無（単一回答）

問9で「2 いいえ」（文化芸術活動を実施していない）の事業所におたずねします。障がいのある人の文化芸術活動にどの程度関心がありますか。（○は1つだけ）



回答数=281

文化芸術活動を実施していない事業所での文化芸術活動への関心の有無は、「やや関心がある」が44.5%、「あまり関心はない」が34.2%、「関心がある」が14.6%、「関心はない」が6.8%となっている。『関心層』（「関心がある」と「やや関心がある」）が59.1%に対して、『無関心層』（「関心はない」と「あまり関心はない」）は40.9%となっている。

問19　文化芸術活動への関心の有無（単一回答）

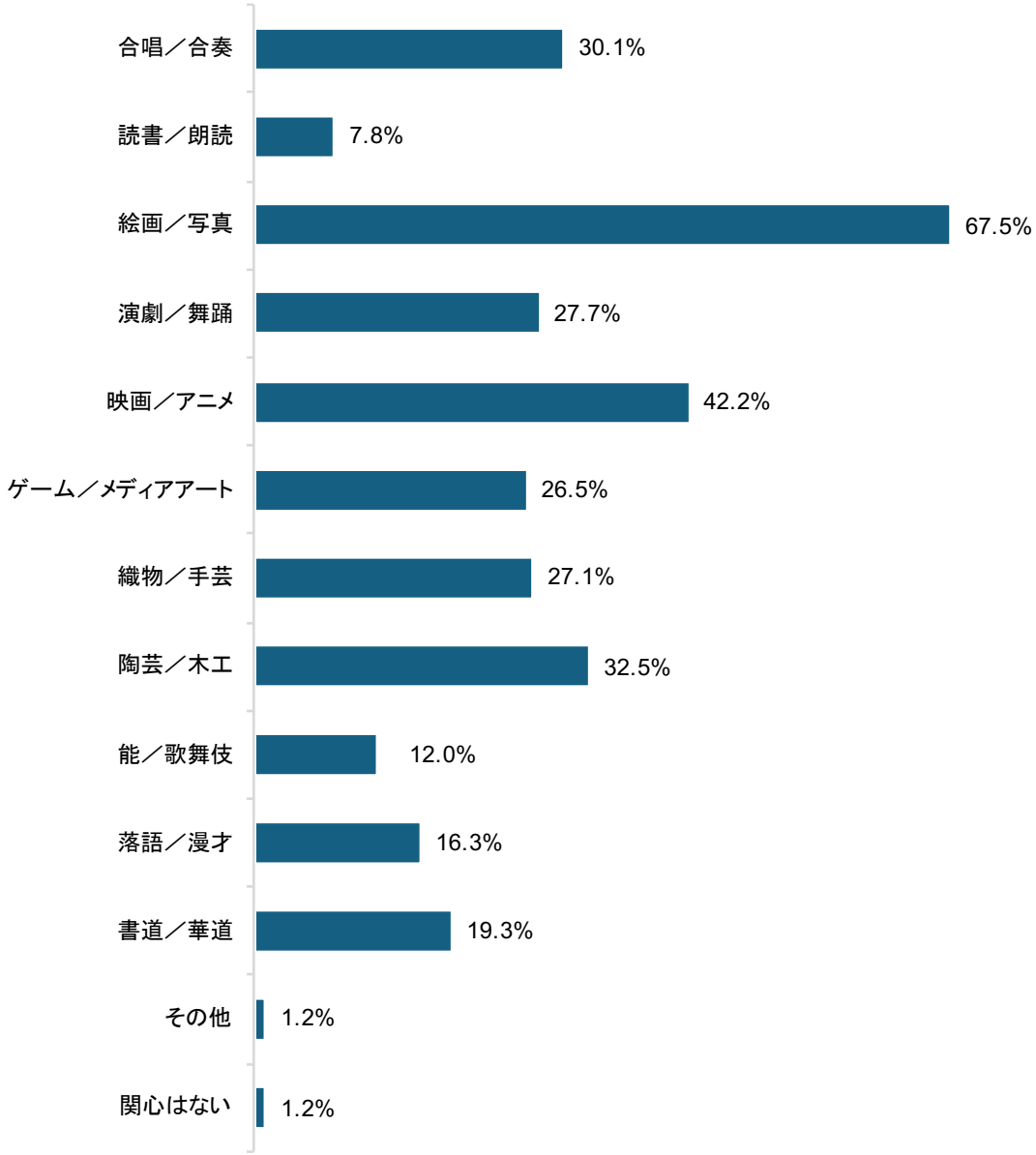
問9で「2 いいえ」（文化芸術活動を実施していない）の事業所におたずねします。障がいのある人の文化芸術活動にどの程度関心がありますか。（○は1つだけ）

		回答数	関心がある	やや関心がある	あまり関心はない	関心はない
全体		281	14.6	44.5	34.2	6.8
サービス種別	施設入所支援	16	0.0	75.0	18.8	6.3
	自立訓練（生活訓練）	9	22.2	33.3	44.4	0.0
	就労継続支援A型	65	10.8	43.1	36.9	9.2
	就労継続支援B型	147	14.3	44.9	34.0	6.8
	生活介護	44	25.0	36.4	34.1	4.5
専門の障がい種別	身体障がい者	177	13.6	45.8	33.9	6.8
	知的障がい者	245	13.9	44.9	34.3	6.9
	精神障がい者	232	14.7	46.1	32.3	6.9
	障がい児	7	42.9	28.6	28.6	0.0
	その他	25	12.0	48.0	36.0	4.0
職員人数	5人未満	28	17.9	42.9	39.3	0.0
	5～9人	172	16.9	42.4	32.0	8.7
	10～19人	52	11.5	46.2	38.5	3.8
	20～29人	13	0.0	53.8	38.5	7.7
	30～49人	9	11.1	55.6	22.2	11.1
	50人以上	6	0.0	50.0	50.0	0.0
利用定員	10人未満	5	20.0	20.0	60.0	0.0
	10～19人	30	30.0	23.3	40.0	6.7
	20～29人	197	14.7	46.2	31.5	7.6
	30～49人	32	6.3	50.0	40.6	3.1
	50人以上	16	0.0	56.3	37.5	6.3
設立年	1999年以前	29	13.8	48.3	34.5	3.4
	2000～2009年	29	10.3	37.9	48.3	3.4
	2010年以降	217	14.3	45.6	32.7	7.4
所在地	福岡地区	116	15.5	47.4	28.4	8.6
	筑後地区	51	7.8	51.0	35.3	5.9
	筑豊地区	54	16.7	38.9	40.7	3.7
	北九州地区	60	16.7	38.3	38.3	6.7

サービス種別で見ると、生活介護では「関心がある」が25.0%と他よりも高くなっている。
専門の障がい種別に見ると、「障がい児」は「関心がある」が42.9%と他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。

問20　関心のあるジャンル（鑑賞）（複数回答）

問19で「 1. 関心がある」と「 2. やや関心がある」の事業所におたずねします。＜鑑賞＞活動 として関心があるジャンルを教えてください。（○はそれぞれいくつでも）



回答数=166

文化芸術活動を実施していない事業所のうち『関心層』（「関心がある」と「やや関心がある」）の＜鑑賞＞活動として関心のあるジャンルは、「絵画／写真」が67.5%で最も高く、次いで「映画／アニメ」（42.2%）、「陶芸／木工」（32.5%）、「合唱／合奏」（30.1%）と続いている。

問20　関心のあるジャンル（鑑賞）（複数回答）

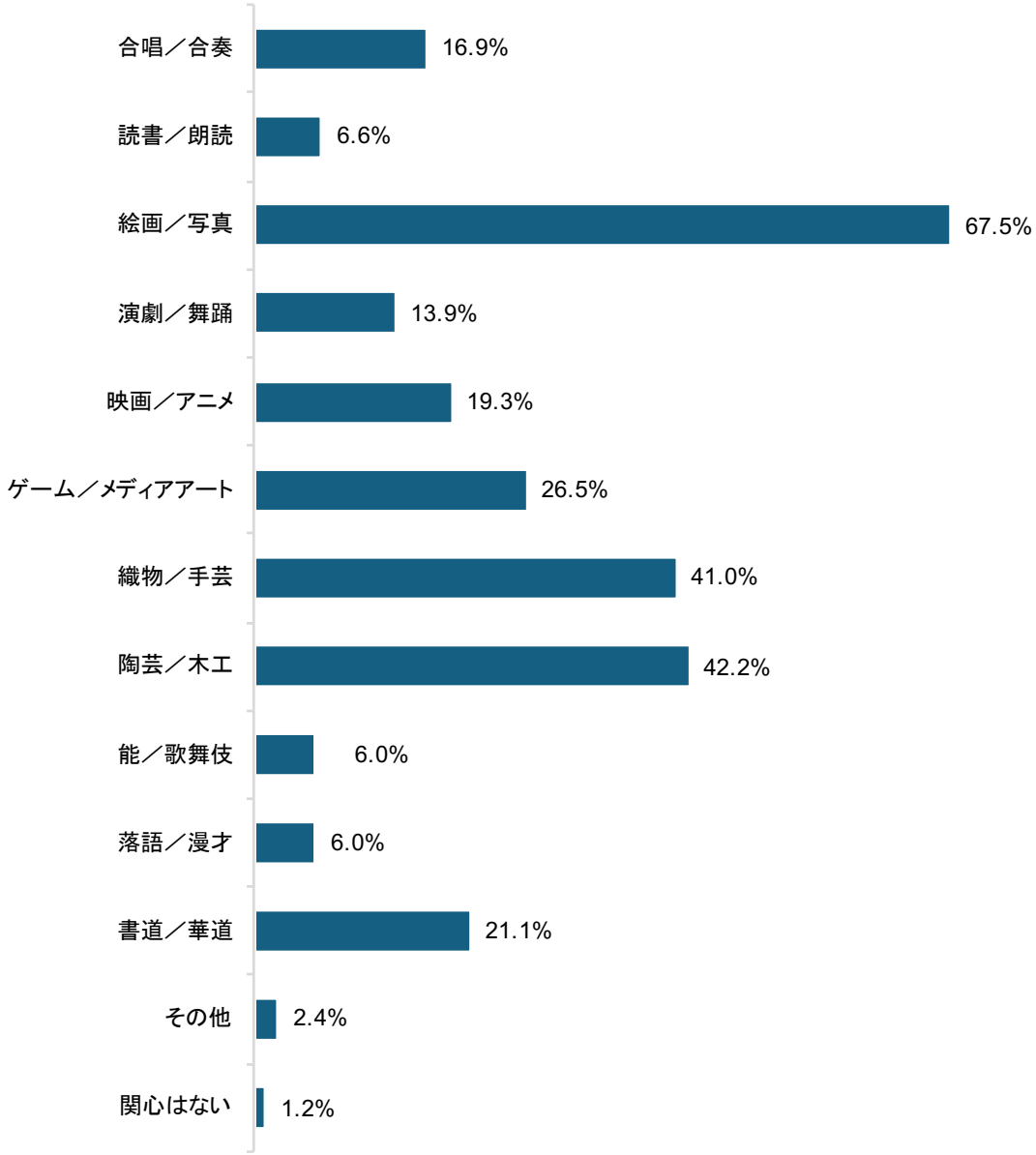
問19で「 1. 関心がある」と「 2. やや関心がある」の事業所におたずねします。＜鑑賞＞活動 として関心があるジャンルを教えてください。（○はそれぞれいくつでも）

		回答数	合唱／合奏	読書／朗読	絵画／写真	演劇／舞踊	映画／アニメ	ゲーム／メディアアート	織物／手芸	陶芸／木工	能／歌舞伎	落語／漫才	書道／華道	その他	関心はない
全体		166	30.1	7.8	67.5	27.7	42.2	26.5	27.1	32.5	12.0	16.3	19.3	1.2	1.2
サービス種別	施設入所支援	12	25.0	8.3	58.3	33.3	50.0	25.0	16.7	8.3	25.0	33.3	8.3	0.0	0.0
	自立訓練（生活訓練）	5	20.0	40.0	####	20.0	60.0	60.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0
	就労継続支援A型	35	14.3	0.0	65.7	22.9	25.7	25.7	17.1	37.1	11.4	22.9	14.3	0.0	5.7
	就労継続支援B型	87	27.6	8.0	71.3	28.7	42.5	26.4	32.2	39.1	12.6	13.8	21.8	1.1	0.0
	生活介護	27	63.0	11.1	55.6	29.6	55.6	22.2	29.6	18.5	3.7	7.4	18.5	0.0	0.0
専門の障がい種別	身体障がい者	105	25.7	7.6	65.7	30.5	36.2	27.6	28.6	35.2	15.2	19.0	24.8	1.0	1.9
	知的障がい者	144	30.6	8.3	68.1	26.4	41.0	26.4	29.2	34.0	10.4	15.3	21.5	0.7	1.4
	精神障がい者	141	26.2	8.5	72.3	28.4	42.6	27.7	29.1	34.8	11.3	16.3	20.6	0.7	1.4
	障がい児	5	60.0	0.0	80.0	40.0	40.0	60.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	その他	15	20.0	6.7	66.7	33.3	46.7	40.0	26.7	33.3	13.3	20.0	13.3	6.7	6.7
職員人数	5人未満	17	29.4	5.9	82.4	29.4	47.1	35.3	52.9	41.2	23.5	29.4	29.4	0.0	0.0
	5～9人	102	24.5	7.8	69.6	26.5	37.3	27.5	29.4	36.3	10.8	15.7	19.6	2.0	2.0
	10～19人	30	43.3	10.0	56.7	26.7	46.7	23.3	16.7	26.7	3.3	6.7	16.7	0.0	0.0
	20～29人	7	42.9	0.0	28.6	42.9	42.9	28.6	0.0	14.3	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0
	30～49人	6	33.3	0.0	####	16.7	66.7	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0
	50人以上	3	66.7	33.3	66.7	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
利用定員	10人未満	2	50.0	0.0	####	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	10～19人	16	37.5	6.3	68.8	18.8	37.5	18.8	31.3	31.3	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
	20～29人	120	25.8	7.5	69.2	28.3	40.8	29.2	29.2	37.5	13.3	16.7	21.7	1.7	1.7
	30～49人	18	44.4	11.1	61.1	27.8	55.6	27.8	16.7	16.7	5.6	16.7	11.1	0.0	0.0
	50人以上	9	33.3	11.1	44.4	44.4	55.6	11.1	11.1	0.0	33.3	44.4	11.1	0.0	0.0
設立年	1999年以前	18	44.4	5.6	33.3	44.4	61.1	16.7	0.0	0.0	22.2	22.2	5.6	0.0	0.0
	2000～2009年	14	64.3	7.1	85.7	42.9	50.0	7.1	42.9	28.6	0.0	7.1	21.4	0.0	0.0
	2010年以降	130	24.6	8.5	70.0	24.6	40.0	30.8	28.5	36.2	12.3	16.9	20.8	1.5	1.5
所在地	福岡地区	73	26.0	6.8	65.8	20.5	41.1	24.7	19.2	24.7	19.2	17.8	17.8	1.4	2.7
	筑後地区	30	30.0	6.7	66.7	30.0	33.3	26.7	40.0	46.7	6.7	10.0	13.3	0.0	0.0
	筑豊地区	30	33.3	6.7	66.7	26.7	46.7	20.0	23.3	26.7	3.3	13.3	20.0	0.0	0.0
	北九州地区	33	36.4	12.1	72.7	42.4	48.5	36.4	36.4	42.4	9.1	21.2	27.3	3.0	0.0

サービス種別で見ると、自立訓練（生活訓練）は「絵画／写真」が100.0%と他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。

問21　関心のあるジャンル（創造）（複数回答）

＜創造（創作）＞活動として関心がある ジャンルを教えてください。（○はそれぞれいくつでも）



文化芸術活動を実施していない事業所のうち『関心層』（「関心がある」と「やや関心がある」）の＜創造（創作）＞活動として関心のあるジャンルは、「絵画／写真」が67.5%で最も高く、次いで「陶芸／木工」（42.2%）、「織物／手芸」（41.0%）、「書道／華道」（21.1%）と続いている。

問21　関心のあるジャンル（創造）（複数回答）

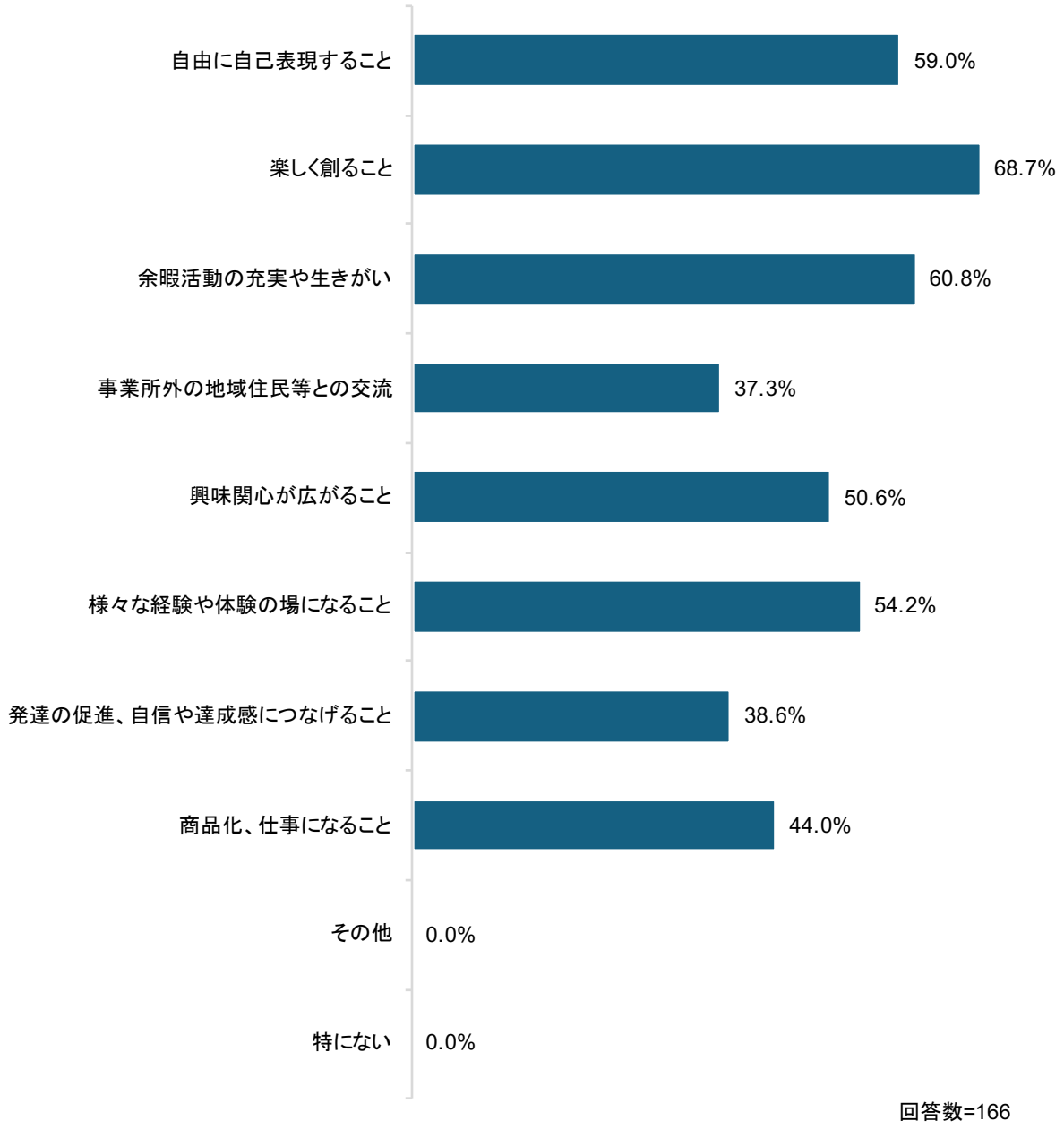
＜創造（創作）＞活動として関心がある ジャンルを教えてください。（○はそれぞれいくつでも）

		回答数	合唱／合奏	読書／朗読	絵画／写真	演劇／舞踊	映画／アニメ	ゲーム／メディアアート	織物／手芸	陶芸／木工	能／歌舞伎	落語／漫才	書道／華道	その他	関心はない
全体		166	16.9	6.6	67.5	13.9	19.3	26.5	41.0	42.2	6.0	6.0	21.1	2.4	1.2
サービス種別	施設入所支援	12	16.7	0.0	66.7	25.0	16.7	8.3	50.0	16.7	25.0	25.0	33.3	0.0	0.0
	自立訓練（生活訓練）	5	0.0	20.0	100.0	0.0	20.0	40.0	60.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0
	就労継続支援A型	35	14.3	2.9	68.6	11.4	22.9	31.4	25.7	37.1	5.7	5.7	11.4	0.0	0.0
	就労継続支援B型	87	12.6	9.2	65.5	12.6	18.4	28.7	44.8	50.6	5.7	5.7	21.8	3.4	2.3
	生活介護	27	37.0	3.7	66.7	18.5	18.5	18.5	40.7	37.0	0.0	0.0	25.9	0.0	0.0
専門の障がい種別	身体障がい者	105	16.2	5.7	68.6	16.2	17.1	23.8	41.0	41.9	8.6	9.5	26.7	2.9	1.0
	知的障がい者	144	16.7	6.3	68.8	13.2	17.4	25.7	43.1	44.4	4.9	4.9	24.3	2.1	1.4
	精神障がい者	141	14.2	7.1	70.2	12.1	19.9	28.4	41.8	41.8	4.3	5.0	19.9	2.1	0.7
	障がい児	5	0.0	0.0	80.0	20.0	20.0	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	その他	15	13.3	0.0	66.7	13.3	26.7	40.0	46.7	40.0	0.0	6.7	6.7	6.7	0.0
職員人数	5人未満	17	11.8	5.9	82.4	11.8	29.4	29.4	58.8	41.2	11.8	5.9	29.4	5.9	0.0
	5～9人	102	13.7	8.8	66.7	12.7	18.6	28.4	42.2	48.0	4.9	5.9	17.6	2.9	1.0
	10～19人	30	26.7	3.3	63.3	13.3	20.0	23.3	30.0	33.3	0.0	0.0	26.7	0.0	0.0
	20～29人	7	28.6	0.0	28.6	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3	42.9	42.9	14.3	0.0	14.3
	30～49人	6	16.7	0.0	100.0	16.7	0.0	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	50人以上	3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
利用定員	10人未満	2	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	10～19人	16	18.8	6.3	43.8	6.3	31.3	25.0	31.3	31.3	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0
	20～29人	120	15.0	7.5	70.8	11.7	18.3	28.3	41.7	45.8	5.8	5.0	20.8	3.3	0.8
	30～49人	18	27.8	5.6	66.7	22.2	22.2	33.3	44.4	38.9	0.0	5.6	22.2	0.0	5.6
	50人以上	9	11.1	0.0	55.6	33.3	11.1	0.0	44.4	11.1	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
設立年	1999年以前	18	33.3	5.6	50.0	33.3	22.2	16.7	33.3	22.2	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0
	2000～2009年	14	35.7	0.0	92.9	21.4	7.1	0.0	42.9	21.4	0.0	0.0	21.4	0.0	0.0
	2010年以降	130	12.3	7.7	66.9	10.8	20.8	31.5	41.5	46.9	5.4	5.4	21.5	3.1	1.5
所在地	福岡地区	73	16.4	8.2	64.4	9.6	19.2	26.0	37.0	41.1	11.0	8.2	20.5	2.7	2.7
	筑後地区	30	16.7	3.3	60.0	16.7	20.0	20.0	40.0	50.0	6.7	10.0	13.3	3.3	0.0
	筑豊地区	30	16.7	3.3	70.0	20.0	20.0	26.7	43.3	33.3	0.0	0.0	23.3	0.0	0.0
	北九州地区	33	18.2	9.1	78.8	15.2	18.2	33.3	48.5	45.5	0.0	3.0	27.3	3.0	0.0

サービス種別で見ると、自立訓練（生活訓練）は「絵画／写真」が100.0%と他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。就労継続支援B型は「陶芸／木工」が50.6%と他よりも高くなっている。

問22　文化芸術活動実施上の重視点（複数回答）

貴事業所が 障がいのある人を対象とした、文化芸術活動を実施する場合、**重視したい**のはどのような事ですか。（〇はいくつでも）



文化芸術活動を実施していない事業所のうち『関心層』（「関心がある」と「やや関心がある」）の文化芸術活動実施上の重視点は、「楽しく創ること」が68.7%で最も高く、次いで「余暇活動の充実や生きがい」（60.8%）、「自由に自己表現すること」（59.0%）、「様々な経験や体験の場になること」（54.2%）と続いている。

問22　文化芸術活動実施上の重視点（複数回答）

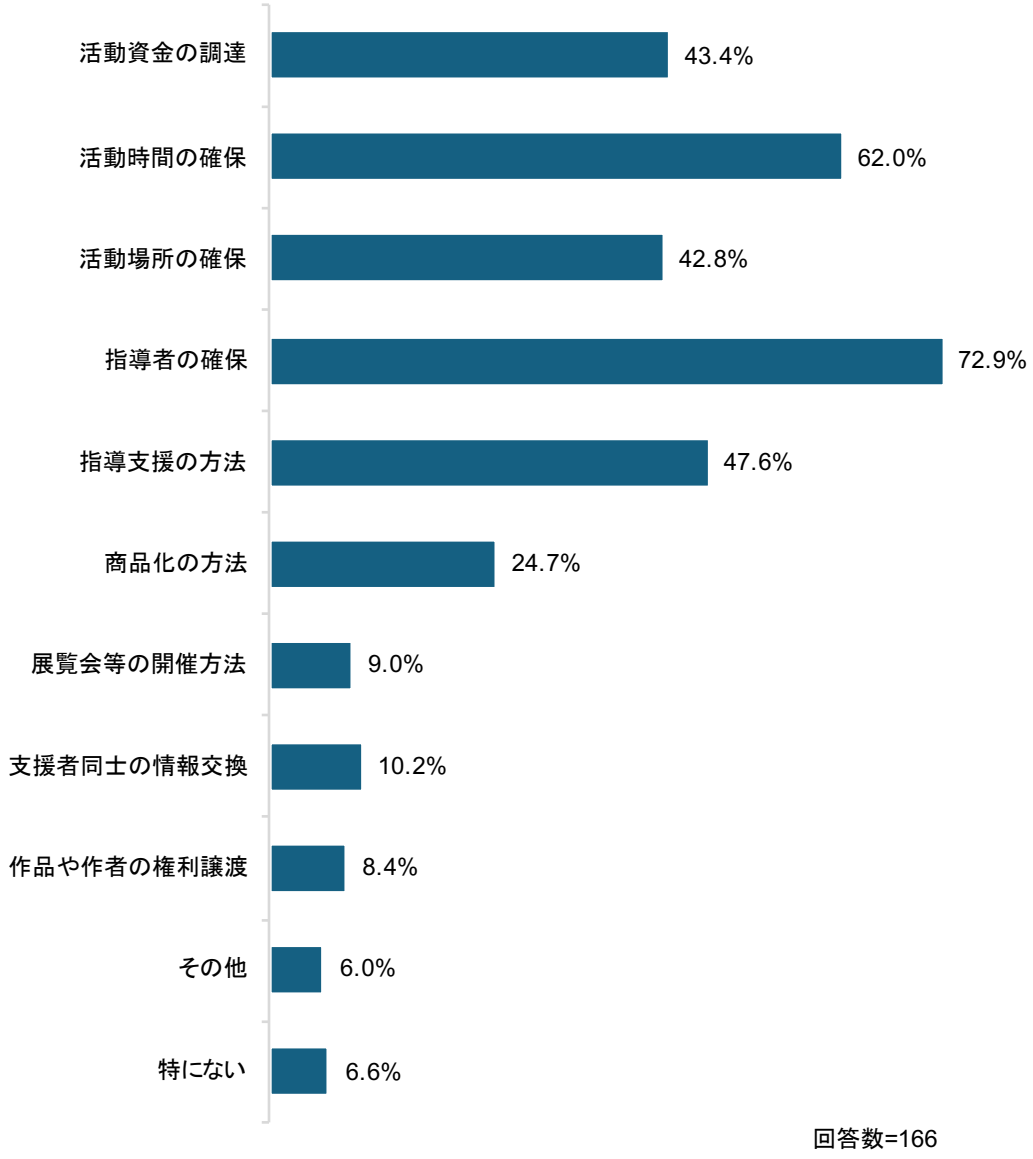
貴事業所が 障がいのある人を対象とした、文化芸術活動を実施する場合、重視したいのはどのような事ですか。
（○はいくつでも）

		回答数	自由に自己表現すること	楽しく創ること	余暇活動の充実や生きがい	事業所外の地域住民等との交流	興味関心が広がること	様々な経験や体験の場になること	発達の促進、自信や達成感につなげること	商品化、仕事になること	その他	特にない
全体		166	59.0	68.7	60.8	37.3	50.6	54.2	38.6	44.0	0.0	0.0
サービス種別	施設入所支援	12	66.7	75.0	66.7	8.3	66.7	58.3	41.7	16.7	0.0	0.0
	自立訓練（生活訓練）	5	80.0	80.0	100.0	60.0	60.0	80.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	就労継続支援A型	35	51.4	57.1	42.9	40.0	28.6	45.7	34.3	45.7	0.0	0.0
	就労継続支援B型	87	56.3	69.0	64.4	34.5	55.2	59.8	34.5	57.5	0.0	0.0
	生活介護	27	70.4	77.8	63.0	51.9	55.6	40.7	44.4	18.5	0.0	0.0
専門の障がい種別	身体障がい者	105	59.0	66.7	53.3	40.0	49.5	50.5	36.2	41.9	0.0	0.0
	知的障がい者	144	59.7	70.8	59.7	38.2	49.3	55.6	38.9	43.8	0.0	0.0
	精神障がい者	141	56.0	67.4	57.4	37.6	49.6	56.0	39.7	46.1	0.0	0.0
	障がい児	5	100.0	60.0	40.0	40.0	60.0	60.0	60.0	20.0	0.0	0.0
	その他	15	73.3	66.7	73.3	46.7	46.7	53.3	40.0	46.7	0.0	0.0
職員人数	5人未満	17	64.7	70.6	70.6	41.2	52.9	82.4	52.9	52.9	0.0	0.0
	5～9人	102	57.8	64.7	54.9	40.2	50.0	51.0	38.2	48.0	0.0	0.0
	10～19人	30	50.0	73.3	63.3	30.0	43.3	46.7	30.0	40.0	0.0	0.0
	20～29人	7	71.4	57.1	71.4	28.6	57.1	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0
	30～49人	6	83.3	100.0	83.3	16.7	83.3	83.3	50.0	33.3	0.0	0.0
	50人以上	3	66.7	100.0	100.0	33.3	33.3	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0
利用定員	10人未満	2	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	10～19人	16	68.8	62.5	50.0	31.3	56.3	37.5	37.5	31.3	0.0	0.0
	20～29人	120	56.7	66.7	60.0	37.5	50.0	55.8	39.2	50.0	0.0	0.0
	30～49人	18	55.6	88.9	61.1	55.6	38.9	55.6	27.8	33.3	0.0	0.0
	50人以上	9	88.9	66.7	88.9	11.1	66.7	66.7	44.4	11.1	0.0	0.0
設立年	1999年以前	18	77.8	77.8	77.8	38.9	55.6	55.6	33.3	22.2	0.0	0.0
	2000～2009年	14	64.3	85.7	71.4	35.7	50.0	50.0	50.0	28.6	0.0	0.0
	2010年以降	130	54.6	66.2	59.2	37.7	50.8	55.4	38.5	48.5	0.0	0.0
所在地	福岡地区	73	57.5	61.6	60.3	42.5	52.1	53.4	37.0	42.5	0.0	0.0
	筑後地区	30	63.3	76.7	46.7	26.7	36.7	63.3	46.7	53.3	0.0	0.0
	筑豊地区	30	60.0	76.7	70.0	33.3	53.3	60.0	33.3	43.3	0.0	0.0
	北九州地区	33	57.6	69.7	66.7	39.4	57.6	42.4	39.4	39.4	0.0	0.0

サービス種別で見ると、自立訓練（生活訓練）は「余暇活動の充実や生きがい」と「発達の促進、自信や達成感につなげること」が100.0%と他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。
専門の障がい種別に見ると、「障がい児」は「自由に自己表現すること」が100.0%と他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。

問23　実施していない理由（複数回答）

障がいのある人を対象とした、文化芸術活動について、関心があるのに実施していない理由を教えてください。（○はいくつでも）



文化芸術活動に関心があるにもかかわらず、現状では実施していない理由は、「指導者の確保」が72.9%で最も高く、次いで「活動時間の確保」（62.0%）、「指導支援の方法」（47.6%）、「活動資金の調達」（43.4%）、「活動場所の確保」（42.8%）と続いている。

問23　実施していない理由（複数回答）

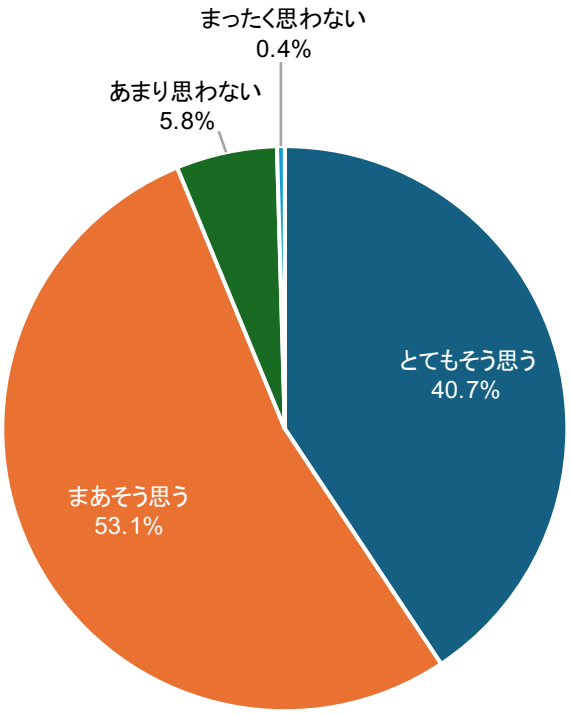
障がいのある人を対象とした、文化芸術活動について、関心があるのに実施していない理由を教えてください。（○はいくつでも）

		回答数	活動資金の調達	活動時間の確保	活動場所の確保	指導者の確保	指導支援の方法	商品化の方法	展覧会等の開催方法	支援者同士の情報交換	作品や作者の権利譲渡	その他	特にない
全体		166	43.4	62.0	42.8	72.9	47.6	24.7	9.0	10.2	8.4	6.0	6.6
サービス種別	施設入所支援	12	25.0	41.7	16.7	66.7	41.7	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7	8.3
	自立訓練（生活訓練）	5	60.0	40.0	80.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	就労継続支援A型	35	37.1	68.6	34.3	74.3	45.7	25.7	14.3	11.4	2.9	8.6	5.7
	就労継続支援B型	87	54.0	63.2	44.8	73.6	54.0	31.0	8.0	12.6	10.3	3.4	8.0
	生活介護	27	22.2	63.0	51.9	70.4	40.7	18.5	11.1	7.4	11.1	3.7	3.7
専門の障がい種別	身体障がい者	105	41.9	67.6	40.0	70.5	48.6	25.7	11.4	8.6	4.8	6.7	5.7
	知的障がい者	144	43.1	64.6	42.4	74.3	47.9	26.4	9.0	9.0	7.6	5.6	5.6
	精神障がい者	141	47.5	66.0	44.0	74.5	49.6	24.8	9.2	11.3	7.8	5.0	5.7
	障がい児	5	80.0	60.0	40.0	60.0	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0
	その他	15	26.7	53.3	46.7	53.3	33.3	20.0	6.7	0.0	0.0	26.7	20.0
職員人数	5人未満	17	52.9	88.2	47.1	88.2	41.2	41.2	5.9	5.9	0.0	5.9	5.9
	5～9人	102	47.1	60.8	41.2	71.6	46.1	25.5	9.8	13.7	9.8	5.9	5.9
	10～19人	30	43.3	53.3	50.0	70.0	53.3	23.3	13.3	3.3	6.7	3.3	10.0
	20～29人	7	14.3	42.9	42.9	57.1	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3
	30～49人	6	16.7	83.3	33.3	100.0	100.0	16.7	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0
	50人以上	3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
利用定員	10人未満	2	50.0	100.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10～19人	16	50.0	56.3	43.8	75.0	37.5	25.0	6.3	6.3	6.3	12.5	6.3
	20～29人	120	45.0	60.0	43.3	71.7	50.0	28.3	9.2	11.7	8.3	5.0	7.5
	30～49人	18	44.4	83.3	50.0	88.9	44.4	11.1	11.1	5.6	5.6	0.0	0.0
	50人以上	9	11.1	44.4	22.2	66.7	55.6	0.0	0.0	11.1	22.2	22.2	11.1
設立年	1999年以前	18	22.2	55.6	33.3	72.2	38.9	16.7	5.6	16.7	16.7	11.1	11.1
	2000～2009年	14	42.9	50.0	42.9	78.6	71.4	0.0	14.3	7.1	7.1	7.1	0.0
	2010年以降	130	46.9	64.6	44.6	73.1	46.9	28.5	8.5	9.2	6.9	4.6	6.2
所在地	福岡地区	73	43.8	63.0	50.7	67.1	42.5	28.8	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
	筑後地区	30	33.3	63.3	13.3	70.0	56.7	10.0	13.3	6.7	3.3	6.7	0.0
	筑豊地区	30	43.3	50.0	43.3	70.0	53.3	26.7	10.0	13.3	6.7	6.7	10.0
	北九州地区	33	51.5	69.7	51.5	90.9	45.5	27.3	6.1	15.2	15.2	0.0	6.1

サービス種別で見ると、自立訓練（生活訓練）は「活動場所の確保」と「指導者の確保」が80.0%と他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。
専門の障がい種別に見ると、「障がい児」は「活動資金の調達」が80.0%と他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。
所在地別に見ると、北九州地区では「指導者の確保」が90.9%と他の地区よりも高くなっている。

問24　個性や能力の発揮、社会参加などの成果（単一回答）

障がいのある人による「文化芸術活動」に期待する効果についておたずねします。障がいのある人による文化芸術活動は、障がいのある人の個性や能力の発揮、社会参加などの成果につながると思いますか。（○は一つだけ）



回答数=450

障がいのある人による文化芸術活動は、障がいのある人の個性や能力の発揮、社会参加などの成果につながると思うか聞いたところ、「まあそう思う」が53.1%、「とてもそう思う」が40.7%、「あまり思わない」が5.8%、「まったく思わない」が0.4%となっている。『賛同層』（「とてもそう思う」と「まあそう思う」）が93.8%に対して、『非賛同層』（「まったく思わない」と「あまり思わない」）は6.2%となっている。

問24　個性や能力の発揮、社会参加などの成果（単一回答）

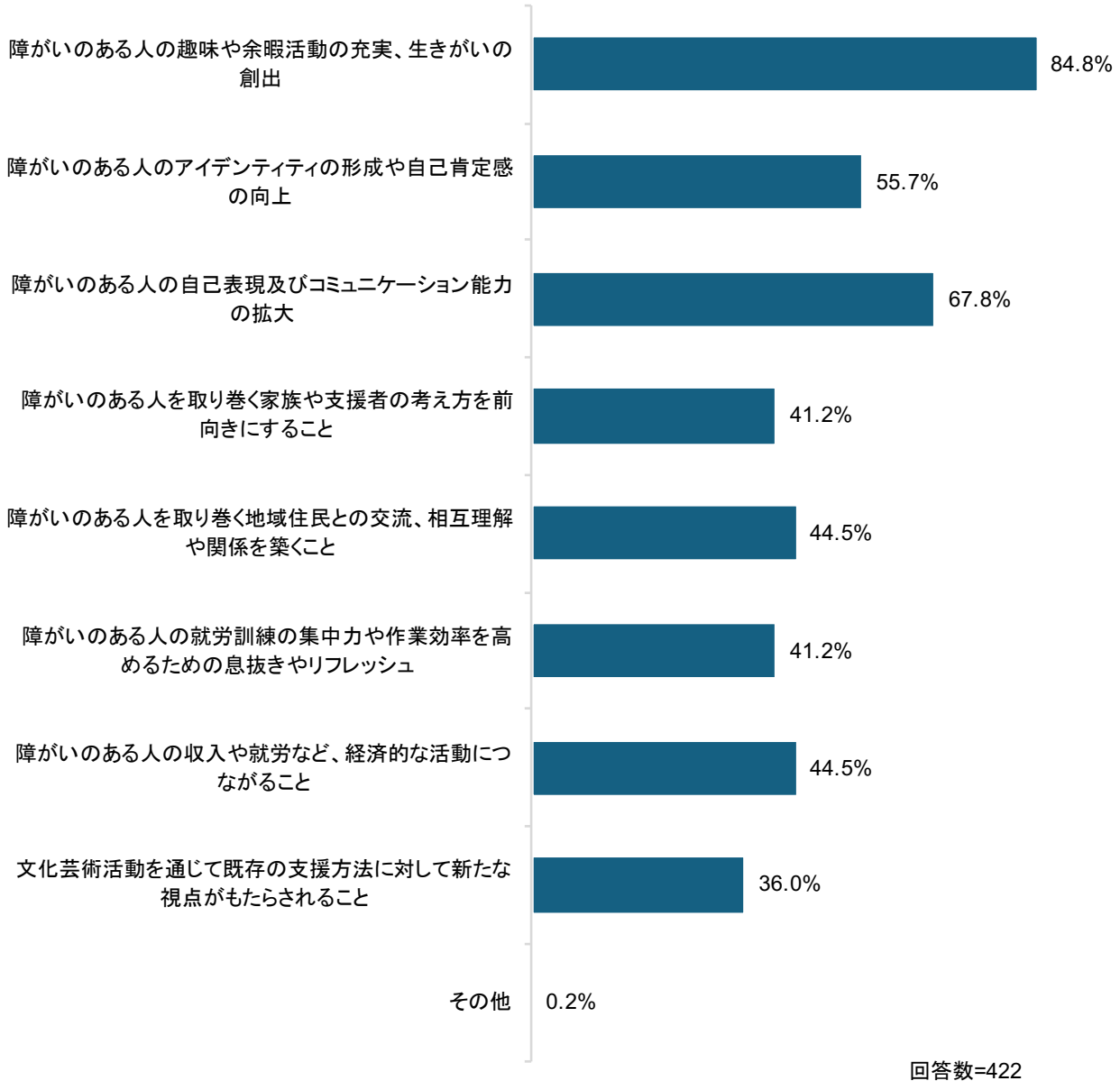
障がいのある人による「文化芸術活動」に期待する効果についておたずねします。障がいのある人による文化芸術活動は、障がいのある人の個性や能力の発揮、社会参加などの成果につながると思いますか。（○は一つだけ）

		回答数	とてもそう思う	まあそう思う	あまり思わない	まったく思わない
全体		450	40.7	53.1	5.8	0.4
サービス種別	施設入所支援	42	45.2	47.6	7.1	0.0
	自立訓練（生活訓練）	16	43.8	50.0	6.3	0.0
	就労継続支援A型	81	33.3	56.8	8.6	1.2
	就労継続支援B型	215	39.1	54.0	6.5	0.5
	生活介護	96	47.9	51.0	1.0	0.0
専門の障がい種別	身体障がい者	274	42.3	50.4	6.9	0.4
	知的障がい者	390	41.0	52.1	6.4	0.5
	精神障がい者	334	39.2	54.5	5.7	0.6
	障がい児	16	56.3	37.5	6.3	0.0
	その他	41	36.6	53.7	7.3	2.4
職員人数	5人未満	40	47.5	50.0	2.5	0.0
	5～9人	236	37.3	54.7	7.2	0.8
	10～19人	98	39.8	58.2	2.0	0.0
	20～29人	28	46.4	42.9	10.7	0.0
	30～49人	31	48.4	45.2	6.5	0.0
	50人以上	16	50.0	43.8	6.3	0.0
利用定員	10人未満	15	46.7	46.7	6.7	0.0
	10～19人	40	47.5	45.0	5.0	2.5
	20～29人	286	38.8	54.9	5.9	0.3
	30～49人	61	39.3	55.7	4.9	0.0
	50人以上	47	44.7	48.9	6.4	0.0
設立年	1999年以前	68	42.6	48.5	8.8	0.0
	2000～2009年	57	45.6	50.9	3.5	0.0
	2010年以降	318	39.0	54.7	5.7	0.6
所在地	福岡地区	190	43.2	50.5	5.3	1.1
	筑後地区	83	26.5	65.1	8.4	0.0
	筑豊地区	78	43.6	51.3	5.1	0.0
	北九州地区	99	45.5	49.5	5.1	0.0

サービス種別で見ると、生活介護は「とてもそう思う」が47.9%と他よりも高くなっている。
専門の障がい種別に見ると、障がい児は「とてもそう思う」が56.3%と他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。
所在地別に見ると、筑後地区では「とてもそう思う」が26.5%と他よりも低くなっている。

問25　文化芸術活動に期待する成果（複数回答）

問24で「 1. とてもそう思う」と「 2. まあそう思う」の事業所におたずねします。障がいのある人による文化芸術活動について、どのような成果を期待しますか。（〇はいくつでも）



障がい者による文化芸術活動が個性や能力の発揮、社会参加などの成果につながるという考えの賛同層に、どのような成果を期待するか聞いたところ、「障がいのある人の趣味や余暇活動の充実、生きがいの創出」が84.8%で最も高くなっている。次いで「障がいのある人の自己表現及びコミュニケーション能力の拡大」（67.8%）、「障がいのある人のアイデンティティの形成や自己肯定感の向上」（55.7%）と続いている。

問25　文化芸術活動に期待する成果（複数回答）

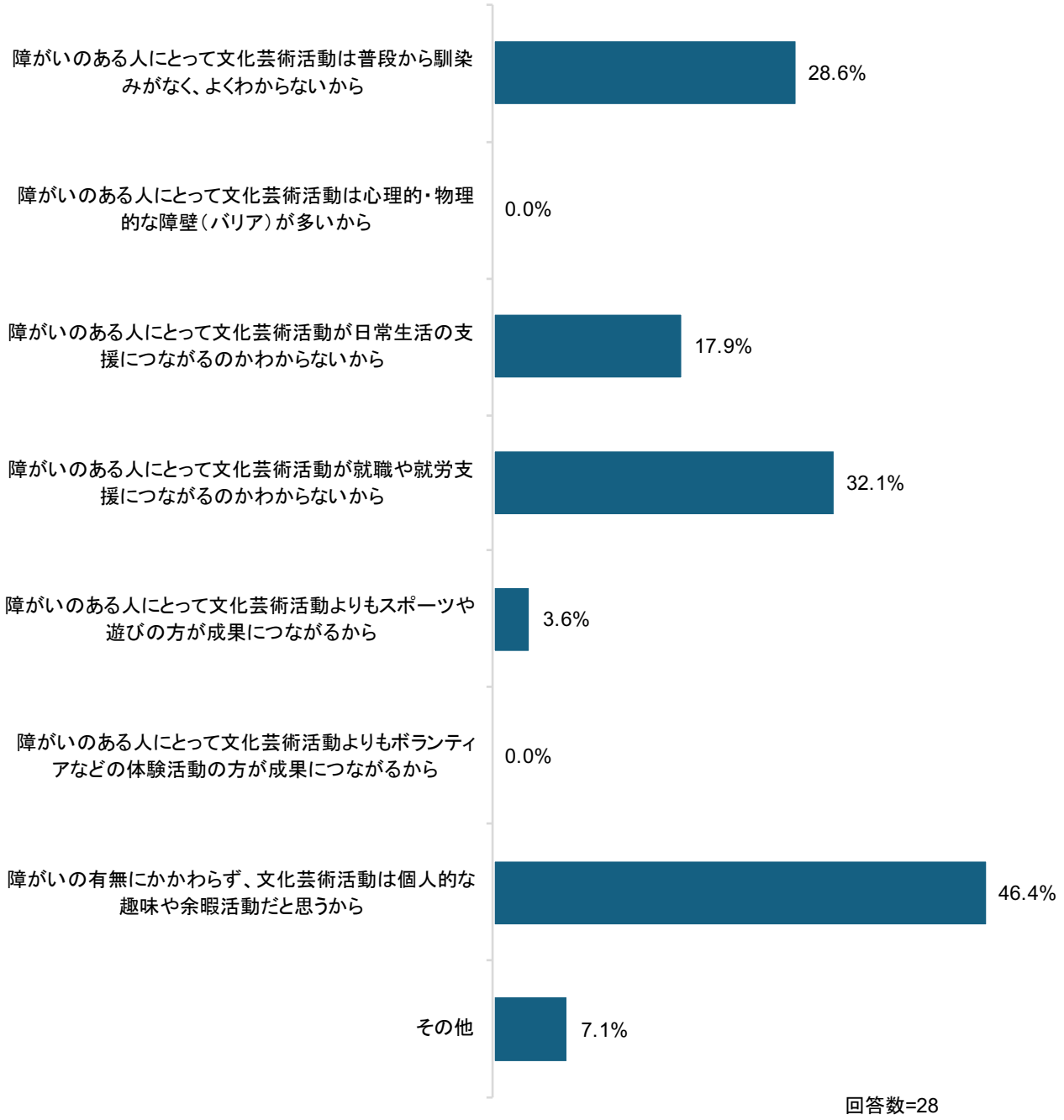
問24で「 1. とてもそう思う」と「 2. まあそう思う」の事業所におたずねします。障がいのある人による文化芸術活動について、どのような成果を期待しますか。（○はいくつでも）

		回答数	障がいのある人の趣味や余暇活動の充実、生きがいの創出	障がいのある人のアイデンティティの形成や自己肯定感の向上	障がいのある人の自己表現及びコミュニケーション能力の拡大	障がいのある人を取り巻く家族や支援者の考え方を前向きにすること	障がいのある人を取り巻く地域住民との交流、相互理解や関係を築くこと	障がいのある人の就労訓練の集中力や作業効率を高めるための息抜きやリフレッシュ	障がいのある人の収入や就労など、経済的な活動につながること	文化芸術活動を通じて既存の支援方法に対して新たな視点がもたらされること	その他
全体		422	84.8	55.7	67.8	41.2	44.5	41.2	44.5	36.0	0.2
サービス種別	施設入所支援	39	92.3	51.3	71.8	30.8	33.3	20.5	17.9	33.3	0.0
	自立訓練（生活訓練）	15	93.3	73.3	80.0	46.7	46.7	53.3	66.7	53.3	0.0
	就労継続支援A型	73	79.5	54.8	65.8	30.1	37.0	39.7	39.7	28.8	0.0
	就労継続支援B型	200	82.5	55.0	67.0	43.0	43.5	50.5	54.0	34.5	0.0
	生活介護	95	89.5	56.8	67.4	49.5	56.8	29.5	35.8	43.2	1.1
専門の障がい種別	身体障がい者	254	84.3	57.1	70.9	43.7	46.9	41.3	49.2	37.4	0.4
	知的障がい者	363	84.8	55.9	67.8	41.0	44.6	41.3	44.9	36.1	0.3
	精神障がい者	313	83.1	57.2	68.4	39.3	41.9	45.4	48.2	35.5	0.3
	障がい児	15	73.3	80.0	86.7	46.7	66.7	26.7	46.7	46.7	0.0
	その他	37	89.2	59.5	75.7	51.4	56.8	54.1	45.9	37.8	2.7
職員人数	5人未満	39	74.4	48.7	76.9	48.7	59.0	43.6	64.1	41.0	0.0
	5～9人	217	83.9	57.1	65.9	39.6	41.0	49.8	47.9	33.2	0.0
	10～19人	96	85.4	54.2	65.6	44.8	45.8	31.3	41.7	29.2	0.0
	20～29人	25	88.0	44.0	60.0	40.0	44.0	20.0	32.0	40.0	0.0
	30～49人	29	93.1	65.5	75.9	31.0	41.4	27.6	24.1	58.6	3.4
	50人以上	15	100.0	60.0	80.0	40.0	53.3	33.3	20.0	53.3	0.0
利用定員	10人未満	14	85.7	64.3	78.6	64.3	42.9	35.7	64.3	28.6	0.0
	10～19人	37	83.8	51.4	67.6	43.2	45.9	29.7	45.9	40.5	0.0
	20～29人	268	82.8	56.7	67.2	41.8	46.6	48.1	48.5	35.1	0.0
	30～49人	58	89.7	58.6	72.4	39.7	39.7	31.0	37.9	31.0	1.7
	50人以上	44	90.9	47.7	61.4	31.8	38.6	25.0	22.7	47.7	0.0
設立年	1999年以前	62	90.3	56.5	59.7	41.9	50.0	27.4	24.2	43.5	1.6
	2000～2009年	55	98.2	54.5	72.7	36.4	38.2	30.9	34.5	40.0	0.0
	2010年以降	298	81.2	56.0	69.1	41.6	45.0	46.3	50.3	33.9	0.0
所在地	福岡地区	178	80.9	57.9	66.3	45.5	48.3	39.9	47.8	28.7	0.6
	筑後地区	76	77.6	56.6	61.8	35.5	38.2	39.5	44.7	38.2	0.0
	筑豊地区	74	89.2	51.4	67.6	31.1	40.5	36.5	37.8	29.7	0.0
	北九州地区	94	94.7	54.3	75.5	45.7	45.7	48.9	43.6	53.2	0.0

サービス種別で見ると、自立訓練（生活訓練）は「障がいのある人の趣味や余暇活動の充実、生きがいの創出」が93.3%と他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。
専門の障がい種別に見ると、障がい児は「障がいのある人の自己表現及びコミュニケーション能力の拡大」（86.7%）、「障がいのある人のアイデンティティの形成や自己肯定感の向上」（80.0%）などが他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。
所在地別に見ると、北九州地区では「障がいのある人の趣味や余暇活動の充実、生きがいの創出」が94.7%と他の地区よりも高くなっている。

問26　文化芸術活動が成果につながると思わない理由（複数回答）

問24で「3. あまり思わない」と「4. まったく思わない」の事業所におたずねします。障がいのある人による文化芸術活動は、障がいのある人の個性や能力の発揮、社会参加などの成果につながると思わない理由について、あてはまる項目をお選びください。（○はいくつでも）



障がい者による文化芸術活動が個性や能力の発揮、社会参加などの成果につながるという考えの非賛同層に、つながると思わない理由を聞いたところ、「障がいの有無にかかわらず、文化芸術活動は個人的な趣味や余暇活動だと思うから」が46.4%で最も高くなっている。次いで「障がいのある人にとって文化芸術活動が就職や就労支援につながるのかわからないから」（32.1%）、「障がいのある人にとって文化芸術活動は普段から馴染みがなく、よくわからないから」（28.6%）と続いている。

問26　文化芸術活動が成果につながると思わない理由（複数回答）

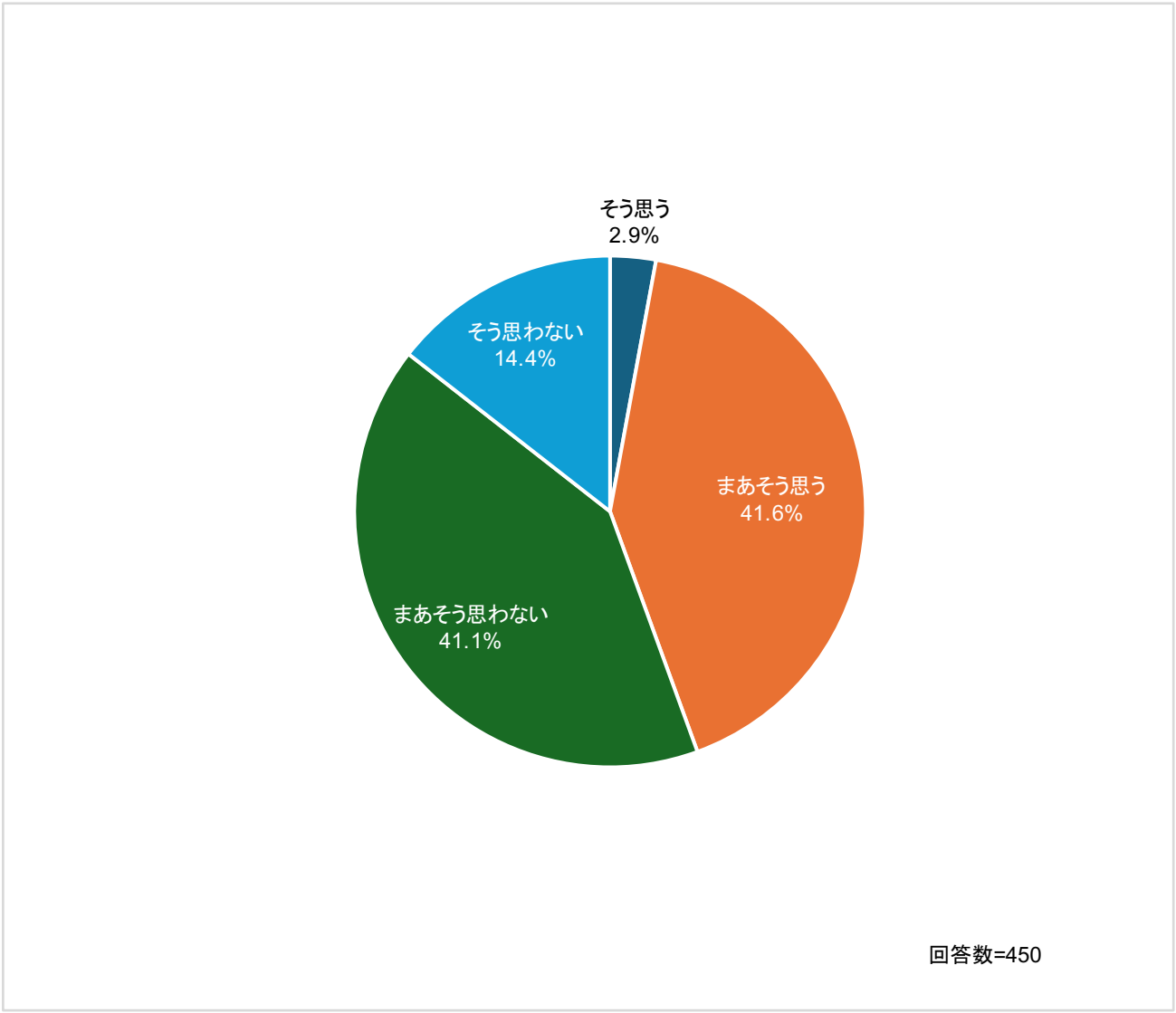
問24で「3. あまり思わない」と「4. まったく思わない」の事業所におたずねします。障がいのある人による文化芸術活動は、障がいのある人の個性や能力の発揮、社会参加などの成果につながると思わない理由について、あてはまる項目をお選びください。（○はいくつでも）

		回答数	障がいのある人にとって文化芸術活動は普段から馴染みがなく、よくわからないから	障がいのある人にとって文化芸術活動は心理的・物理的な障壁（バリア）が多いから	障がいのある人にとって文化芸術活動が日常生活の支援につながるのかわからないから	障がいのある人にとって文化芸術活動が就職や就労支援につながるのかわからないから	障がいのある人にとって文化芸術活動よりもスポーツや遊びの方が成果につながるから	障がいのある人にとって文化芸術活動よりもボランティアなどの体験活動の方が成果につながるから	障がいの有無にかかわらず、文化芸術活動は個人的な趣味や余暇活動だと思うから	その他
全体		28	28.6	0.0	17.9	32.1	3.6	0.0	46.4	7.1
サービス種別	施設入所支援	3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0
	自立訓練（生活訓練）	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	就労継続支援A型	8	25.0	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0	62.5	12.5
	就労継続支援B型	15	33.3	0.0	20.0	20.0	6.7	0.0	40.0	6.7
	生活介護	1	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
専門の障がい種別	身体障がい者	20	25.0	0.0	15.0	30.0	0.0	0.0	60.0	10.0
	知的障がい者	27	25.9	0.0	18.5	33.3	3.7	0.0	48.1	7.4
	精神障がい者	21	28.6	0.0	19.0	28.6	0.0	0.0	47.6	9.5
	障がい児	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	その他	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0
職員人数	5人未満	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5～9人	19	31.6	0.0	10.5	26.3	5.3	0.0	52.6	10.5
	10～19人	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	20～29人	3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	30～49人	2	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
利用定員	10人未満	1	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	10～19人	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
	20～29人	18	33.3	0.0	16.7	27.8	5.6	0.0	44.4	5.6
	30～49人	3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0
	50人以上	3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0
設立年	1999年以前	6	16.7	0.0	16.7	33.3	16.7	0.0	33.3	0.0
	2000～2009年	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2010年以降	20	35.0	0.0	15.0	30.0	0.0	0.0	55.0	10.0
所在地	福岡地区	12	25.0	0.0	16.7	25.0	8.3	0.0	58.3	0.0
	筑後地区	7	42.9	0.0	14.3	42.9	0.0	0.0	28.6	14.3
	筑豊地区	4	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0
	北九州地区	5	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0

いずれの分析軸についても回答数が少ないため比較が難しい。

問27　＜鑑賞＞を行う機会（単一回答）

「本県における文化芸術活動の満足度・認知度」についておたずねします。県内で障がいのある人が文化芸術を＜鑑賞＞する機会は十分だと思いますか。（○はそれぞれ1つだけ）



県内で障がいのある人が文化芸術を＜鑑賞＞する機会は十分だと思うか聞いたところ、「まあそう思わない」が41.1%、「まあそう思う」が41.6%、「そう思わない」が14.4%、「そう思う」が2.9%となっている。『賛同層』（「そう思う」と「まあそう思う」）が44.4%に対して、『非賛同層』（「そう思わない」と「まあそう思わない」）は55.6%となっている。

問27 ＜鑑賞＞を行う機会（単一回答）

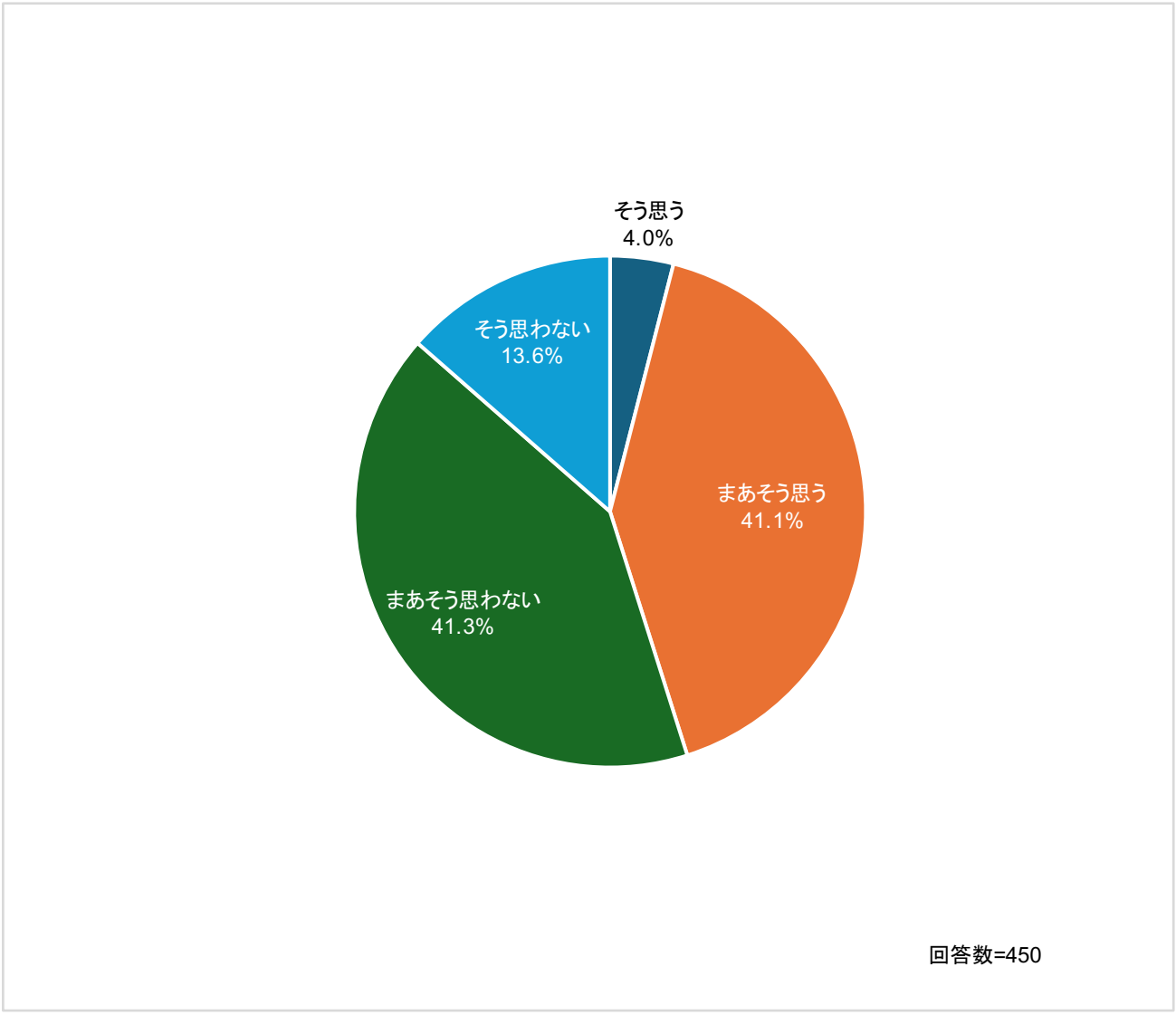
「本県における文化芸術活動の満足度・認知度」についておたずねします。県内で障がいのある人が文化芸術を＜鑑賞＞する機会は十分だと思いますか。（○はそれぞれ1つだけ）

		回答数	そう思う	まあそう思う	まあそう思わない	そう思わない
全体		450	2.9	41.6	41.1	14.4
サービス種別	施設入所支援	42	2.4	50.0	45.2	2.4
	自立訓練（生活訓練）	16	0.0	50.0	50.0	0.0
	就労継続支援A型	81	6.2	29.6	48.1	16.0
	就労継続支援B型	215	1.9	41.9	37.7	18.6
	生活介護	96	3.1	45.8	39.6	11.5
専門の障がい種別	身体障がい者	274	2.9	42.0	40.1	15.0
	知的障がい者	390	2.6	42.1	41.0	14.4
	精神障がい者	334	3.3	40.4	41.9	14.4
	障がい児	16	0.0	37.5	31.3	31.3
	その他	41	2.4	53.7	31.7	12.2
職員人数	5人未満	40	5.0	30.0	50.0	15.0
	5～9人	236	1.7	41.5	39.8	16.9
	10～19人	98	5.1	48.0	33.7	13.3
	20～29人	28	3.6	32.1	53.6	10.7
	30～49人	31	3.2	45.2	45.2	6.5
	50人以上	16	0.0	43.8	50.0	6.3
利用定員	10人未満	15	0.0	26.7	40.0	33.3
	10～19人	40	7.5	35.0	32.5	25.0
	20～29人	286	1.7	40.9	42.0	15.4
	30～49人	61	4.9	50.8	41.0	3.3
	50人以上	47	4.3	42.6	44.7	8.5
設立年	1999年以前	68	2.9	42.6	47.1	7.4
	2000～2009年	57	5.3	47.4	36.8	10.5
	2010年以降	318	2.5	40.9	40.3	16.4
所在地	福岡地区	190	3.7	46.8	37.9	11.6
	筑後地区	83	1.2	33.7	47.0	18.1
	筑豊地区	78	0.0	47.4	41.0	11.5
	北九州地区	99	5.1	33.3	42.4	19.2

専門の障がい種別に見ると、障がい児は「そう思わない」が31.3%と他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。

問28　＜創造・発表＞を行う機会（単一回答）

県内で障がいのある人が文化芸術を＜創造・発表＞する機会は十分だと思いますか。（○はそれぞれ1つだけ）



県内で障がいのある人が文化芸術を＜創造・発表＞する機会は十分だと思うか聞いたところ、「まあそう思わない」が41.3%、「まあそう思う」が41.1%、「そう思わない」が13.6%、「そう思う」が4.0%となっている。『賛同層』（「そう思う」と「まあそう思う」）が45.1%に対して、『非賛同層』（「そう思わない」と「まあそう思わない」）は54.9%となっている。

問28 ＜創造・発表＞を行う機会（単一回答）

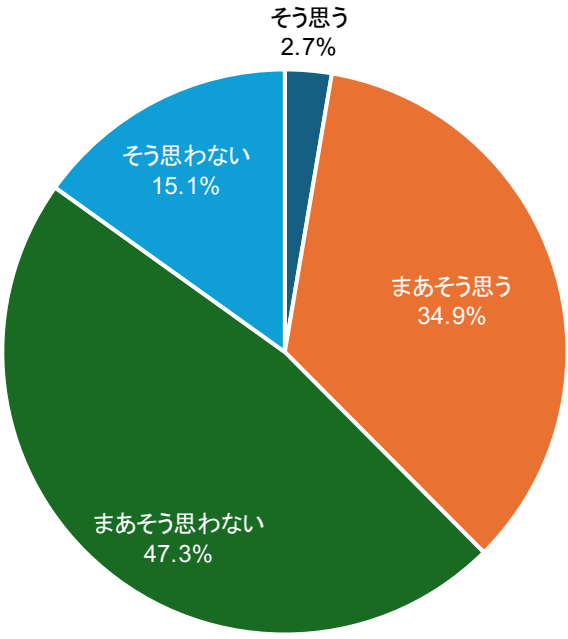
県内で障がいのある人が文化芸術を＜創造・発表＞する機会は十分だと思いますか。（○はそれぞれ1つだけ）

		回答数	そう思う	まあそう思う	まあそう思わない	そう思わない
全体		450	4.0	41.1	41.3	13.6
サービス種別	施設入所支援	42	2.4	47.6	35.7	14.3
	自立訓練（生活訓練）	16	0.0	37.5	37.5	25.0
	就労継続支援A型	81	4.9	33.3	49.4	12.3
	就労継続支援B型	215	3.7	40.9	39.5	15.8
	生活介護	96	5.2	45.8	41.7	7.3
専門の障がい種別	身体障がい者	274	4.7	42.7	39.1	13.5
	知的障がい者	390	3.6	40.8	41.8	13.8
	精神障がい者	334	5.1	39.5	41.3	14.1
	障がい児	16	0.0	50.0	25.0	25.0
	その他	41	4.9	43.9	34.1	17.1
職員人数	5人未満	40	2.5	45.0	35.0	17.5
	5～9人	236	4.2	38.1	41.9	15.7
	10～19人	98	5.1	42.9	40.8	11.2
	20～29人	28	0.0	42.9	42.9	14.3
	30～49人	31	3.2	61.3	32.3	3.2
	50人以上	16	6.3	25.0	62.5	6.3
利用定員	10人未満	15	0.0	46.7	26.7	26.7
	10～19人	40	7.5	32.5	37.5	22.5
	20～29人	286	4.2	40.9	40.9	14.0
	30～49人	61	1.6	45.9	45.9	6.6
	50人以上	47	4.3	40.4	46.8	8.5
設立年	1999年以前	68	1.5	45.6	42.6	10.3
	2000～2009年	57	5.3	47.4	40.4	7.0
	2010年以降	318	4.1	39.0	41.8	15.1
所在地	福岡地区	190	3.7	46.3	39.5	10.5
	筑後地区	83	4.8	34.9	42.2	18.1
	筑豊地区	78	2.6	41.0	42.3	14.1
	北九州地区	99	5.1	36.4	43.4	15.2

サービス種別で見ると、自立訓練（生活訓練）は「そう思わない」が25.0%と他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。

問29　＜販売、公演その他の事業活動＞を行う機会（単一回答）

県内で障がいのある人が文化芸術の作品等に関して「販売、公演その他の事業活動」を行う機会は十分だと思いますか。（○はそれぞれ1つだけ）



回答数=450

県内で障がいのある人が文化芸術の作品等の＜販売、公演その他の事業活動＞を行う機会は十分だと思うか聞いたところ、「まあそう思わない」が47.3%、「まあそう思う」が34.9%、「そう思わない」が15.1%、「そう思う」が2.7%となっている。『賛同層』（「そう思う」と「まあそう思う」）が37.6%に対して、『非賛同層』（「そう思わない」と「まあそう思わない」）は62.4%となっている。

問29 ＜販売、公演その他の事業活動＞を行う機会（単一回答）

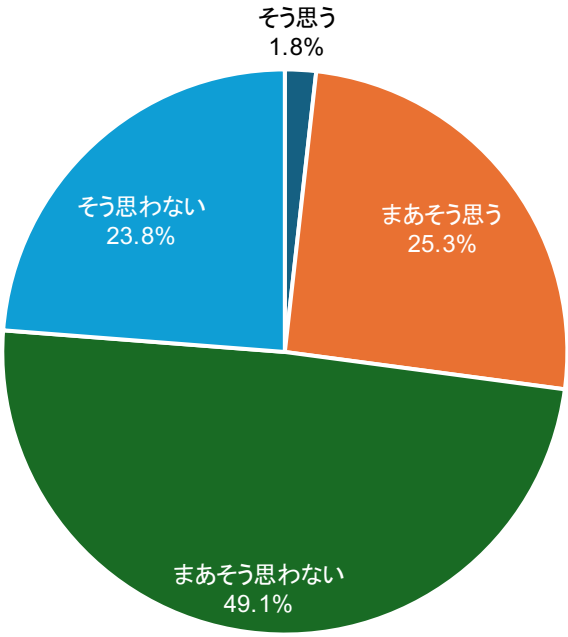
県内で障がいのある人が文化芸術の作品等に関して「販売、公演その他の事業活動」を行う機会は十分だと思いますか。（○はそれぞれ1つだけ）

		回答数	そう思う	まあそう思う	まあそう思わない	そう思わない
全体		450	2.7	34.9	47.3	15.1
サービス種別	施設入所支援	42	4.8	40.5	42.9	11.9
	自立訓練（生活訓練）	16	0.0	43.8	31.3	25.0
	就労継続支援A型	81	3.7	30.9	51.9	13.6
	就労継続支援B型	215	1.9	33.5	47.9	16.7
	生活介護	96	3.1	37.5	46.9	12.5
専門の障がい種別	身体障がい者	274	2.6	35.0	49.3	13.1
	知的障がい者	390	2.1	34.6	48.5	14.9
	精神障がい者	334	2.7	34.1	48.5	14.7
	障がい児	16	0.0	37.5	31.3	31.3
	その他	41	2.4	41.5	34.1	22.0
職員人数	5人未満	40	2.5	37.5	40.0	20.0
	5～9人	236	1.7	33.1	49.2	16.1
	10～19人	98	3.1	36.7	46.9	13.3
	20～29人	28	0.0	39.3	42.9	17.9
	30～49人	31	6.5	45.2	38.7	9.7
	50人以上	16	12.5	18.8	62.5	6.3
利用定員	10人未満	15	0.0	40.0	26.7	33.3
	10～19人	40	7.5	27.5	37.5	27.5
	20～29人	286	1.7	35.0	48.6	14.7
	30～49人	61	1.6	32.8	55.7	9.8
	50人以上	47	6.4	40.4	44.7	8.5
設立年	1999年以前	68	1.5	42.6	44.1	11.8
	2000～2009年	57	3.5	42.1	49.1	5.3
	2010年以降	318	2.8	32.1	48.1	17.0
所在地	福岡地区	190	2.1	39.5	44.2	14.2
	筑後地区	83	3.6	27.7	51.8	16.9
	筑豊地区	78	3.8	38.5	48.7	9.0
	北九州地区	99	2.0	29.3	48.5	20.2

専門の障がい種別に見ると、障がい児は「そう思わない」が31.3%と他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。

問30　相談体制の整備や支援者の育成に関する施策（単一回答）

県内で障がいのある人の文化芸術活動についての相談体制の整備や支援者の育成（研修等）に関する施策は十分だと思いますか。（○はそれぞれ1つだけ）



回答数=450

県内で障がいのある人が文化芸術についての＜相談体制の整備や支援者の育成（研修等）に関する施策＞は十分だと思うか聞いたところ、「まあそう思わない」が49.1%、「まあそう思う」が25.3%、「そう思わない」が23.8%、「そう思う」が1.8%となっている。『賛同層』（「そう思う」と「まあそう思う」）が27.1%に対して、『非賛同層』（「そう思わない」と「まあそう思わない」）は72.9%となっている。

問30　相談体制の整備や支援者の育成に関する施策（単一回答）

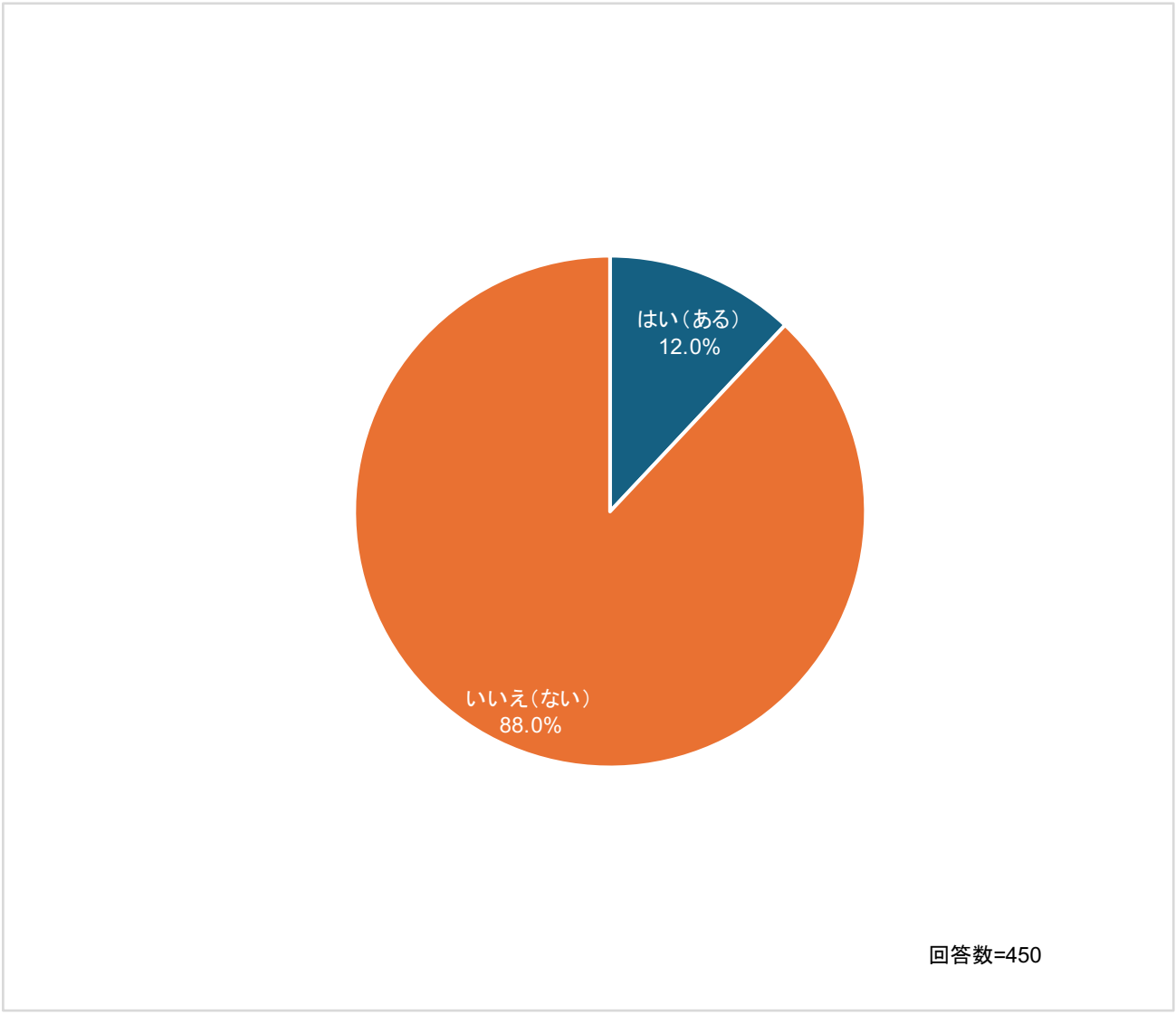
県内で障がいのある人の文化芸術活動についての相談体制の整備や支援者の育成（研修等）に関する施策は十分だと思いますか。（○はそれぞれ1つだけ）

		回答数	そう思う	まあそう思う	まあそう思わない	そう思わない
全体		450	1.8	25.3	49.1	23.8
サービス種別	施設入所支援	42	2.4	35.7	52.4	9.5
	自立訓練（生活訓練）	16	0.0	25.0	50.0	25.0
	就労継続支援A型	81	2.5	21.0	48.1	28.4
	就労継続支援B型	215	1.9	23.7	47.9	26.5
	生活介護	96	1.0	28.1	51.0	19.8
専門の障がい種別	身体障がい者	274	1.5	26.3	48.5	23.7
	知的障がい者	390	1.8	25.4	50.3	22.6
	精神障がい者	334	2.1	24.3	49.4	24.3
	障がい児	16	0.0	31.3	31.3	37.5
	その他	41	2.4	31.7	36.6	29.3
職員人数	5人未満	40	2.5	25.0	45.0	27.5
	5～9人	236	1.7	24.2	47.0	27.1
	10～19人	98	1.0	27.6	53.1	18.4
	20～29人	28	0.0	21.4	57.1	21.4
	30～49人	31	3.2	29.0	54.8	12.9
	50人以上	16	6.3	31.3	37.5	25.0
利用定員	10人未満	15	0.0	33.3	33.3	33.3
	10～19人	40	2.5	17.5	35.0	45.0
	20～29人	286	1.7	25.2	49.3	23.8
	30～49人	61	0.0	23.0	62.3	14.8
	50人以上	47	4.3	31.9	48.9	14.9
設立年	1999年以前	68	1.5	30.9	52.9	14.7
	2000～2009年	57	3.5	24.6	63.2	8.8
	2010年以降	318	1.6	24.2	46.2	28.0
所在地	福岡地区	190	2.1	27.9	47.4	22.6
	筑後地区	83	2.4	18.1	45.8	33.7
	筑豊地区	78	1.3	26.9	55.1	16.7
	北九州地区	99	1.0	25.3	50.5	23.2

専門の障がい種別に見ると、障がい児は「そう思わない」が37.5%と他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。
所在地別に見ると、筑後地区では「そう思わない」が33.7%と他の地区よりも高くなっている。

問31 「ふくおか県障がい児者美術展」への利用者の出品経験（単一回答）

「ふくおか県障がい児者美術展」に事業所の利用者が出品した事 がありますか。（○はそれぞれ1つだけ）



利用者が＜ふくおか県障がい児者美術展＞に出品した経験は、「いいえ（ない）」が88.0%、「はい（ある）」が12.0%となっている。

問31 「ふくおか県障がい児者美術展」への利用者の出品経験（単一回答）

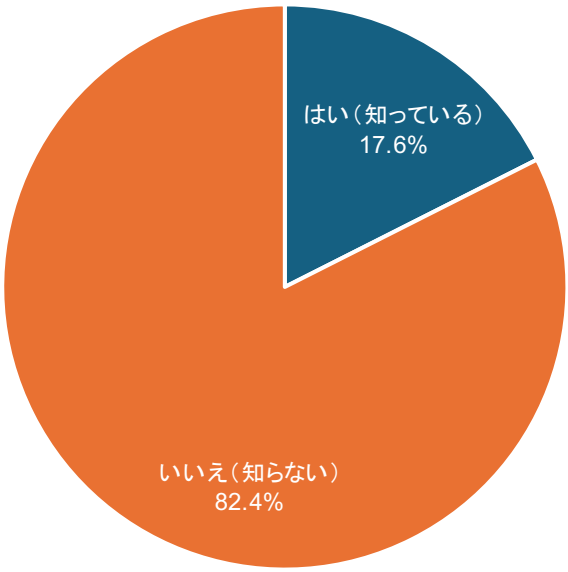
「ふくおか県障がい児者美術展」に事業所の利用者が出品した事 がありますか。（○はそれぞれ1つだけ）

		回答数	はい（ある）	いいえ（ない）
全体		450	12.0	88.0
サービス種別	施設入所支援	42	9.5	90.5
	自立訓練（生活訓練）	16	0.0	100.0
	就労継続支援A型	81	6.2	93.8
	就労継続支援B型	215	12.1	87.9
	生活介護	96	19.8	80.2
専門の障がい種別	身体障がい者	274	9.9	90.1
	知的障がい者	390	12.8	87.2
	精神障がい者	334	9.9	90.1
	障がい児	16	6.3	93.8
	その他	41	17.1	82.9
職員人数	5人未満	40	5.0	95.0
	5～9人	236	10.2	89.8
	10～19人	98	18.4	81.6
	20～29人	28	7.1	92.9
	30～49人	31	22.6	77.4
	50人以上	16	6.3	93.8
利用定員	10人未満	15	0.0	100.0
	10～19人	40	7.5	92.5
	20～29人	286	12.2	87.8
	30～49人	61	14.8	85.2
	50人以上	47	14.9	85.1
設立年	1999年以前	68	16.2	83.8
	2000～2009年	57	29.8	70.2
	2010年以降	318	8.2	91.8
所在地	福岡地区	190	13.7	86.3
	筑後地区	83	12.0	88.0
	筑豊地区	78	10.3	89.7
	北九州地区	99	10.1	89.9

設立年別に見ると、2000～2009年では「はい（ある）」が29.8%と他よりも高くなっている。

問32 「福岡県障がい者芸術文化活動支援センター」の認知状況（単一回答）

「福岡県障がい者文化芸術活動普及支援センター FACT」（令和 6年度委託先：特定非営利活動法人まる）が設置されている事を知っていますか。（○はそれぞれ1つだけ）



回答数=450

「福岡県障がい者文化芸術活動普及支援センター FACT」（令和 6年度委託先：特定非営利活動法人まる）の認知について、「いいえ（知らない）」が82.4%、「はい（知っている）」が17.6%となっている。

問32 「福岡県障がい者芸術文化活動支援センター」の認知状況（単一回答）

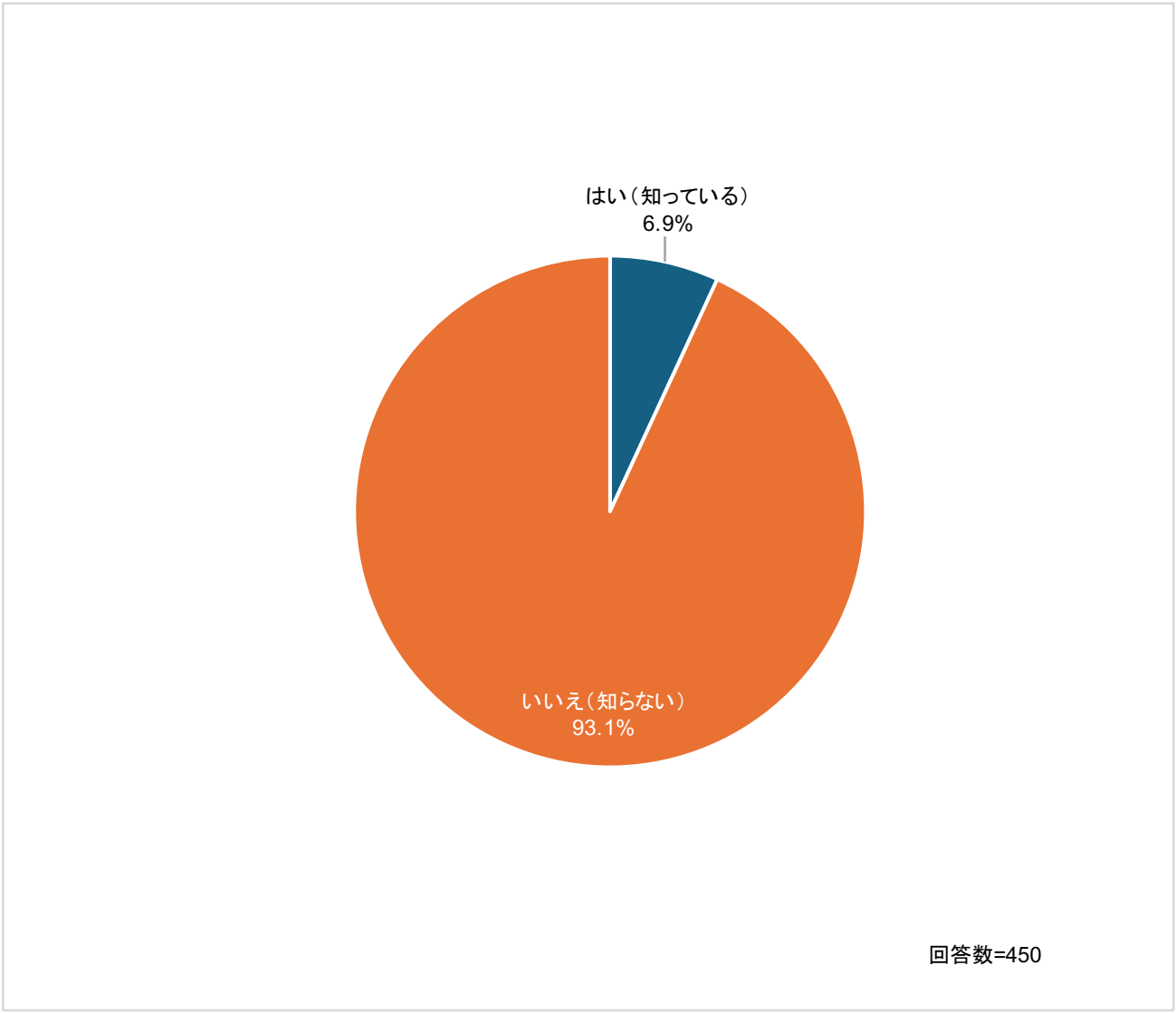
「福岡県障がい者文化芸術活動普及支援センター FACT」（令和 6年度委託先：特定非営利活動法人まる）が設置されている事を知っていますか。（〇はそれぞれ1つだけ）

		回答数	はい（知っている）	いいえ（知らない）
全体		450	17.6	82.4
サービス種別	施設入所支援	42	14.3	85.7
	自立訓練（生活訓練）	16	25.0	75.0
	就労継続支援A型	81	11.1	88.9
	就労継続支援B型	215	19.5	80.5
	生活介護	96	18.8	81.3
専門の障がい種別	身体障がい者	274	14.2	85.8
	知的障がい者	390	17.2	82.8
	精神障がい者	334	17.1	82.9
	障がい児	16	12.5	87.5
	その他	41	17.1	82.9
職員人数	5人未満	40	22.5	77.5
	5～9人	236	16.1	83.9
	10～19人	98	18.4	81.6
	20～29人	28	10.7	89.3
	30～49人	31	25.8	74.2
	50人以上	16	18.8	81.3
利用定員	10人未満	15	0.0	100.0
	10～19人	40	15.0	85.0
	20～29人	286	17.5	82.5
	30～49人	61	19.7	80.3
	50人以上	47	23.4	76.6
設立年	1999年以前	68	26.5	73.5
	2000～2009年	57	24.6	75.4
	2010年以降	318	14.8	85.2
所在地	福岡地区	190	20.5	79.5
	筑後地区	83	12.0	88.0
	筑豊地区	78	15.4	84.6
	北九州地区	99	18.2	81.8

サービス種別で見ると、自立訓練（生活訓練）は「はい（知っている）」が25.0%と他よりも高くなっている。
設立年別で見ると、1999年以前は「「はい（知っている）」が26.5%と他よりも高くなっている。

問33 「福岡県障がい者芸術文化活動推進費補助金」の認知状況（単一回答）

「福岡県障がい者文化芸術活動推進費補助金」を知っていますか。（○はそれぞれ1つだけ）



「福岡県障がい者文化芸術活動推進費補助金」の認知について、「いいえ（知らない）」が93.1%、「はい（知っている）」が6.9%となっている。

問33 「福岡県障がい者芸術文化活動推進費補助金」の認知状況（単一回答）

「福岡県障がい者文化芸術活動推進費補助金」を知っていますか。（○はそれぞれ1つだけ）

		回答数	はい（知っている）	いいえ（知らない）
全体		450	6.9	93.1
サービス種別	施設入所支援	42	7.1	92.9
	自立訓練（生活訓練）	16	12.5	87.5
	就労継続支援A型	81	3.7	96.3
	就労継続支援B型	215	7.0	93.0
	生活介護	96	8.3	91.7
専門の障がい種別	身体障がい者	274	6.6	93.4
	知的障がい者	390	6.9	93.1
	精神障がい者	334	7.2	92.8
	障がい児	16	6.3	93.8
	その他	41	9.8	90.2
職員人数	5人未満	40	15.0	85.0
	5～9人	236	4.7	95.3
	10～19人	98	10.2	89.8
	20～29人	28	0.0	100.0
	30～49人	31	6.5	93.5
	50人以上	16	12.5	87.5
利用定員	10人未満	15	0.0	100.0
	10～19人	40	7.5	92.5
	20～29人	286	6.6	93.4
	30～49人	61	9.8	90.2
	50人以上	47	6.4	93.6
設立年	1999年以前	68	5.9	94.1
	2000～2009年	57	15.8	84.2
	2010年以降	318	5.7	94.3
所在地	福岡地区	190	7.4	92.6
	筑後地区	83	7.2	92.8
	筑豊地区	78	6.4	93.6
	北九州地区	99	6.1	93.9

サービス種別で見ると、自立訓練（生活訓練）は「はい（知っている）」が12.5%と他よりも高くなっている。
設立年別で見ると、2000～2009年は「「はい（知っている）」が15.8%と他よりも高くなっている。

問34　その他、県が取り組む障がい者文化施策に対する意見等（自由記述）

県が取り組む＜障がい者文化施策＞に対してご意見等がありましたらご記入ください。

記述内容の分類	回答件数
広報宣伝や情報発信	23
文化事業の機会拡充	10
現行の施策への賛同や今後の期待	8
障がいの多様な特性への配慮	6
文化施設、教育機関、企業等との連携	5
収益や工賃の向上	4
補助金に関する説明や予算の拡充	4
障がい者の文化活動に対する理解の促進	4
忙しい・余裕がない	3
相談対応や伴走支援	2
分類できない	5
特にない・わからない	20
無回答	356
総計	450

県が取り組む＜障がい者文化施策＞に対する意見等について自由記述の回答を、主旨を12項目に整理、分類した。主旨が複数項目に重なる意見等は、最初に触れた主旨で単一の分類とした。「特にない・わからない」や「分類できない」、無回答を除くと、最も多い意見は「広報宣伝や情報発信」、次いで「文化事業の機会拡充」、「現行の施策への賛同や今後の期待」、「障がいの多様な特性への配慮」となっている。

問35 「福岡県の文化」でイメージするもの（自由記述）

最後に、あなたが思う 「福岡県の文化」（福岡県固有の文化、福岡県らしさ）でイメージするものは、どのようなものですか。どのようなことでも結構ですので、ご自由に記入してください。

記述内容の分類	回答件数
祭礼、行事、神事など無形文化財	35
食文化	15
工芸、民芸	9
障がい者の生活環境や社会参加	7
都会と田舎の二面性	5
自然、環境	5
各地域の個性、地域差	5
アジアとの交流、九州の拠点都市	3
芸術、芸能、スポーツ	2
史跡、遺跡、寺社など有形文化財	2
分類できない	11
特にない・わからない	15
無回答	336
総計	450

「福岡県の文化」でイメージするものについて自由記述の回答を、主旨を15項目に分類した。主旨が複数項目に重なる意見等は、最初に触れた主旨で単一の分類とした。「特にない・わからない」や「分類できない」、無回答を除くと、最も多い意見は「祭礼、行事、神事など無形文化財」、次いで「食文化」、「工芸、民芸」、「障がい者の生活環境や社会参加」となっている。

はじめに貴事業所、ご回答者のことについておたずねします

問１　主たるサービス種別を教えてください。（○は１つだけ）

１．施設入所支援	２．自立訓練（生活訓練）	３．就労継続支援Ａ型
４．就労継続支援Ｂ型	５．生活介護	

問２　専門としている障がいの種類を教えてください。（○はいくつでも）

１．身体障がい者	２．知的障がい者	３．精神障がい者
４．障がい児	５．その他（　　）	

問３　職員の人数を教えてください。

利用定員		**人**

問４　職員の中に、文化芸術活動の経験者はいますか。

１．はい	２．いいえ

問５　利用定員を教えてください。

利用定員		**人**

問６　設立年（西暦）を教えてください。

設立年		**年**

問７　所在地（市町村）を教えてください。

所在地		**市** **町・村**

問８　あなた（ご回答者）の役職を教えてください。（○は１つだけ）

１．管理者	２．サービス管理責任者	３．生活支援員
４．職業指導員	５．その他（　　）	

事業所での「文化芸術活動」についておたずねします

「文化芸術活動」とは・・・
事業所内外において、障がいのある人を対象とした、以下のようなジャンルの＜鑑賞＞や＜創造（創作）＞や＜実践＞の催しを開催すること

【ジャンルの例】
合唱・合奏・読書・朗読・絵画・写真・演劇・舞踊・映画・アニメ
織物・手芸・陶芸・木工・能・歌舞伎・落語・漫才・書道・華道　ほか

問９　貴事業所では文化芸術活動を実施していますか。（○は１つだけ）

１．はい　⇒次の問 10～問 18 を回答	２．いいえ　⇒4 ページの問 19～問 23 を回答

問９で「１.はい」（文化芸術活動を実施している）の事業所におたずねします

問 10　文化芸術活動はどこで実施していますか。（○はいくつでも）

１．事業所内で活動	２．事業所外で活動

問 11　文化芸術活動をどの程度実施していますか（すべてのジャンル）。（○は１つだけ）

１．ほぼ毎日	２．週３～４回程度	３．週１～２回程度
４．月２～３回程度	５．月１回程度	６．それ以下

問 12　＜鑑賞＞活動を実施しているジャンルを教えてください。

問 13　＜創造（創作）＞活動を実施しているジャンルを教えてください。

（○はそれぞれいくつでも）

	合唱／合奏	読書／朗読	絵画／写真	演劇／舞踊	映画／アニメ	ゲーム／メディアアート	織物／手芸	陶芸／木工	能／歌舞伎	落語／漫才	書道／華道	その他（　　）	活動していない
鑑賞	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
創造（創作）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13

問 14　創造（創作）した作品を発表・公開する機会はありますか。（○は１つだけ）

問 14-1　【１.あると回答した方】: それはどのような発表の仕方でしょうか。
（○はいくつでも）

１．ある　⇒　｛　１.事業所内で公開　　２.一般公開　　３.商品化　｝
２．ない

問 15　創造（創作）した作品の著作権等の取扱いを定めていますか。（○は１つだけ）

１．定めている	２．定めていない

問 16　貴事業所が、**障がいのある人**を対象とした、文化芸術活動を実施するにあたって**重視している**のはどのような事ですか。（○はいくつでも）

１．自由に自己表現すること	２．楽しく創ること
３．余暇活動の充実や生きがい	**４．事業所外の地域住民等との交流**
５．興味関心が広がること	６．様々な経験や体験の場になること
７．発達の促進、自信や達成感につなげること	８．商品化、仕事になること
９．その他（　　）	10．特にない

問 17　貴事業所が、**障がいのある人**を対象とした、文化芸術活動を実施するにあたって**課題や必要としている**のはどのような事ですか。（○はいくつでも）

１．活動資金の調達	２．活動時間の確保	３．活動場所の確保
４．指導者の確保	５．指導支援の方法	６．商品化の方法
７．展覧会等の開催方法	８．支援者同士の情報交換	９．作品や作者の権利譲渡
10．その他（　　）		11．特にない

問 18　貴事業所が、**障がいのある人**を対象とした、文化芸術活動を実施する際に協力してもらう機関があれば教えてください。（○はいくつでも）

１．福岡県障がい者文化芸術活動普及支援センター（FACT）（R6 委託先：特定非営利活動法人まる）	
２．県・市町村の福祉担当部署	３．県・市町村の文化担当部署
４．福祉施設（障がい福祉サービス事業所等）	５．障がい当事者団体・福祉関係者
６．文化施設（美術館、博物館、劇場、ホール等）	７．文化団体・文化関係者
８．特別支援学校・学級	９．ボランティア
10．上記以外の NPO	11．その他（　　）
12．協力してもらう機関はない	

【次は問 24 へ】

問９で「２.いいえ」（文化芸術活動を実施していない）の事業所におたずねします

問 19　障がいのある人の文化芸術活動にどの程度関心がありますか。

（○は１つだけ）

１．関心がある　　２．やや関心がある	⇒　問 20～問 23 を回答
３．あまり関心はない　　４．関心はない	⇒　5 ページの問 24 へ

問 19 で「1.関心がある」と「2.やや関心がある」の事業所におたずねします

問 20　＜鑑賞＞活動として関心があるジャンルを教えてください。

問 21　＜創造（創作）＞活動として関心があるジャンルを教えてください。

（○はそれぞれいくつでも）

	合唱／合奏	読書／朗読	絵画／写真	演劇／舞踊	映画／アニメ	ゲーム／メディアアート	織物／手芸	陶芸／木工	能／歌舞伎	落語／漫才	書道／華道	その他（　　）	活動していない
鑑賞	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
創造（創作）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13

問 22　貴事業所が**障がいのある人**を対象とした、文化芸術活動を実施する場合、**重視したい**のはどのような事ですか。（○はいくつでも）

１．自由に自己表現すること	２．楽しく創ること
３．余暇活動の充実や生きがい	**４．事業所外の地域住民等との交流**
５．興味関心が広がること	６．様々な経験や体験の場になること
７．発達の促進、自信や達成感につなげること	８．商品化、仕事になること
９．その他（　　）	10．特にない

問 23　**障がいのある人**を対象とした、文化芸術活動について、関心があるのに実施していない理由を教えてください。（○はいくつでも）

１．活動資金の調達	２．活動時間の確保	３．活動場所の確保
４．指導者の確保	５．指導支援の方法	６．商品化の方法
７．展覧会等の開催方法	８．支援者同士の情報交換	９．作品や作者の権利譲渡
10．その他（　　）		11．特にない

【全員の方へ】

障がいのある人による「文化芸術活動」に期待する効果についておたずねします

問 24　障がいのある人による文化芸術活動は、障がいのある人の個性や能力の発揮、社会参加などの成果につながると思いますか。（○は一つだけ）

1．とてもそう思う　　2．まあそう思う	⇒ 問 25 を回答
3．あまり思わない　　4．まったく思わない	⇒ 問 26 を回答

問 24 で「1.とてもそう思う」と「2.まあそう思う」の事業所におたずねします

問 25　障がいのある人による文化芸術活動について、どのような成果を期待しますか。（○はいくつでも）

1．障がいのある人の趣味や余暇活動の充実、生き甲斐の創出
2．障がいのある人のアイデンティティの形成や自己肯定感の向上
3．障がいのある人の自己表現及びコミュニケーション能力の拡大
4．障がいのある人を取り巻く家族や支援者の考え方を前向きにすること
5．障がいのある人を取り巻く地域住民との交流、相互理解や関係を築くこと
6．障がいのある人の就労訓練の集中力や作業効率を高めるための息抜きやリフレッシュ
7．障がいのある人の収入や就労など、経済的な活動につながること
8．文化芸術活動を通じて既存の支援方法に対して新たな視点がもたらされること
9．その他（　　）

問 24 で「3.あまり思わない」と「4.まったく思わない」の事業所におたずねします

問 26　障がいのある人による文化芸術活動は、障がいのある人の個性や能力の発揮、社会参加などの成果につながると思わない理由について、あてはまる項目をお選びください。（○はいくつでも）

1．障がいのある人にとって文化芸術活動は普段から馴染みがなく、よくわからないから
2．障がいのある人にとって文化芸術活動は心理的・物理的な障壁（バリア）が多いから
3．障がいのある人にとって文化芸術活動が日常生活の支援につながるのかわからないから
4．障がいのある人にとって文化芸術活動が就職や就労支援につながるのかわからないから
5．障がいのある人にとって文化芸術活動よりもスポーツや遊びの方が成果につながるから
6．障がいのある人にとって文化芸術活動よりもボランティアなどの体験活動の方が成果につながるから
7．障がいの有無にかかわらず、文化芸術活動は個人的な趣味や余暇活動だと思うから
8．その他（　　）

【全員の方へ】

「本県における文化芸術活動の満足度・認知度」についておたずねします

問 27　県内で障がいのある人が文化芸術を＜鑑賞＞する機会は十分だと思いますか。
　　そう思った理由を教えてください。

問 28　県内で障がいのある人が文化芸術を＜創造･発表＞する機会は十分だと思いますか。
　　そう思った理由を教えてください。

問 29　県内で障がいのある人が文化芸術の作品等に関して「販売、公演その他の事業活動」を行う機会は十分だと思いますか。

問 30　県内で障がいのある人の文化芸術活動についての相談体制の整備や支援者の育成（研修等）に関する施策は十分だと思いますか。　　（○はそれぞれ１つだけ）

⇒	そう思う	まあそう思う	まあそう思わない	そう思わない	その理由
（問 27）県内で鑑賞する機会は十分か	1	2	3	4	⇒
（問 28）県内で創造・発表する機会は十分か	1	2	3	4	⇒
（問 29）県内で「販売、公演その他の事業活動」を行う機会は十分か	1	2	3	4	⇒
（問 30）相談体制の整備や支援者の育成（研修等）に関する施策は十分か	1	2	3	4	⇒

問 31　「ふくおか県障がい児者美術展」に事業所の利用者が出品した事がありますか。

問 32　「福岡県障がい者文化芸術活動普及支援センター（FACT）」（令和 6 年度委託先：特定非営利活動法人まる）が設置されている事を知っていますか。

問 33　「福岡県障がい者文化芸術活動推進費補助金」を知っていますか。

（〇はそれぞれ１つだけ）

⟹	はい	いいえ
（問 31） 利用者が「ふくおか県障がい児者美術展」に出品した経験	1	2
（問 32） 「福岡県障がい者文化芸術活動普及支援センター（FACT）」を知っているか	1	2
（問 33） 「福岡県障がい者文化芸術活動推進費補助金」を知っているか	1	2

【全員の方へ】

「行政の取り組み・ご意見」についておたずねします

問 34　県が取り組む＜障がい者文化施策＞に対してご意見等がありましたらご記入ください。

問 35　最後に、あなたが思う「福岡県の文化」（福岡県固有の文化、福岡県らしさ）でイメージするものは、どのようなものですか。
どのようなことでも結構ですので、ご自由に記入してください。。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

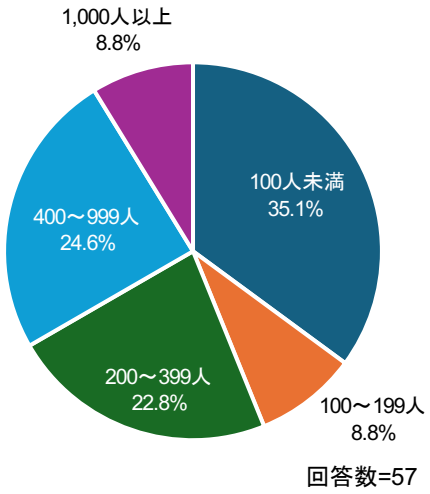
Ⅲ

県内の文化芸術団体に対するアンケート調査

回答者の基本属性（単一回答）

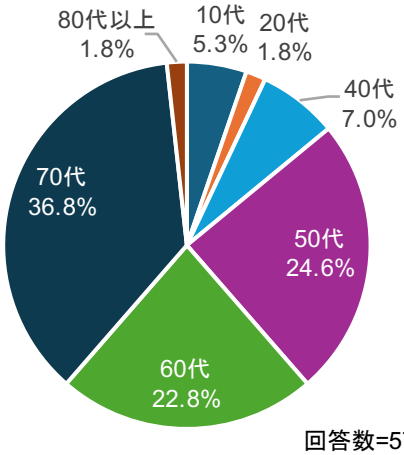
回答者の基本的な属性をグラフにまとめた。団体の会員数は100人未満が35.1%、400～999人が24.6%、200～399人が22.8%となっている。会員の平均年齢は70代が36.8%、50代が24.6%、60代が22.8%となっている。主な活動地域は福岡地域が36.8%、筑後地域が29.8%、筑豊地域が12.3%、全域が10.5%となっている。

問1　団体の会員数



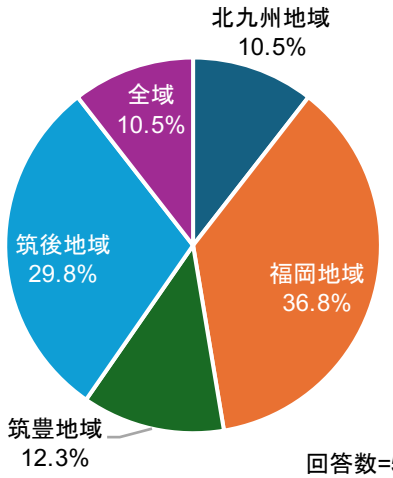
回答数=57

問2　会員の平均年齢



回答数=57

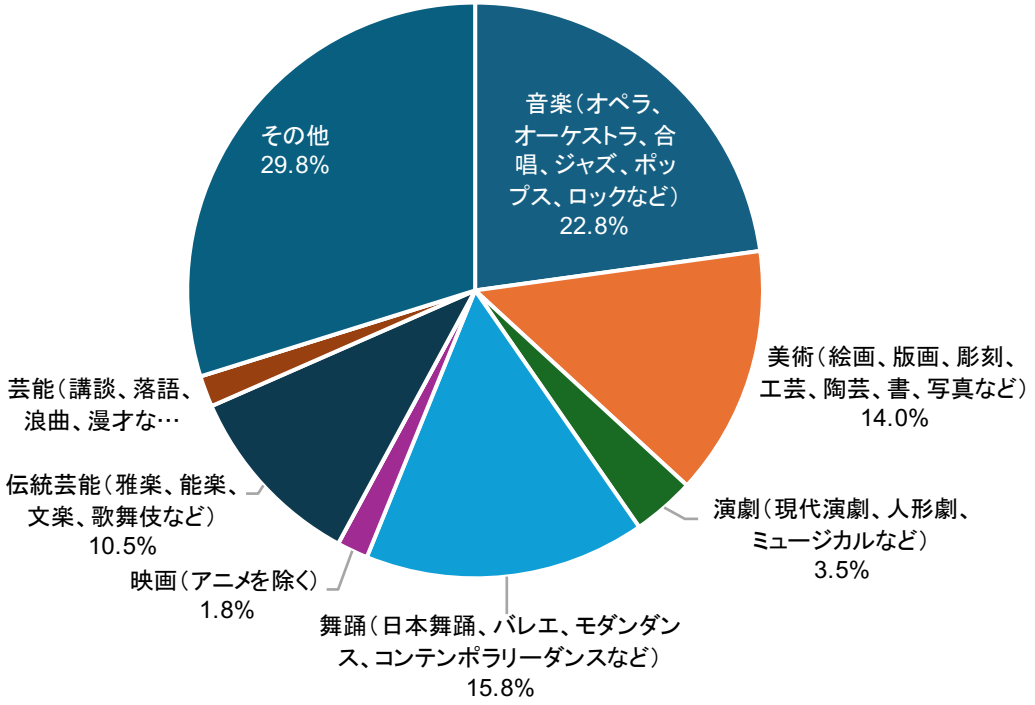
問3　主な活動地域



回答数=57

問4　会員の活動ジャンル（単一回答）

貴団体に加入している会員（加入者）の活動のジャンルを教えてください。（○は1つだけ）



回答数=57

団体に加入している会員の活動ジャンルは、「その他」が29.8%で最も高く、次いで「音楽（オペラ、オーケストラ、合唱、ジャズ、ポップス、ロックなど）」（22.8%）、「舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）」（15.8%）、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）」（14.0%）と続いている。

問4　会員の活動ジャンル（単一回答）

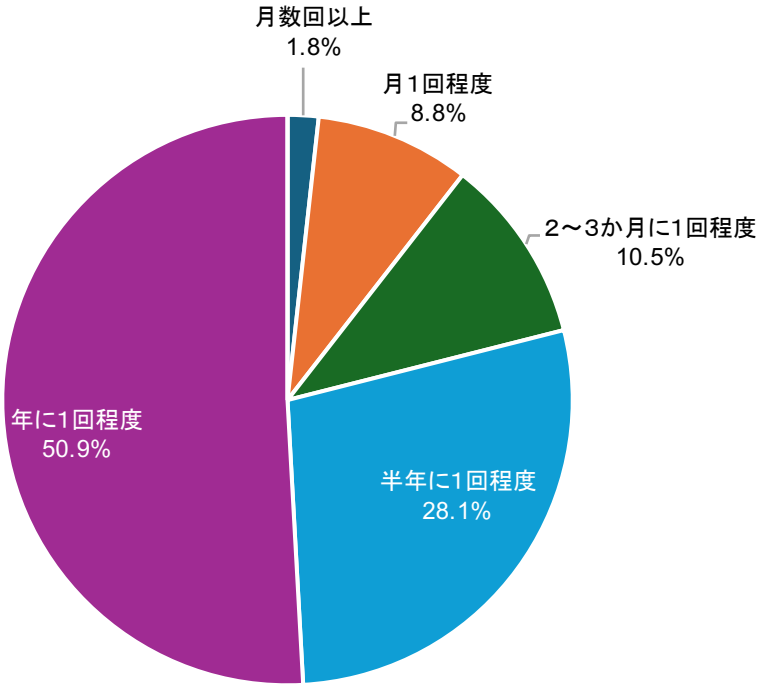
貴団体に加入している会員（加入者）の活動のジャンルを教えてください。（○は1つだけ）

		回答数	音楽（オペラ、オーケストラ、合唱、ジャズ、ポップス、ロックなど）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）	演劇（現代演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	映画（アニメを除く）	アニメ映画、メディアアート（コンピュータや映像を活用したアート）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	歴史的建物や遺跡（建造物、遺跡、名勝地（庭園など）の文化財）	その他
全体		57	22.8	14.0	3.5	15.8	1.8	0.0	10.5	1.8	0.0	29.8
団体の会員数	100人未満	20	25.0	15.0	10.0	10.0	5.0	0.0	20.0	0.0	0.0	15.0
	100～199人	5	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	200～399人	13	30.8	0.0	0.0	23.1	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	30.8
	400～999人	14	21.4	21.4	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9
	1,000人以上	5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0
会員の平均年齢	30代以下	4	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	40～60代	31	32.3	12.9	6.5	12.9	3.2	0.0	9.7	0.0	0.0	22.6
	70代以上	22	13.6	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	13.6	4.5	0.0	40.9
主な活動地域	北九州地域	6	0.0	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
	福岡地域	21	28.6	9.5	4.8	14.3	4.8	0.0	9.5	0.0	0.0	28.6
	筑豊地域	7	14.3	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6
	筑後地域	17	23.5	17.6	0.0	5.9	0.0	0.0	17.6	5.9	0.0	29.4
	全域	6	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

会員の平均年齢別に見ると、40～60代は「音楽」が32.3%と他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。

問5　実施頻度（単一回答）

貴団体として実施する成果の発表会や展示会等はどの程度実施していますか。（○は1つだけ）



回答数=57

団体として実施する発表会や展示会等の頻度は、「年に1回程度」が50.9%、「半年に1回程度」が28.1%、2～3ヶ月に1回程度が10.5%となっている。「全く・ほとんど実施していない」と回答した団体はない。

問5　実施頻度（単一回答）

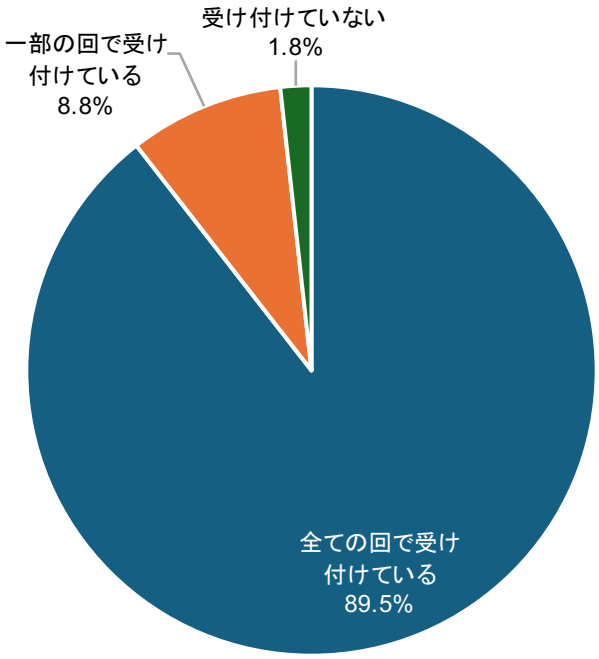
貴団体として実施する成果の発表会や展示会等はどの程度実施していますか。（○は1つだけ）

		回答数	月数回以上	月1回程度	2～3か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	全く・ほとんど実施していない
全体		57	1.8	8.8	10.5	28.1	50.9	0.0
団体の会員数	100人未満	20	5.0	15.0	0.0	30.0	50.0	0.0
	100～199人	5	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0
	200～399人	13	0.0	7.7	15.4	15.4	61.5	0.0
	400～999人	14	0.0	0.0	21.4	35.7	42.9	0.0
	1,000人以上	5	0.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0
会員の平均年齢	30代以下	4	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	40～60代	31	0.0	9.7	6.5	29.0	54.8	0.0
	70代以上	22	4.5	9.1	18.2	22.7	45.5	0.0
主な活動地域	北九州地域	6	0.0	0.0	16.7	83.3	0.0	0.0
	福岡地域	21	4.8	14.3	4.8	23.8	52.4	0.0
	筑豊地域	7	0.0	0.0	14.3	0.0	85.7	0.0
	筑後地域	17	0.0	11.8	11.8	29.4	47.1	0.0
	全域	6	0.0	0.0	16.7	16.7	66.7	0.0

主な活動地域別に見ると、北九州地域では「半年に1回程度」が83.3%で「年に1回程度」の回答はない（回答数が少ないため留意が必要）。

問5-1　一般観覧・聴講の有無（単一回答）

問５で「１ 月数回 以上 」～「５ 年 に １回程度」（発表会や展示会などを実施している）の団体におたずねします。貴団体として実施する成果の発表会や展示会等は、一般の方（会員以外の方）の観覧・聴講も受け付けていますか。（○は1つだけ）



回答数=57

団体として実施する発表会や展示会等で、一般観覧・聴講は「全ての回で受け付けている」が89.5%で、「一部の回で受け付けている」が8.8%、「受け付けていない」が1.8%となっている。

問5-1　一般観覧・聴講の有無（単一回答）

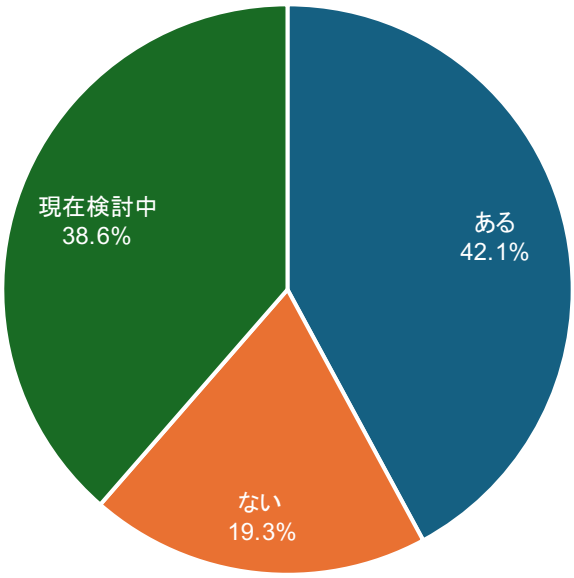
問５で「1 月数回 以上 」～「5 年 に 1回程度」（発表会や展示会などを実施している）の団体におたずねします。貴団体として実施する成果の発表会や展示会等は、一般の方（会員以外の方）の観覧・聴講も受け付けていますか。（〇は1つだけ）

		回答数	全ての回で受け付けている	一部の回で受け付けている	受け付けていない
全体		57	89.5	8.8	1.8
団体の会員数	100人未満	20	85.0	15.0	0.0
	100～199人	5	80.0	20.0	0.0
	200～399人	13	100.0	0.0	0.0
	400～999人	14	85.7	7.1	7.1
	1,000人以上	5	100.0	0.0	0.0
会員の平均年齢	30代以下	4	100.0	0.0	0.0
	40～60代	31	90.3	9.7	0.0
	70代以上	22	86.4	9.1	4.5
主な活動地域	北九州地域	6	100.0	0.0	0.0
	福岡地域	21	90.5	9.5	0.0
	筑豊地域	7	85.7	14.3	0.0
	筑後地域	17	88.2	11.8	0.0
	全域	6	83.3	0.0	16.7

主な活動地域別に見ると、「全域」の場合で「受け付けていない」が団体の回答がある。

問5-2　障がいのある人が行きやすくなる工夫の有無（単一回答）

貴団体として実施する成果の発表会や展示会等は、障がいのある人が行きやすくなるような工夫はありますか 。（〇は1つだけ）



回答数=57

成果の発表会や展示会等で、障がいのある人が行きやすくなるような工夫が「ある」という回答は42.1%、「現在検討中」は38.6%、「ない」が19.3%となっている。

問5-2　障がいのある人が行きやすくなる工夫の有無（単一回答）

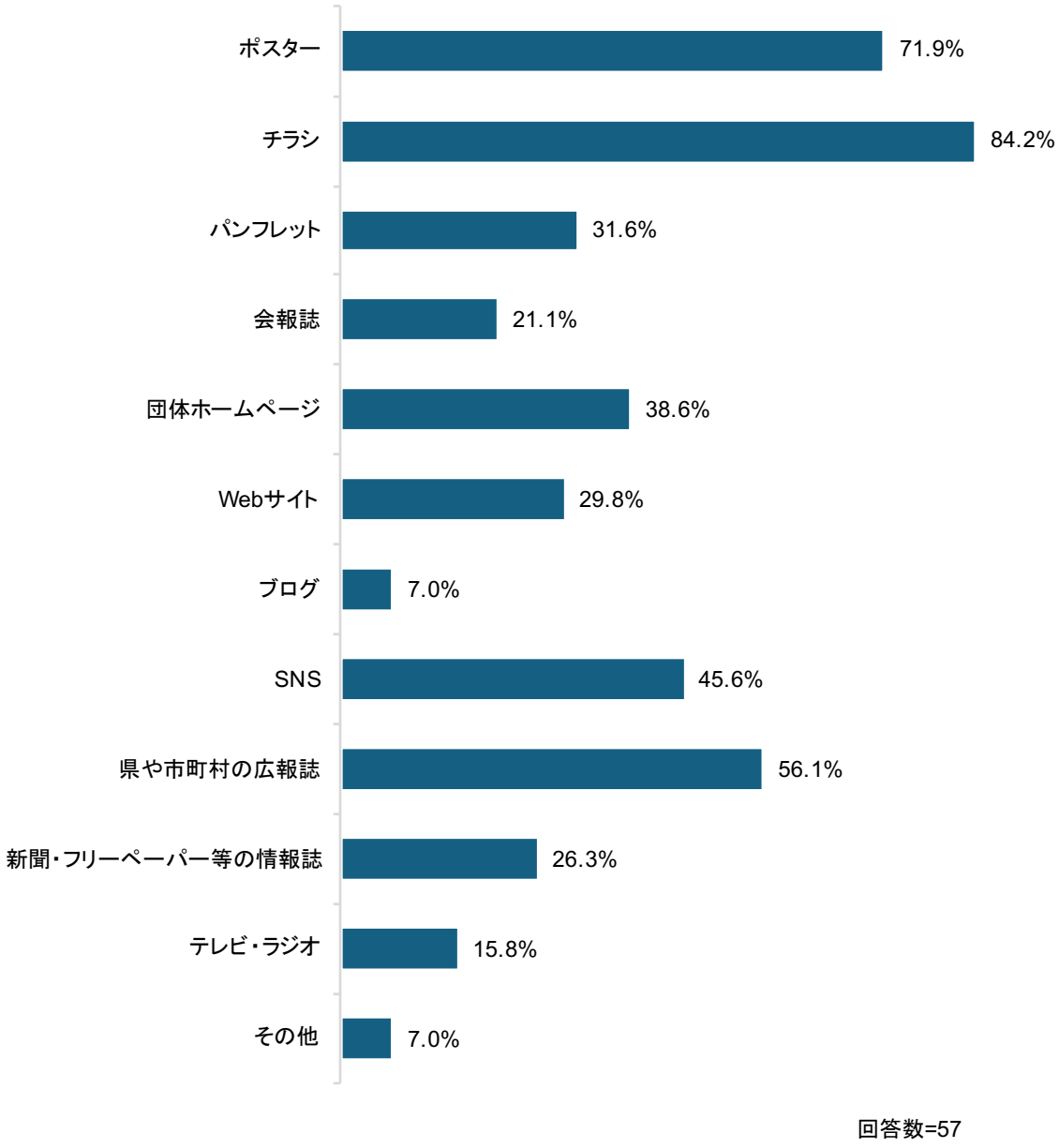
貴団体として実施する成果の発表会や展示会等は、障がいのある人が行きやすくなるような工夫はありますか 。（〇は1つだけ）

		回答数	ある	ない	現在検討中
全体		57	42.1	19.3	38.6
団体の会員数	100人未満	20	45.0	10.0	45.0
	100～199人	5	40.0	20.0	40.0
	200～399人	13	53.8	23.1	23.1
	400～999人	14	35.7	35.7	28.6
	1,000人以上	5	20.0	0.0	80.0
会員の平均年齢	30代以下	4	50.0	25.0	25.0
	40～60代	31	38.7	12.9	48.4
	70代以上	22	45.5	27.3	27.3
主な活動地域	北九州地域	6	33.3	33.3	33.3
	福岡地域	21	52.4	9.5	38.1
	筑豊地域	7	28.6	14.3	57.1
	筑後地域	17	35.3	29.4	35.3
	全域	6	50.0	16.7	33.3

団体の会員数別に見ると、200～399人では「ある」が53.8%となっている（回答数が少ないため留意が必要）。

問6　発表会や展示会等の広報活動の情報発信媒体（複数回答）

貴団体が発表会や展示会、その他の広報活動・お知らせ等を行う場合、どのような情報発信媒体を利用していますか。（〇はいくつでも）



回答数=57

発表会や展示会、その他の広報活動・お知らせ等を行う場合に利用する情報発信媒体は、「チラシ」が最も高く84.2%となっている。次いで「ポスター」（71.9%）、「県や市町村の広報紙」（56.1%）、「SNS」（45.6%）と続いている。

問6　発表会や展示会等の広報活動の情報発信媒体（複数回答）

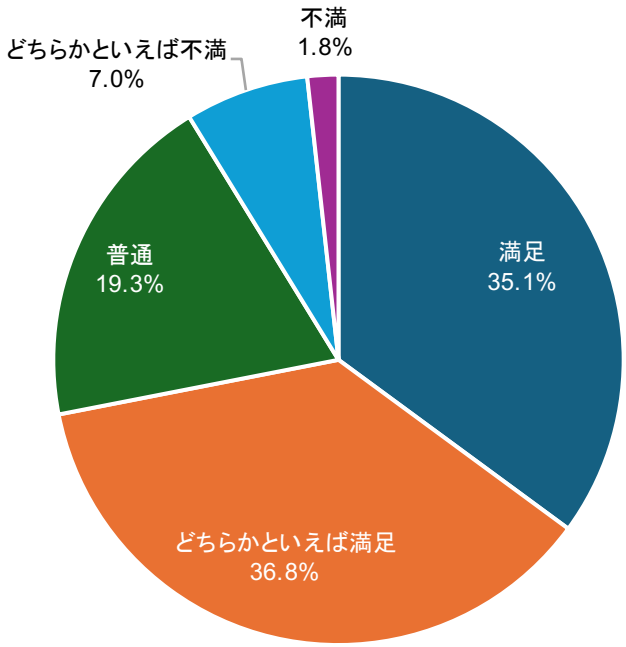
貴団体が発表会や展示会、その他の広報活動・お知らせ等を行う場合、どのような情報発信媒体を利用していますか。（○はいくつでも）

		回答数	ポスター	チラシ	パンフレット	会報誌	団体ホームページ	Webサイト	ブログ	SNS	県や市町村の広報誌	新聞・フリーペーパー等の情報誌	テレビ・ラジオ	その他
全体		57	71.9	84.2	31.6	21.1	38.6	29.8	7.0	45.6	56.1	26.3	15.8	7.0
団体の会員数	100人未満	20	55.0	85.0	25.0	15.0	45.0	35.0	10.0	70.0	40.0	30.0	30.0	5.0
	100～199人	5	60.0	80.0	20.0	60.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	200～399人	13	84.6	100.0	23.1	23.1	38.5	30.8	0.0	30.8	61.5	15.4	7.7	0.0
	400～999人	14	78.6	78.6	42.9	21.4	28.6	35.7	0.0	28.6	85.7	35.7	14.3	21.4
	1,000人以上	5	100.0	60.0	60.0	0.0	80.0	20.0	20.0	60.0	60.0	20.0	0.0	0.0
会員の平均年齢	30代以下	4	100.0	75.0	50.0	25.0	50.0	50.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～60代	31	64.5	87.1	38.7	16.1	48.4	38.7	9.7	64.5	48.4	38.7	22.6	3.2
	70代以上	22	77.3	81.8	18.2	27.3	22.7	13.6	4.5	13.6	77.3	13.6	9.1	13.6
主な活動地域	北九州地域	6	83.3	66.7	33.3	0.0	33.3	16.7	0.0	50.0	66.7	16.7	16.7	33.3
	福岡地域	21	57.1	90.5	42.9	28.6	57.1	42.9	14.3	66.7	19.0	28.6	19.0	4.8
	筑豊地域	7	100.0	71.4	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	42.9	100.0	28.6	0.0	14.3
	筑後地域	17	82.4	88.2	17.6	17.6	23.5	29.4	0.0	17.6	82.4	29.4	17.6	0.0
	全域	6	50.0	83.3	33.3	33.3	50.0	16.7	16.7	50.0	50.0	16.7	16.7	0.0

会員の平均年齢別に見ると、「30代以下」では「ポスター」（100.0%）に次いで「チラシ」と「SNS」（ともに75.0%）となっている（回答数が少ないため留意が必要）。

問7　発表会や展示会など開催する際に最も利用する県内施設の満足度（単一回答）

貴団体が福岡県内において開催する、発表会や展示会、大会、コンクール等で最も利用している場所（会場）の満足度を教えてください。（○は1つだけ）



回答数=57

団体が最も利用している場所（会場）の満足度は、「どちらかといえば満足」が36.8%、「満足」が35.1%、「普通」が19.3%、「どちらかといえば不満」が7.0%、「不満」が1.8%となっている。『満足層』（「満足」と「どちらかといえば満足」）が71.9%に対して、『不満層』（「不満」と「どちらかといえば不満」）は8.8%となっている。

問7　発表会や展示会など開催する際に最も利用する県内施設の満足度（単一回答）

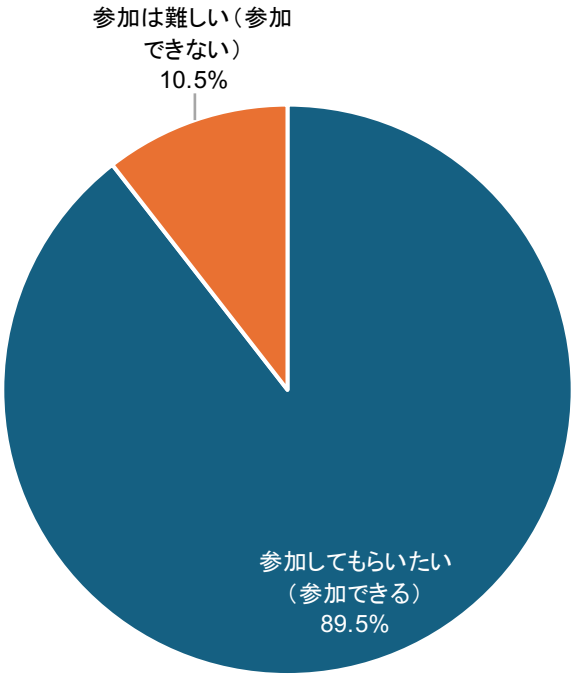
貴団体が福岡県内において開催する、発表会や展示会、大会、コンクール等で最も利用している場所（会場）の満足度を教えてください。（○は1つだけ）

		回答数	満足	どちらかといえば満足	普通	どちらかといえば不満	不満
全体		57	35.1	36.8	19.3	7.0	1.8
団体の会員数	100人未満	20	40.0	35.0	15.0	10.0	0.0
	100～199人	5	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	200～399人	13	30.8	30.8	23.1	7.7	7.7
	400～999人	14	35.7	35.7	28.6	0.0	0.0
	1,000人以上	5	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0
会員の平均年齢	30代以下	4	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
	40～60代	31	35.5	32.3	19.4	12.9	0.0
	70代以上	22	40.9	36.4	18.2	0.0	4.5
主な活動地域	北九州地域	6	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0
	福岡地域	21	28.6	28.6	23.8	14.3	4.8
	筑豊地域	7	28.6	42.9	28.6	0.0	0.0
	筑後地域	17	41.2	41.2	11.8	5.9	0.0
	全域	6	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0

主な活動地域別に見ると、福岡地域と筑豊地域では「満足」が28.6%と他の地域よりも低くなっている。

問8　実施する文化芸術活動への障がいのある人の参加について（単一回答）

貴団体が実施する「文化芸術活動」には、障がいのある人も参加してもらいたい（参加できる）と思いますか。（○は1つだけ）



回答数=57

団体が実施する文化芸術活動に、障がいのある人も「参加してもらいたい（参加できる）」という回答が89.5%、「参加は難しい（参加できない）」が10.5%となっている。

問8　実施する文化芸術活動への障がいのある人の参加について（単一回答）

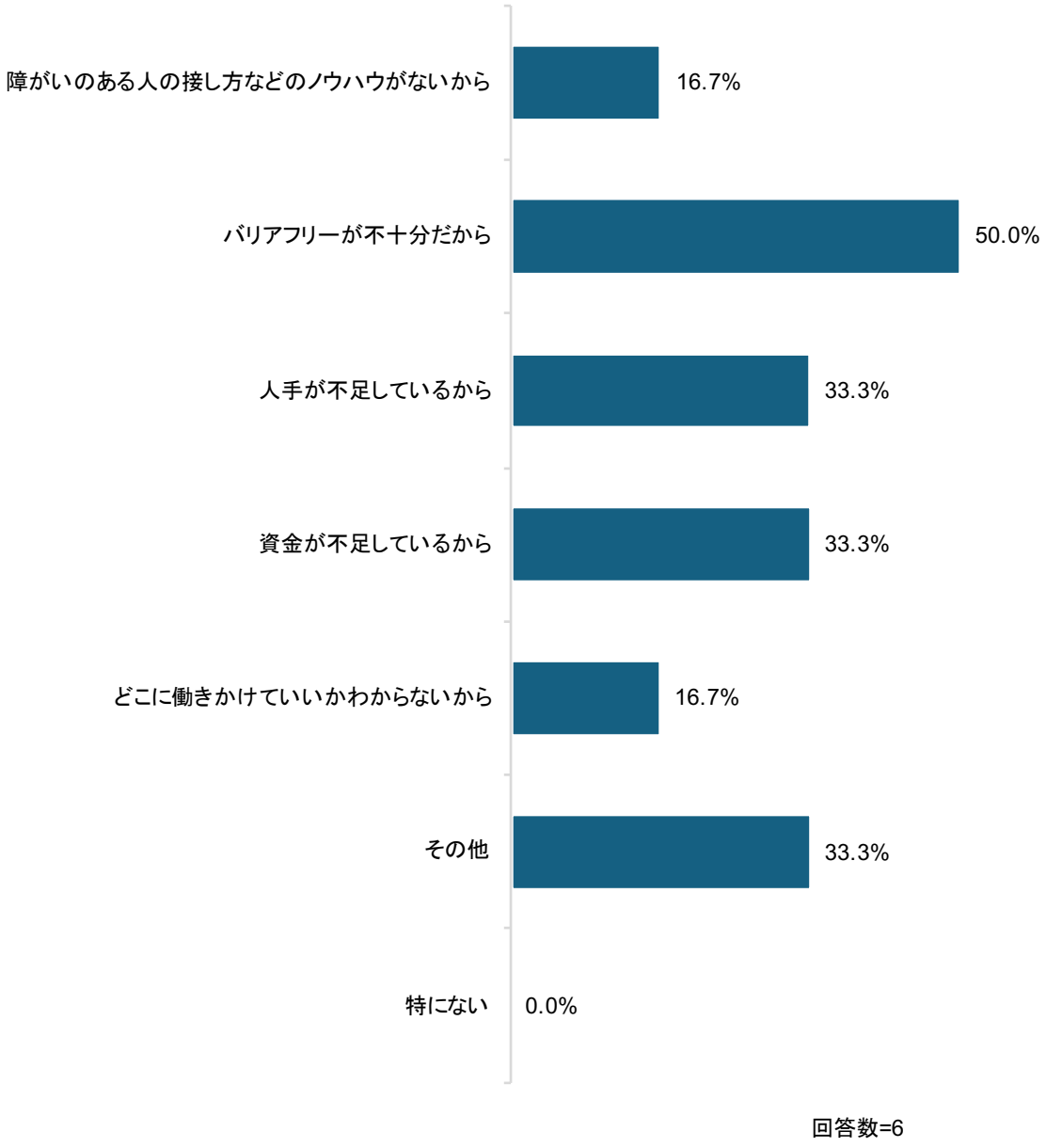
貴団体が実施する「文化芸術活動」には、障がいのある人も参加してもらいたい（参加できる）と思いますか。（○は1つだけ）

		回答数	参加してもらいたい（参加できる）	参加は難しい（参加できない）
全体		57	89.5	10.5
団体の会員数	100人未満	20	95.0	5.0
	100～199人	5	100.0	0.0
	200～399人	13	84.6	15.4
	400～999人	14	85.7	14.3
	1,000人以上	5	80.0	20.0
会員の平均年齢	30代以下	4	75.0	25.0
	40～60代	31	87.1	12.9
	70代以上	22	95.5	4.5
主な活動地域	北九州地域	6	83.3	16.7
	福岡地域	21	85.7	14.3
	筑豊地域	7	85.7	14.3
	筑後地域	17	100.0	0.0
	全域	6	83.3	16.7

会員の平均年齢別に見ると、30代以下は「参加は難しい（参加できない）」が25.0%と他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。

問9　参加が難しい理由（複数回答）

問8で「参加は難しい（参加できない）」の団体におたずねします。参加は難しい（参加できない）理由は何ですか。（○はいくつでも）



団体が実施する文化芸術活動に、障がいのある人の「参加は難しい（参加できない）」と回答した団体（6件）に対して理由を聞いたところ、「バリアフリーが不十分だから」が50.0%で最も高くなっている。次いで、「人手が不足しているから」「資金が不足しているから」「その他」がそれぞれ33.0%となっている。

問9　参加が難しい理由（複数回答）

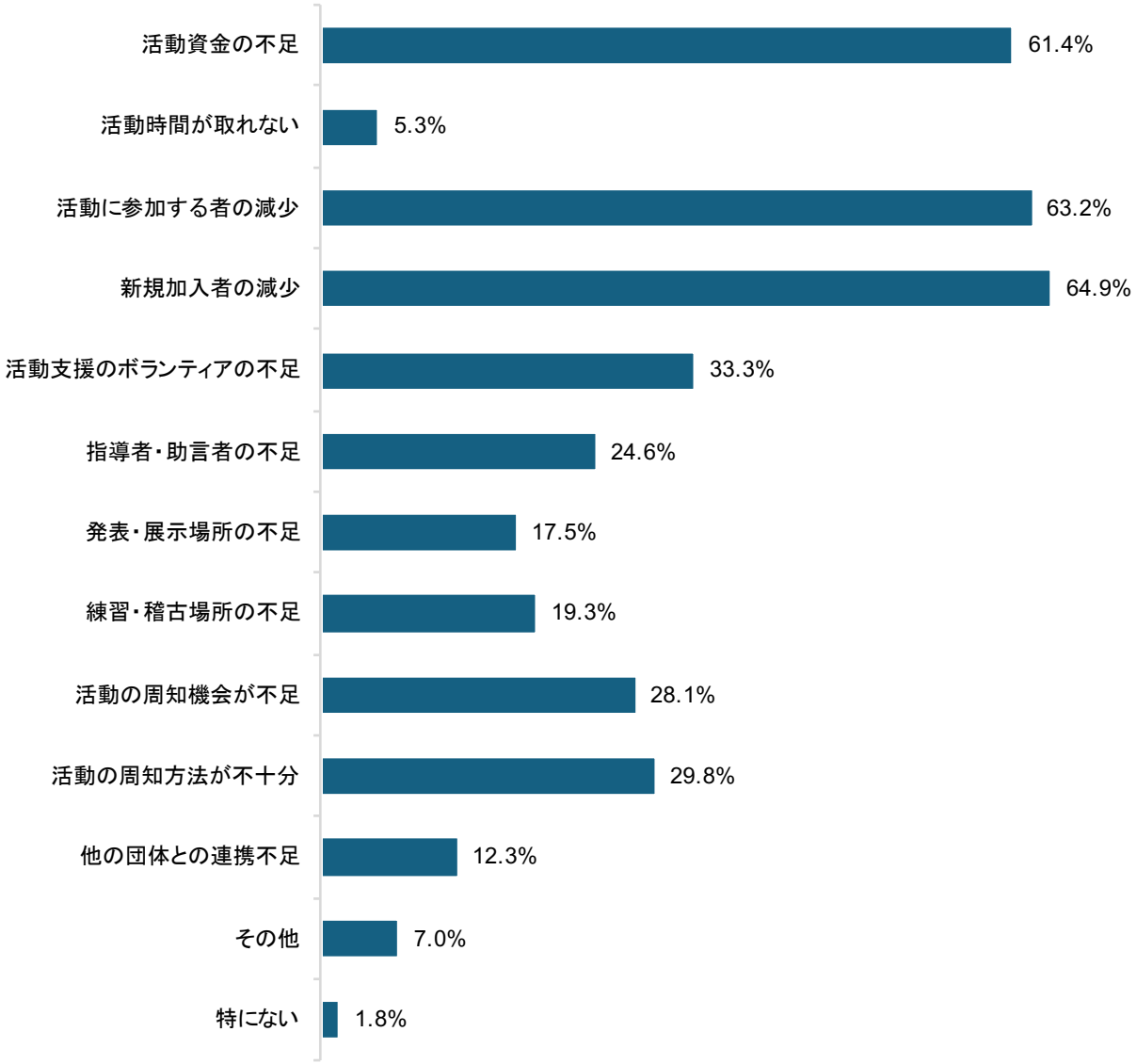
問8で「参加は難しい（参加できない）」の団体におたずねします。参加は難しい（参加できない）理由は何ですか。（○はいくつでも）

		回答数	障がいのある人の接し方などのノウハウがないから	バリアフリーが不十分だから	人手が不足しているから	資金が不足しているから	どこに働きかけていいかわからないから	その他	特にない
全体		6	16.7	50.0	33.3	33.3	16.7	33.3	0.0
団体の会員数	100人未満	1	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	100～199人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	200～399人	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	400～999人	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	1,000人以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
会員の平均年齢	30代以下	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～60代	4	0.0	50.0	50.0	50.0	25.0	50.0	0.0
	70代以上	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
主な活動地域	北九州地域	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	福岡地域	3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
	筑豊地域	1	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	筑後地域	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	全域	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

回答数が少ないため比較が難しい。

問10　活動するにあたっての問題や課題（複数回答）

貴団体が活動するにあたって、困っている事や課題に感じているのはどのような事ですか。（○はいくつでも）



回答数=57

団体が活動するにあたって、感じている課題は「新規加入者の減少」が64.9%で最も高く、次いで「活動に参加する者の減少」（63.2%）、「活動資金の不足」（61.4%）となっている。

問10　活動するにあたっての問題や課題（複数回答）

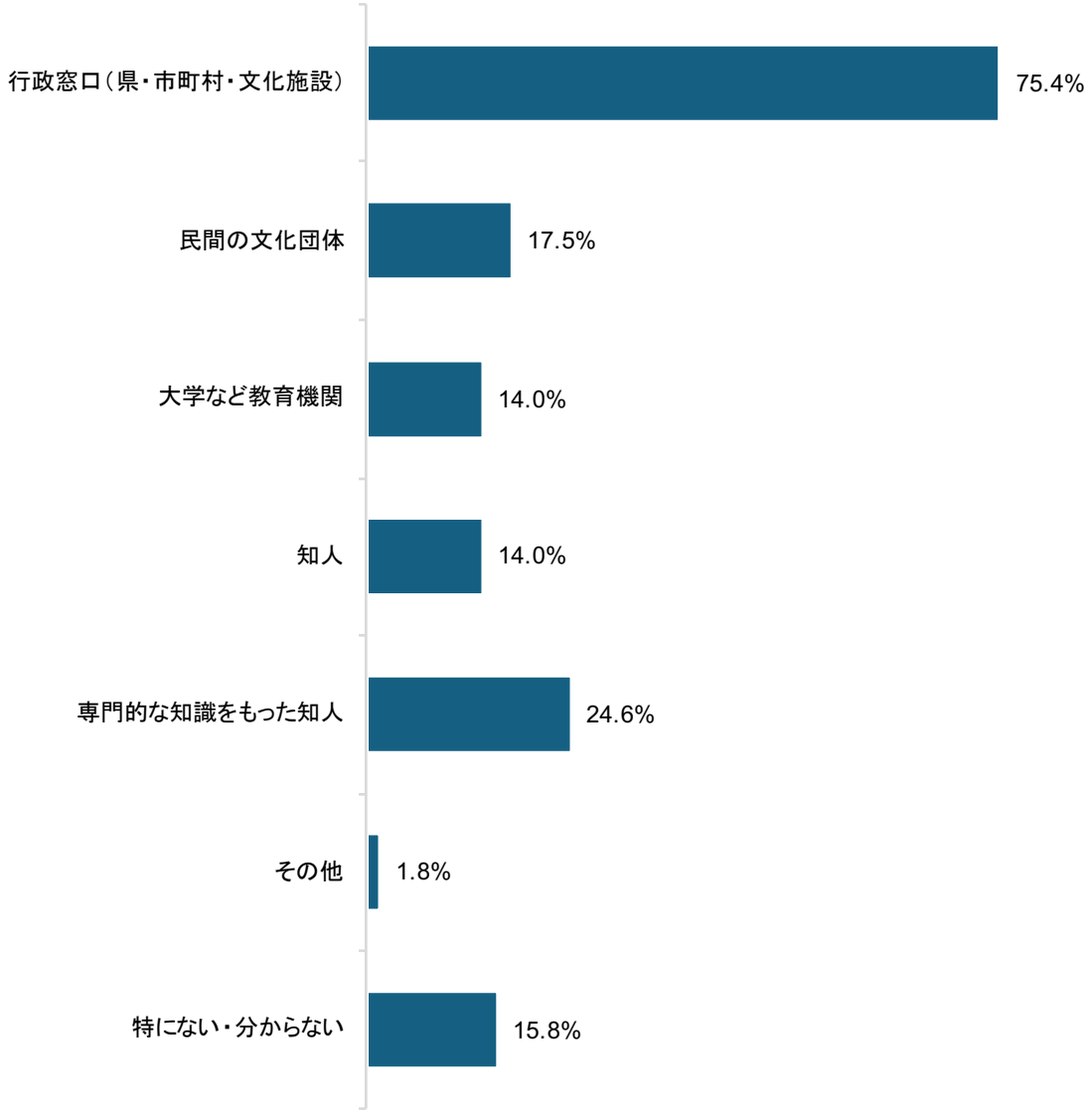
貴団体が活動するにあたって、困っている事や課題に感じているのはどのような事ですか。（○はいくつでも）

		回答数	活動資金の不足	活動時間が取れない	活動に参加する者の減少	新規加入者の減少	活動支援のボランティアの不足	指導者・助言者の不足	発表・展示場所の不足	練習・稽古場所の不足	活動の周知機会が不足	活動の周知方法が不十分	他の団体との連携不足	その他	特にない
全体		57	61.4	5.3	63.2	64.9	33.3	24.6	17.5	19.3	28.1	29.8	12.3	7.0	1.8
団体の会員数	100人未満	20	70.0	10.0	45.0	40.0	30.0	15.0	20.0	20.0	30.0	35.0	10.0	5.0	5.0
	100～199人	5	80.0	0.0	80.0	100.0	40.0	40.0	20.0	20.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	200～399人	13	46.2	7.7	69.2	92.3	38.5	15.4	15.4	38.5	23.1	15.4	15.4	0.0	0.0
	400～999人	14	57.1	0.0	85.7	64.3	35.7	42.9	7.1	7.1	28.6	28.6	14.3	7.1	0.0
	1,000人以上	5	60.0	0.0	40.0	60.0	20.0	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0
会員の平均年齢	30代以下	4	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0
	40～60代	31	74.2	6.5	54.8	51.6	32.3	22.6	32.3	32.3	38.7	35.5	16.1	6.5	3.2
	70代以上	22	50.0	0.0	86.4	86.4	40.9	27.3	0.0	0.0	13.6	18.2	9.1	4.5	0.0
主な活動地域	北九州地域	6	66.7	0.0	50.0	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0
	福岡地域	21	71.4	4.8	52.4	52.4	42.9	19.0	38.1	38.1	42.9	42.9	9.5	4.8	0.0
	筑豊地域	7	42.9	14.3	71.4	71.4	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0	14.3
	筑後地域	17	58.8	0.0	76.5	94.1	35.3	29.4	0.0	5.9	29.4	23.5	11.8	0.0	0.0
	全域	6	50.0	16.7	66.7	66.7	0.0	33.3	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	0.0

会員の平均年齢別に見ると、40～60代は「活動資金の不足」が74.2%と他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。
主な活動地域別に見ると、筑後地域では「新規加入者の減少」が94.1%と他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。

問11　困難に直面した際の相談先（複数回答）

貴団体が活動するにあたって、困難に直面した際に、どこに相談しますか。（○はいくつでも）



回答数=57

団体が活動するにあたって、困難に直面した際の相談先としては、「行政窓口（県・市町村・文化施設）」が75.4%で最も高くなっている。次いで「専門的な知識をもった知人」（24.6%）、「民間の文化団体（17.5%）となっている。

問11　困難に直面した際の相談先（複数回答）

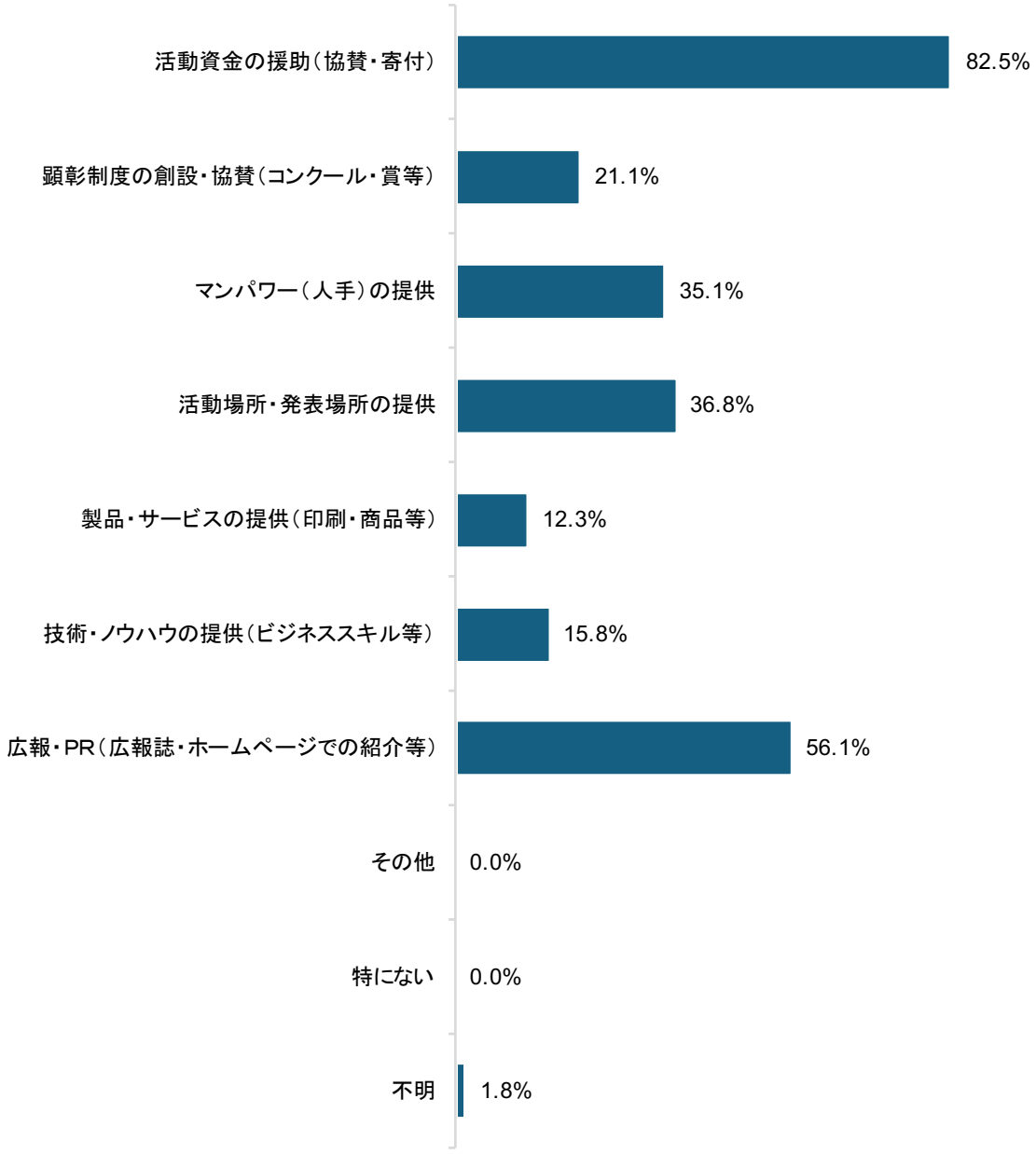
貴団体が活動するにあたって、困難に直面した際に、どこに相談しますか。（○はいくつでも）

			行政窓口（県・市町村・文化施設）	民間の文化団体	大学など教育機関	知人	専門的な知識をもった知人	その他	特にない・分からない
全体		57	75.4	17.5	14.0	14.0	24.6	1.8	15.8
団体の会員数	100人未満	20	70.0	35.0	35.0	25.0	45.0	0.0	10.0
	100～199人	5	100.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0
	200～399人	13	76.9	15.4	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7
	400～999人	14	64.3	0.0	7.1	0.0	14.3	0.0	35.7
	1,000人以上	5	100.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0
会員の平均年齢	30代以下	4	50.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0
	40～60代	31	74.2	22.6	25.8	16.1	35.5	0.0	19.4
	70代以上	22	81.8	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	13.6
主な活動地域	北九州地域	6	83.3	33.3	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0
	福岡地域	21	66.7	28.6	23.8	19.0	38.1	0.0	9.5
	筑豊地域	7	100.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3
	筑後地域	17	82.4	11.8	0.0	17.6	5.9	0.0	17.6
	全域	6	50.0	0.0	16.7	0.0	33.3	16.7	50.0

会員の平均年齢別に見ると、70代以上では「行政窓口（県・市町村・文化施設）」が81.8%と他よりも高くなっている。

問12　民間企業などに期待する支援（複数回答）

貴団体が民間企業等に 期待する支援はどのような事ですか。（○はいくつでも）



回答数=57

団体が民間企業等に 期待する支援は「活動資金の援助（協賛・寄付）」が82.5%で最も高くなっている。次いで「広報・PR（広報誌・ホームページでの紹介等）」（56.1%）、「活動場所・発表場所の提供」（36.8%）、「マンパワー（人手）の提供」（35.1%）となっている。

問12　民間企業などに期待する支援（複数回答）

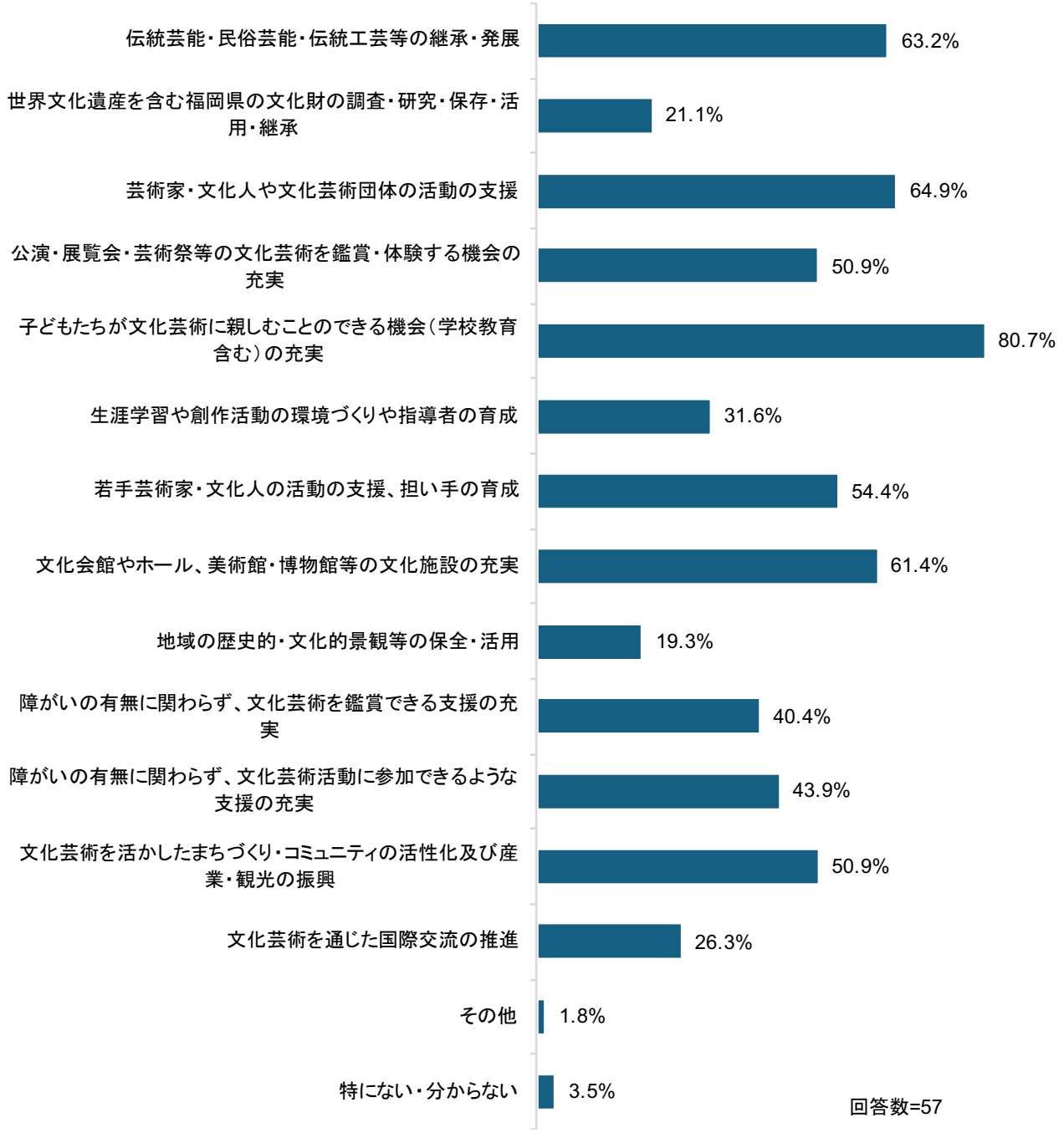
貴団体が民間企業等に 期待する支援はどのような事ですか。（○はいくつでも）

		回答数	活動資金の援助（協賛・寄付）	顕彰制度の創設・協賛（コンクール・賞等）	マンパワー（人手）の提供	活動場所・発表場所の提供	製品・サービスの提供（印刷・商品等）	技術・ノウハウの提供（ビジネススキル等）	広報・ＰＲ（広報誌・ホームページでの紹介等）	その他	特にない	不明
全体		57	82.5	21.1	35.1	36.8	12.3	15.8	56.1	0.0	0.0	1.8
団体の会員数	100人未満	20	90.0	20.0	30.0	45.0	35.0	25.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	100～199人	5	80.0	20.0	40.0	60.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0
	200～399人	13	76.9	23.1	38.5	30.8	0.0	7.7	53.8	0.0	0.0	7.7
	400～999人	14	78.6	21.4	42.9	14.3	0.0	21.4	50.0	0.0	0.0	0.0
	1,000人以上	5	80.0	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0
会員の平均年齢	30代以下	4	75.0	25.0	25.0	50.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	40～60代	31	93.5	16.1	35.5	41.9	22.6	12.9	64.5	0.0	0.0	0.0
	70代以上	22	68.2	27.3	36.4	27.3	0.0	18.2	45.5	0.0	0.0	4.5
主な活動地域	北九州地域	6	66.7	16.7	66.7	50.0	16.7	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0
	福岡地域	21	95.2	14.3	23.8	42.9	23.8	19.0	66.7	0.0	0.0	4.8
	筑豊地域	7	85.7	28.6	57.1	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0
	筑後地域	17	82.4	23.5	41.2	17.6	0.0	17.6	58.8	0.0	0.0	0.0
	全域	6	50.0	33.3	0.0	83.3	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

会員の平均年齢別に見ると、40～60代では「活動資金の援助（協賛・寄付）」が93.5%と他よりも高くなっている。

問13　福岡県の文化芸術を進行するために行政が積極的に取り組むべき事（複数回答）

福岡県の文化芸術を振興するために行政（県・市町村）が積極的に取り組むべき事とはどのような事だと思いますか。（〇はいくつでも）



福岡県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべき事は、「子どもたちが文化芸術に親しむことのできる機会（学校教育含む）の充実」が80.7%で最も高くなっている。次いで「芸術家・文化人や文化芸術団体の活動の支援」（64.9%）、「伝統芸能・民俗芸能・伝統工芸等の継承・発展」（63.2%）、「文化会館やホール、美術館・博物館等の文化施設の充実」（61.4%）、「若手芸術家・文化人の活動の支援、担い手の育成」（54.4%）となっている。

問13　福岡県の文化芸術を進行するために行政が積極的に取り組むべき事（複数回答）

福岡県の文化芸術を振興するために行政（県・市町村）が積極的に取り組むべき事とはどのような事だと思いますか。（○はいくつでも）

		回答数	伝統芸能・民俗芸能・伝統工芸等の継承・発展	世界文化遺産を含む福岡県の文化財の調査・研究・保存・活用・継承	芸術家・文化人や文化芸術団体の活動の支援	公演・展覧会・芸術祭等の文化芸術を鑑賞・体験する機会の充実	子どもたちが文化芸術に親しむことのできる機会（学校教育含む）の充実	生涯学習や創作活動の環境づくりや指導者の育成	若手芸術家・文化人の活動の支援、担い手の育成	文化会館やホール、美術館・博物館等の文化施設の充実
全体		57	63.2	21.1	64.9	50.9	80.7	31.6	54.4	61.4
団体の会員数	100人未満	20	75.0	30.0	60.0	45.0	95.0	50.0	50.0	65.0
	100～199人	5	80.0	40.0	60.0	60.0	80.0	40.0	40.0	40.0
	200～399人	13	46.2	23.1	76.9	76.9	76.9	30.8	61.5	76.9
	400～999人	14	57.1	7.1	50.0	42.9	78.6	14.3	50.0	42.9
	1,000人以上	5	60.0	0.0	100.0	20.0	40.0	0.0	80.0	80.0
会員の平均年齢	30代以下	4	25.0	0.0	75.0	50.0	75.0	25.0	50.0	75.0
	40～60代	31	61.3	22.6	67.7	51.6	83.9	29.0	61.3	67.7
	70代以上	22	72.7	22.7	59.1	50.0	77.3	36.4	45.5	50.0
主な活動地域	北九州地域	6	100.0	33.3	50.0	33.3	100.0	50.0	66.7	16.7
	福岡地域	21	61.9	28.6	71.4	57.1	90.5	42.9	61.9	76.2
	筑豊地域	7	42.9	0.0	57.1	42.9	57.1	14.3	57.1	57.1
	筑後地域	17	58.8	17.6	52.9	52.9	76.5	17.6	29.4	58.8
	全域	6	66.7	16.7	100.0	50.0	66.7	33.3	83.3	66.7

会員の平均年齢別に見ると、40～60代では「子どもたちが文化芸術に親しむことのできる機会（学校教育含む）の充実」が83.9%と他よりも高くなっている。

問13　福岡県の文化芸術を進行するために行政が積極的に取り組むべき事（複数回答）

福岡県の文化芸術を振興するために行政（県・市町村）が積極的に取り組むべき事とはどのような事だと思いますか。（○はいくつでも）

		回答数	地域の歴史的・文化的景観等の保全・活用	障がいの有無に関わらず、文化芸術を鑑賞できる支援の充実	障がいの有無に関わらず、文化芸術活動に参加できるような支援の充実	文化芸術を活かしたまちづくり・コミュニティの活性化及び産業・観光の振興	文化芸術を通じた国際交流の推進	その他	特にない・分からない
全体		57	19.3	40.4	43.9	50.9	26.3	1.8	3.5
団体の会員数	100人未満	20	35.0	55.0	60.0	55.0	40.0	5.0	0.0
	100～199人	5	20.0	40.0	80.0	60.0	20.0	0.0	20.0
	200～399人	13	7.7	30.8	38.5	38.5	15.4	0.0	7.7
	400～999人	14	14.3	28.6	14.3	57.1	28.6	0.0	0.0
	1,000人以上	5	0.0	40.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0
会員の平均年齢	30代以下	4	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	40～60代	31	16.1	48.4	45.2	48.4	35.5	3.2	0.0
	70代以上	22	27.3	31.8	40.9	59.1	13.6	0.0	9.1
主な活動地域	北九州地域	6	33.3	50.0	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0
	福岡地域	21	14.3	33.3	52.4	61.9	38.1	4.8	0.0
	筑豊地域	7	0.0	28.6	28.6	42.9	0.0	0.0	14.3
	筑後地域	17	29.4	35.3	41.2	52.9	11.8	0.0	5.9
	全域	6	16.7	83.3	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0

主な活動地域別に見ると、全域では「若手芸術家・文化人の活動の支援、担い手の育成」と「障がいの有無に関わらず、文化芸術を鑑賞できる支援の充実」がともに83.3%と他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。

問14 その他、県が取り組む文化施策に対する意見等（自由記述）

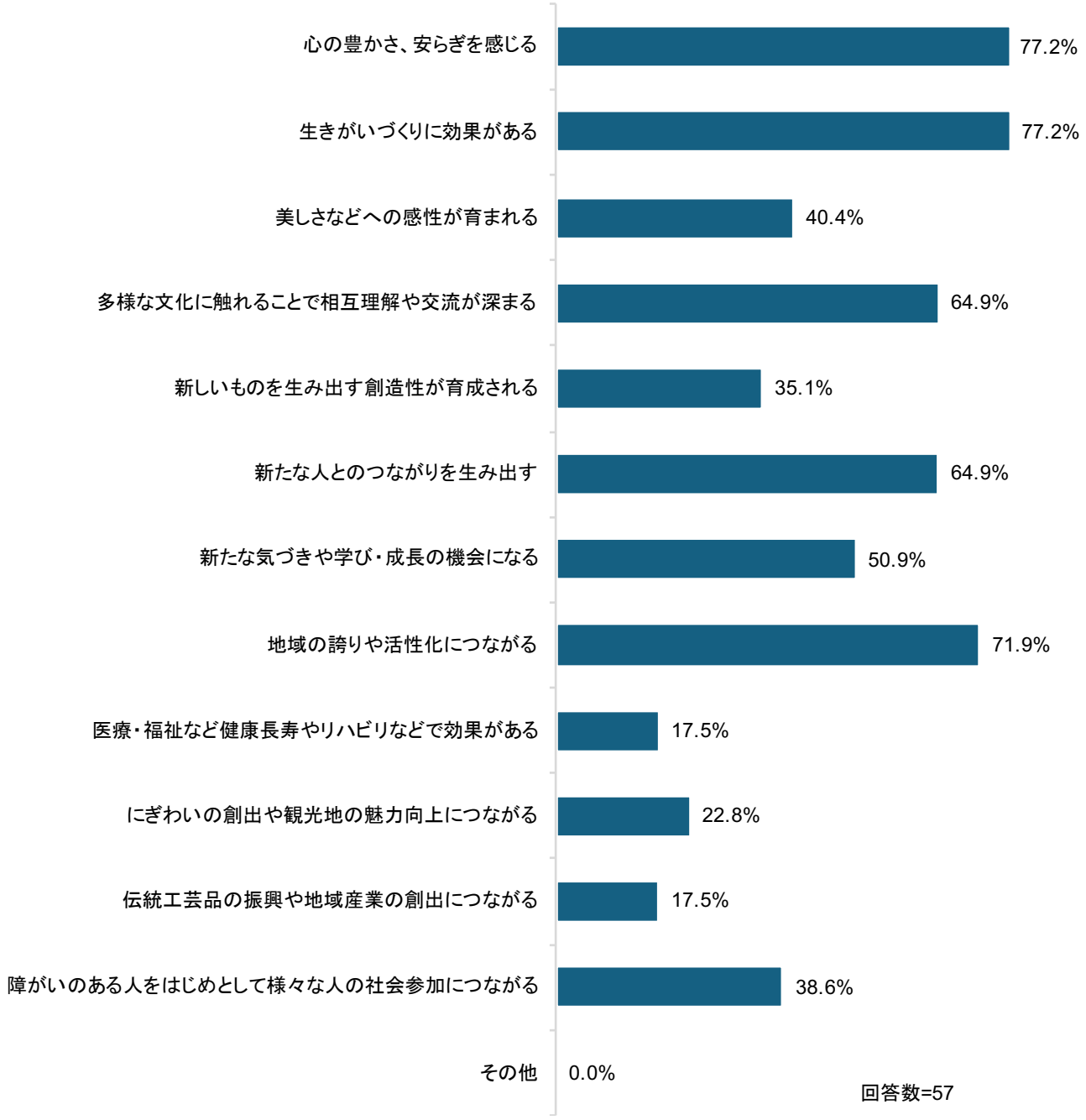
その他、県が取り組む文化施策に対してご意見等がありましたらご記入ください。

記述内容の分類	回答件数
発表や練習の会場の確保	5
子どもへの普及、教育との連携	4
会員の高齢化、減少、後継者不足	3
文化施設のバリアフリー化	2
その他の意見	5
無回答	38
総計	57

県が取り組む文化施策に対する意見等について自由記述の回答を、主旨を5項目に整理、分類した。主旨が複数項目に重なる意見等は、最初に触れた主旨で単一の分類とした。「その他の意見」と無回答を除くと、最も多い意見は「発表や練習の会場の確保」、次いで「子どもへの普及、教育との連携」、「会員の高齢化、減少、後継者不足」、「文化施設のバリアフリー化」となっている。

問15　文化芸術に期待するもの（複数回答）

近年、文化芸術には教育や福祉など様々な面での可能性が期待されています。貴団体が文化芸術に期待するものは何ですか。（○はいくつでも）



団体が文化芸術に期待するものは、「心の豊かさ、安らぎを感じる」と「生きがいづくりに効果がある」がともに77.2%、「地域の誇りや活性化につながる」が71.9%、「多様な文化に触れることで相互理解や交流が深まる」と「新たな人とのつながりを生み出す」が64.9%となっている。

問15　文化芸術に期待するもの（複数回答）

近年、文化芸術には教育や福祉など様々な面での可能性が期待されています。貴団体が文化芸術に期待するものは何ですか。（○はいくつでも）

		回答数	心の豊かさ、安らぎを感じる	生きがいづくりに効果がある	美しさなどへの感性が育まれる	多様な文化に触れることで相互理解や交流が深まる	新しいものを生み出す創造性が育成される	新たな人とのつながりを生み出す	新たな気づきや学び・成長の機会になる
全体		57	77.2	77.2	40.4	64.9	35.1	64.9	50.9
団体の会員数	100人未満	20	70.0	75.0	40.0	80.0	50.0	70.0	70.0
	100～199人	5	80.0	60.0	40.0	60.0	20.0	40.0	20.0
	200～399人	13	76.9	76.9	38.5	46.2	38.5	53.8	46.2
	400～999人	14	78.6	85.7	35.7	50.0	21.4	71.4	42.9
	1,000人以上	5	100.0	80.0	60.0	100.0	20.0	80.0	40.0
会員の平均年齢	30代以下	4	75.0	25.0	50.0	75.0	75.0	50.0	75.0
	40～60代	31	77.4	80.6	38.7	71.0	41.9	74.2	51.6
	70代以上	22	77.3	81.8	40.9	54.5	18.2	54.5	45.5
主な活動地域	北九州地域	6	66.7	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	福岡地域	21	71.4	66.7	42.9	61.9	52.4	71.4	71.4
	筑豊地域	7	85.7	71.4	14.3	71.4	0.0	42.9	14.3
	筑後地域	17	76.5	94.1	35.3	64.7	11.8	58.8	35.3
	全域	6	100.0	100.0	66.7	83.3	66.7	100.0	66.7

主な活動地域別に見ると、全域と筑後地域では「生きがいづくりに効果がある」が他よりも高くなっている。また、筑後地域と筑豊地域では「地域の誇りや活性化につながる」が他よりも高くなっている（回答数が少ないため留意が必要）。

問15　文化芸術に期待するもの（複数回答）

近年、文化芸術には教育や福祉など様々な面での可能性が期待されています。貴団体が文化芸術に期待するものは何ですか。（○はいくつでも）

		回答数	地域の誇りや活性化につながる	医療・福祉など健康長寿やリハビリなどで効果がある	にぎわいの創出や観光地の魅力向上につながる	伝統工芸品の振興や地域産業の創出につながる	障がいのある人をはじめとして様々な人の社会参加につながる	その他	特に期待しない
全体		57	71.9	17.5	22.8	17.5	38.6	0.0	1.8
団体の会員数	100人未満	20	75.0	25.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0
	100～199人	5	80.0	20.0	20.0	40.0	60.0	0.0	20.0
	200～399人	13	61.5	15.4	15.4	7.7	15.4	0.0	0.0
	400～999人	14	71.4	14.3	21.4	14.3	28.6	0.0	0.0
	1,000人以上	5	80.0	0.0	40.0	0.0	60.0	0.0	0.0
会員の平均年齢	30代以下	4	75.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	40～60代	31	67.7	16.1	25.8	19.4	38.7	0.0	0.0
	70代以上	22	77.3	22.7	22.7	18.2	36.4	0.0	4.5
主な活動地域	北九州地域	6	83.3	16.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	福岡地域	21	66.7	28.6	23.8	28.6	52.4	0.0	0.0
	筑豊地域	7	71.4	14.3	28.6	14.3	28.6	0.0	14.3
	筑後地域	17	76.5	11.8	23.5	11.8	23.5	0.0	0.0
	全域	6	66.7	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0

問16 「福岡県の文化」でイメージするもの（自由記述）

最後に、あなたが思う 「福岡県の文化」（福岡県固有の文化、福岡県らしさ）でイメージするものは、どのようなものですか。どのようなことでも結構ですので、ご自由に記入してください。

記述内容の分類	回答件数
芸術、芸能	5
史跡、遺跡、寺社など有形文化財	4
祭礼、行事、神事など無形文化財	4
アジアとの交流、九州の拠点都市	4
人々の気質	3
工芸、民芸	3
各地域の個性	2
分類できない	4
無回答	28
総計	57

「福岡県の文化」でイメージするものについて自由記述の回答を、主旨を8項目に分類した。主旨が複数項目に重なる意見等は、最初に触れた主旨で単一の分類とした。「分類できない」と無回答を除くと、最も多い意見は「芸術、芸能」、次いで「史跡、遺跡、寺社など有形文化財」、「祭礼、行事、神事など無形文化財」、「アジアとの交流、九州の拠点都市」となっている。

はじめに貴団体のことについておたずねします

問１　貴団体に加入している会員（加入者）の総数を教えてください。

※団体数ではなく会員の総数をご記入ください。

総会員数（加入者）	人

問２　貴団体に加入している会員（加入者）の、おおよその平均年齢を教えてください。

（○は１つだけ）

１．10 代	２．20 代	３．30 代	４．40 代
５．50 代	６．60 代	７．70 代	８．80 代以上

問３　貴団体に加入している会員（加入者）の、主な活動地域を教えてください。

（○は１つだけ）

１．北九州地域	２．福岡地域	３．筑豊地域	４．筑後地域	５．全域

問４　貴団体に加入している会員（加入者）の活動のジャンルを教えてください。

（○は１つだけ）

１．音楽（オペラ、オーケストラ、合唱、ジャズ、ポップス、ロックなど）
２．美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）
３．演劇（現代演劇、人形劇、ミュージカルなど）
４．舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）
５．映画（アニメを除く）
６．アニメ映画、メディアアート（コンピュータや映像を活用したアート）
７．伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）
８．芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）
９．歴史的建物や遺跡（建造物、遺跡、名勝地（庭園など）の文化財）
10．その他（　　）

「文化芸術活動（発表・展示）の実施状況」についておたずねします

問５　貴団体として実施する成果の発表会や展示会等はどの程度実施していますか。

（○は１つだけ）

１．月数回以上	２．月１回程度	３．２～３か月に１回程度
４．半年に１回程度	５．年に１回程度	６．全く・ほとんど実施していない

【問６へ】

問５で「１.月数回以上」～「５.年に１回程度」（発表会や展示会などを実施している）の団体におたずねします

問５－１　貴団体として実施する成果の発表会や展示会等は、一般の方（会員以外の方）の観覧・聴講も受け付けていますか。（○は１つだけ）

１．全ての回で受け付けている　２．一部の回で受け付けている　３．受け付けていない

問５－２　貴団体として実施する成果の発表会や展示会等は、障がいのある人が行きやすくなるような工夫はありますか。（○は１つだけ）

１．ある　　２．ない　　３．現在検討中　⇒　問６へ

問５－２で「1.ある」の団体におたずねします

問５－３　具体的には、どのような工夫を行っていますか。

【全員の方へ】

問６　貴団体が発表会や展示会、その他の広報活動・お知らせ等を行う場合、どのような情報発信媒体を利用していますか。（○はいくつでも）

１．ポスター	２．チラシ	３．パンフレット	４．会報誌
５．団体ホームページ	６．Ｗｅｂサイト	７．ブログ	８．ＳＮＳ
９．県や市町村の広報誌	10．新聞・フリーペーパー等の情報誌		11．テレビ・ラジオ
12．その他（　　）			

問７　貴団体が**福岡県内**において開催する、発表会や展示会、大会、コンクール等で最も利用している場所（会場）を教えてください。
また、その場所の満足度を教えてください。（○は１つだけ）

最も利用している場所（会場）	※注）福岡県内のみ	
１．満足	２．どちらかといえば満足	３．普通
４．どちらかといえば不満	５．不満	

「文化芸術活動の課題・要望」についておたずねします

問８　貴団体が実施する「文化芸術活動」には、障がいのある人も参加してもらいたい（参加できる）と思いますか。（○は１つだけ）

１．参加してもらいたい（参加できる）　　２．参加は難しい（参加できない）

問８で「参加は難しい（参加できない）」の団体におたずねします。

問９　参加は難しい（参加できない）理由は何ですが。（○はいくつでも）

１．障がいのある方の接し方などのノウハウがないから
２．バリアフリーが不十分だから　　３．人手が不足しているから
４．資金が不足しているから　　５．どこに働きかけていいかわからないから
６．その他（　　）　７．特にない

問 10　貴団体が活動するにあたって、困っている事や課題に感じているのはどのような事ですか。（○はいくつでも）

１．活動資金の不足　　２．活動時間が取れない　３．活動に参加する者の減少
４．新規加入者の減少　５．活動支援のボランティアの不足　６．指導者･助言者の不足
７．発表･展示場所の不足　８．練習･稽古場所の不足　９．活動の周知機会が不足
10．活動の周知方法が不十分　11．他の団体との連携不足
12．その他（　　）　13．特にない

問 11　貴団体が活動するにあたって、困難に直面した際に、どこに相談しますか。（○はいくつでも）

１．行政窓口（県・市町村・文化施設）　２．民間の文化団体　３．大学など教育機関
４．知人　５．専門的な知識をもった知人　６．その他（　　）
７．特にない・分からない

問 12　貴団体が民間企業等に期待する支援はどのような事ですか。（○はいくつでも）

１．活動資金の援助（協賛・寄付）　２．顕彰制度の創設･協賛（コンクール・賞等）
３．マンパワー（人手）の提供　４．活動場所･発表場所の提供
５．製品･サービスの提供（印刷･商品等）　６．技術･ノウハウの提供（ビジネススキル等）
７．広報･ＰＲ（広報誌･ホームページでの紹介等）
８．その他（　　）　９．特にない

「行政の取組・ご意見」についておたずねします

問 13　福岡県の文化芸術を振興するために行政（県・市町村）が積極的に取り組むべき事とはどのような事だと思いますか。（〇はいくつでも）

１．伝統芸能・民俗芸能・伝統工芸等の継承・発展
２．世界文化遺産を含む福岡県の文化財の調査・研究・保存・活用・継承
３．芸術家・文化人や文化芸術団体の活動の支援
４．公演・展覧会・芸術祭等の文化芸術を鑑賞・体験する機会の充実
５．子どもたちが文化芸術に親しむことのできる機会（学校教育含む）の充実
６．生涯学習や創作活動の環境づくりや指導者の育成
７．若手芸術家・文化人の活動の支援、担い手の育成
８．文化会館やホール、美術館・博物館等の文化施設の充実
９．地域の歴史的・文化的景観等の保全・活用
10．障がいの有無に関わらず、文化芸術を鑑賞できる支援の充実
11．障がいの有無に関わらず、文化芸術活動に参加できるような支援の充実
12．文化芸術を活かしたまちづくり・コミュニティの活性化及び産業・観光の振興
13．文化芸術を通じた国際交流の推進
14．その他（　　）
15．特にない・分からない

問 14　その他、県が取り組む文化施策に対してご意見等がありましたらご記入ください。

問 15　近年、文化芸術には教育や福祉など様々な面での可能性が期待されています。
貴団体が文化芸術に期待するものは何ですか。（○はいくつでも）

1．心の豊かさ、安らぎを感じる
2．生きがいづくりに効果がある
3．美しさなどへの感性が育まれる
4．多様な文化に触れることで相互理解や交流が深まる
5．新しいものを生み出す創造性が育成される
6．新たな人とのつながりを生み出す
7．新たな気づきや学び・成長の機会になる
8．地域の誇りや活性化につながる
9．医療・福祉など健康長寿やリハビリなどで効果がある
10．にぎわいの創出や観光地の魅力向上につながる
11．伝統工芸品の振興や地域産業の創出につながる
12．障がいのある人をはじめとして様々な人の社会参加につながる
13．その他（　　）
14．特に期待しない

問 16　最後に、「福岡県の文化」（福岡県固有の文化、福岡県らしさ）でイメージするものは、どのようなものですか。
どのようなことでも結構ですので、ご自由に記入してください。。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

「福岡県における文化芸術活動の実態調査」に基づく分析及び施策提案報告書(案)

調査・発行 ｜ 福岡県人づくり・県民生活部文化振興課
〒812-8577福岡市博多区東公園7番7号
tel. 092-643-3382　　fax. 092-643-3347

調査委託 ｜ 合同会社文化コモンズ研究所
〒231-0021　神奈川県横浜市中区日本大通33番地
神奈川県住宅供給公社ビル　1F
関内フューチャーセンター#156
Email info@ifcc.jp

発 行 日 ｜ 2025年8月